

**デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生拠点  
整備交付金）事業の効果検証に関する調査報告書**

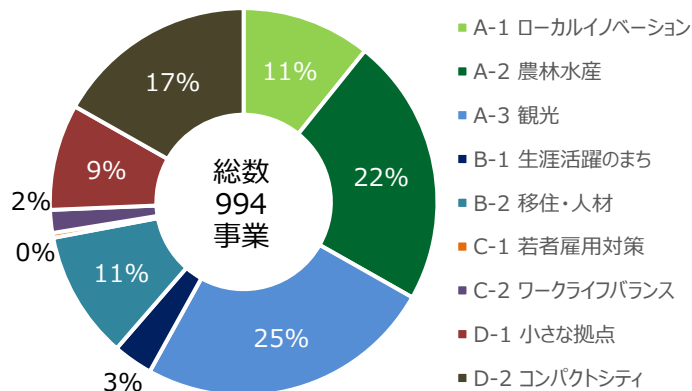
**令和 7 年 3 月**

**内閣府 地方創生推進事務局**

## 報告書概要

### デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生拠点整備交付金）事業の実施状況

国では、デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生拠点整備交付金）により、都道府県及び市区町村を支援してきている。昨年度に引き続き、交付金活用事業の実施状況に係る調査を行った。令和 5 年度においては、総数 994 の事業（前年度比 107 事業増加）でデジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生拠点整備交付金）が活用された（図表 2-3）。



### デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生拠点整備交付金）の効果を高める要因について

デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生拠点整備交付金）による支援制度が始まった平成 28 年度から 8 年が経過し、当該交付金を活用し、地域課題解決につなげ地方創生が進展した成功事例も複数見られるようになった。実施主体から提出を受けた事業実施報告及び実施主体へのヒアリング調査により分析を進め（本報告書第 2 章及び第 3 章）、検討委員会委員との議論を通じ、デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生拠点整備交付金）事業の効果を高めると考えられるポジティブな要因を抽出した（本報告書第 4 章）。デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生拠点整備交付金）事業をより効率的に、効果的に行うためにはポジティブな要因を踏まえて実施することが重要である。

### デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生拠点整備交付金）事業の効果等

ガイドラインで定められたそれぞれの「取り組むべきこと」について、これを実施した事業と実施しなかった事業とで KPI 目標の達成に違いが生じるかを分析した。その結果、21 項目中 19 項目について、これを実施した事業の方が KPI 目標の達成割合が高い結果となった（図表 2-51）。

また、デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果として、交付金を活用した事業のうち 92% の事業で地方創生に効果があったと地方公共団体等が認識していることが分かった（図表 2-56）。

一方で、交付金事業の効果が発現するまでには数年単位の期間を要する場合もあると考

えられることから、結果を慎重に解釈したうえで、引き続きデータを蓄積して長期間を対象とした調査を実施していくことが必要である。

その他、令和 5 年度報告書との主な違いは以下の通りである。

- 「取り組むべきこと」の実施状況について、昨年度において実施率が 50%を下回る項目が 1 項目であり、今年度も同様に 1 項目であった（図表 2-11）。また、「取り組むべきこと」21 項目の 8 割以上（17 項目以上）を実施した事業の割合は、昨年度の 58%から 61%にわずかに増加（図表 2-12）
- KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合は、全体で昨年度の 56%から 59%にわずかに増加。農林水産分野は昨年度 45%であったが、今年度は 52%に増加（図表 2-41）
- 目標値に達した KPI の割合は、全体で昨年度 36%から 39%にわずかに増加。小さな拠点分野は昨年度 36%であったが、今年度は 46%に大きく増加（図表 2-42）
- KPI の分類別には、「アウトプット」の達成は昨年度 51%から 52%にわずかに増加。「交付金事業のアウトカム」の達成は昨年度 35%から 38%にわずかに増加（図表 2-43）
- 地方創生に「非常に効果的であった」と認識された事業は、全体で昨年度 24%から 28%に増加（図表 2-56）
- 過年度の事業実施報告を活用した長期的トレンド分析を実施（第 5 章）。事業が設定する KPI の分類の割合について、以前は設定した KPI の 50%以上が「総合的なアウトカム」であったものの、近年は、「アウトプット」及び「交付金事業のアウトカム」の割合が高まっている傾向などを確認（図表 5-9）

## 目次

|                                           |     |
|-------------------------------------------|-----|
| 報告書概要 .....                               | 1   |
| 調査の背景・目的.....                             | 9   |
| 調査の流れ .....                               | 10  |
| 第1章 事業実施報告（様式）の作成、送付・回収 .....             | 12  |
| 1.1 事業実施報告（様式）の作成方針.....                  | 12  |
| 1.2 事業実施報告の送付・回収.....                     | 21  |
| 第2章 事業実施報告の整理・分析 .....                    | 22  |
| 2.1 分析方針.....                             | 22  |
| 2.2 事業実施報告の分析結果.....                      | 24  |
| 2.2.1 事業の基礎情報.....                        | 24  |
| 2.2.2 事業のプロセス.....                        | 30  |
| 2.2.3 事業の結果.....                          | 57  |
| 2.2.4 経済波及効果.....                         | 78  |
| 第3章 事例研究.....                             | 83  |
| 3.1 事例研究の対象とする事例の抽出.....                  | 83  |
| 3.1.1 事例研究の対象事例の抽出方法.....                 | 83  |
| 3.1.2 事例研究の対象事例の抽出結果.....                 | 84  |
| 3.2 自立性に関する詳細調査の実施及び結果.....               | 85  |
| 3.2.1 自立性に関する詳細調査の実施方針.....               | 85  |
| 3.2.2 事業推進主体の属性（事業テーマ別） .....             | 90  |
| 3.2.3 地方公共団体内の実施体制（事業テーマ別） .....          | 91  |
| 3.2.4 効果検証プロセスの実施状況.....                  | 92  |
| 3.2.5 KPI の設定に当たり、取り組んだ工夫 .....           | 93  |
| 3.3 ヒアリング調査の実施.....                       | 94  |
| 3.3.1 各ヒアリング調査の結果.....                    | 94  |
| 3.3.2 ヒアリング調査から得られた主な示唆.....              | 104 |
| 第4章 デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果を高める要因 .....      | 106 |
| 4.1 デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因 ..... | 106 |
| 4.2 地方公共団体が特に留意すべき重要な要因.....              | 109 |
| 第5章 長期的トレンド分析.....                        | 116 |
| 5.1 長期的トレンドの分析方針.....                     | 116 |
| 5.2 長期的トレンドの分析結果.....                     | 117 |
| 5.2.1 事業の基礎情報.....                        | 117 |
| 5.2.2 KPI 目標の達成状況と各種取組事項 .....            | 120 |

|                                         |     |
|-----------------------------------------|-----|
| 5.2.3 その他（交付金事業費支出先の地域内訳及び経済波及効果） ..... | 129 |
| 第6章 ガイドラインの加筆・修正 .....                  | 132 |
| 6.1 ガイドラインの加筆・修正 .....                  | 132 |
| 第7章 地方公共団体への分析結果フィードバック .....           | 133 |
| 7.1 フィードバックの目的 .....                    | 133 |
| 7.2 フィードバック項目 .....                     | 133 |
| 7.3 フィードバックの実施 .....                    | 135 |
| 第8章 検討委員会の設置 .....                      | 138 |

## 図表番号一覧

|         |                                  |    |
|---------|----------------------------------|----|
| 図表 0-1  | 調査の流れと全体像.....                   | 11 |
| 図表 1-1  | 事業実施報告の様式作成におけるポイント.....         | 12 |
| 図表 1-2  | KPI の意味付け .....                  | 13 |
| 図表 1-3  | 事業実施報告（様式）（1 枚目） .....           | 15 |
| 図表 1-4  | 事業実施報告（様式）（2 枚目） .....           | 16 |
| 図表 1-5  | 事業実施報告（様式）（3 枚目） .....           | 17 |
| 図表 1-6  | 事業実施報告（様式）（4 枚目） .....           | 18 |
| 図表 1-7  | 事業実施報告（様式）（5 枚目） .....           | 19 |
| 図表 1-8  | 事業実施報告（様式）（6 枚目） .....           | 20 |
| 図表 2-1  | 事業実施報告 分析の全体イメージ.....            | 23 |
| 図表 2-2  | 事業実施報告の提出数（令和 7 年 3 月末時点） .....  | 24 |
| 図表 2-3  | 事業テーマ別事業数.....                   | 25 |
| 図表 2-4  | 課題（事業テーマ別） .....                 | 26 |
| 図表 2-5  | 単独事業・共同事業別の事業数.....              | 27 |
| 図表 2-6  | 実施主体別の事業数.....                   | 27 |
| 図表 2-7  | 1 事業当たりの事業実績額（事業テーマ別） .....      | 28 |
| 図表 2-8  | 1 事業当たりの事業実績額（実施主体別） .....       | 28 |
| 図表 2-9  | 施設の建設区分（事業テーマ別） .....            | 29 |
| 図表 2-10 | 「取り組むべきこと」の確認項目（PDCA の段階別） ..... | 31 |
| 図表 2-11 | 「取り組むべきこと」の実施状況.....             | 32 |
| 図表 2-12 | 実施した取組数（事業テーマ別） .....            | 33 |
| 図表 2-13 | 「取り組むべきこと」の実施状況（事業テーマ別） .....    | 34 |
| 図表 2-14 | 「取り組むべきこと」の実施状況（実施主体別） .....     | 35 |
| 図表 2-15 | 効果検証の状況（事業テーマ別） .....            | 36 |
| 図表 2-16 | 効果検証を受けた改善（事業テーマ別） .....         | 37 |
| 図表 2-17 | 効果検証の状況（事業主体別） .....             | 38 |
| 図表 2-18 | 効果検証を受けた改善（事業主体別） .....          | 38 |
| 図表 2-19 | 効果検証プロセスの実施有無.....               | 39 |
| 図表 2-20 | 効果検証プロセスの実施有無（事業テーマ別） .....      | 40 |
| 図表 2-21 | 効果検証プロセスの実施有無（事業年度別） .....       | 41 |
| 図表 2-22 | 効果検証の有効性.....                    | 42 |
| 図表 2-23 | 外部組織の構成メンバーとして住民・事業者が参画する割合..... | 42 |
| 図表 2-24 | 現時点における自立化の見込み（事業テーマ別） .....     | 43 |
| 図表 2-25 | 事業収入が占める割合（事業テーマ別） .....         | 44 |
| 図表 2-26 | 自主財源の確保状況（事業テーマ別） .....          | 45 |

|         |                                                         |    |
|---------|---------------------------------------------------------|----|
| 図表 2-27 | 事業推進主体の属性（事業テーマ別）                                       | 46 |
| 図表 2-28 | 現時点における自立化の見込み（実施主体別）                                   | 47 |
| 図表 2-29 | 事業継続の課題（解決済・未解決）                                        | 48 |
| 図表 2-30 | 行政関与の観点からみた事業の性質（全体）                                    | 49 |
| 図表 2-31 | 行政関与の観点からみた事業の性質（事業テーマ別）                                | 50 |
| 図表 2-32 | 交付金事業期間終了後を意識した財源調達に向けた取組                               | 51 |
| 図表 2-33 | 事業の継続に向けた取組                                             | 52 |
| 図表 2-34 | 政策間連携の状況（事業テーマ別）                                        | 53 |
| 図表 2-35 | 連携対象の事業テーマ（※自テーマ間の連携は除く）                                | 54 |
| 図表 2-36 | 供用開始状況（事業テーマ別）                                          | 55 |
| 図表 2-37 | 供用を開始していない事業の供用開始予定時期                                   | 55 |
| 図表 2-38 | 供用開始時期の状況（施設の建設区分別）                                     | 56 |
| 図表 2-39 | 1事業当たりの KPI 数（事業テーマ別）                                   | 57 |
| 図表 2-40 | KPI の分類（事業テーマ別）                                         | 58 |
| 図表 2-41 | KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合（事業テーマ別）                            | 59 |
| 図表 2-42 | 目標値に達した KPI の割合（事業テーマ別）                                 | 60 |
| 図表 2-43 | KPI の分類別の目標達成状況                                         | 61 |
| 図表 2-44 | KPI の分類（実施主体別）                                          | 62 |
| 図表 2-45 | KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合（実施主体別）                             | 62 |
| 図表 2-46 | KPI の分類（施設の建設区分別）                                       | 63 |
| 図表 2-47 | KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合（施設の建設区分別）                          | 63 |
| 図表 2-48 | 事業テーマ別設定 KPI の分類                                        | 64 |
| 図表 2-49 | KPI の分類                                                 | 65 |
| 図表 2-50 | KPI 目標を達成した事業の割合（「地方公共団体の課題・取組」の分類別）                    | 66 |
| 図表 2-51 | KPI 目標を達成した事業の割合（「取り組むべきこと」の実施有無別）                      | 67 |
| 図表 2-52 | KPI 目標を達成した事業の割合（「取り組むべきこと」の実施数別）                       | 68 |
| 図表 2-53 | KPI 目標を達成した事業の割合（効果検証の状況別）                              | 69 |
| 図表 2-54 | KPI 目標を達成した事業の割合（各効果検証のプロセス別）                           | 70 |
| 図表 2-55 | KPI 目標を達成した事業の割合（財源確保の進捗状況別）                            | 71 |
| 図表 2-56 | 地方創生への効果認識の状況（事業テーマ別）                                   | 72 |
| 図表 2-57 | 地方創生への効果認識の状況（施設の建設区分別の傾向）                              | 73 |
| 図表 2-58 | 地方創生への効果認識の状況（事業費別の傾向）                                  | 74 |
| 図表 2-59 | 地方創生への効果認識の状況（「取り組むべきこと」の実施有無別）（地方創生に非常に効果的であったと回答した割合） | 75 |
| 図表 2-60 | 地方創生への効果認識の状況（「取り組むべきこと」の実施数別）                          | 76 |

|         |                                                                  |     |
|---------|------------------------------------------------------------------|-----|
| 図表 2-61 | 地方創生への効果認識の状況（効果検証の状況別）                                          | 76  |
| 図表 2-62 | 課題・苦労の内容                                                         | 77  |
| 図表 2-63 | 産業関連分析の考え方                                                       | 78  |
| 図表 2-64 | 交付金事業費の支払内訳（事業テーマ別）                                              | 79  |
| 図表 2-65 | 1事業当たりの交付金事業費の支払内訳（事業テーマ別）                                       | 79  |
| 図表 2-66 | 交付金事業費及びそれに対する直接効果、間接波及効果                                        | 80  |
| 図表 2-67 | 経済波及効果の部門別内訳                                                     | 81  |
| 図表 2-68 | 交付金事業費の付加価値効果（事業テーマ別）                                            | 82  |
| 図表 2-69 | 交付金事業費の税收効果（事業テーマ別）                                              | 82  |
| 図表 3-1  | 事業テーマ別事業数                                                        | 84  |
| 図表 3-2  | 自立性に関する詳細調査における確認項目                                              | 85  |
| 図表 3-3  | 自立性に関する詳細調査 調査票（様式）（1枚目）                                         | 86  |
| 図表 3-4  | 自立性に関する詳細調査 調査票（様式）（2枚目）                                         | 87  |
| 図表 3-5  | 自立性に関する詳細調査 調査票（様式）（3枚目）                                         | 88  |
| 図表 3-6  | 自立性に関する詳細調査 調査票（様式）（4枚目）                                         | 89  |
| 図表 3-7  | 事業推進主体の属性×事業テーマ                                                  | 90  |
| 図表 3-8  | 平均関与職員数及び外部人材の活用状況×事業テーマ                                         | 91  |
| 図表 3-9  | 効果検証において重要と考える項目                                                 | 92  |
| 図表 3-10 | KPIの設定に当たり、取り組んだ工夫                                               | 93  |
| 図表 3-11 | ヒアリング調査の実施事例                                                     | 94  |
| 図表 3-12 | ヒアリング調査から得られた主な示唆（1/2）                                           | 104 |
| 図表 3-13 | ヒアリング調査から得られた主な示唆（1/2）                                           | 105 |
| 図表 4-1  | デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因                                  | 106 |
| 図表 4-2  | 「組織の検討・決定の流れ」及び「事業の流れ」を踏まえた デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因の整理結果 | 107 |
| 図表 4-3  | KPI達成事業割合・自主財源の確保状況（戦略・計画の策定有無別）                                 | 109 |
| 図表 4-4  | KPI達成事業割合・自主財源の確保状況（人材の育成・確保の実施有無別）                              | 110 |
| 図表 4-5  | KPI達成事業割合（官民連携実施有無別（連携主体別））                                      | 111 |
| 図表 4-6  | 自立化の見込みありの割合（官民連携実施有無別（連携主体別））                                   | 112 |
| 図表 4-7  | KPI達成事業割合・自立化の見込み（政策間連携の実施有無別）                                   | 113 |
| 図表 4-8  | KPI達成事業割合・自立化の見込み（効果検証の実施有無別）                                    | 114 |
| 図表 4-9  | KPI達成事業割合・自立化の見込み（事業結果の公表有無別）                                    | 115 |
| 図表 5-1  | 事業実施報告の提出数の推移                                                    | 117 |
| 図表 5-2  | 事業実施報告の提出数の推移（事業テーマ別）                                            | 118 |
| 図表 5-3  | 単独事業・共同事業別の事業数の推移                                                | 118 |

|         |                                                         |     |
|---------|---------------------------------------------------------|-----|
| 図表 5-4  | 実施主体別の事業数の推移.....                                       | 119 |
| 図表 5-5  | 事業で解決したい課題の割合（新規事業のみ）.....                              | 119 |
| 図表 5-6  | 目標値に達した KPI の割合（全体）.....                                | 120 |
| 図表 5-7  | 目標値に達した KPI の割合（事業テーマ別・H29～R5 の統合結果） ...                | 120 |
| 図表 5-8  | 目標値に達した KPI の割合（事業テーマ別の KPI 分類・H29～R5 の統合結果）.....       | 121 |
| 図表 5-9  | 設定する KPI 分類の割合（全体）.....                                 | 122 |
| 図表 5-10 | 設定する KPI の区分（全体）（事業テーマ別の KPI の区分・H29～R5 の統合結果）.....     | 123 |
| 図表 5-11 | 設定する KPI の例.....                                        | 124 |
| 図表 5-12 | 官民連携の実施状況別の KPI 達成事業の割合.....                            | 125 |
| 図表 5-13 | 政策間連携の実施状況別の KPI 達成事業の割合.....                           | 126 |
| 図表 5-14 | 効果検証の実施状況別の KPI 達成事業の割合.....                            | 127 |
| 図表 5-15 | 地域住民への情報提供の実施状況別の KPI 達成事業の割合.....                      | 128 |
| 図表 5-16 | 同一自治体内の事業者向けに対する支出割合別の割合（事業テーマ別）.....                   | 129 |
| 図表 5-17 | 自治体が所在する都道府県内（同一自治体内含む。）の事業者向けに対する支出割合別の割合（事業テーマ別）..... | 130 |
| 図表 5-18 | 経済波及効果（交付金事業費に対する直接効果及び間接波及効果の倍数）.....                  | 131 |
| 図表 7-1  | フィードバック項目.....                                          | 133 |
| 図表 7-2  | 事業実施報告分析レポート（様式）（1 枚目）.....                             | 135 |
| 図表 7-3  | 事業実施報告分析レポート（様式）（2 枚目）.....                             | 136 |
| 図表 7-4  | 事業実施報告分析レポート（様式）（3 枚目）.....                             | 137 |
| 図表 8-1  | 検討委員会開催概要.....                                          | 139 |

## 調査の背景・目的

国では、地方創生先行型交付金、地方創生加速化交付金、デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生推進交付金）（以下「推進タイプ」という。）、デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生拠点整備交付金）（以下「拠点整備タイプ」という。）などの交付金により、都道府県及び市区町村を支援してきている。

本調査は、平成 29 年度から令和 5 年度に実施した「地方創生拠点整備交付金事業の効果検証に関する調査」（令和 5 年度調査は「デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生拠点整備交付金）事業の効果検証に関する調査」であり、当該報告書は令和 6 年 3 月公表。以下「令和 5 年度調査」という。）に引き続き、拠点整備タイプの効果検証を行うものである。拠点整備タイプは、「地方版総合戦略」に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの取組で、拠点整備タイプ交付金整備対象施設の施設整備計画書で申請のあった事業のうち、先導的なものを支援するものである。拠点整備タイプの効果検証を行うことで、地方創生に向けた先導的な事業における効果的な事業評価及び課題分析の手法をとりまとめ、デジタル田園都市国家構想交付金に関する優良事例の横展開、地方公共団体における新規事業の設計・立案、有益な効果検証につなげていくことを目的としている。

具体的には、令和 5 年度予算、令和 4 年度予算、令和 4 年度補正予算、令和 3 年度予算、令和 3 年度補正予算、令和 2 年度予算、令和 2 年度補正予算、令和元年度補正予算、平成 30 年度補正予算、平成 29 年度補正予算で措置された拠点整備タイプ（供用開始翌年度から 5 年間を対象）に関し、（Ⅰ）事業別に設定された重要業績評価指標（以下「事業別 KPI」という。）の達成度、地方公共団体における議会・外部組織による効果検証の運用実態と結果及び交付金事業全体の社会的・経済的效果を整理・分析することで事業の検証を行うとともに、（Ⅱ）特徴的な事例や、事業推進上の課題・工夫等の収集・分析を行い、令和 5 年度に改訂した「地方創生事業実施のためのガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に反映する等を通じて事業運用の改善を図ることを目的とする。

なお、令和 5 年度当初予算により措置された推進タイプ事業、平成 30 年度から令和 4 年度予算で措置された推進タイプ事業のうち令和 5 年度にも継続する推進タイプ事業に関しても、同様の効果検証を実施しており、別途「デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生推進交付金）事業の効果検証に関する調査報告書」として取りまとめを行った。

## 調査の流れ

本調査は、第一に、事業実施報告において、KPI の達成度、地方公共団体における議会・外部組織による効果検証の運用実態等の事業の進捗状況や各種取組の実施状況に関して、全事業を対象に調査し、交付金事業の全体的な傾向の把握を行う。【第 1 章及び第 2 章】

その次に、事業実施報告におけるマクロな分析等を基に、事業運営のポイントを設定し、事例研究において、具体的な内容やポイントに係る詳細調査やヒアリング調査を実施し、事業の効果を高める要因を分析する。【第 3 章及び第 4 章】

あわせて、長期的トレンド分析において、経年の傾向を分析し、事業推進における実態や課題を検証する。【第 5 章】

なお、推進タイプ事業の効果検証においては、事業実施報告や事例研究とは別に、推進タイプ事業を対象に、各種統計データを活用した統計解析を実施している。当該統計解析の分析結果に関しては、別途取りまとめた「デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生推進交付金）事業の効果検証に関する調査報告書」を参照いただきたい。

図表 0-1 調査の流れと全体像



※ 事業実施報告及び詳細調査については、上記の他に、事業の基礎的な情報に加えて、自主財源の確保状況、定量的・客観的データの活用、事業を進める中での課題や成功要因等を調査している。

## 第1章 事業実施報告（様式）の作成、送付・回収

### 1.1 事業実施報告（様式）の作成方針

拠点整備タイプの交付対象事業について、事業の目標達成状況等に関する分析を行う上で必要な報告書の様式を作成した。

様式の作成に当たっては、令和 5 年度調査において使用された事業実施報告の様式を参考とした上で、課題分類、取組分類、KPI の分類、自立化の状況、効果検証の実施内容等に関する設問を設けた。

事業実施報告の様式作成におけるポイントを以下に示す。

図表 1-1 事業実施報告の様式作成におけるポイント

| 事業実施報告の集計分析           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事業のプロセスについて        | <p><u>事業のプロセスにおいて実施した取組を整理。</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 事業の実施結果だけでなく実施プロセスに着目して分析を行うことで、事業のプロセスで不足している取組を明らかにするため、ガイドラインを参考に、拠点整備タイプ事業の実施に当たって「取り組むべきこと」の実施状況及びその度合いと、事業計画への反映状況を把握した。</li><li>● 政策間連携や事業継続のための取組に関しては、連携した政策分野や地方公共団体内の体制整備について把握した。</li><li>● 「取り組むべきこと」の実施状況と、後述する KPI 目標達成状況や地方創生への効果認識との関係性を分析した。</li><li>● 政策立案段階における、各政策立案のプロセス別の実施状況を確認し、それによる事業に対する影響を把握した。</li></ul> |
| 2. 交付金事業の効果検証について     | <p><u>地方公共団体での効果検証（議会・外部組織）の状況を整理。</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 地方公共団体は、事業実施に伴う効果について、重要業績評価指標を設定の上、その達成度合いについてその効果を検証し、内閣総理大臣に報告することとされている。そこで、地方公共団体における効果検証の状況を把握すべく、議会による効果検証の有無、外部組織による効果検証結果（有効か否かの選択肢から選択）を把握した。また、効果検証の実施内容についても詳細に分析した。</li><li>● 議会・外部組織の実施にとどまらず、効果検証プロセス別の実施状況を確認し、各事業の効果検証の適切性及びその効果を把握した。</li></ul>                                                               |
| 3. 交付金事業の自立性担保の進捗について | <p><u>自立化の進捗状況を整理。</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 事業の自立化の見込み、自主財源の確保状況、事業推進主体の属性及び自立化に向けた課題認識を把握した。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

4 . KPI の設  
定状況につ  
いて

KPI を分類し、その傾向を分析。

● 事業実施報告の様式設計に際し、図表 1-2 を示しつつ、各事業で設定された個々の KPI の意味付けが①インプット、②アウトプット、③交付金事業のアウトカム、④総合的なアウトカムのいずれに該当するかを問う設問を設けることで、KPI 設定のレベルの傾向・実態を明らかにした。

● 設定している KPI を人口増加関連指標、生産性向上関連指標、地域の魅力向上関連指標及び地域経済活性化関連指標に分類し、設定や目標達成率の傾向を明らかにした。

図表 1-2 KPI の意味付け

|             | 事業例                                | 事業のアウトプット                         | 事業のアウトカム                        | 総合的なアウトカム                                       |
|-------------|------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------------------|
|             |                                    | 個別事業の活動量                          | 個別事業の直接的な効果                     | 諸事業・施策の全体効果                                     |
|             |                                    | (例)                               | (例)                             | (例)                                             |
| ローカルイノベーション | ○ 情報システム導入 (ICT, IoT等導入促進)         | ・ IT設備導入数、設備投資額                   | ・ 労働生産性がXX倍以上達成の企業数             | ・ 地域における起業者数<br>・ 地域における新規雇用者数                  |
|             | ○ 民間ノウハウ活用 (連携協定、人材交流)             | ・ プロフェッショナル人材のマッチング件数             | ・ 本事業における成約件数<br>・ 育成人材数        | ・ 地域における企業の売上高                                  |
| 農林水産        | ○ 地域資源の活用／再注目                      | ・ 企業・プロジェクトの売上高<br>・ 育成人材数        | ・ 移住者数 (代表的KPI)                 | ・ 地域における農林水産就労者数<br>・ 地域における農林水産出荷額             |
|             | ○ 6次産業化支援事業                        | ・ セミナー・研究会等のイベント参加者数              | ・ 支援事業を通じて開発・生産された製品の売上高・出荷額    |                                                 |
| 観光振興        | ○ 地域ブランド化 (地域の魅力を活かした商品・サービス開発)    | ・ 特産品・旅行商品開発数                     | ・ 宿泊者数<br>・ 観光客数                | ・ 地域における観光関連産業売上高<br>・ 宿泊者数、日帰り観光客数の増加に伴う消費の増加額 |
|             | ○ 地域間連携 (広域連携による発信力向上と多様なニーズの取り込み) | ・ 特産品・旅行商品開発数                     | ・ 電動アシスト付自転車の週末利用件数             |                                                 |
| 地方へのひとの流れ   | ○ 誰もが活躍できる「生涯活躍のまち」づくり事業           | ・ 地域住民・移住者への仕事紹介数                 | ・ 新規就業者数 (女性・高齢者・障がい者・移住者等を含む。) | ・ 地域への移住者数<br>・ 地域の転出入者数<br>・ 地域の交流人口数          |
|             | ○ 地域の交流拠点を活用した「生涯活躍のまち」づくり事業       | ・ 地域交流拠点の整備数                      | ・ 地域交流拠点の利用者数 (交流人口数)           |                                                 |
| まちづくり       | ○ 小さな拠点等の生活拠点整備事業                  | ・ 地域運営組織の形成数                      | ・ 小さな拠点における店舗等の利用者数・売上高         | ・ 地域の定住人口数 (転出入数)                               |
|             | ○ 民間ノウハウ活用 (連携協定、人材交流)             | ・ 利用者数 (施設・設備利用者数、イベントなどの参加者数、など) | ・ 観光客数<br>・ 育成人材数               | ・ 地域の人口・世帯数<br>・ 地域への転入者数                       |

5 . KPI の目  
標達成状況  
について

KPI の目標達成状況を整理。

● KPI 目標を達成した事業の数、目標値に達した KPI の数等を整理し、目標達成状況を分析した。なお、令和 4 年度以前からの継続事業については、令和 5 年度までの累積で分析した。

|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>6. 交付金事業の地方創生への効果について</p>    | <p><u>交付金事業の地方創生への効果認識を調査。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 交付金事業の地方創生への効果に関して、団体ごとに様々な分野・規模・前提条件で実施される交付金事業を一律に横並びで比較できる客観的指標を設定することは困難である。</li> <li>● そのため、一部主観が入るものの、当事者である各地方公共団体に対して地方創生への効果認識（非常に効果的であった／相当程度効果があつた／効果があつた／効果がなかった／効果の有無はまだ分からない）を尋ねることにより把握することとした。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>7. 交付金事業を進める中での課題・苦勞について</p> | <p><u>交付金事業を進める中での課題・苦勞の有無を調査。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 交付金事業を進める中での課題・苦勞の有無、及び特に苦勞した事項について、様式に以下の選択肢を例示することでその傾向・実態の把握を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 事業推進体制の検討</li> <li>➤ 事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成</li> <li>➤ ビジネスモデル・資金繰りの検討</li> <li>➤ 事業実施場所（施設・設備）の検討</li> <li>➤ 規制・許認可への対応</li> <li>➤ 庁内・組織内（幹部、事業担当課、財政課等）との調整・合意形成</li> <li>➤ 庁外・組織外（地域内・地域外の事業者、住民）との調整・合意形成</li> <li>➤ 現場実態を踏まえた設計・工程等の見直し</li> <li>➤ 共同申請者との調整・合意形成</li> <li>➤ その他（例：予見できなかった外部環境変化が起こった 等）</li> </ul> </li> </ul> |
| <p>拠点整備タイプ全体の効果の試算</p>          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>産業連関分析に基づく経済波及効果の試算</p>      | <p><u>支払先業種別の支払金額を把握し、産業連関分析で経済波及効果を試算。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業が地方創生上の課題の解決に資しているかどうかという地方創生視点からの分析・評価とは別に、拠点整備タイプ事業全体の社会・経済効果分析の一環として、拠点整備タイプ事業総体としての経済波及効果を産業連関分析により試算することとした。</li> <li>● そこで、事業実施報告の様式に、総額としての「実績額」に加え、支払先の部門ごとの支払金額の記入を求め、この値を産業連関分析のインプット情報として活用した。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                      |

上記を踏まえて作成した事業実施報告の様式は以下の通り。

図表 1-3 事業実施報告（様式）（1 枚目）

| デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）事業実施報告（様式2）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|----------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------|------------|------|-----------------------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------|-----------------|------------------------------|--|--|--|--|--|--|-----------------|-------|-----|-----|-------|--------|-----------|--------|-----------|-------|------|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|
| <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ◎回答欄について<br/> <input type="checkbox"/> : 記述式    <input type="checkbox"/> : ブルダウン選択式    <input type="checkbox"/> : 半角数字での記述式         </div> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 都道府県名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 市町村名                           |                            | 担当部署課名        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 担当者氏名    |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| コード                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                |                            | メールアドレス       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 電話番号     |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| <small>注）都道府県名及び市町村名をブルダウンで選択（都道府県の場合は、市町村名は不要）<br/>           注）コードは自動で表示（記載不要）</small>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| <b>※ 事業実施報告は「事業ごとに」それぞれ1ファイル作成してください。</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| I. デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）事業の振り返り                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| A. 基礎情報                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| <b>○交付金事業の概要 【全員】</b><br>1. 本事業の事業名称、実績額、単独事業と共同申請事業の別、施設整備計画の申請時点のテーマなどをお聞かせください。<br>本事業を通して解決したいと考えている課題とその課題に対する取組について、最も適切だと思う分類をお選びください。<br>また本事業の整備対象施設の供用開始時期についてもご回答ください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 事業名称                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 実績額【単位：円】（事業費ベース）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                |                            | 単独事業と共同申請事業の別 | 施設整備計画（申請）段階のテーマ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 事業実施開始年度 | 事業実施期間    | 主たる施設の建設区分 |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ア. 令和5年度国費実績額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                | ウ. 令和6年度以降の国費見込額           |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | イ. 令和4年度以前の国費実績額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                | エ. 事業期間を通じた国費支援額（一部見込みを含む） | #VALUE!       | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| <small>※「ア. 令和5年度国費実績額」には令和4年度から令和5年度への繰越額も含んだ金額を記載ください。      注）単独事業と共同申請事業の別は自動で表示（記載不要）<br/>           ※イ. 令和4年度以前の国費支援額の欄には、令和4年度以前の実績報告における国費額を足上げた金額（実績報告後の実績額再確定を反映していない金額）を自動反映していますので、実績報告後の実績額再確定等により自動反映されている国費額と実際の国費額に相違がある場合には、恐れ入りますがイの欄に正しい国費額（実績報告後の実績額再確定を反映した金額等）を入力してください。<br/>           ※「ウ. 令和6年度以降の国費見込額」には、実施計画書に記載の交付対象事業費を2分の1した国費見込額（令和6年度以降の合計金額）を記載してください。<br/>           ※令和4年度以前に終了した事業の場合<br/>           「ア. 令和5年度国費実績額」及び「ウ. 令和6年度以降の国費見込額」は「0 円」と記載ください。</small>                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 本事業における課題の分類<br><small>「別紙1 選択肢1シート」の円角より選択</small>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 20px;">⇒</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="background-color: #d3d3d3;">課題に対して実施する取組の分類 <small>「別紙1 選択肢1シート」の円角より選択</small></th> </tr> <tr> <th style="width: 50%;">大分類</th> <th style="width: 50%;">詳細分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      | 課題に対して実施する取組の分類 <small>「別紙1 選択肢1シート」の円角より選択</small> |                                      | 大分類                      | 詳細分類            |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 課題に対して実施する取組の分類 <small>「別紙1 選択肢1シート」の円角より選択</small>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 大分類                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 詳細分類                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 1-1. 本事業の総支出実績額の支出内訳について、貴団体が支払った相手先の業種別（①～⑭）をお聞かせください。 【全員】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="11" style="background-color: #d3d3d3;">令和5年度の支出の内訳（国費ベース）【単位：円】 ※概数で結構です</th> <th rowspan="2" style="width: 10%;">国費実績額<br/>【単位：円】</th> </tr> <tr> <th>①農林水産</th> <th>②建設</th> <th>③製造</th> <th>④情報通信</th> <th>⑤運輸・郵便</th> <th>⑥商業（卸・小売）</th> <th>⑦金融・保険</th> <th>⑧不動産・物品賃借</th> <th>⑨サービス</th> <th>⑩その他</th> <th>⑪～⑭の合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      | 令和5年度の支出の内訳（国費ベース）【単位：円】 ※概数で結構です                   |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  | 国費実績額<br>【単位：円】 | ①農林水産 | ②建設 | ③製造 | ④情報通信 | ⑤運輸・郵便 | ⑥商業（卸・小売） | ⑦金融・保険 | ⑧不動産・物品賃借 | ⑨サービス | ⑩その他 | ⑪～⑭の合計 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 0 | — |
| 令和5年度の支出の内訳（国費ベース）【単位：円】 ※概数で結構です                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     | 国費実績額<br>【単位：円】                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| ①農林水産                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ②建設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ③製造                            | ④情報通信                      | ⑤運輸・郵便        | ⑥商業（卸・小売）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ⑦金融・保険   | ⑧不動産・物品賃借 | ⑨サービス      | ⑩その他 | ⑪～⑭の合計                                              |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     | 0                                    | —                        |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| <small>注）支払い毎に、支払相手が属する業種①～⑭欄に当該支払額を加算してください。<br/>           注）ある支払い先が①～⑭のどの産業分類に該当するか判断することが難しい場合には、「別紙1 設問1（産業分類）」シートを参照し、代表的な産業分類に計上ください。<br/>           注）支払い相手先業種別の内訳は、概数で結構です。（「⑪～⑭の合計」が、最も欄の「国費実績額」に概ね一致しているかご確認ください）<br/>           注）令和4年度以前に完了した事業については、令和4年度以前の事業期間を通じた支出総額を①～⑭の各項目に振り分けていただくようお願いいたします。</small>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 1-2. 整備対象施設の供用開始時期（まだ開始していない場合は開始見込時期）について、お聞かせください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 整備対象施設の供用開始の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 具体的供用開始時期<br>（開始していない場合、見込み時期） |                            |               | <凡例：選択肢><br><div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>① 開始済</span> <span>② まだ開始していない</span> </div>                                                                                                                                                                                                       |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 「②まだ開始していない」場合は、その理由について、お聞かせください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">③ 施設が未完成のため供用が遅延している</td> <td style="width: 25%;">④ 当初より現時点での供用は見込んでおらず、計画通り供用を開始していない</td> </tr> <tr> <td>② 内部での調整が未完了のため供用が遅延している</td> <td>⑤ その他</td> </tr> <tr> <td>③ 指定管理者等との調整が未完了のため供用が遅延している</td> <td></td> </tr> </table> |          |           |            |      | ③ 施設が未完成のため供用が遅延している                                | ④ 当初より現時点での供用は見込んでおらず、計画通り供用を開始していない | ② 内部での調整が未完了のため供用が遅延している | ⑤ その他           | ③ 指定管理者等との調整が未完了のため供用が遅延している |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| ③ 施設が未完成のため供用が遅延している                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ④ 当初より現時点での供用は見込んでおらず、計画通り供用を開始していない                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| ② 内部での調整が未完了のため供用が遅延している                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ⑤ その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| ③ 指定管理者等との調整が未完了のため供用が遅延している                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 調査年度（令和5年度）の3月31日時点で供用開始している場合、以降の設問もご回答ください。<br>調査年度（令和5年度）の3月31日時点で供用開始していない、以降の調査への回答は不要です。来年度調査にご協力ください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 1-2-1. 事業の実施にあたり、交付金をどのように活用しましたか。最も当てはまるものをお選びください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> ア. 新しい建築物を建てる（新築）目的のために活用した。         </div> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> イ. 新築以外の目的（既存建築物の増改築など）のために活用した。         </div> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 1-3. 本事業の事業概要についてご記載ください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 1-4. 事業の中に「デジタル社会の形成への寄与」に関する取組が含まれる場合は、デジタル社会の形成に寄与することが期待される理由を選択の上、具体的な取組内容を記入してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| 理由                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 具体的な取組内容                       |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| <small>注）複数の理由が当てはまる場合は、<b>より近いと思われるものを1つ</b>お選びください。「デジタル社会の形成への寄与」に関する取組が含まれない場合は、<b>空欄としてください</b>。<br/>           注）「デジタル社会の形成への寄与」に関する取組の記載にあたっては、「別紙1 設問1（デジタル技術を活用した取組内容）」シートの例を参考にしてください。</small>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| <凡例：選択肢>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">① 地方の課題を解決するためのデジタル実装</td> <td style="width: 25%;">③ 地方を変えるデジタル基盤の整備</td> </tr> <tr> <td>② デジタル人材の育成・確保</td> <td>④ 一人一人の異なる社会の実現</td> </tr> </table>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      | ① 地方の課題を解決するためのデジタル実装                               | ③ 地方を変えるデジタル基盤の整備                    | ② デジタル人材の育成・確保           | ④ 一人一人の異なる社会の実現 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| ① 地方の課題を解決するためのデジタル実装                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ③ 地方を変えるデジタル基盤の整備                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| ② デジタル人材の育成・確保                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ④ 一人一人の異なる社会の実現                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| B. KPI の設定・成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| <b>○交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認 【共同（代表）及び単独事業のみ】</b><br>2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称、意味付け、当初値・目標値・実績値等について、お聞かせください。<br>※設問2は共同申請事業の非代表は記入不要です。<br>※設問2～4（設問1・ウを除く）は、施設整備計画を確認してください。設問1・ウにつきましては最も適切だと思う分類を選択ください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
| ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | →                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | KPI 1                          | KPI 2                      | KPI 3         | KPI 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                |                            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |           |            |      |                                                     |                                      |                          |                 |                              |  |  |  |  |  |  |                 |       |     |     |       |        |           |        |           |       |      |        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |   |

図表 1-4 事業実施報告（様式）（2 枚目）

|                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                           |                                                           |         |              |              |              |         |              |         |      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|---------|--------------|--------------|--------------|---------|--------------|---------|------|
| K P I の意味付け                                                                                                                                                                                                                                       | イ. K P I の分類<br>(大分類)                                     |                                                           |         |              |              |              |         |              |         |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                   | ウ. K P I の分類<br>(小分類)                                     |                                                           |         |              |              |              |         |              |         |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                   | エ. K P I の分類<br>(対象)                                      |                                                           |         |              |              |              |         |              |         |      |
| K P I の当初値                                                                                                                                                                                                                                        | オ. 施設整備計画の<br>申請時点<br>※施設整備計画上の事業<br>開始前（現時点）を記載<br>ください。 | 当初値                                                       | 【単位】    | 当初値          | 【単位】         | 当初値          | 【単位】    | 当初値          | 【単位】    |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                           | 計画年月                                                      |         | 計画年月         |              | 計画年月         |         | 計画年月         |         |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                           | 年                                                         | 月       | 年            | 月            | 年            | 月       | 年            | 月       |      |
| K P I の目標値設定                                                                                                                                                                                                                                      | （通年度事業のみ）<br>カ. 令和4年度の<br>事業終了時点                          | 当初値                                                       | 【単位】    | 当初値          | 【単位】         | 当初値          | 【単位】    | 当初値          | 【単位】    |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                           | -                                                         |         | -            |              | -            |         | -            |         |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                   | （令和元年度事業のみ）<br>キ. 令和元年度増加分                                | 目標値（増分）                                                   | 【単位】    | 目標値（増分）      | 【単位】         | 目標値（増分）      | 【単位】    | 目標値（増分）      | 【単位】    |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                   | （令和2年度以前事業のみ）<br>ク. 令和2年度増加分                              |                                                           |         |              |              |              |         |              |         |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                   | （令和3年度以前事業のみ）<br>ク. 令和3年度増加分                              |                                                           |         |              |              |              |         |              |         |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                   | （令和4年度以前事業のみ）<br>コ. 令和4年度増加分                              |                                                           |         |              |              |              |         |              |         |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                   | （令和5年度増加分）<br>※目標値がゼロの場合、<br>効果発現開始時期を記入<br>してください。       | 効果発現開始時期（見込）                                              | 年       | 月            | 効果発現開始時期（見込） | 年            | 月       | 効果発現開始時期（見込） | 年       | 月    |
|                                                                                                                                                                                                                                                   | シ. 上記キ～シ累計<br>（自動表示）                                      | 目標値（増分）                                                   | 【単位】    | 目標値（増分）      | 【単位】         | 目標値（増分）      | 【単位】    | 目標値（増分）      | 【単位】    |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                   | ス. 備考欄                                                    | 目標値や目標年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。 |         |              |              |              |         |              |         |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                   | K P I の実績値<br>※見込みではなく実績<br>値を記載ください。                     | （令和元年度事業のみ）<br>セ. 令和元年度増加分の<br>実績値                        | 実績値（増分） | 【単位】         | 実績値（増分）      | 【単位】         | 実績値（増分） | 【単位】         | 実績値（増分） | 【単位】 |
| （令和2年度以前事業のみ）<br>ソ. 令和2年度増加分の<br>実績値                                                                                                                                                                                                              |                                                           |                                                           |         |              |              |              |         |              |         |      |
| （令和3年度以前事業のみ）<br>タ. 令和3年度増加分の<br>実績値                                                                                                                                                                                                              |                                                           |                                                           |         |              |              |              |         |              |         |      |
| （令和4年度以前事業のみ）<br>チ. 令和4年度増加分の<br>実績値                                                                                                                                                                                                              |                                                           |                                                           |         |              |              |              |         |              |         |      |
| （令和5年度増加分）<br>ツ. 令和5年度増加分の<br>実績値                                                                                                                                                                                                                 |                                                           | 目標値に対する達成度合い                                              | %       | 目標値に対する達成度合い | %            | 目標値に対する達成度合い | %       | 目標値に対する達成度合い | %       |      |
| ※目標値に対する達成度合い（％）は、自動で表示されます。適切な表示となっていない場合のみ、目標値に対する達成度合い（①～④）をプルダウンで選択してください。                                                                                                                                                                    |                                                           |                                                           |         |              |              |              |         |              |         |      |
| （令和5年度増加分）<br>テ. K P I 増加分の<br>累計（実績）                                                                                                                                                                                                             |                                                           | 実績値（増分）                                                   | 【単位】    | 実績値（増分）      | 【単位】         | 実績値（増分）      | 【単位】    | 実績値（増分）      | 【単位】    |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                           | 目標値に対する達成度合い                                              | %       | 目標値に対する達成度合い | %            | 目標値に対する達成度合い | %       | 目標値に対する達成度合い | %       |      |
| ※目標値に対する達成度合い（％）は、自動で表示されます。適切な表示となっていない場合のみ、目標値に対する達成度合い（①～④）をプルダウンで選択してください。<br>※「K P I 増加分の累計（実績）」については、内閣府で取りまとめた上、49箇に分類し、公表させていただきます。<br>※公表するK P I の実績値は原則K P I 1 及びK P I 2 とします。K P I 1 及びK P I 2 の公表が困難な場合は、公表を希望するK P I を以下の欄に記載してください。 |                                                           |                                                           |         |              |              |              |         |              |         |      |
| ト. 備考欄                                                                                                                                                                                                                                            |                                                           | 実績値や年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。   |         |              |              |              |         |              |         |      |
| ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由<br>（達成または未達になった理由、及び<br>未達の場合は今後の解決策（案））                                                                                                                                                                                    |                                                           |                                                           |         |              |              |              |         |              |         |      |

○交付金事業の効果（地方創生への効果） 【全員】

3. 本事業の効果について、お聞かせください。なお、共同申請事業の代表及び単独事業は、設問2のテ「目標値に対する達成度合い」の回答結果等を踏まえて総合的に判断の上で、お返してください。  
また、具体的にどのような点で事業の効果を感じたかについて内容をご記載ください。その際、関連する業務やより上位の業務のK P I や統計指標に改善が認められるなど、効果が定量的に把握・示唆された場合、その内容をご記載ください。

| 事業効果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 事業効果の内容・詳細                                       |                   |                                         |                   |                                            |               |                                                |                   |                                                  |                 |                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------|-----------------------------------------|-------------------|--------------------------------------------|---------------|------------------------------------------------|-------------------|--------------------------------------------------|-----------------|------------------------------------------|
| <p>&lt;凡例：選択肢&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①：地方創生に非直接的効果があった</td> <td>例：全てのK P I が目標値を達成するなど、大に成果が得られたとみなせる場合</td> </tr> <tr> <td>②：地方創生に相当程度効果があった</td> <td>例：一部のK P I が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</td> </tr> <tr> <td>③：地方創生に効果があった</td> <td>例：K P I 達成状況は芳しくないものの、事業開始前より取組が前進・改善したとみなせる場合</td> </tr> <tr> <td>④：地方創生に対して効果がなかった</td> <td>例：K P I の実績値が開始前より悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえない場合</td> </tr> <tr> <td>⑤：効果の有無はよくわからない</td> <td>例：評価対象施設の利用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していない場合</td> </tr> </table> |                                                  | ①：地方創生に非直接的効果があった | 例：全てのK P I が目標値を達成するなど、大に成果が得られたとみなせる場合 | ②：地方創生に相当程度効果があった | 例：一部のK P I が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 | ③：地方創生に効果があった | 例：K P I 達成状況は芳しくないものの、事業開始前より取組が前進・改善したとみなせる場合 | ④：地方創生に対して効果がなかった | 例：K P I の実績値が開始前より悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえない場合 | ⑤：効果の有無はよくわからない | 例：評価対象施設の利用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していない場合 |
| ①：地方創生に非直接的効果があった                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 例：全てのK P I が目標値を達成するなど、大に成果が得られたとみなせる場合          |                   |                                         |                   |                                            |               |                                                |                   |                                                  |                 |                                          |
| ②：地方創生に相当程度効果があった                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 例：一部のK P I が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合       |                   |                                         |                   |                                            |               |                                                |                   |                                                  |                 |                                          |
| ③：地方創生に効果があった                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 例：K P I 達成状況は芳しくないものの、事業開始前より取組が前進・改善したとみなせる場合   |                   |                                         |                   |                                            |               |                                                |                   |                                                  |                 |                                          |
| ④：地方創生に対して効果がなかった                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 例：K P I の実績値が開始前より悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえない場合 |                   |                                         |                   |                                            |               |                                                |                   |                                                  |                 |                                          |
| ⑤：効果の有無はよくわからない                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 例：評価対象施設の利用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していない場合         |                   |                                         |                   |                                            |               |                                                |                   |                                                  |                 |                                          |

C. 自立性担保の確保  
注：これらの設問でいう「令和5年度事業」とは、施設整備計画に記載された施設の活用方法等のことを指します。

○自立性の確保状況 【全員】

4. 本事業の自立化に向けた見込みについて、お聞かせください。

| 自立化の見込み                                                                                             |      |      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|
| <p>&lt;凡例：選択肢&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①：あり</td> </tr> <tr> <td>②：なし</td> </tr> </table> | ①：あり | ②：なし |
| ①：あり                                                                                                |      |      |
| ②：なし                                                                                                |      |      |

4-1. 設問4「あり（①）」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。事業の「計画時（交付金申請時）に想定していた自走時（国の交付金対象事業期間が終了する翌年度）の財源構成比率」および「令和5年度実績の財源構成比率」をお聞かせください。また、可能な範囲で、その財源の具体的な内容をお聞かせください。

図表 1-5 事業実施報告（様式）（3 枚目）

| 事業収入           |  | 計画時の想定 | R5年度実績 | 財源の詳細（以下に記載） |  |
|----------------|--|--------|--------|--------------|--|
| 地方公共団体の一般財源    |  |        |        |              |  |
| 民間予算           |  |        |        |              |  |
| 企業協賛金と納税       |  |        |        |              |  |
| クラウドファンディング    |  |        |        |              |  |
| 国からの交付金        |  |        |        |              |  |
| その他（詳細欄に内容を記載） |  |        |        |              |  |

注1「事業収入」とは、事業の実施に伴って得られる収入（商品・サービスの売上、施設利用料、企業等からの協賛金など）を指します。  
 注2「国からの交付金」とは、デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生民点整備タイプ）を指します。その他の行政（国・県）からの補助金等は「その他」に含むものとします。

＜凡例：選択肢＞

|              |      |      |      |
|--------------|------|------|------|
| ① 10割またはそれ以上 | ④ 7割 | ⑦ 4割 | ⑩ 1割 |
| ② 9割         | ⑤ 6割 | ⑧ 3割 | ⑪ 0割 |
| ③ 8割         | ⑥ 5割 | ⑨ 2割 |      |

4-2. 設問4で「あり（①）」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。自主財源等の確保状況が当初の見込みどおりに進捗しているかについて、お選びください。  
 また、進捗を上回った・下回った理由についてもご記載ください。

| 令和5年度事業を踏まえた自主財源等の確保状況の進捗 | 理由 |
|---------------------------|----|
|                           |    |

注「自主財源等」は、事業収入や地方公共団体の一般財源などの国からの交付金以外の財源を指します。

＜凡例：選択肢＞

|                        |                       |                        |                 |
|------------------------|-----------------------|------------------------|-----------------|
| ① 見込みを上回って自主財源等を確保している | ② 見込みどおりに自主財源等を確保している | ③ 見込みを下回って自主財源等を確保している | ④ 自主財源等を確保していない |
|------------------------|-----------------------|------------------------|-----------------|

4-3. 設問4で「あり（①）」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。施設の運営にあたって必要となる財源の調達手段や確保状況に関して、以下に掲げる項目の取組状況を3段階評価の選択肢よりお選びください。

| 設問                                                                                                                                                                    | 3段階評価 | ＜凡例：選択肢＞                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------|
| ア. 交付金の申請を行う段階から、例えば、以下のような事業の性質を考慮した上で、施設の供用開始後の財源の調達手段（一般財源・事業収入等）を検討している。<br>（例）事業の性質（「将来的には、事業からの売上等の民間資金によって運営していくべき事業であるか」、「交付金終了後も、自治体が一定程度関与し続けられるべき事業であるか」等） |       | ① 十分に考慮して検討している ② 一部考慮して検討している ③ 特段考慮はしていない       |
| イ. 「交付金申請時に作成した計画で想定した供用開始後の財源の確保状況」と「財源の確保状況の実績」について、その差異の確認や、要因の分析を行っている。                                                                                           |       | ① 確認及び分析を行っている ② 確認のみ行っている ③ いずれも行っていない           |
| ウ. 施設の効果や影響を評価するにあたっては、事業単体の収益性だけでなく、定性的又は定量的に、その施設が与える地域への効果を把握・分析している。                                                                                              |       | ① 把握・分析を十分に行っている ② 把握・分析を部分的に行っている ③ 把握・分析を行っていない |

4-4. 設問4で「あり（①）」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。今後交付金対象事業期間が終了した後事業を自立化していくにあたり、主となる事業推進主体の属性をご回答ください。  
 注「行政」については、民間事業者に変託・指定管理を行うことも含みます。  
 「公共的団体等」は公共的団体（特殊法人、公共法人、公益法人、協同組合等）及び、国または自治体が一定程度以上出資している法人を指します。

| 主となる事業推進主体の属性 | その他（以下に記載） | ＜凡例：選択肢＞                 |
|---------------|------------|--------------------------|
|               |            | ① 行政 ② 民間 ③ 公共的団体等 ④ その他 |

4-5. 設問4で「あり（①）」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。施設の運営を継続していくための計画や体制に関して、以下に掲げる項目の取組状況を3段階評価の選択肢よりお選びください。

| 設問                                                                                                                                          | 3段階評価 | ＜凡例：選択肢＞                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------|
| ア. 施設の供用開始前の段階から、供用開始後の期間を含めた事業戦略・中期計画等を作成している。                                                                                             |       | ① 策定している ② 一部策定している ③ 策定していない    |
| イ. 施設の運営を継続するために、例えば、以下のような、事業運営の軸となる人材の育成・確保について実施している。<br>（例）「地域や事業に精通した専門的知見を有する人材」、「行政・住民・企業の間に入り、関係者間の連絡調整や関係者のニーズ把握等を行い、事業連携を推進する人材」等 |       | ① 十分に実施している ② 一部実施している ③ 実施していない |

4-6. 施設運用の在り方（行政関与の観点）について、当てはまるものをお聞かせください。（複数選択可）

☐ ア. 施設の継続・運用にあたり、行政の手を離し、民間に任せることによって、施設の目的の達成や地域課題の解決の加速が見込まれるもの

☐ イ. 民間だけに任せると施設の本来の目的を達成することが困難であるため、財源の拠出など、行政による一定の関与が必要と考えるもの

☐ ウ. 施設単体では効果が小さくても、他分野との連携や他分野への波及を通じた相乗効果が大きいと見込まれるため、財源の拠出など、行政による一定の関与が必要と考えるもの

☐ エ. 施設の事業収入のみでは施設を継続・運用することができないため、財源の拠出など、行政による一定の関与が必要と考えるもの

☐ オ. どれに当てはまるのかわからない

☐ カ. その他

4-6-1. 設問4-6で「カ、その他」と回答した方のみ、具体的な内容についてお聞かせください。

○ 自立化の課題 【全員】

5. 令和5年度事業を踏まえて、事業の自立化に向けて課題と感じていることを選択肢よりお選びください。（最大3つ）  
 選択した課題の解決の有無と、その解決方法（現状未解決の場合は解決策）を、可能な範囲で具体的に記載ください。  
 また、解決策を検討するにあたって参考とした情報についても、可能な範囲で具体的に記載ください。（例：「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など）  
 ※「別紙」選択肢「シート」の凡例より選択ください。

| 課題  | 解決の有無 | 解決策（または解決案） |
|-----|-------|-------------|
| 課題1 |       |             |
| 課題2 |       |             |
| 課題3 |       |             |

D. 事業の実施状況

○ 事業実施時に留意した項目 【全員】

6. 貴団体が本事業を実施するにあたって留意した項目について、実施有無を3段階評価の選択肢よりお選びください。  
 また、各項目の取組内容について、事業実施や事業計画に反映したか（反映した場合は「○」）についても、お聞かせください。  
 注 各項目の詳細は、内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」総論－Ⅲ.事業化プロセス編に記載していますので、必要に応じてご参照ください。

【事業アイデア・事業手法の検討段階】

| 設問                                    | 3段階評価 | ＜凡例：選択肢＞                     | 事業実施や事業計画に反映したか（反映した場合は「○」） |
|---------------------------------------|-------|------------------------------|-----------------------------|
| ア. 地域住民や利害関係者との話し合いを通じて課題やニーズを明確化している |       | ① 確実に実施した ② 概ね実施した ③ 実施していない | <input type="checkbox"/>    |
| イ. 定量的・客観的な分析を通じて地域の実態やニーズを捉えている      |       |                              | <input type="checkbox"/>    |
| ウ. 地域の特徴ある資源や強みを活用している                |       |                              | <input type="checkbox"/>    |
| エ. 事業手法の検討に外部人材・知見を活用している             |       |                              | <input type="checkbox"/>    |

図表 1-6 事業実施報告（様式）（4 枚目）

|                                                      |  |  |
|------------------------------------------------------|--|--|
| オ. 異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、団体内の複数部署や様々な分野の民間企業と連携している |  |  |
| カ. スケールメリットや人材・ノウハウ融通のため、複数の地域間で連携している               |  |  |
| キ. 事業実施体制の構築において、地域の企業・団体等の既存組織・ネットワークを活用している        |  |  |
| ク. 関係者の役割・責任について明確化している                              |  |  |

「事業アイデア・事業手法の検討段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「○」と回答した事項について、具体的に事業実施や事業計画等に対しどのように反映したかご記載ください。

【事業の具体化段階】

| 設問                                                        | 3段階評価 | 事業実施や事業計画に反映したか<br>(反映した場合は「○」) |
|-----------------------------------------------------------|-------|---------------------------------|
| ク. 資金調達の方法や事業採算性など事業が継続性をもって自走していくことのできるプロセスを明確化している      |       |                                 |
| コ. 経営視点からの検証のため、事業実施経験のある人材を活用している、または知見ある外部専門家から助言を受けている |       |                                 |
| サ. 事業終了までの詳細な工程計画(四半期単位、月単位等)を策定している                      |       |                                 |
| シ. 事業と直接性があり、客観的な成果を表すKPIを選定し、妥当な水準の目標値を設定している            |       |                                 |

「事業の具体化段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「○」と回答した事項について、具体的に事業実施や事業計画等に対しどのように反映したかご記載ください。

【事業の実施・継続段階】

| 設問                                                               | 3段階評価 | 事業実施や事業計画に反映したか<br>(反映した場合は「○」) |
|------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------|
| ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている                                   |       |                                 |
| セ. KPIの進捗について定期的に管理している                                          |       |                                 |
| ソ. 庁外に担い手となるキーパーソンや、事業を継続的に進めていくメンバーを確保している                      |       |                                 |
| タ. 事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業実施に対する納得感を醸成している |       |                                 |
| チ. 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくらせている                      |       |                                 |

「事業の実施・継続段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「○」と回答した事項について、具体的に事業実施や事業計画等に対しどのように反映したかご記載ください。

【事業の評価・改善段階】

| 設問                                     | 3段階評価 | 事業実施や事業計画に反映したか<br>(反映した場合は「○」) |
|----------------------------------------|-------|---------------------------------|
| ツ. 外部組織や議会等により事業の効果を多角的に評価検証している       |       |                                 |
| テ. KPIの達成状況を定期的に確認し、未達成の場合はその要因を分析している |       |                                 |
| ト. 事業の評価を踏まえて対応策を決定し、実行に移している          |       |                                 |
| ナ. 事業の改善方針について次年度以降の事業計画に反映している        |       |                                 |

「事業の評価・改善段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「○」と回答した事項について、具体的に事業実施や事業計画等に対しどのように反映したかご記載ください。

○政策間連携 【全員】

7. 貴団体が行っている政策間連携について、連携している分野をお選びください。（最大3つ）  
また、政策間連携に関して、特に工夫した内容がある場合は併せてご記載ください。

| 連携している政策分野（最大3つ） | 特に工夫した内容 |
|------------------|----------|
| 1                |          |
| 2                |          |
| 3                |          |

<凡例：選択肢>

|          |                 |          |                  |             |
|----------|-----------------|----------|------------------|-------------|
| ① 農林水産分野 | ③ ローカルイノベーション分野 | ⑤ 人材分野   | ⑦ ワークライフバランスの実現等 | ⑨ コンバクシティブ等 |
| ② 観光分野   | ④ 生活活躍のまち分野     | ⑥ 若者雇用対策 | ⑧ 小さな民営分野        | ⑩ なし        |

○政策立案の方法 【全員】

8. 貴団体の政策（本事業）を立案するにあたって留意した項目について、お聞かせください。（複数選択可）

☐ ア. 政策の企画立案に当たり、解決課題を発見するため、統計情報（RESAS・V-RESAS、e-STATに掲載されている政府統計等）を活用した（KPIの設定や検索を目的とした活用を除く）

☐ オ. 解決課題の選定にあたり、その課題が行政が解決すべき課題が確認を行った

☐ イ. 解決課題を発見するため、定期的に現場に赴いて、住民の意見を聞いた

☐ カ. 政策手段の検討にあたり、情報収集（集いへの参加、専門誌や情報誌の確認、類似事例の調査など）を行った

☐ ク. 解決課題の検討にあたり、地域の実態やニーズの把握を目的とした現地調査を実施した

☐ キ. 政策手段の検討にあたり、類似した取り組みを行っている自治体などへの現地視察を行った

☐ コ. 解決課題の検討にあたり、地域の実態やニーズの把握を目的としたアンケート調査を実施（または既存の結果の活用）した

☐ ク. 政策手段の選定にあたり、有効性・経済性・効率性の詳細な検討を行った

8-1. 設問8「ア. 政策の企画立案に当たり、解決課題を発見するため、統計情報（RESAS・V-RESAS、e-STATに掲載されている政府統計等）を活用した（KPIの設定や検索を目的とした活用を除く）」を選択した場合には、具体的に活用したデータ（及びデータベース）をお聞かせください。（複数選択可）  
また、活用したデータ（及びデータベース）について、それぞれどのように活用したか、ご記載ください。

| データ（及びデータベース）の活用有無                              | 詳細（ウ～カでどのようなデータを活用したか） | 活用方法（どのようにデータを活用したか） |
|-------------------------------------------------|------------------------|----------------------|
| <input type="checkbox"/> ア. RESAS               |                        |                      |
| <input type="checkbox"/> イ. V-RESAS             |                        |                      |
| <input type="checkbox"/> ウ. e-STATに掲載されている政府統計等 |                        |                      |
| <input type="checkbox"/> エ. オルタナティブデータ          |                        |                      |
| <input type="checkbox"/> オ. 地方公共団体独自のアンケート調査結果  |                        |                      |
| <input type="checkbox"/> カ. その他                 |                        |                      |
| <input type="checkbox"/> キ. 活用していない             |                        |                      |

8-2. 事業の進捗状況を確認する手法として、関係者の会合を定期的に開催していますか。開催している場合、どの程度の頻度で開催しているかを選択してください。

<凡例：選択肢>

|              |           |           |
|--------------|-----------|-----------|
| ① 1か月に1回以上   | ③ 半年に1回程度 | ⑤ 開催していない |
| ② 2、3か月に1回程度 | ④ 1年に1回程度 |           |

図表 1-7 事業実施報告（様式）（5 枚目）

○事業実施体制【全員】

9. 貴団体の事業実施体制についてお聞かせください。※その他を選んだ場合は、自由記載欄に詳細をご記載ください。

| 組織体制 | 担当職員配置状況【単位：人】 |
|------|----------------|
|      | 地方創生専任職員       |
|      | 他業務との兼務職員      |

＜凡例：選択肢＞

|                 |
|-----------------|
| ① 専門部署（課・室）を設置  |
| ② 企画担当部署で対応     |
| ③ その他（以下に状況を記載） |

9-1. 現在行っている業務についてお聞かせください。（複数選択可）

| 主な業務内容（以下より該当するものをお選びください※複数選択可） |
|----------------------------------|
| 事業運営に係る発注や物品調達等の各種調整業務           |
| 事業実施に係る相談対応                      |
| イベント等開催支援                        |
| 事業者等の事業推進主体への職員派遣                |
| マーケティングリサーチ支援や各種データの提供等に係る支援     |
| その他（以下に概要を記載）                    |

○官民連携の状況【全員】

10. 民間との連携の内容について、下記区分（産・学・金・労・言・士・その他）ごとにお選びください。※その他の場合は、自由記載欄に詳細を記載の上、ご記載ください。

| 産業界 | 大学 | 金融機関 | 労働団体 | 言論界 | 士業 | その他※自由記載欄 |
|-----|----|------|------|-----|----|-----------|
|     |    |      |      |     |    |           |

連携内容

注）その他：NPOや地域づくり団体等、地域の活性化に取り組み団体を想定。  
 貴団体との連携内容 ※複数ある場合は上位を選択

＜凡例：選択肢＞

|             |           |               |       |        |
|-------------|-----------|---------------|-------|--------|
| ① 事業主体として参画 | ② 協議会への参加 | ③ 個別相談・打合せの実施 | ④ その他 | ⑤ 連携なし |
|-------------|-----------|---------------|-------|--------|

10-1. 特に事業をけん引する外部団体・人材がいれば、事業推進に当たって果たした役割についてご記載ください。

○住民理解度【全員】

11. 本事業の結果や外部有識者等会議の結果を地域住民に公表しているかどうかについて、お聞かせください。

| 結果の公表有無 | ＜凡例：選択肢＞           |
|---------|--------------------|
|         | ① 公表している ② 公表していない |

11-1. 設問11で「②公表していない」と回答いただいた方のみ、理由を以下にご記載ください。

12. 本事業の結果や外部有識者等会議の結果を地域住民に周知しているかどうかについて、事業開始後における各手法の実施有無をお聞かせください。（複数選択可）  
 （会議形式の場合は、本事業を議題として取り上げたもの、広報媒体形式の場合は、本事業の内容や結果を定期的に発信しているものについてお聞かせください。）

＜周知手法＞ ※会議形式については、対面・オンラインを問わない

|            |        |          |          |           |
|------------|--------|----------|----------|-----------|
| ア. ワークショップ | イ. 公聴会 | ウ. 検討会   | エ. 説明会   | オ. ホームページ |
| カ. 回覧板     | キ. SNS | ク. 自治体広報 | ケ. 独自アプリ | コ. その他    |

12-1. 設問13で「コ. その他」と回答した方のみ、具体的な周知方法についてお聞かせください。

12-2. 地方議会の質疑や団体要望等において、交付金事業の「継続」や「見直し・廃止」に関する意見・提案等を受けましたか。

| 地方議会等による交付金事業の継続/見直し/廃止の意見の有無 |
|-------------------------------|
|                               |

E. 効果検証

○議会または外部組織による効果検証【全員】

13. 「議会」「外部組織」のそれぞれによる効果検証の有無と、その効果検証の有効性について、お聞かせください。  
 ※「外部組織」とは、本事業の推進や効果検証のために外部有識者を含めて構成された組織を指します。

| 検証主体 | 効果検証の有無 | （左で「実施した」と回答した方のみ）効果検証の有効性 | （左で「有効だった」「どちらかと言えば有効だった」と回答した方のみ）有効だったと回答した「①理由」と、より有効性を高めるための「②工夫」をご記載ください。 |
|------|---------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 議会   |         |                            | ①理由<br>②工夫                                                                    |
| 外部組織 |         |                            | ①理由<br>②工夫                                                                    |

＜凡例：選択肢＞

|             |                    |
|-------------|--------------------|
| ① 実施した      | ① 有効だった            |
| ② 実施予定      | ② どちらかと言えば有効だった    |
| ③ 実施しない（予定） | ③ どちらかと言えば有効ではなかった |
| ④ 実施対象期間外   | ④ 有効ではなかった         |

設問13で「外部組織」による効果検証を「①実施した」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。

13-1. 外部組織の構成メンバーとして、大学教授等の学識有識者や効果検証の専門家のほかに、事業に関係する地域住民や事業者は参画していますか。

| 事業に関係する地域住民や事業者の効果検証への参画の有無 | ＜凡例：選択肢＞           |
|-----------------------------|--------------------|
|                             | ① 参画している ② 参画していない |

設問13で「議会」「外部組織」による効果検証のいずれかを「①実施した」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。

13-2. 効果検証を行うにあたって、実施した項目を以下から選択してください。（複数選択可）。

| 現状把握                   | 分析                                  | 改善                  |
|------------------------|-------------------------------------|---------------------|
| ア. 事業の状況及び現状の課題を把握している | エ. 事業における原因・阻害要因を明らかにしている           | ク. 新計画を立てている        |
| イ. 計画との比較を行っている        | オ. 適切な分析手法を検討し選択している                | ケ. 対応策や新計画の実施を行っている |
| ウ. 課題の優先順位付けを行っている     | カ. 統計データ等の証拠から、定量的・客観的に地域の課題を把握している | コ. 定量的な分析結果を公表している  |
|                        | キ. 阻害要因について対応策を検討している               |                     |

13-3. 設問13-2で回答した実施項目以外に効果検証として実施したことがあれば、その内容を具体的にお聞かせください。

| 現状把握 | 分析 | 改善 |
|------|----|----|
|      |    |    |

13-4. 設問13で「議会」「外部組織」による効果検証のいずれかを「③実施しない（予定）」と回答いただいた方のみ、理由を以下にご記載ください。

○効果検証に関する工夫

14. 設問13で「議会」「外部組織」による効果検証のいずれかを「①実施した」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。  
 議会または外部組織による効果検証を通じた、事業の見直しの実施状況について、お聞かせください。

図表 1-8 事業実施報告（様式）（6 枚目）

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 効果検証を通じた事業見直しの状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                              | <b>&lt;凡例：選択肢&gt;</b><br>① 効果検証において「改善が必要」の指摘はなく、事業は適切に実施されている<br>② 効果検証において「改善が必要」の指摘があり、適切な改善を図っている<br>③ 効果検証において「改善が必要」の指摘があったが、現状では適切な改善が図られていない                                                                                                                                                                                    |  |
| <b>○効果検証におけるデータ（及びデータベース）の活用 【全員】</b><br>15. 効果検証を行う上で、具体的に活用したデータ（及びデータベース）があれば、お聞かせください。（複数選択可）<br>また、活用したデータ（及びデータベース）について、それぞれのように活用したか、ご記載ください。<br><small>注）オルタナティブデータとは、IT技術とともに、位置情報やクレジットカード情報等を活用して、リアルタイムで把握され、定期的に提供されるデータを指します（V-RESASは含みません）。</small>                                                  |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
| データ（及びデータベース）の活用有無                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 詳細（ウーハでどのようなデータを活用したか）                                                                                                                       | 活用方法（どのようにデータを活用したか）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
| <input type="checkbox"/> ア. RESAS<br><input type="checkbox"/> イ. V-RESAS<br><input type="checkbox"/> ウ. e-STATに掲載されている政府統計等<br><input type="checkbox"/> エ. オルタナティブデータ<br><input type="checkbox"/> オ. 地方公共団体独自のアンケート調査結果<br><input type="checkbox"/> カ. その他<br><input type="checkbox"/> キ. 活用していない                   | <input type="text"/><br><input type="text"/><br><input type="text"/><br><input type="text"/><br><input type="text"/><br><input type="text"/> | <input type="text"/><br><input type="text"/><br><input type="text"/><br><input type="text"/><br><input type="text"/><br><input type="text"/>                                                                                                                                                                                            |  |
| <b>○交付金事業を進める中での課題・苦勞、及びそれに対する取組の修正・改善 【全員】</b><br>16. 令和5年度の事業を進める中で特に苦勞したことや課題だと感じたことを <b>上位から順に最大で3つまで</b> 、お選びください。                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
| 特に苦勞したこと（3つまで）<br>（特になければ空欄）                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                              | <b>&lt;凡例：選択肢&gt;</b><br>① 事業推進体制の検討<br>② 事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成<br>③ ビジネスモデル・資金繰りの検討<br>④ 事業実施場所（施設・設備）の検討<br>⑤ 規制・許認可への対応<br>⑥ 庁内・組織内（幹部、職員、財政課等）との調整・合意形成<br>⑦ 庁外・組織外（地域内・地域外の事業者、住民）との調整・合意形成<br>⑧ 現場実態を踏まえた設計・工程等の見直し<br>⑨ 共同申請者との調整・合意形成<br>⑩ データの収集<br>⑪ その他（例：予期せぬ外部環境変化が起こった 等）<br><small>※⑨については、共同申請事業の場合のみ、選択ください。</small> |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                              | 「⑪その他」を選択した場合は、その内容を具体的に記載ください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                              | <input type="text"/><br><input type="text"/><br><input type="text"/>                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
| 16-1. 設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。<br>設問16の課題・苦勞で1番目に回答した内容に対応して、取組を進めながら修正・改善を行われた場合、もしくは解決できた場合、その内容について、可能な範囲で具体的に記載ください。<br>また、改善対策を検討するにあたって参考とした情報についても、可能な範囲で具体的に記載ください。（例：「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など）<br><small>注）施設整備計画の申請時点での想定との相違点に対し、事業の実施中（令和5年度内）において、修正・改善により取組を前進させた点をお聞かせください。</small> |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
| 16-2. 設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。<br>設問16の課題・苦勞として回答した内容について、現状まだ修正・改善が行われていない場合、今後の改善対策案の内容について、可能な範囲で具体的に記載ください。<br>また、改善対策を検討するにあたって参考とした情報についても、可能な範囲で具体的に記載ください。（例：「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など）<br><small>注）施設整備計画の申請時点での想定との相違点に対し、今後対応する予定の修正・改善案をお聞かせください。</small>                               |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |

**II. その他**

|                                                                                 |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>○事例の成功要因 【全員】</b><br>17. 本事業の成功要因について、実施した工夫（及びその特徴）とお聞かせください。（上から重要な順に最大3つ） |  | <b>&lt;凡例：選択肢&gt;</b><br>① 推進力のある事業主体の形成<br>② 部署横断的なコミュニケーションの密な実施による意識の醸成<br>③ 複数担当者による事業の推進<br>④ 民間活力を軸とした官民（民間）協働の推進<br>⑤ 結果で実効性のある効果検証による強靱な事業運営<br>⑥ 地域間連携の充実<br>⑦ 政策間連携の充実<br>⑧ 事前の調査、分析による課題の明確化と事業の目指すべき方向付け<br>⑨ 課題の優先順位付けを行い、適切な順序で対策を検討<br>⑩ 適切なKPIの設定<br>⑪ 魅力的な地域資源の活用<br>⑫ 高い自立性の確保<br>⑬ 専門的知見を持った外部人材の活用/ 外部人材が活躍しやすい環境整備<br>⑭ 地域人材の育成による事業の自立性、継続性の担保<br>⑮ 地域住民の理解と参画、地域ぐるみの機運の醸成<br>⑯ データの活用（RESAS・V-RESAS、e-STATに掲載されている政府統計等）<br>⑰ その他 |
| 事例の成功要因                                                                         |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 実施した工夫及びその特徴                                                                    |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事例の成功要因                                                                         |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 実施した工夫及びその特徴                                                                    |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事例の成功要因                                                                         |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 実施した工夫及びその特徴                                                                    |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

**○ご意見・ご要望 【全員】**  
 18. デジタル田園都市国家構想交付金を活用して実施した事業について、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。  
 本文交付金のガイドライン、事例集、自己点検チェックシート、フィードバックレポート等に関するご意見・ご要望でも問題ございません。

**○定量的なデータの活用（データベース、データの取得や有効利用）に際しての更なる改善 【全員】**  
 19. 設定したKPI以外で、本事業の効果を定量的に把握している場合、その内容を記載ください。  
 あわせて、定量的な把握において、RESASなどに追加してほしいと考えているデータがありましたらご記載ください。

**○ウェブサイトにおける公表【全員】**  
 20. 令和6年度第1回で新規・継続で採択された事業のみお聞かせください。  
 各地方公共団体においては、交付金の具体的使途（実施計画上の経費内訳に記載された内容）や実施体制について公表していますか。  

結果の公表有無

**<凡例：選択肢>**  

① 公表している

② 公表していない

20-1. 設問20で「①公表している」と回答いただいた方のみ、公表されているURLを以下にご記載ください。

21. 令和6年度第1回で新規・継続で採択された事業のみお聞かせください。  
 毎年度の効果検証の結果について、地方公共団体のウェブサイトにおいて公表していますか。  

結果の公表有無

**<凡例：選択肢>**  

① 公表している

② 公表していない

21-1. 設問21で「①公表している」と回答いただいた方のみ、公表されているURLを以下にご記載ください。

以上で全て終了です。

## 1.2 事業実施報告の送付・回収

令和 6 年 9 月上旬にメール添付にて、拠点整備タイプを実施する全ての地方公共団体担当者宛に、事業実施報告（様式）を送付し、令和 6 年 9 月下旬を期限として回答を依頼した。

また、回答内容に関し、明らかな誤記載や項目間の不整合等については、地方公共団体への確認や修正依頼を行った。

## 第2章 事業実施報告の整理・分析

地方公共団体から提出のあった「事業実施報告」の回答結果に基づき、分析を行った。

### 2.1 分析方針

分析は令和 7 年 3 月末までに提出された事業実施報告 994 件を対象とした。なお、令和 5 年度調査から事業実施報告の全設問へ回答する事業は施設の供用開始翌年度から 5 年間（849 事業）の事業とし、供用未開始の事業については、事業の基礎情報のみの回答（145 事業）とした。

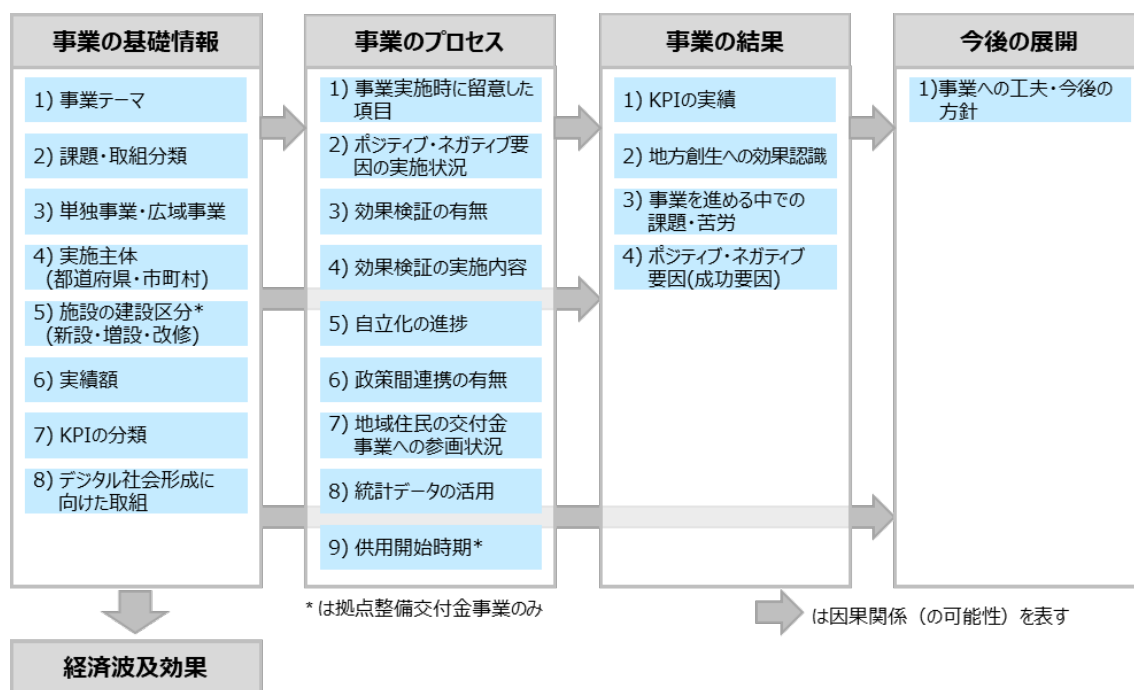
採択件数は 1,125 事業であり、そのうち事業取下げ等を除いた報告対象件数は 994 事業であるため、回収率は 100%である。

また、分析は事業実施報告の設問項目の単純集計結果及び項目間のクロス集計結果を基に実施した。その際、各設問項目を以下の大分類に整理した上で、項目間の因果関係にも着目して分析を行った（例：事業のプロセスが事業の結果に与えた影響の分析等）。

- ・ 事業の基礎情報 （2.2.1 参照）
  - － 事業テーマ、課題分類別、単独・共同の別、実施主体の別（都道府県・市町村）、実績額、施設の建設区分
- ・ 事業のプロセス （2.2.2 参照）
  - － 事業実施時に留意した項目、効果検証の有無・実施内容、自立化の進捗、政策間連携の状況
- ・ 事業の結果 （2.2.3 参照）
  - － KPI の実績、地方創生への効果認識、事業実施時に感じた課題・苦勞
- ・ 経済波及効果 （2.2.4 参照）

項目間の関係を含む分析の全体イメージは以下の通り。

図表 2-1 事業実施報告 分析の全体イメージ



## 2.2 事業実施報告の分析結果

事業の基礎情報、事業のプロセス、事業の結果、経済波及効果について分析結果を示す。

### 2.2.1 事業の基礎情報

地方公共団体から提出のあった「事業実施報告」の単純集計結果は以下の通りである。

図表 2-2 事業実施報告の提出数（令和 7 年 3 月末時点）

※共同事業は、構成地方公共団体がそれぞれ提出

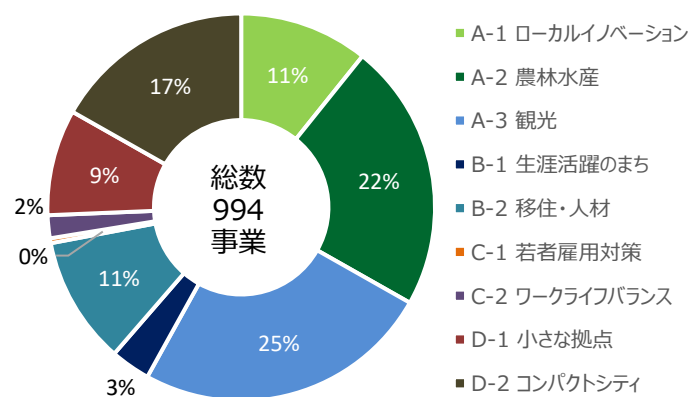
| 事業テーマ           |                 | 事業実施報告の提出数 |              |              |     |            |           |     |
|-----------------|-----------------|------------|--------------|--------------|-----|------------|-----------|-----|
|                 |                 | 単独<br>事業   | 共同事<br>業(代表) | 共同事<br>業(連携) | 計   | 都道府<br>県事業 | 市町村<br>事業 | 計   |
| A.しごと創生         | A-1.ローカルイノベーション | 103        | 2            | 2            | 107 | 64         | 43        | 107 |
|                 | A-2.農林水産        | 219        | 2            | 2            | 223 | 131        | 92        | 223 |
|                 | A-3.観光          | 239        | 4            | 4            | 247 | 35         | 212       | 247 |
| B.地方への<br>ひとの流れ | B-1.生涯活躍のまち     | 33         | 0            | 0            | 33  | 2          | 31        | 33  |
|                 | B-2.移住・人材       | 104        | 1            | 1            | 106 | 19         | 87        | 106 |
| C.働き方改革         | C-1.若者雇用対策      | 4          | 0            | 0            | 4   | 0          | 4         | 4   |
|                 | C-2.ワークライフバランス  | 19         | 0            | 0            | 19  | 0          | 19        | 19  |
| D.まちづくり         | D-1.小さな拠点       | 88         | 0            | 0            | 88  | 10         | 78        | 88  |
|                 | D-2.コンパクトシティ    | 165        | 1            | 1            | 167 | 16         | 151       | 167 |
| 計               |                 | 974        | 10           | 10           | 994 | 277        | 717       | 994 |

## 1) 事業テーマ別

事業テーマ別では、しごと創生分野（ローカルイノベーション分野、農林水産分野及び観光分野）が、全体の 58%を占める。中でも、観光分野が最も多く、全体の 25%を占める。

一方で、働き方改革分野（若者雇用対策分野及びワークライフバランス分野）が最も少なく、合計で全体の 2%であった。

図表 2-3 事業テーマ別事業数



### 参考

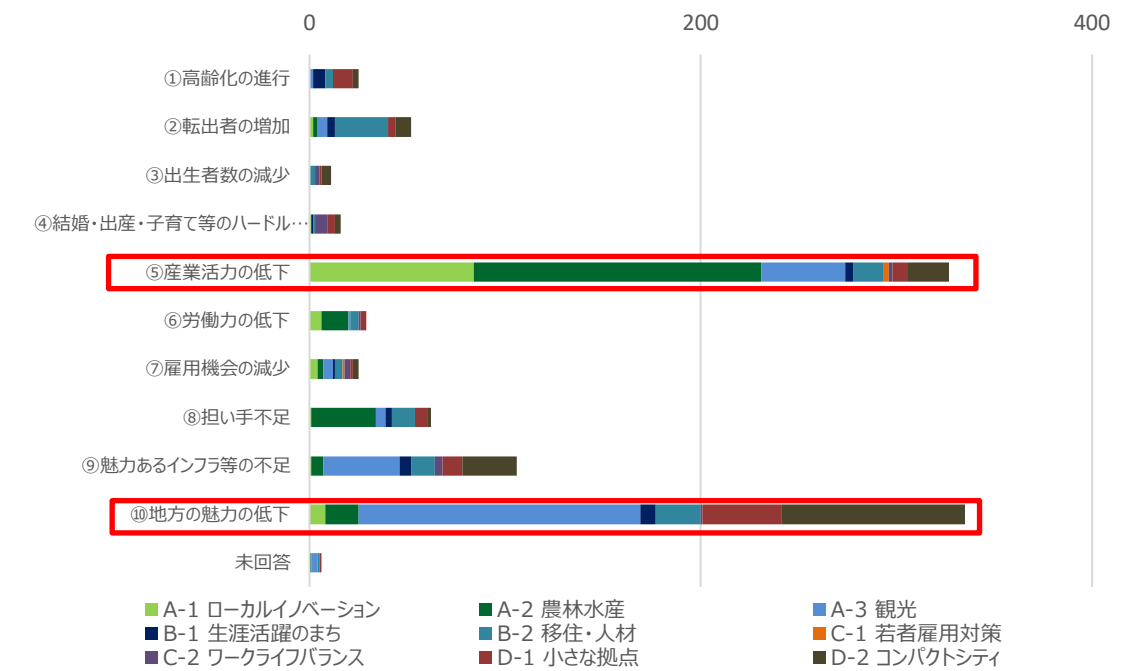
長期的トレンド分析 P.117 (図表 5-1 事業実施報告の提出数の推移)

長期的トレンド分析 P.118 (図表 5-2 事業実施報告の提出数の推移 (事業テーマ別))

## 2) 課題分類別

地方公共団体が拠点整備タイプにおいて解決したい課題として「産業活力の低下」、  
「地方の魅力の低下」が多く挙げられ、それらの解決策として選択される事業テーマは  
ローカルイノベーション分野、農林水産分野及び観光分野が多い。

図表 2-4 課題（事業テーマ別）



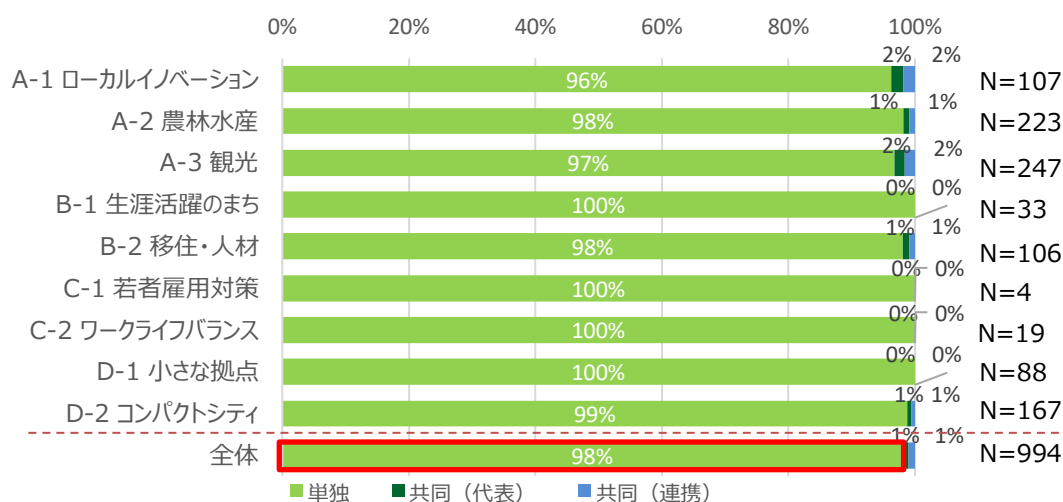
| 事業テーマ           | ①高齢化の進行 | ②転出者の増加 | ③出生者数の減少 | ④結婚・出産・子育て等のハードルの高さ | ⑤産業活力の低下 | ⑥労働力の低下 | ⑦雇用機会の減少 | ⑧担い手不足 | ⑨魅力あるインフラ等の不足 | ⑩地方の魅力の低下 | 未回答 | 事業数 |
|-----------------|---------|---------|----------|---------------------|----------|---------|----------|--------|---------------|-----------|-----|-----|
| A-1 ローカルイノベーション | 0       | 2       | 0        | 1                   | 84       | 6       | 4        | 1      | 1             | 8         | 0   | 107 |
| A-2 農林水産        | 0       | 2       | 0        | 0                   | 147      | 14      | 3        | 33     | 6             | 17        | 1   | 223 |
| A-3 観光          | 2       | 5       | 0        | 0                   | 43       | 1       | 5        | 5      | 39            | 144       | 3   | 247 |
| B-1 生涯活躍のまち     | 6       | 4       | 0        | 1                   | 4        | 0       | 1        | 3      | 6             | 8         | 0   | 33  |
| B-2 移住・人材       | 4       | 27      | 3        | 1                   | 15       | 4       | 4        | 12     | 12            | 23        | 1   | 106 |
| C-1 若者雇用対策      | 0       | 0       | 0        | 0                   | 3        | 0       | 1        | 0      | 0             | 0         | 0   | 4   |
| C-2 ワークライフバランス  | 0       | 0       | 2        | 6                   | 2        | 1       | 3        | 0      | 4             | 1         | 0   | 19  |
| D-1 小さな拠点       | 10      | 4       | 1        | 4                   | 8        | 3       | 1        | 6      | 10            | 40        | 1   | 88  |
| D-2 コンパクトシティ    | 3       | 8       | 5        | 3                   | 21       | 0       | 3        | 2      | 28            | 94        | 0   | 167 |
| 全体              | 25      | 52      | 11       | 16                  | 327      | 29      | 25       | 62     | 106           | 335       | 6   | 994 |

参考 長期的トレンド分析 P.119 (図表 5-5 事業で解決したい課題の割合 (新規事業のみ))

### 3) 単独事業・共同事業の別

単独/共同別では単独事業が大半を占めている。ローカルイノベーション分野や観光分野は共同事業の割合が約3~4%を占め、地域と連携して事業を実施するケースがみられる。

図表 2-5 単独事業・共同事業別の事業数

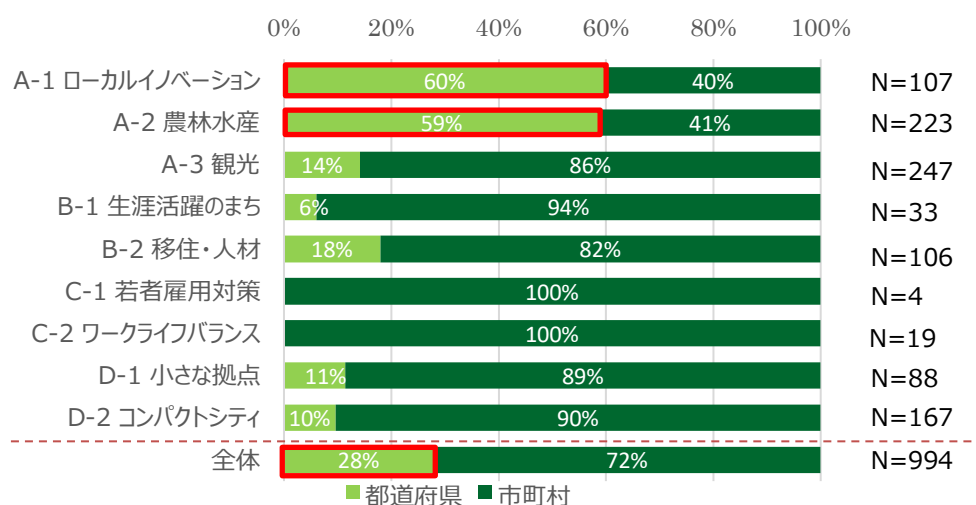


参考 長期的トレンド分析 P. 118 (図表 5-3 単独事業・共同事業別の事業数の推移)

### 4) 実施主体の別

実施主体の別（都道府県、市町村）では、全体の28%が都道府県であり、残りが市町村である。ローカルイノベーション分野や農林水産分野で都道府県事業の割合が約60%と高い。

図表 2-6 実施主体別の事業数

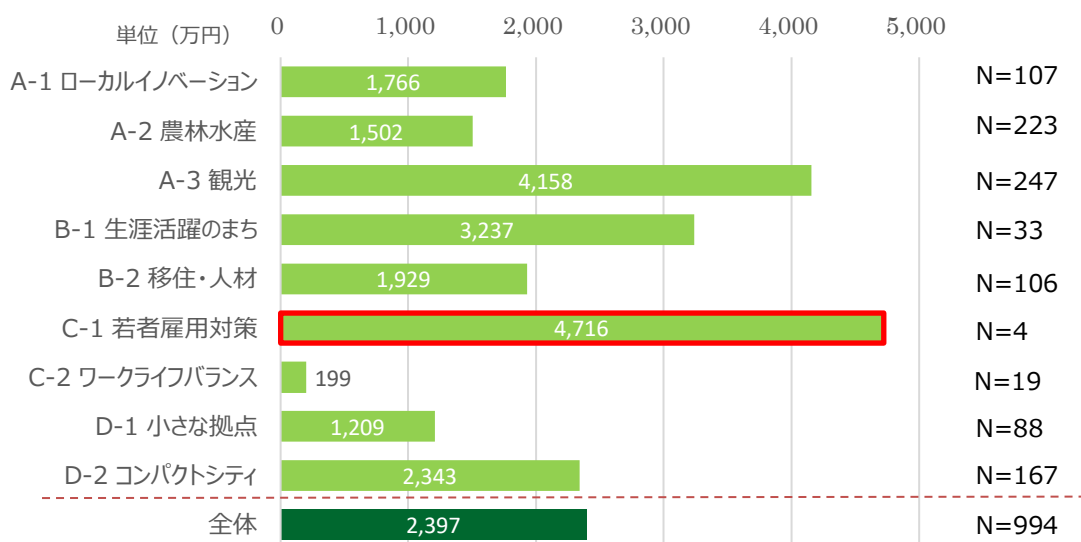


参考 長期的トレンド分析 P. 119 (図表 5-4 実施主体別の事業数の推移)

## 5) 事業実績額

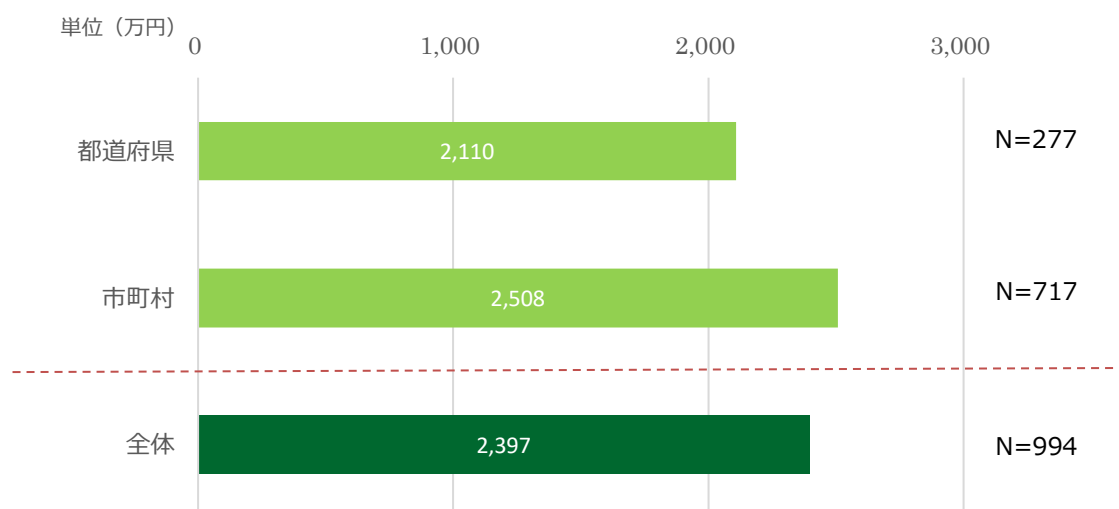
1 事業当たりの事業実施額は全体で 2,397 万円。事業テーマ別では、若者雇用対策分野が大きく、約 4,700 万円であった。

図表 2-7 1 事業当たりの事業実績額（事業テーマ別）



実施主体別では、都道府県事業の 2,110 万円に対して、市町村事業は 2,508 万円であり、約 1.2 倍の開きがある。

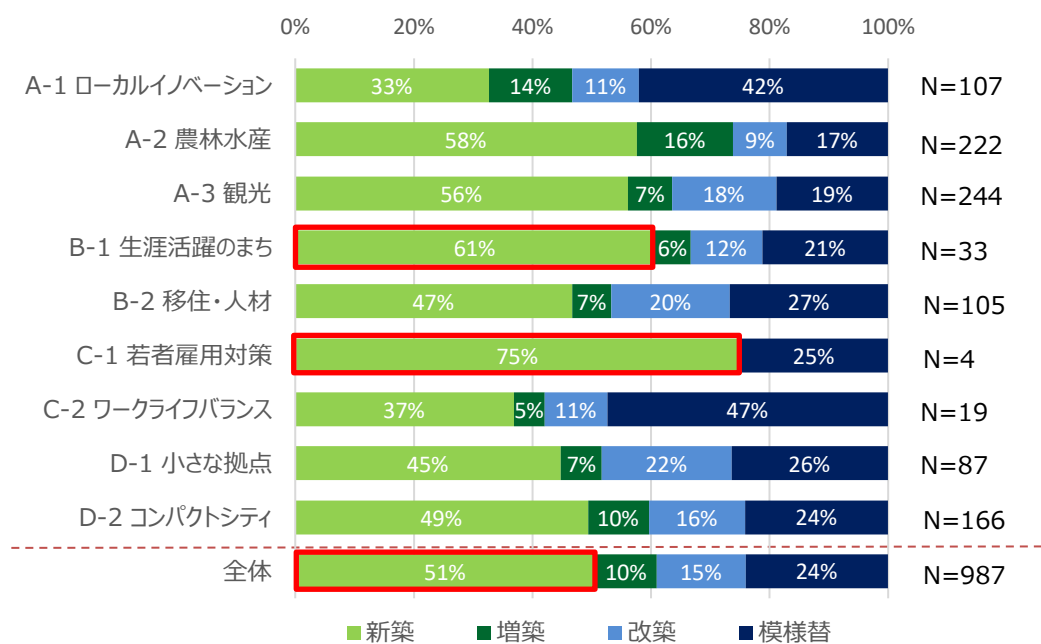
図表 2-8 1 事業当たりの事業実績額（実施主体別）



## 6) 施設の建設区分別

施設の建設区分（事業テーマ別）は、全体の 51%が新築である。特に、生涯活躍のまち分野や若者雇用対策分野で新築の割合が高い。

図表 2-9 施設の建設区分（事業テーマ別）



注) 「建設区分」が未回答の事業は試算から除く

## 2.2.2 事業のプロセス

内閣府では、推進タイプを活用した事業の立案・改善のための手引きとして、平成 29 年度に「地方創生事業実施のためのガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）を作成し、平成 30 年 4 月に公表した（令和 6 年 3 月改訂）。

ガイドラインでは、推進タイプ事業に求められる「先導性要素」（自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、地方創生人材の確保・育成、デジタル社会の形成への寄与）を念頭に置いて、事業に取り組むにあたって基本的に踏まえるべきことや、気をつけたい工夫・留意点を掲載することで、地方公共団体による適切な事業実施を促している。

拠点整備タイプの実施に当たっても、このガイドラインに沿った事業のプロセスが求められることから、事業実施報告の中で、事業実施時に留意した項目を質問することにより、事業のプロセスが適切に実施されているか否かを確認した。

具体的には、ガイドラインで定められた「取り組むべきこと」の各項目について実施の有無を質問した。

ガイドラインで定められた「取り組むべきこと」を基に設定した確認項目は以下の通り。

図表 2-10 「取り組むべきこと」の確認項目（PDCA の段階別）

| PDCA の段階                   | 取り組むべきこと       | 事業実施報告における確認項目                                                   |
|----------------------------|----------------|------------------------------------------------------------------|
| 事業アイデア・事業手法の検討<br>＜Plan＞   | 課題・ニーズの共有と明確化  | ア. 地域住民や利害関係者との話し合いを通じて課題やニーズを明確化している                            |
|                            | 定量的・客観的な分析     | イ. 定量的・客観的な分析を通じて地域の実態やニーズを捉えている                                 |
|                            | 地域資源の活用        | ウ. 地域の特色ある資源や強みを活用している                                           |
|                            | 外部人材・知見の活用     | エ. 事業手法の検討に外部人材・知見を活用している                                        |
|                            | 政策間連携          | オ. 異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、団体内の複数部局や様々な分野の民間企業と連携している             |
|                            | 地域間連携          | カ. スケールメリットや人材・ノウハウ融通のため、複数地域間で連携している                            |
|                            | 既存組織・ネットワークの活用 | キ. 事業実施体制の構築において、地域の企業・団体等の既存組織・ネットワークを活用している                    |
|                            | 関係者の役割・責任の明確化  | ク. 関係者の役割・責任について明確化している                                          |
| 事業の具体化<br>＜Plan＞           | 自走を意識した計画      | ケ. 資金調達の方法や事業採算性など事業が継続性をもって自走していくことのできるプロセスを明確化している             |
|                            | 経営視点からの検証      | コ. 経営視点からの検証のため、事業実施経験のある人材を活用している、または知見ある外部専門家から助言を受けている        |
|                            | 詳細な工程計画        | サ. 事業終了までの詳細な工程計画(四半期単位、月単位等)を策定している                             |
|                            | 適切な KPI 設定     | シ. 事業と直接性があり、客観的な成果を表す KPI を選定し、妥当な水準の目標値を設定している                 |
| 事業の実施・継続<br>＜Do＞           | 主体間コミュニケーション   | ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている                                   |
|                            | こまめな進捗と質の管理    | セ. KPI の進捗について定期的に管理している                                         |
|                            | 安定した人材の確保      | ソ. 担い手となるキーパーソンや、事業を継続的に進めていくマンパワーを確保している                        |
|                            | 地域の理解醸成を促す情報提供 | タ. 事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業実施に対する納得感を醸成している |
|                            | 地域主体の参加促進      | チ. 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくっている                       |
| 事業の評価・改善<br>＜Check/Action＞ | 外部による効果検証      | ツ. 外部組織や議会等により事業の効果を多角的に評価検証している                                 |
|                            | KPI 未達成の要因分析   | テ. KPI の目標達成状況を定期的に確認し、未達成の場合はその要因を分析している                        |
|                            | 事業改善方針の明確化     | ト. 事業の評価を踏まえて対応策を決定し、実行に移している                                    |
|                            | 事業改善方針の反映      | ナ. 事業の改善方針について次年度以降の事業計画に反映している                                  |

上記のうち「外部による効果検証」については、議会・外部組織それぞれによる効果検証の実施状況について集計し、分析を実施した。また、自立化の進捗について、将来の自立化の見込みや自主財源の確保状況について集計し、分析を実施した。

なお、これらの事業のプロセスが事業の結果にどう影響を与えているかについては、次の「事業の結果」の項で分析を行う。

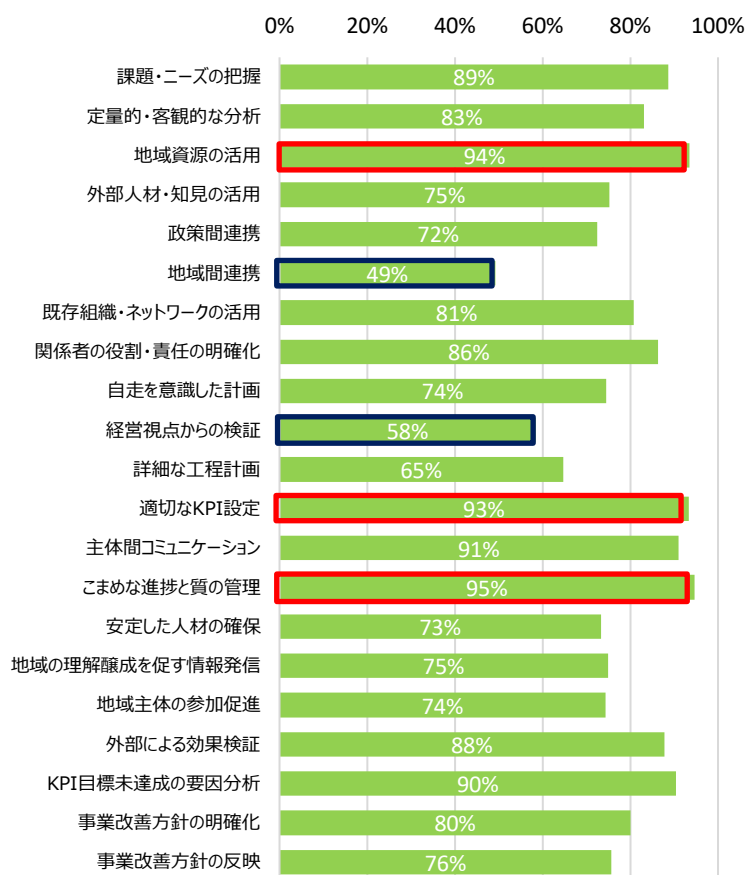
## 1) 「取り組むべきこと」の実施状況

### (ア) 全体傾向

「取り組むべきこと」の実施率は、項目別では、「地域資源の活用」や「適切な KPI 設定」、「こまめな進捗と質の管理」の実施率が 93%~95%と高い。

一方で、単独事業が大半を占めることから、「地域間連携」が低く 49%であった。また、「経営視点からの検証」の実施率は全体の 58%と比較的低いが、これらの項目は、事業の自立化に向けて重要となる項目である。資金調達の方法や事業採算性など、事業が継続性を持って自走していくことのできるプロセスを明確化することが重要である。

図表 2-11 「取り組むべきこと」の実施状況

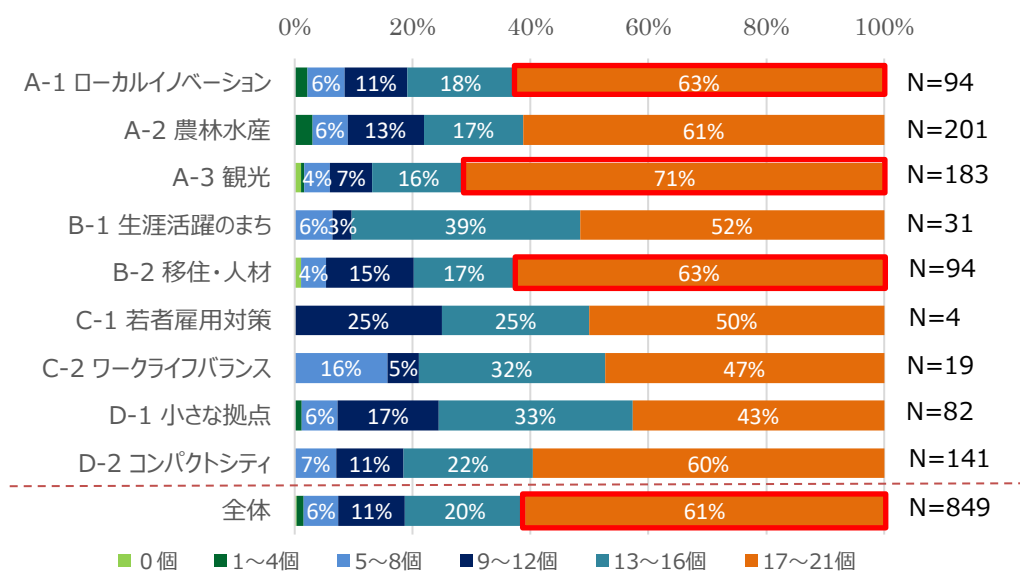


注) 供用未開始事業は試算から除く

(イ) 事業テーマ別の傾向

「取り組むべきこと」21項目の8割以上(17項目以上)を実施した事業の割合は全体の61%。事業テーマ別では、観光分野やローカルイノベーション分野、移住・人材分野でその割合が大きい。

図表 2-12 実施した取組数(事業テーマ別)



注) 供用未開始事業は試算から除く

事業テーマ別の取組内容を見ると、特に、小さな拠点分野では、「外部人材・知見の活用」、「政策間連携」、「地域間連携」、「経営視点からの検証」、「事業改善方針の明確化」及び「事業改善方針の反映」の実施率が他分野と比べて低い。

図表 2-13 「取り組むべきこと」の実施状況（事業テーマ別）

| 取り組むべきこと          | 全体    | A-1 ローカルイノベーション | A-2 農林水産 | A-3 観光 | B-1 生涯活躍のまち | B-2 移住・人材 | C-1 若者雇用対策 | C-2 ワークライフバランス | D-1 小さな拠点 | D-2 コンパクトシティ |
|-------------------|-------|-----------------|----------|--------|-------------|-----------|------------|----------------|-----------|--------------|
|                   | N=739 | N=96            | N=200    | N=159  | N=18        | N=80      | N=3        | N=16           | N=59      | N=108        |
| ア. 課題・ニーズの把握      | 89%   | 86%             | 85%      | 90%    | 100%        | 94%       | 100%       | 95%            | 91%       | 86%          |
| イ. 定量的・客観的な分析     | 83%   | 80%             | 84%      | 87%    | 84%         | 84%       | 100%       | 74%            | 80%       | 80%          |
| ウ. 地域資源の活用        | 94%   | 95%             | 97%      | 96%    | 90%         | 89%       | 75%        | 74%            | 88%       | 94%          |
| エ. 外部人材・知見の活用     | 75%   | 73%             | 76%      | 81%    | 74%         | 76%       | 100%       | 79%            | 63%       | 74%          |
| オ. 政策間連携          | 72%   | 76%             | 66%      | 78%    | 74%         | 76%       | 50%        | 84%            | 56%       | 79%          |
| カ. 地域間連携          | 49%   | 53%             | 52%      | 58%    | 52%         | 49%       | 75%        | 26%            | 38%       | 40%          |
| キ. 既存組織・ネットワークの活用 | 81%   | 81%             | 80%      | 86%    | 84%         | 83%       | 25%        | 68%            | 77%       | 79%          |
| ク. 関係者の役割・責任の明確化  | 86%   | 83%             | 83%      | 90%    | 81%         | 91%       | 75%        | 84%            | 90%       | 85%          |
| ケ. 自走を意識した計画      | 74%   | 79%             | 73%      | 79%    | 77%         | 68%       | 75%        | 58%            | 71%       | 76%          |
| コ. 経営視点からの検証      | 58%   | 60%             | 56%      | 67%    | 65%         | 55%       | 50%        | 37%            | 43%       | 63%          |
| サ. 詳細な工程計画        | 65%   | 66%             | 65%      | 67%    | 65%         | 65%       | 75%        | 58%            | 59%       | 65%          |
| シ. 適切なKPI設定       | 93%   | 95%             | 97%      | 92%    | 97%         | 86%       | 75%        | 100%           | 91%       | 93%          |
| ス. 主体間コミュニケーション   | 91%   | 91%             | 87%      | 96%    | 87%         | 94%       | 75%        | 84%            | 87%       | 94%          |
| セ. こまめな進捗と質の管理    | 95%   | 97%             | 98%      | 95%    | 94%         | 87%       | 100%       | 95%            | 94%       | 94%          |
| ソ. 安定した人材の確保      | 73%   | 69%             | 72%      | 79%    | 71%         | 79%       | 25%        | 74%            | 67%       | 73%          |
| タ. 地域の理解醸成を促す情報発信 | 75%   | 73%             | 74%      | 80%    | 74%         | 76%       | 50%        | 84%            | 68%       | 73%          |
| チ. 地域主体の参加促進      | 74%   | 68%             | 74%      | 79%    | 74%         | 77%       | 75%        | 63%            | 65%       | 79%          |
| ツ. 外部による効果検証      | 88%   | 91%             | 87%      | 90%    | 87%         | 89%       | 100%       | 95%            | 82%       | 84%          |
| テ. KPI目標未達成の要因分析  | 90%   | 95%             | 93%      | 92%    | 90%         | 86%       | 100%       | 95%            | 88%       | 85%          |
| ト. 事業改善方針の明確化     | 80%   | 81%             | 83%      | 81%    | 84%         | 84%       | 75%        | 89%            | 68%       | 77%          |
| ナ. 事業改善方針の反映      | 76%   | 80%             | 78%      | 77%    | 81%         | 79%       | 100%       | 79%            | 65%       | 70%          |

注) 供用未開始事業は試算から除く

実施主体別にみると、都道府県事業及び市町村事業ともに、その取組内容の状況について大きな相違は確認できない。

図表 2-14 「取り組むべきこと」の実施状況（実施主体別）

|                   | 全体    | 都道府県  | 市町村   |
|-------------------|-------|-------|-------|
| 取り組むべきこと          | N=849 | N=249 | N=600 |
| ア. 課題・ニーズの把握      | 89%   | 83%   | 91%   |
| イ. 定量的・客観的な分析     | 83%   | 83%   | 83%   |
| ウ. 地域資源の活用        | 94%   | 93%   | 94%   |
| エ. 外部人材・知見の活用     | 75%   | 73%   | 76%   |
| オ. 政策間連携          | 72%   | 64%   | 76%   |
| カ. 地域間連携          | 49%   | 53%   | 48%   |
| キ. 既存組織・ネットワークの活用 | 81%   | 77%   | 83%   |
| ク. 関係者の役割・責任の明確化  | 86%   | 80%   | 89%   |
| ケ. 自走を意識した計画      | 74%   | 69%   | 77%   |
| コ. 経営視点からの検証      | 58%   | 52%   | 61%   |
| サ. 詳細な工程計画        | 65%   | 69%   | 63%   |
| シ. 適切なKPI設定       | 93%   | 95%   | 93%   |
| ス. 主体間コミュニケーション   | 91%   | 83%   | 94%   |
| セ. こまめな進捗と質の管理    | 95%   | 95%   | 94%   |
| ソ. 安定した人材の確保      | 73%   | 68%   | 75%   |
| タ. 地域の理解醸成を促す情報発信 | 75%   | 74%   | 75%   |
| チ. 地域主体の参加促進      | 74%   | 71%   | 76%   |
| ツ. 外部による効果検証      | 88%   | 85%   | 89%   |
| テ. KPI目標未達成の要因分析  | 90%   | 92%   | 90%   |
| ト. 事業改善方針の明確化     | 80%   | 80%   | 80%   |
| ナ. 事業改善方針の反映      | 76%   | 80%   | 74%   |

全体と比べて10ポイント以上高い項

全体と比べて10ポイント以上低い項

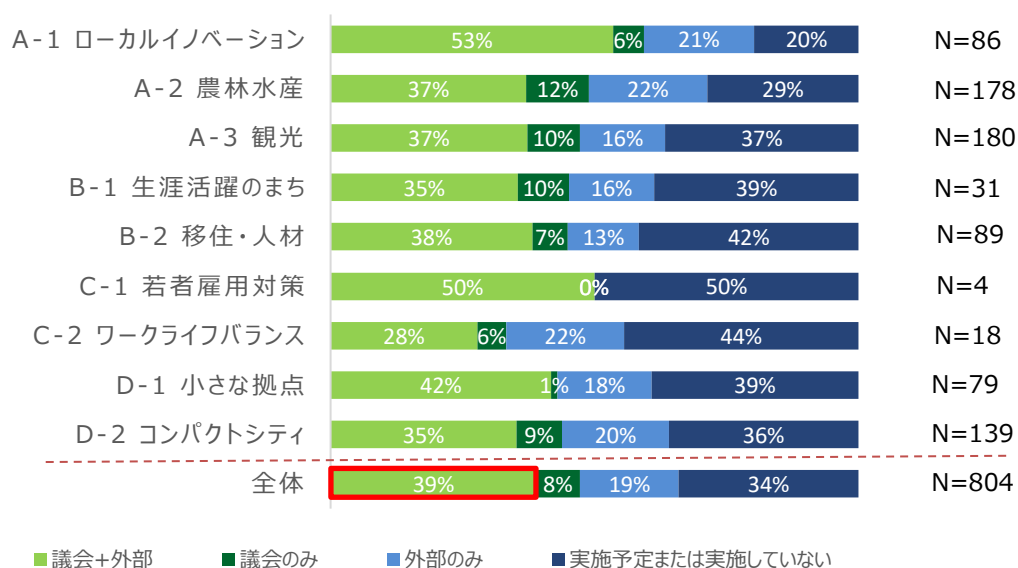
注）供用未開始事業は試算から除く

## 2) 効果検証の実施状況

### (ア) 事業テーマ別の傾向

全体の 66%の事業が「議会または外部による効果検証」を実施しており、39%の事業が「議会及び外部双方の効果検証」を実施している。

図表 2-15 効果検証の状況（事業テーマ別）



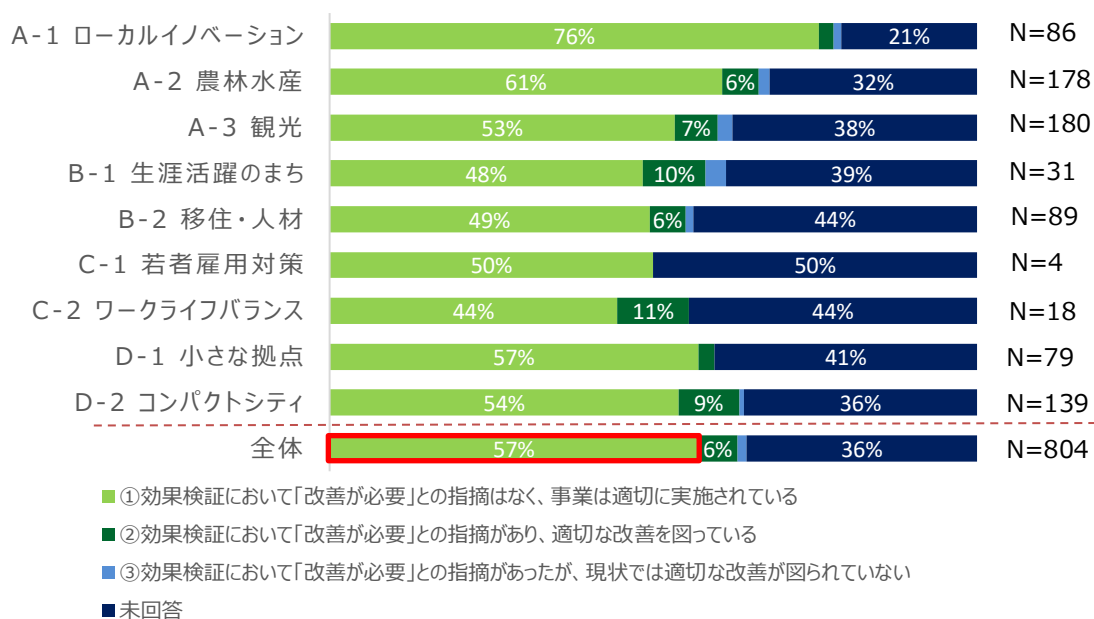
注1) 供用未開始事業及び効果検証実施対象期間外の事業は試算から除く

注2) 事業実施報告を年度途中に実施している都合、回答時点では効果検証を「実施予定」と回答する事業が多くなる点に留意

|    |                                                         |
|----|---------------------------------------------------------|
| 参考 | 効果を高める要因 P.114 (図表 4-8 KPI 達成事業割合・自立化の見込み (効果検証の実施有無別)) |
|    | 長期的トレンド分析 P.127 (図表 5-14 効果検証の実施状況別の KPI 達成事業の割合)       |

全体の 57%の事業は、効果検証において改善が必要との指摘はされていない。  
効果検証を受けて適切な改善が図られた事業は、全体の 6%にとどまる。

図表 2-16 効果検証を受けた改善（事業テーマ別）

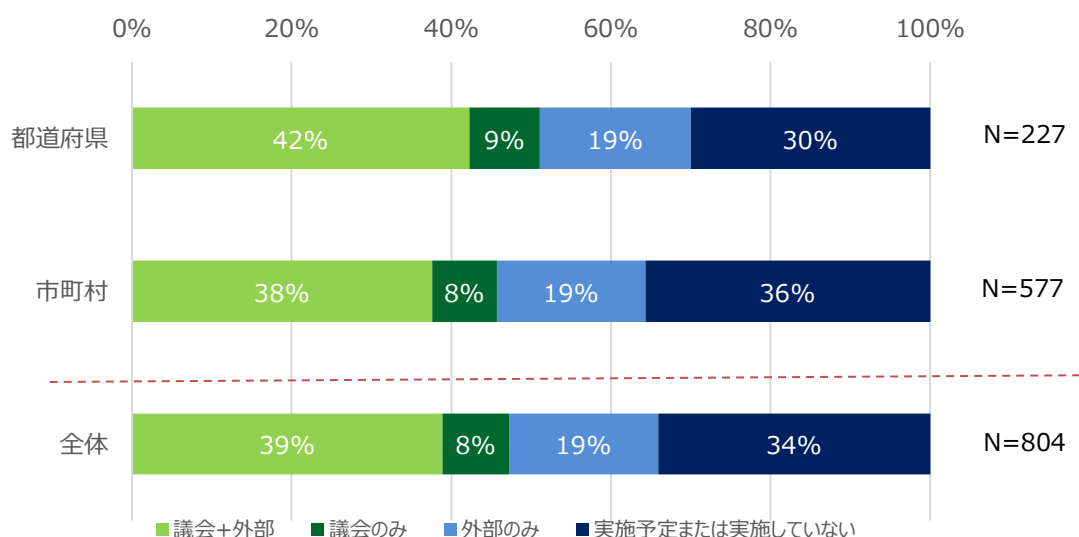


注) 供用未開始事業及び効果検証実施対象期間外の事業は試算から除く

(イ) 実施主体別の傾向

都道府県事業は、市町村事業に比べて「議会または外部による効果検証」を実施した割合が高い。

図表 2-17 効果検証の状況（事業主体別）

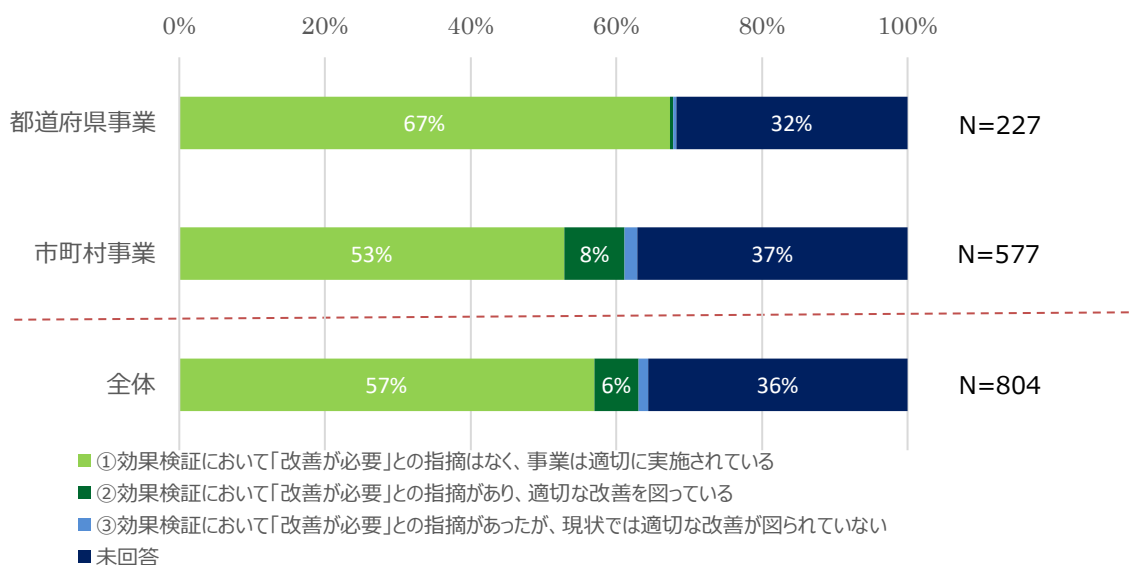


注1) 供用未開始事業及び効果検証実施対象期間外の事業は試算から除く

注2) 事業実施報告を年度途中に実施している都合、回答時点では効果検証を「実施予定」と回答する事業が多くなる点に留意

都道府県事業は、市町村事業に比べて効果検証において「改善が必要」との指摘を受けた割合が低い。

図表 2-18 効果検証を受けた改善（事業主体別）



注) 供用未開始事業及び効果検証実施対象期間外の事業は試算から除く

### 3) 効果検証の実施内容

#### (ア) 全体傾向

効果検証の実施内容について、「現状把握」、「分析」、「改善」の各プロセスに分けて具体的な効果検証プロセスの実施有無を調査した。

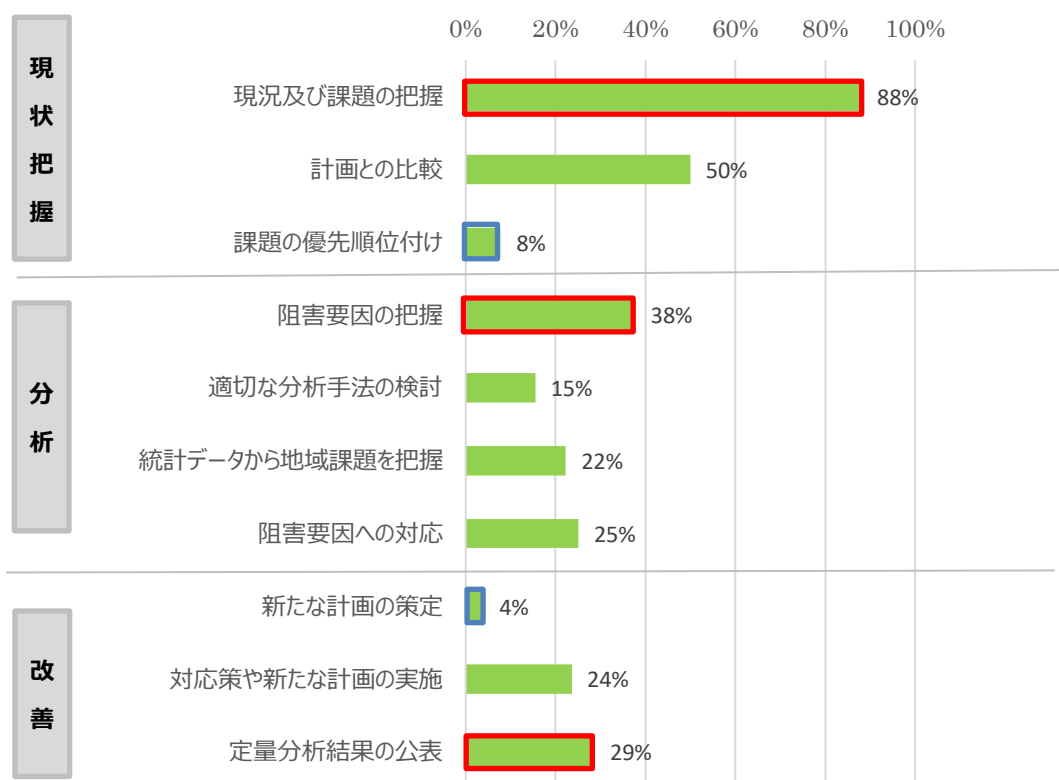
「現状把握」については、「現況及び課題の把握」は88%の事業が実施しているが、「課題の優先順位付け」は8%と低い。

「分析」については、「阻害要因の把握」は38%の事業が実施しており、その他の分析項目の実施率は15%～25%であった。

「改善」については、「定量分析結果の公表」は29%の事業が実施しているが、「新たな計画の策定」は4%に留まった。

「現状把握」は大部分の地方公共団体で取り組まれているが、「分析」や「改善」の実施は一部の事業に留まっている。

図表 2-19 効果検証プロセスの実施有無



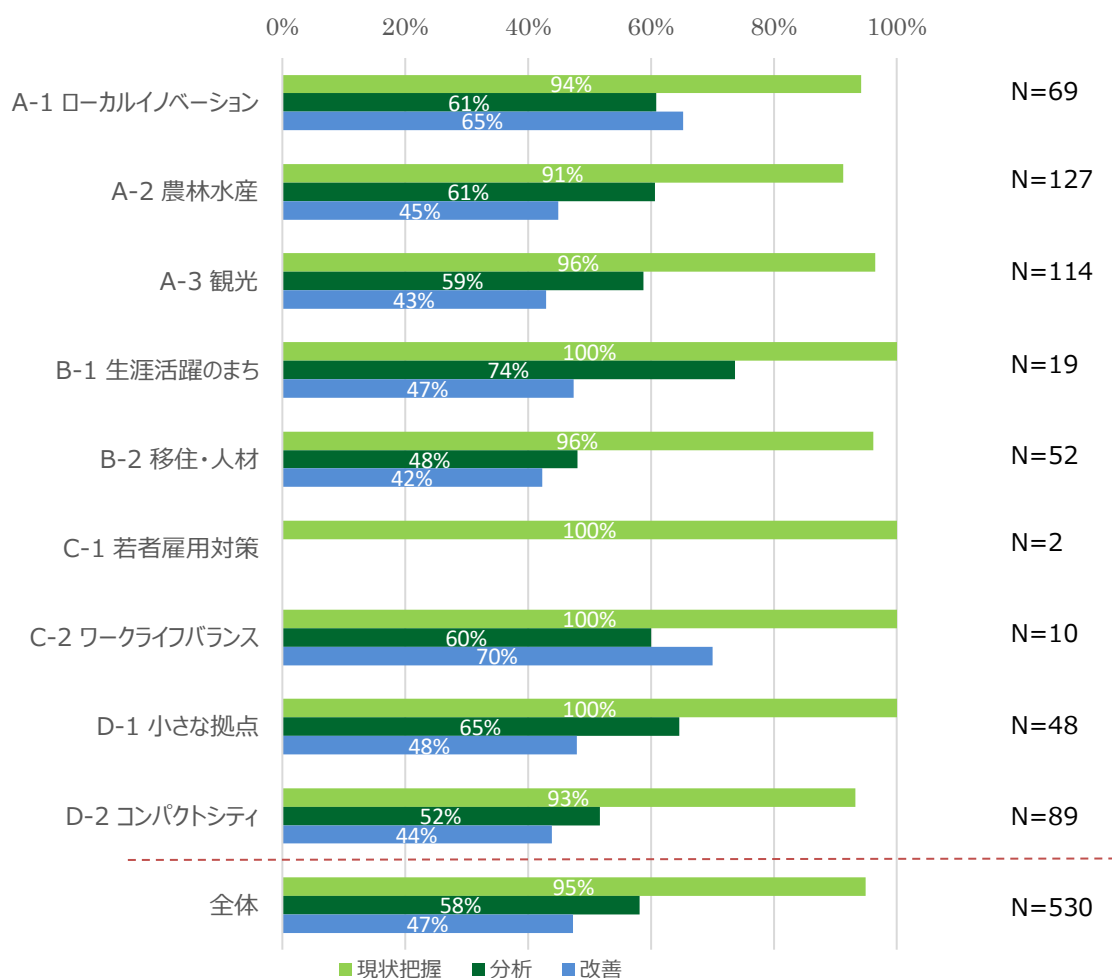
注1) 供用未開始事業は試算から除く

注2) 議会または外部の効果検証を実施済みの事業のみ対象

(イ) 事業テーマ別の傾向

事業テーマ別の効果検証プロセス（「現状把握」、「分析」、「改善」）における実施状況について、各プロセスの実施項目を1個以上実施している割合は、「現状把握」95%、「分析」58%、「改善」47%であった。

図表 2-20 効果検証プロセスの実施有無（事業テーマ別）



注1) 供用未開始事業は試算から除く

注2) 議会または外部の効果検証を実施済みの事業のみ対象

### (ウ) 事業年度別の傾向

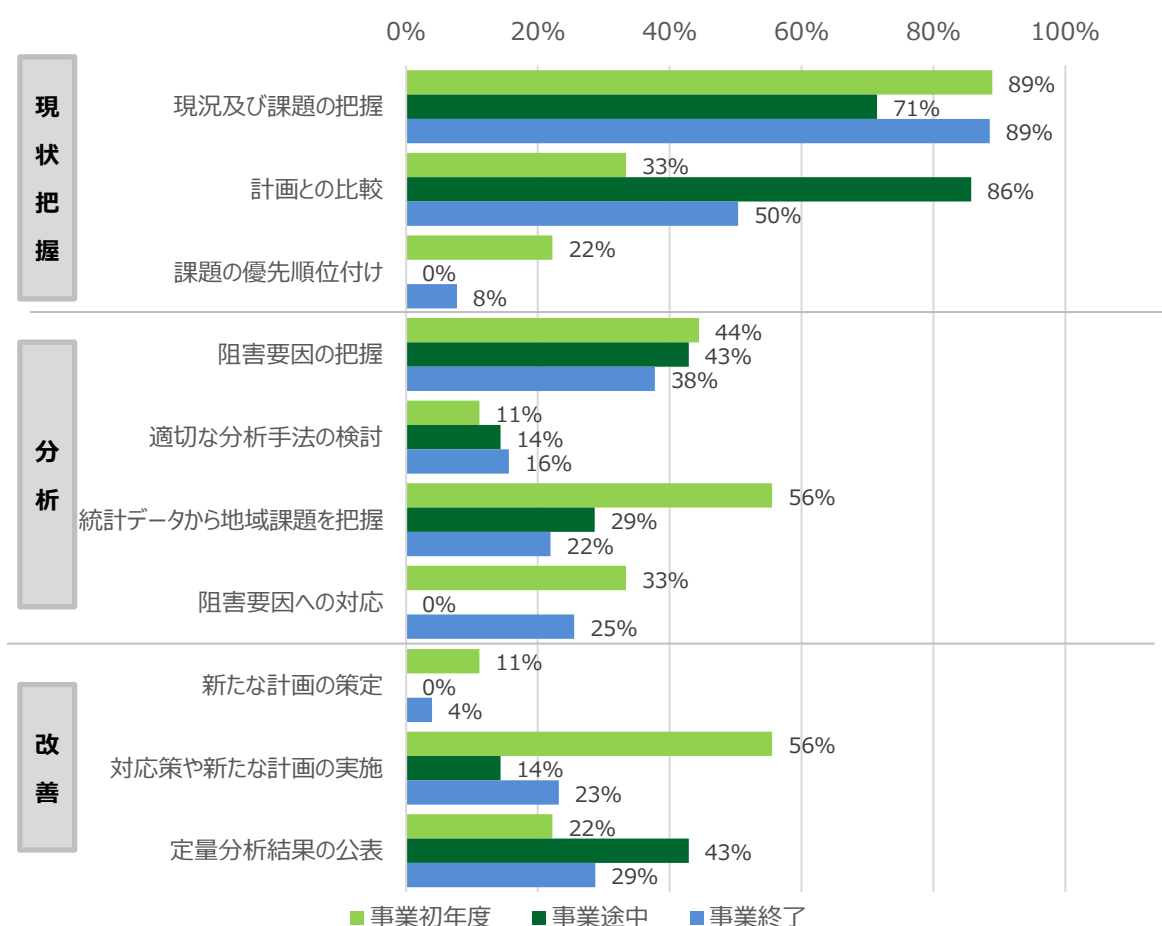
事業年度別に効果検証プロセスの実施の有無をみると、事業初年度及び終了年度において、「現況及び課題の把握」は 89%の事業で実施している。一方で、「分析」及び「改善」については、いずれの事業フェーズでも実施率が低い。

「現状把握」については、「現況及び課題の把握」は行われているものの、「課題の優先順位付け」を実施している事業は少ない。

「分析」については、「阻害要因の把握」を実施しているのは 38%～44%で、「適切な分析手法の検討」を実施しているのは 11～16%程度であった。

改善について、「新たな計画の策定」を実施している事業は 0%～11%であった。

図表 2-21 効果検証プロセスの実施有無（事業年度別）



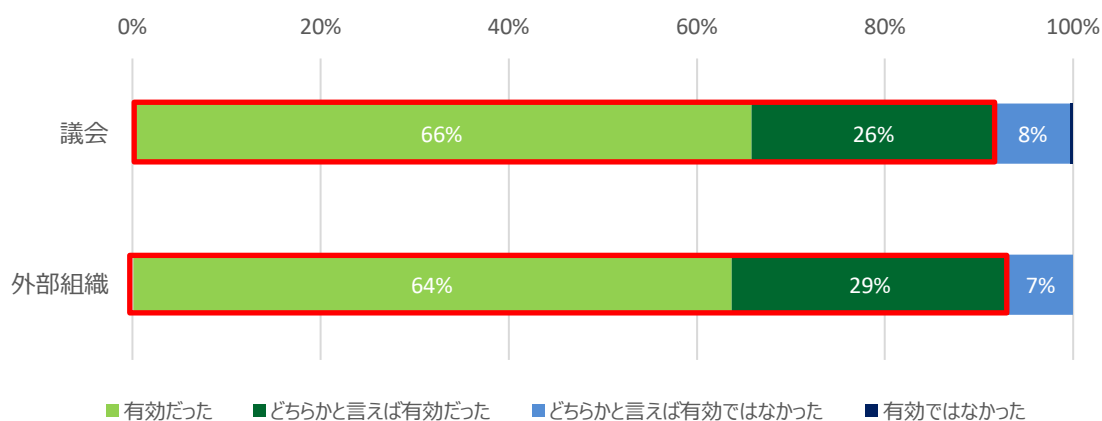
注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) 議会または外部の効果検証を実施済みの事業のみ対象

(エ) 効果検証の有効性

効果検証の有効性の認識について、9 割以上の事業が効果検証を「有効だった」あるいは「どちらかと言えば有効だった」と評価している。

図表 2-22 効果検証の有効性



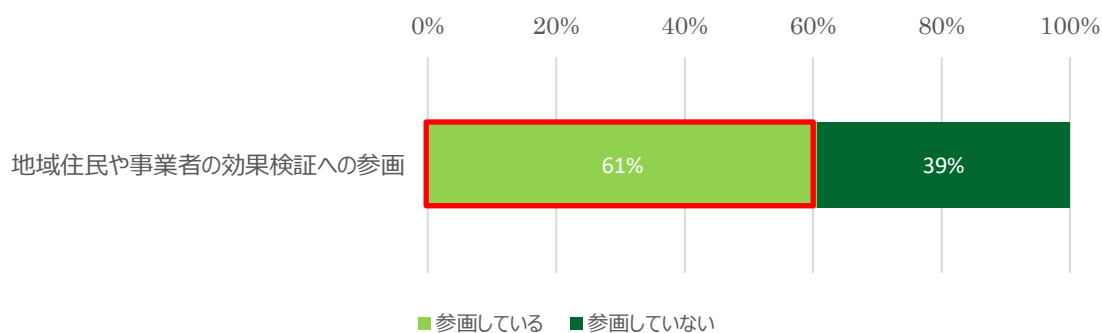
注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) 議会または外部の効果検証を実施済みの事業のみ対象

(オ) 外部組織による効果検証への住民・事業者の参画状況

外部組織による効果検証について、その検証主体の構成メンバーとして地域住民や事業者が参画する割合は約 6 割であり、効果検証において現場目線を取り入れる事業が多いことが分かる。

図表 2-23 外部組織の構成メンバーとして住民・事業者が参画する割合



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) 外部の効果検証を実施済みの事業のみ対象

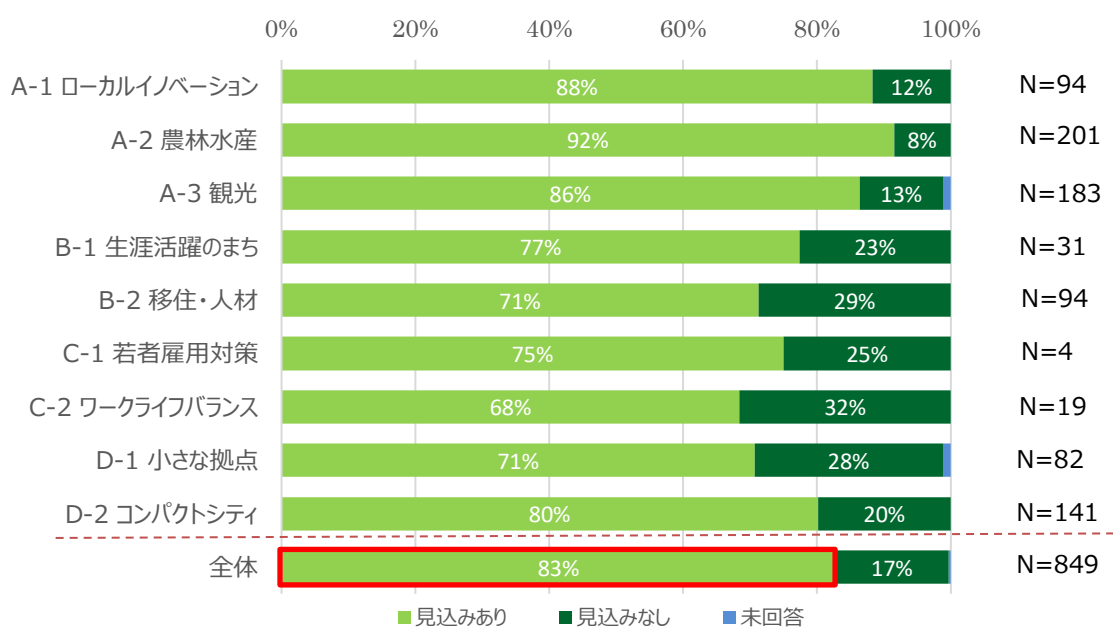
#### 4) 自立化の進捗

##### (ア) 事業テーマ別の傾向

現時点において、全体の 83%の事業で自立化が見込まれている。

テーマ別にみると、ローカルイノベーション分野や農林水産分野、観光分野において自立化を見込む割合が高い。一方で、移住・人材分野やワークライフバランス分野においては、自立化を見込んでいない割合が比較的高い。

図表 2-24 現時点における自立化の見込み（事業テーマ別）

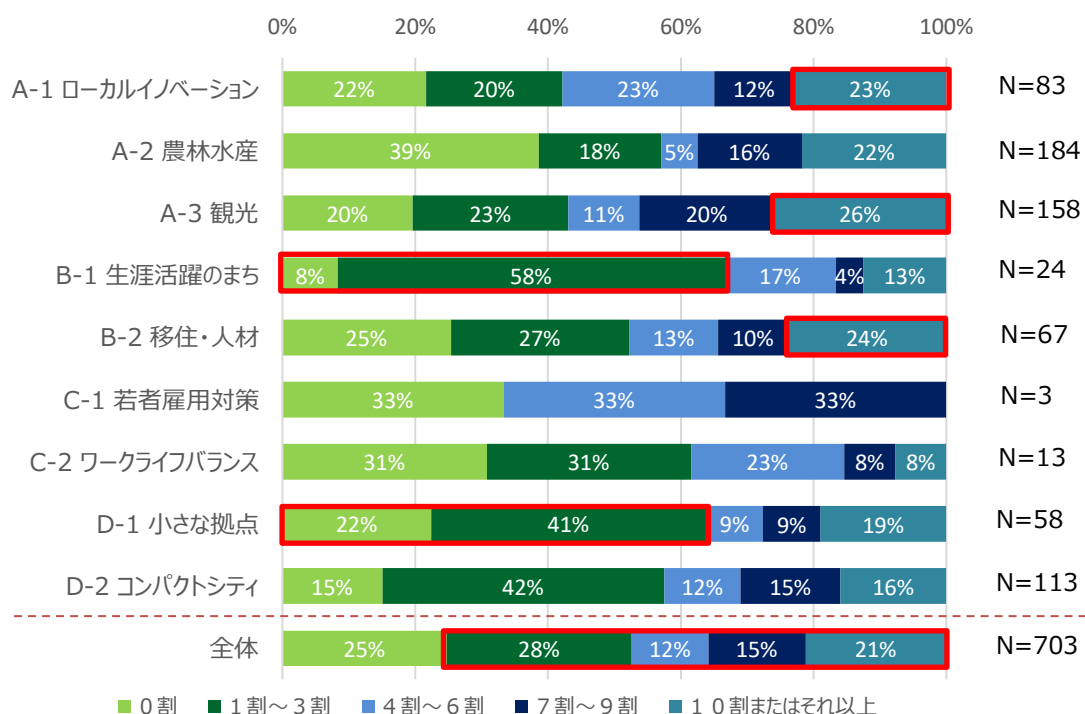


注) 供用未開始事業は試算から除く

財源構成に占める事業収入割合の実績（令和 5 年度実績）についてみると、76%の事業が事業収入を確保しており、「0 割」及び「1 割～3 割」並びに「10 割またはそれ以上」の回答が多いことから、事業収入を財源の柱と位置付ける事業とそうでない事業に二極化している。

事業テーマ別にみると、ローカルイノベーション分野、観光分野及び移住・人材分野では事業収入で全ての事業運営コストをカバーする事業（「10 割又はそれ以上」）が多い一方で、生涯活躍のまち分野及び小さな拠点分野は事業収入が低い事業（「0 割」又は「1 割～3 割」）が多い。

図表 2-25 事業収入が占める割合（事業テーマ別）



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

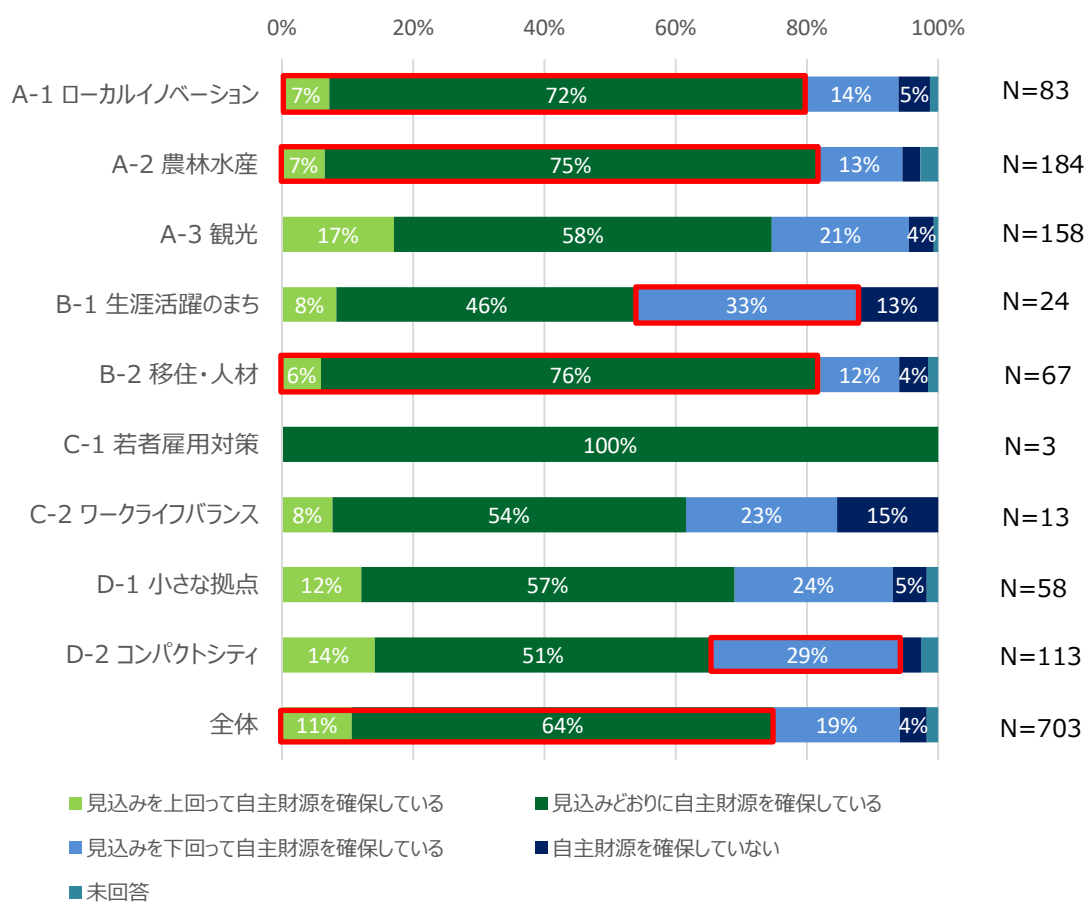
注 2) 令和 5 年度の財源構成に占める事業収入の割合（実績）を回答

注 3) 現時点における「自立化の見込みあり」と回答している事業が集計対象

令和 5 年度の事業実施を踏まえた自主財源の確保状況について、75%の事業が見込みどおり、または、見込みを上回って自主財源を確保している。

テーマ別に比較すると、ローカルイノベーション分野、農林水産分野及び移住・人材分野では、見込みどおりに自主財源を確保している割合が高い。一方で、生涯活躍のまち分野やコンパクトシティ分野については、自主財源の確保状況が見込みを下回っている事業の割合が高い。

図表 2-26 自主財源の確保状況（事業テーマ別）



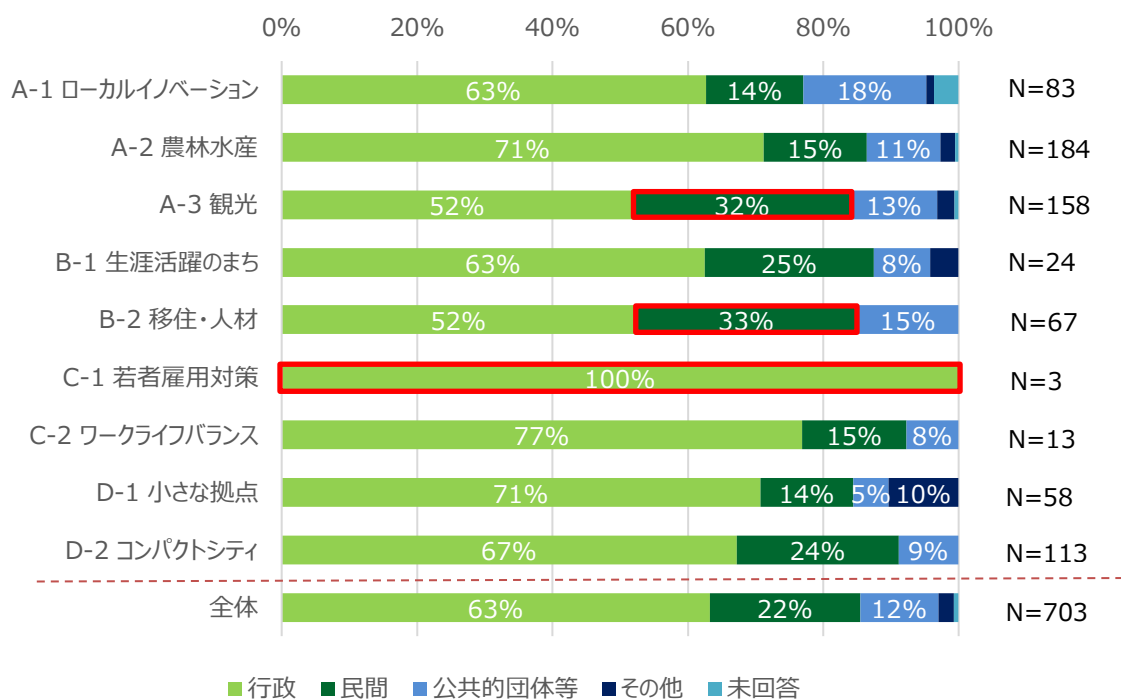
注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) 「自主財源を確保」とは、事業収入と一般財源を合わせて事業運営コストを賄えていることをいう

注 3) 現時点における「自立化の見込みあり」と回答している事業が集計対象

事業推進主体の属性を事業テーマ別に見ると、若者雇用対策分野では、特に、行政が主体で推進している事業の割合が高い。一方で、観光分野及び移住・人材分野では、民間が主体となって推進している事業の割合が比較的高い。

図表 2-27 事業推進主体の属性（事業テーマ別）



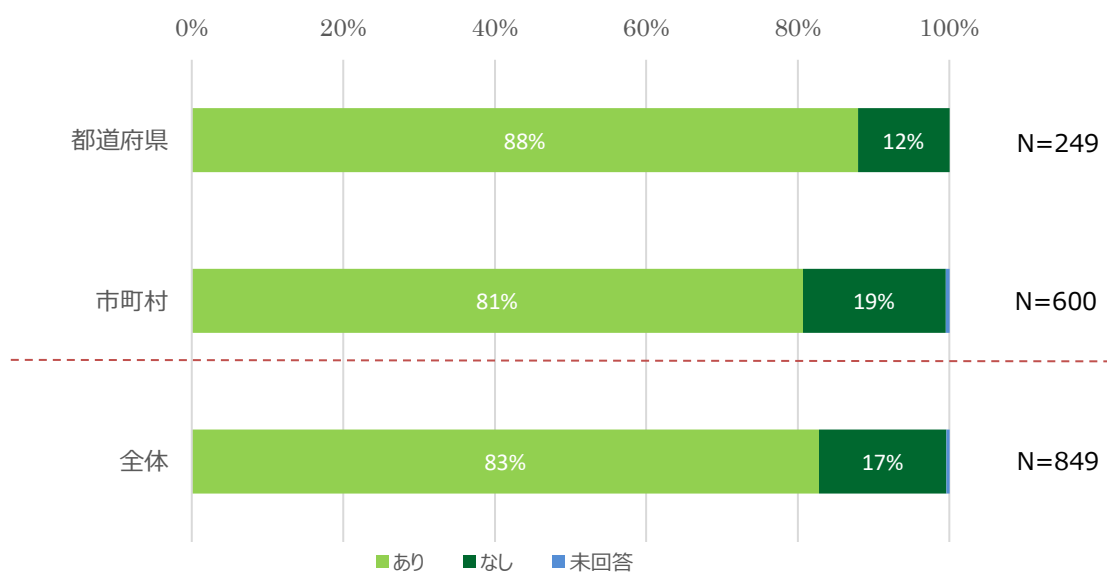
注1) 供用未開始事業は試算から除く

注2) 現時点における「自立化の見込みあり」と回答している事業が集計対象

(イ) 実施主体別の傾向

都道府県事業の方が、市町村事業に比べて、自立化を見込んでいる割合がやや高い。

図表 2-28 現時点における自立化の見込み（実施主体別）

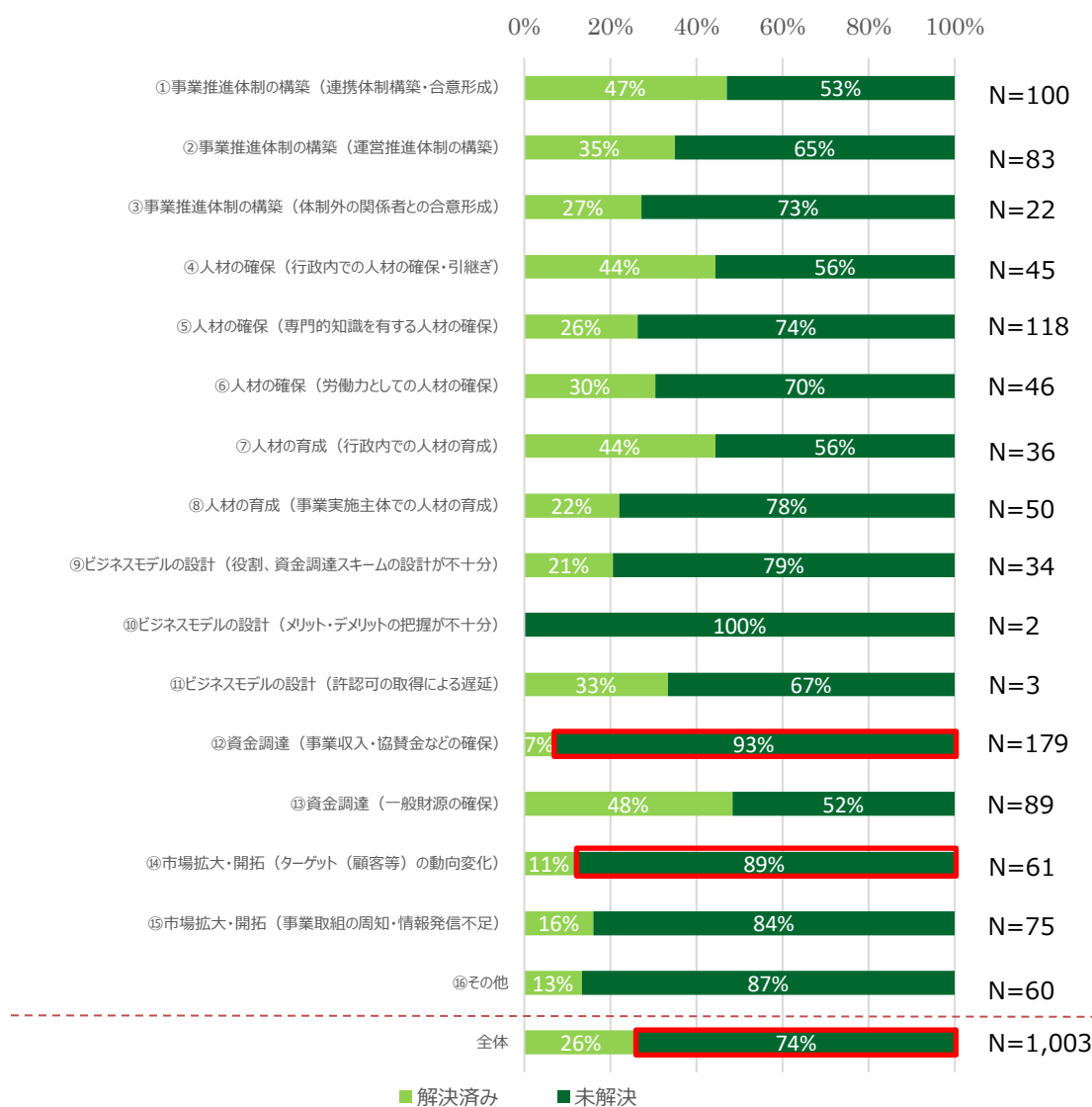


注) 供用未開始事業は試算から除く

## (ウ) 事業継続の課題

事業の継続に関する課題のうち、74%の課題が現状未解決となっている。なかでも、⑫資金調達（事業収入・協賛金などの確保）や⑭市場拡大・開拓（ターゲット（顧客等）の動向変化）の課題の未解決割合が大きかった。

図表 2-29 事業継続の課題（解決済・未解決）



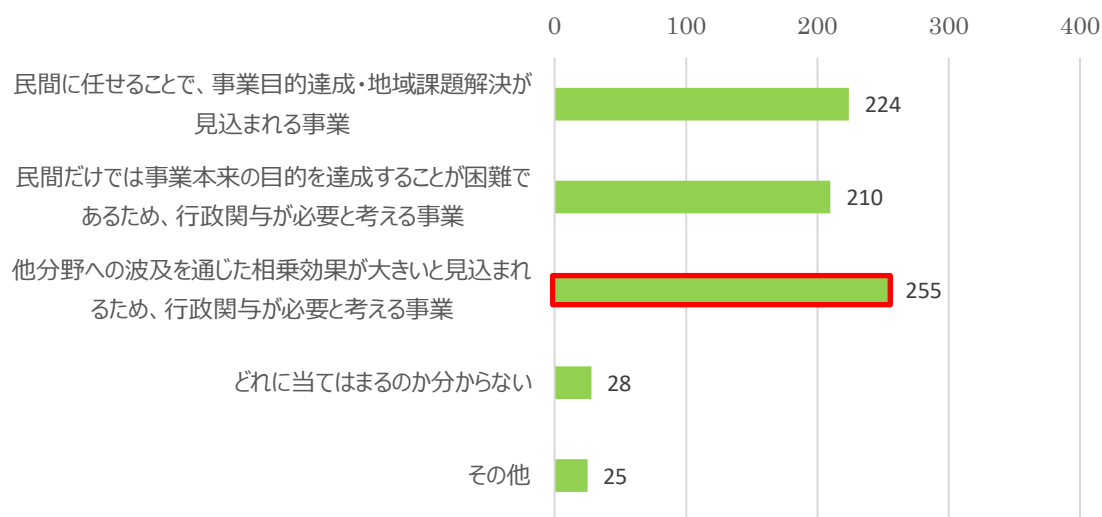
注) 供用未開始事業は試算から除く

### (エ) 行政関与の観点からみた事業の性質

行政関与の観点からみた事業の性質について調査したところ、「他分野への波及を通じた相乗効果が大きいと見込まれるため、行政関与が必要と考える事業」が最も多い結果となり、交付金事業がもたらす直接的な効果以外の影響も評価した上で、行政が事業を推進していることが示唆される。

なお、事業テーマ別でみると、例えば、観光分野においては、「民間に任せることで、事業目的の達成や地域課題の解決が見込まれる事業」が4割存在するなど、事業テーマごとの差異が確認できる。

図表 2-30 行政関与の観点からみた事業の性質（全体）



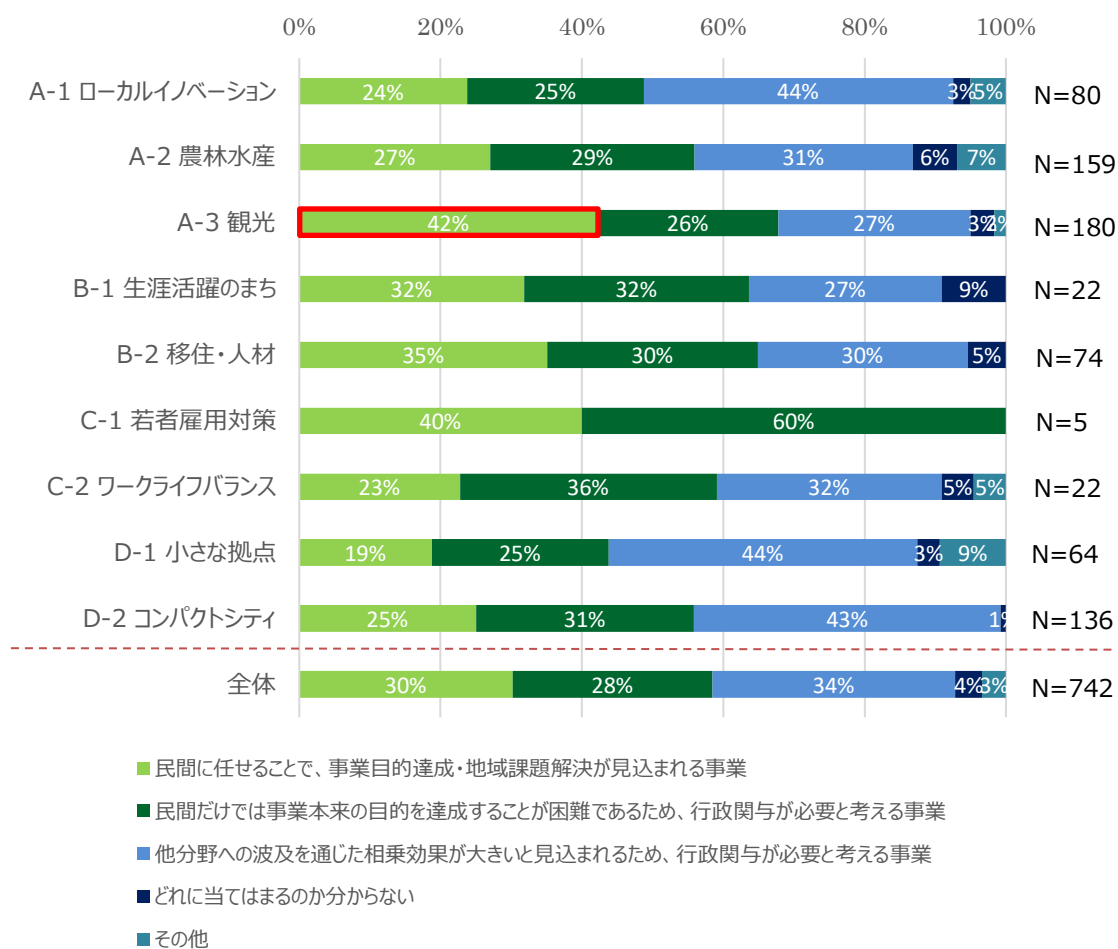
注1) 供用未開始事業は試算から除く

注2) 現時点における「自立化の見込みあり」と回答している事業が集計対象

注3) 複数選択可

注4) 上記の他に、事業の財源に係る観点から「事業収入だけでは施設を継続できないため行政の関与が必要と考える事業」と回答した事業が399件あった

図表 2-31 行政関与の観点からみた事業の性質（事業テーマ別）



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) 現時点における「自立化の見込みあり」と回答している事業が集計対象

注 3) 複数選択可

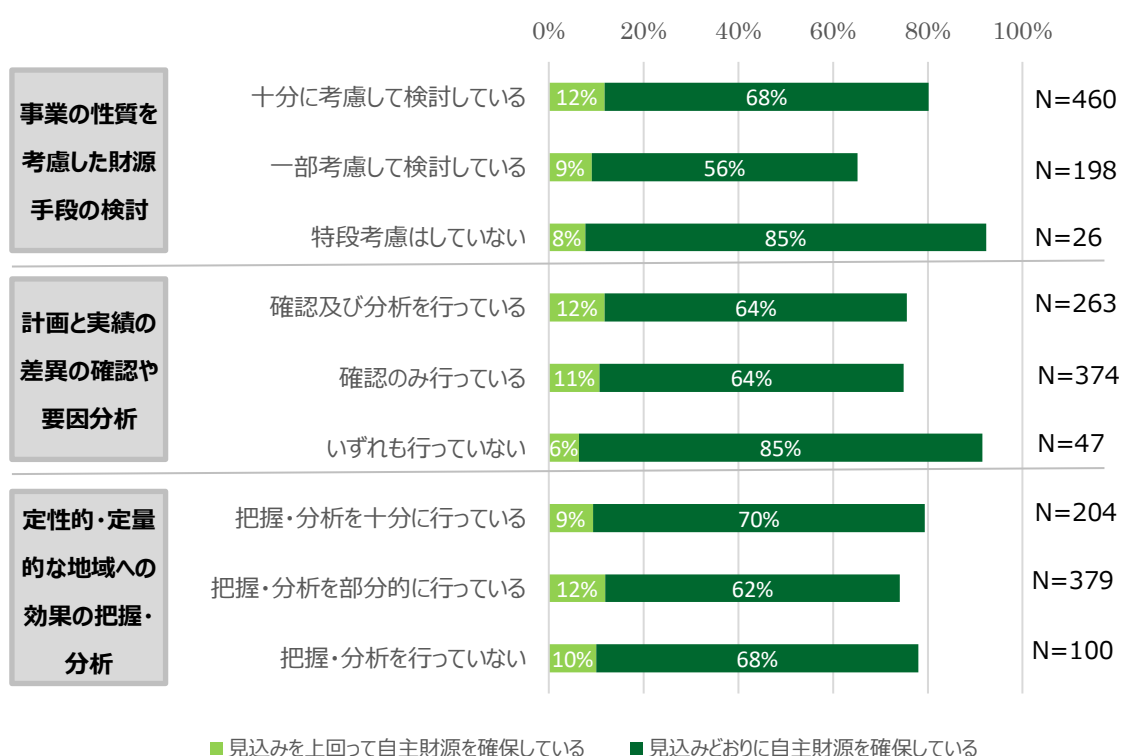
注 4) 「事業収入だけでは施設を継続できないため行政の関与が必要と考える事業」という財源に係る回答については、全体の母数から除いた上で、集計をしている

(オ) 事業の継続に向けた取組

事業に必要な財源を確保して事業を継続していくためには、財源、推進体制等に関する計画的な取組や検討を実施することが重要である。こうした観点から、財源調達に向けた取組や中長期的な計画の策定、人材の育成・確保等の取組状況について調査を行った。

「中長期的な戦略・計画の策定」及び「事業運営の軸となる人材の育成・確保」は、実施した事業ほど自主財源の確保状況が好調であることから、中長期的な計画の策定や自立化を見据えた人材育成の取組が重要であることが示唆される。

図表 2-32 交付金事業期間終了後を意識した財源調達に向けた取組

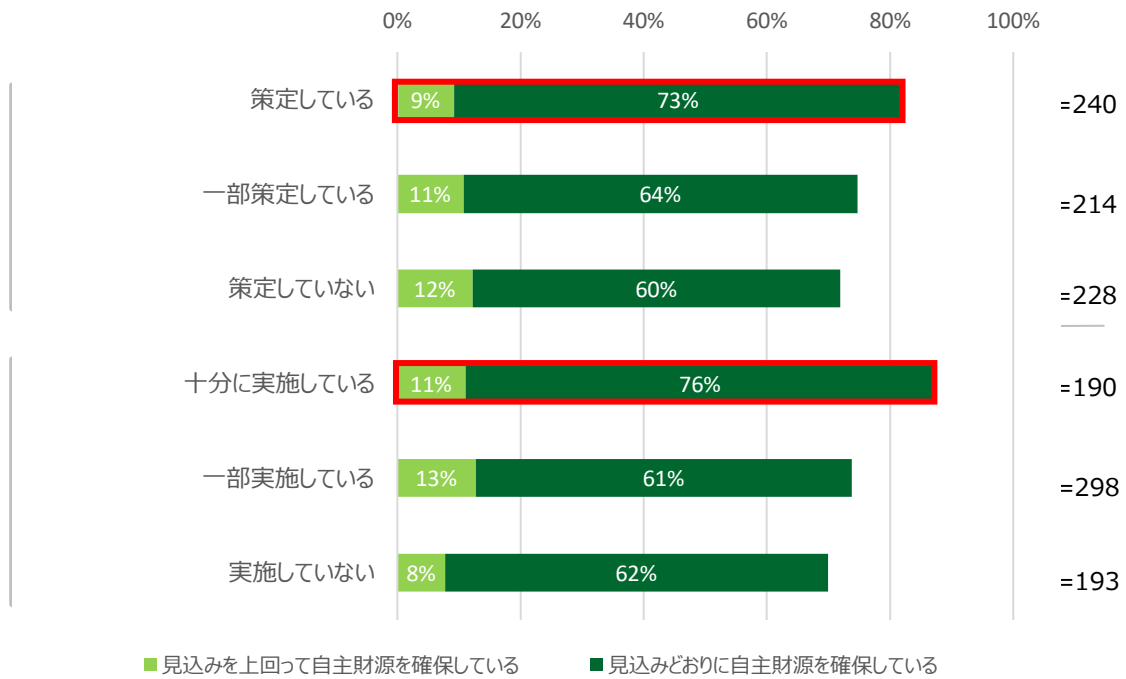


注1) 供用未開始事業は試算から除く

注2) 現時点における「自立化の見込みあり」と回答している事業を集計対象とした上で、自主財源の確保状況とのクロス集計を行っている

注3) 「自主財源を確保」とは、事業収入と一般財源を合わせて事業運営コストを賄っていることをいう

図表 2-33 事業の継続に向けた取組



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) 現時点における「自立化の見込みあり」と回答している事業を集計対象とした上で、自主財源の確保状況とのクロス集計を行っている

注 3) 「自主財源を確保」とは、事業収入と一般財源を合わせて事業運営コストを賄えていることをいう

参考

効果を高める要因 P. 109 (図表 4-3 KPI 達成事業割合・自主財源の確保状況 (戦略・計画の策定有無別))

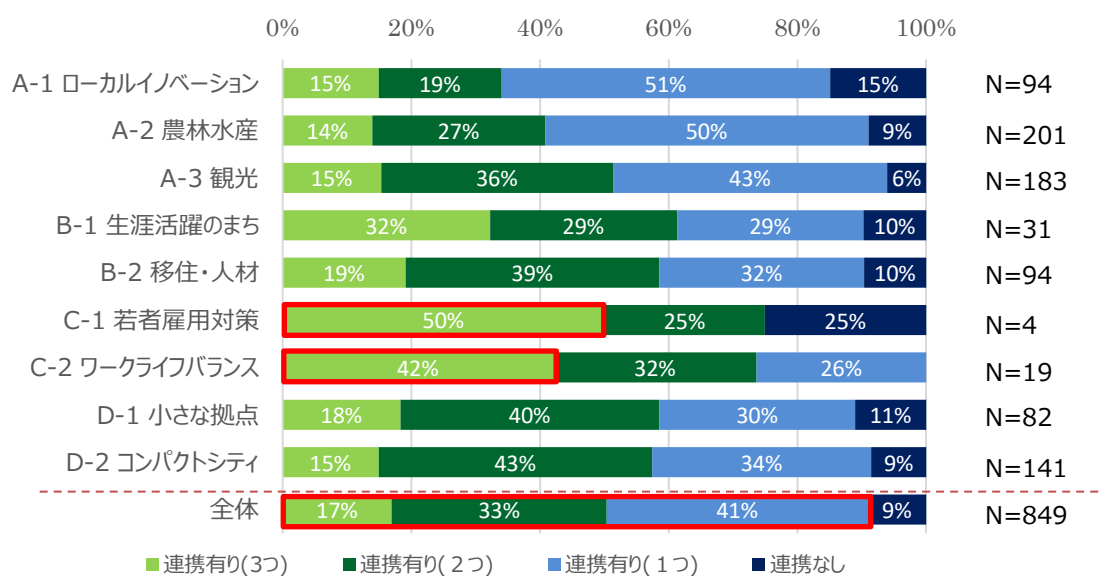
効果を高める要因 P. 110 (図表 4-4 KPI 達成事業割合・自主財源の確保状況 (人材の育成・確保の実施有無別))

## 5) 政策間連携の状況

### (ア) 事業テーマ別の傾向

90%以上の事業が、他分野と連携していると回答した。特に、若者雇用対策分野やワークライフバランス分野では、3 分野と連携している割合が多く、多角的な政策として展開されている。

図表 2-34 政策間連携の状況（事業テーマ別）



注 1) 連携先の事業テーマは最大 3 つまで回答可能

注 2) 供用未開始事業は試算から除く

### 参考

効果を高める要因 P. 113 (図表 4-7 KPI 達成事業割合・自立化の見込み (政策間連携の実施有無別))

長期的トレンド分析 P. 126 (図表 5-13 政策間連携の実施状況別の KPI 達成事業の割合)

連携先の事業テーマでは、観光分野が連携先として最も多く、全事業の約 32% が観光分野と連携している。

テーマ別では、「観光分野とコンパクトシティ分野」及び「観光分野と農林水産分野」の組み合わせが最も多い。

図表 2-35 連携対象の事業テーマ（※自テーマ間の連携は除く）

| 連携元             | 全体    | A-1 ローカルイノベーション | A-2 農林水産 | A-3 観光 | B-1 生涯活躍のまち | B-2 移住・人材 | C-1 若者雇用対策 | C-2 ワークライフバランス | D-1 小さな拠点 | D-2 コンパクトシティ |
|-----------------|-------|-----------------|----------|--------|-------------|-----------|------------|----------------|-----------|--------------|
| 連携先             | N=849 | N=94            | N=201    | N=183  | N=31        | N=94      | N=4        | N=19           | N=82      | N=141        |
| A-1 ローカルイノベーション | 7%    |                 | 12%      | 6%     | 8%          | 5%        | 0%         | 11%            | 10%       | 4%           |
| A-2 農林水産        | 20%   | 28%             |          | 48%    | 15%         | 18%       | 20%        | 15%            | 16%       | 18%          |
| A-3 観光          | 32%   | 11%             | 46%      |        | 31%         | 41%       | 20%        | 11%            | 36%       | 48%          |
| B-1 生涯活躍のまち     | 8%    | 3%              | 2%       | 6%     |             | 9%        | 0%         | 22%            | 13%       | 10%          |
| B-2 移住・人材       | 14%   | 38%             | 22%      | 18%    | 15%         |           | 40%        | 15%            | 11%       | 8%           |
| C-1 若者雇用対策      | 9%    | 8%              | 14%      | 8%     | 8%          | 16%       |            | 15%            | 6%        | 5%           |
| C-2 ワークライフバランス  | 3%    | 7%              | 1%       | 4%     | 10%         | 8%        | 20%        |                | 4%        | 0%           |
| D-1 小さな拠点       | 5%    | 3%              | 2%       | 9%     | 5%          | 3%        | 0%         | 11%            |           | 7%           |
| D-2 コンパクトシティ    | 2%    | 3%              | 1%       | 3%     | 8%          | 1%        | 0%         | 0%             | 4%        |              |

注 1) 連携先の事業テーマごとに、連携先として回答された事業テーマ別の事業数（自テーマを除く）を集計し、連携元の事業テーマ数で除した結果を表示

注 2) 「全体」列については、連携先として回答された事業テーマ別の事業数（自テーマを除く）を集計し、事業総数で除した結果を表示

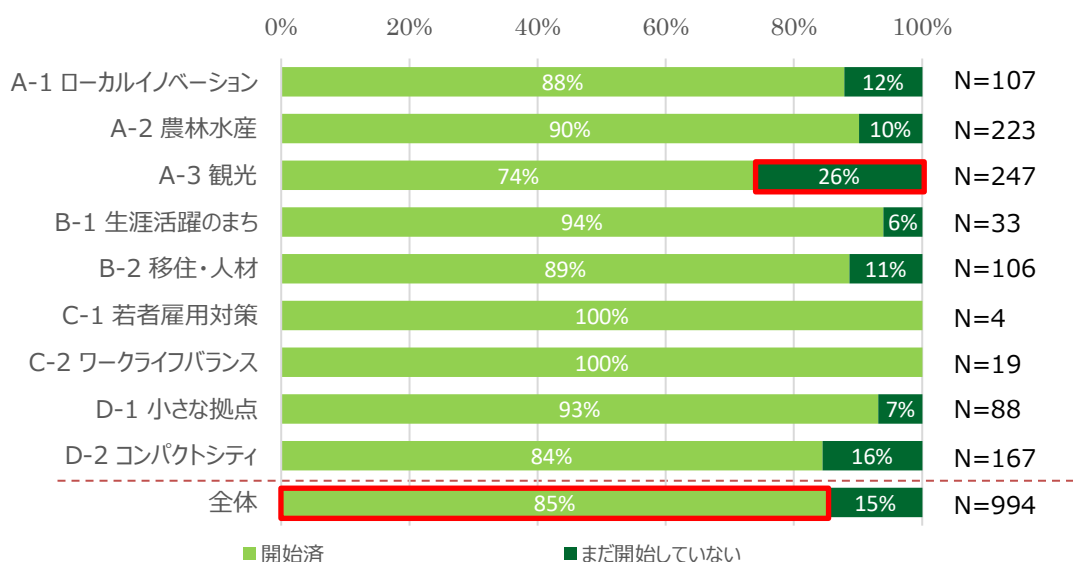
注 3) 連携先の事業テーマは最大 3 つまで回答可能

## 6) 供用開始時期

### (ア) 事業テーマ別の傾向

令和5年度末時点で全体の85%が供用を開始している。観光分野では、供用が開始していない事業の割合が比較的高い。

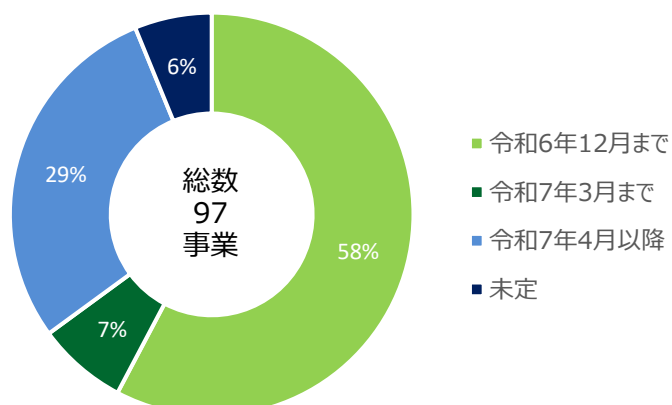
図表 2-36 供用開始状況（事業テーマ別）



注) 令和5年度末時点の供用開始状況について整理している

事業実施報告時点で供用を開始していない事業について、供用開始予定時期の内訳は以下の通り。約7割の事業が令和6年度内の供用開始を予定している。

図表 2-37 供用を開始していない事業の供用開始予定時期

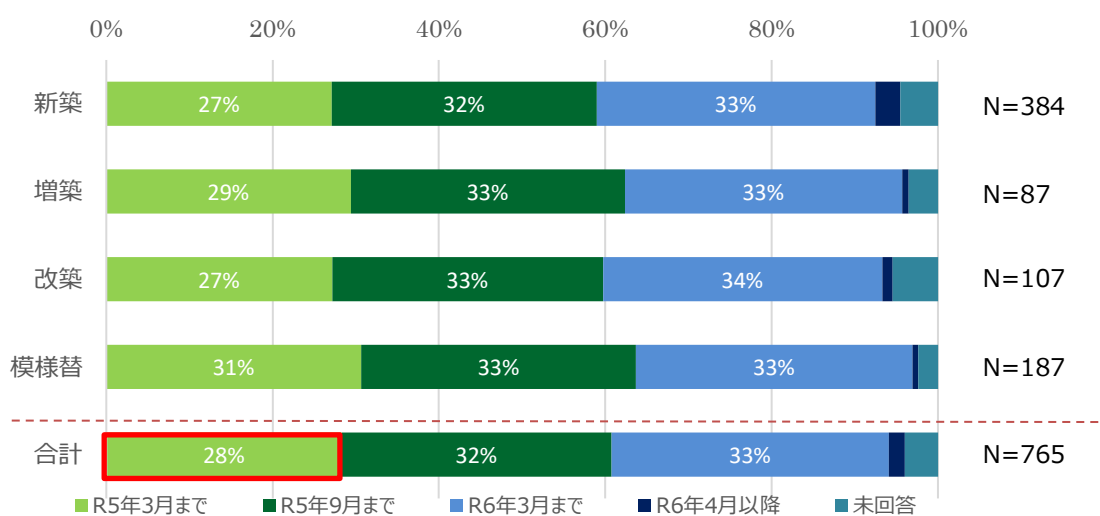


(イ) 施設の建設区分別の傾向

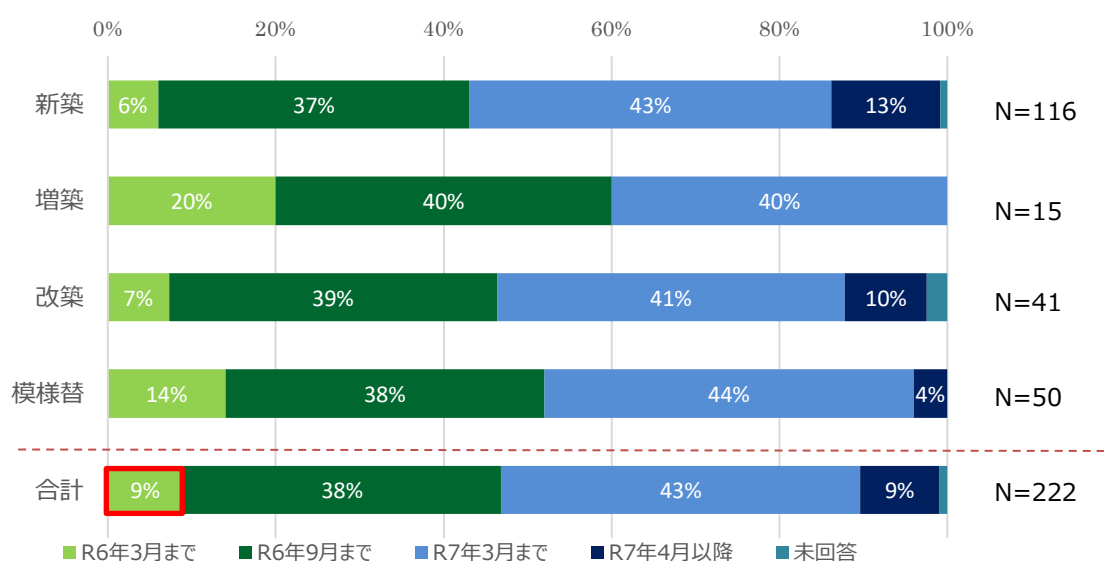
令和 4 年度以前の予算活用事業について、令和 4 年度までに供用開始した事業は 28%。建設区分別では、増築及び模様替えにおいてその割合がやや高い。また、令和 5 年度予算活用事業をみると、令和 5 年度内に供用開始した事業は 9%。建設区分別では、増築及び模様替えにおいてその割合が高い。

図表 2-38 供用開始時期の状況（施設の建設区分別）

(R4 年度以前実施事業)



(R5 年度実施事業)



## 2.2.3 事業の結果

拠点整備タイプは、交付金を活用して地方創生の拠点となる施設を整備するものであり、交付金の活用年度は主として施設の建設・改修等が行われている。そのため大半の事業において、事業のアウトプットやアウトカム等の効果が発現するのは、施設が本格的に供用される交付金活用年度の翌年度以降となっている。本調査の対象期間である令和 5 年度事業については、令和 6 年度以降の施設の供用の結果を踏まえて変化する可能性があることに留意が必要である。

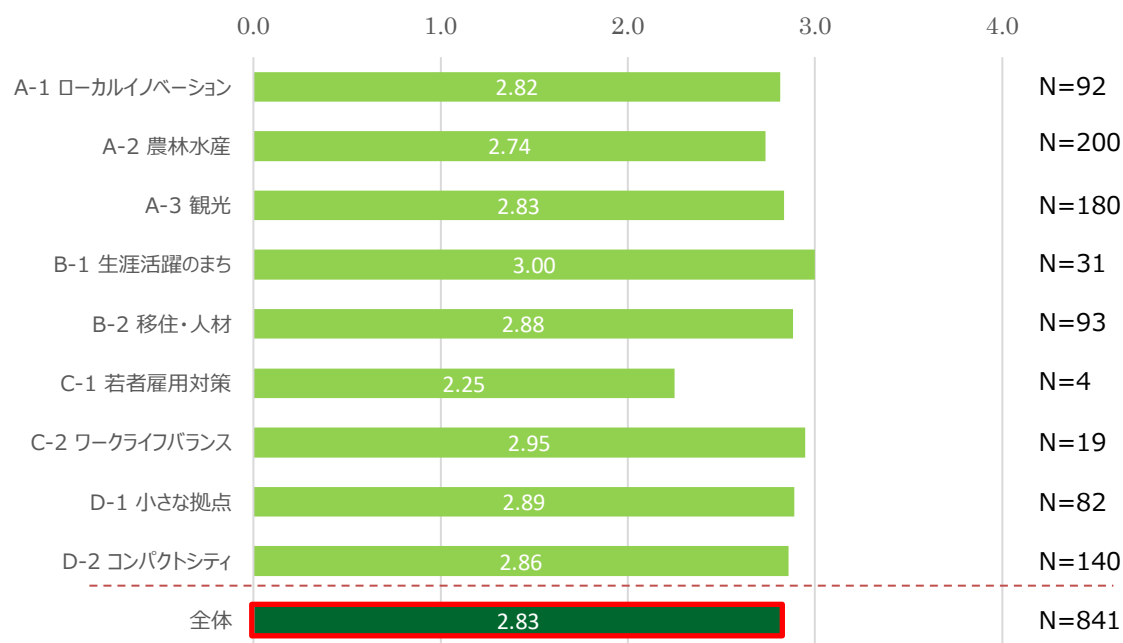
### 1) KPI の実績

#### (ア) 事業テーマ別の傾向

##### ① KPI の設定状況

1 事業当たりの KPI 数は平均 2.83 個であった。事業テーマ別に比較すると、若者雇用対策分野は平均 2.25 個と少なくなっているが、それ以外の分野では、1 事業当たりの KPI 数にテーマ別の大きな差異は見られない。

図表 2-39 1 事業当たりの KPI 数（事業テーマ別）

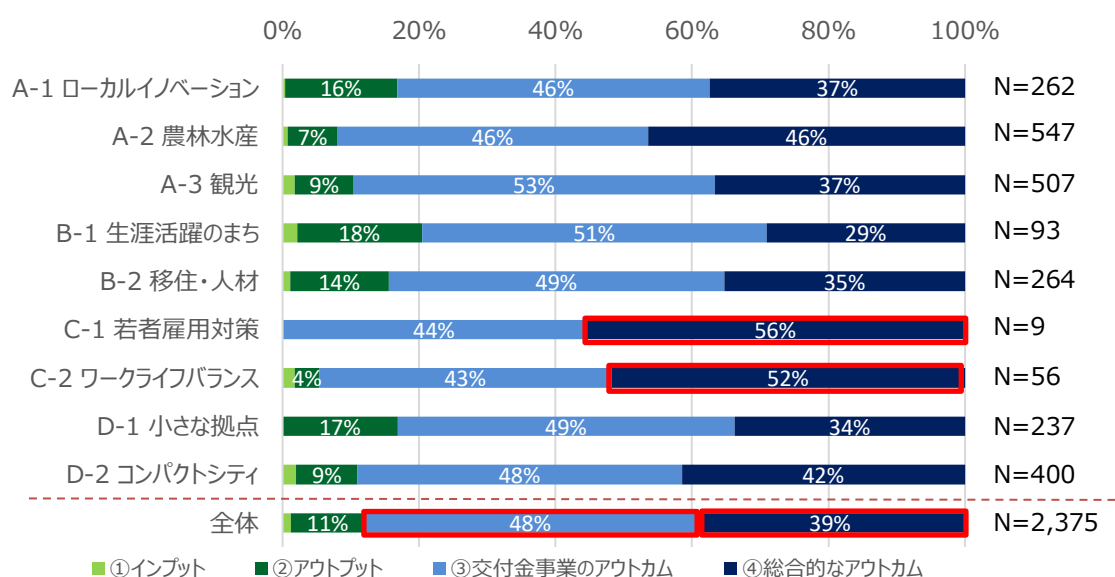


注 1) 供用未開始事業は試算から除く  
 注 2) 共同（連携）事業は試算から除く  
 注 3) KPI は最低 1 つ、最大 4 つ設定可能

## ② KPI の分類

KPI 全体の 50%弱が③交付金事業のアウトカムであり、④総合的なアウトカムと合わせると、全体の約 90%がアウトカム指標となっている。テーマ別では、若者雇用対策分野やワークライフバランス分野における④総合的なアウトカムの割合が高く、50%以上を占める。

図表 2-40 KPI の分類（事業テーマ別）



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) 共同（連携）事業は試算から除く

注 3) KPI は最低 1 つ、最大 4 つ設定可能

注 4) 「KPI の分類」が未回答の KPI は試算から除く

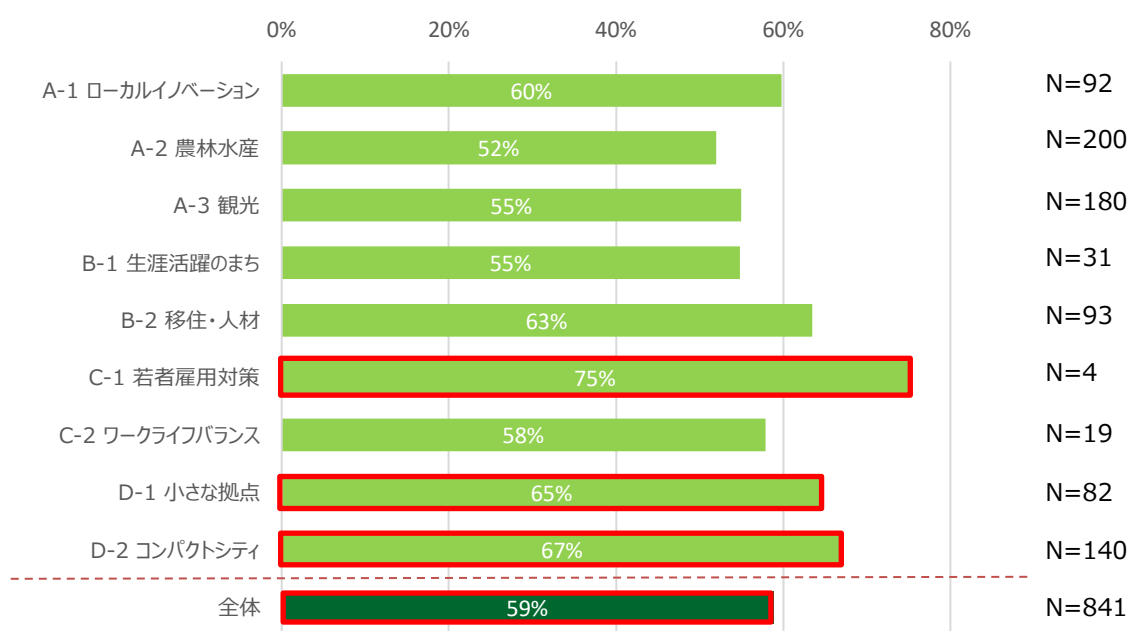
参考 長期的トレンド分析 P. 122（図表 5-9 設定する KPI 分類の割合（全体））

③ KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合

少なくとも一つの KPI 目標を達成した事業は、全体の 59%であった。

テーマ別では、若者雇用対策分野で達成率が最も高く、次いで、コンパクトシティ分野、小さな拠点分野が高い。一方で、農林水産分野の達成率は 52%にとどまる。

図表 2-41 KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合（事業テーマ別）



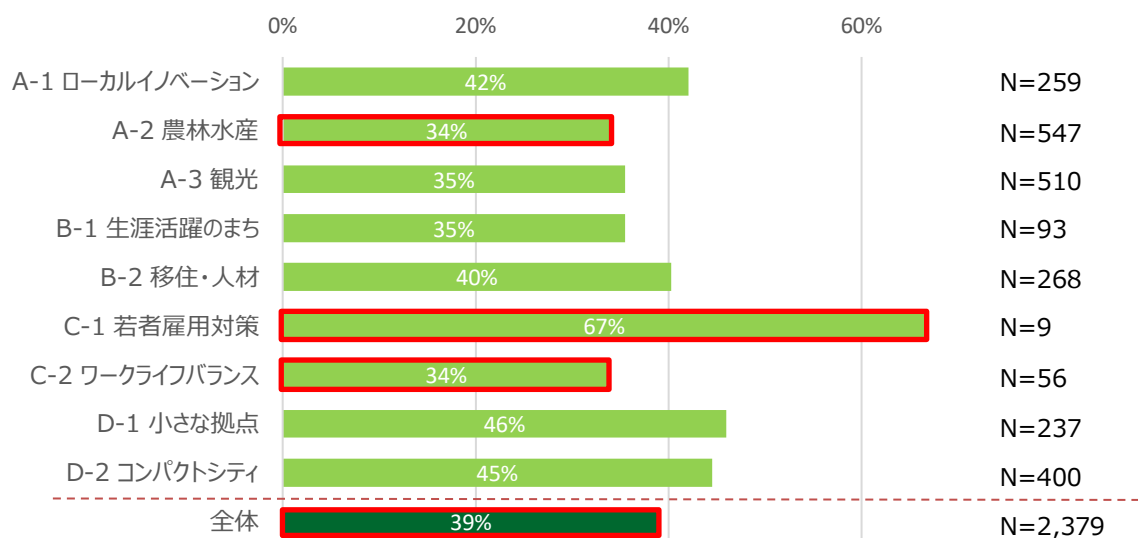
注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) 共同（連携）事業は試算から除く

④ 目標値に達した KPI の割合

目標値に達した KPI は全体の 39%。テーマ別では、若者雇用対策の分野で達成率が高い。一方で、農林水産分野やワークライフバランス分野では達成率が低い。

図表 2-42 目標値に達した KPI の割合（事業テーマ別）



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) KPI は最低 1 つ、最大 4 つ設定可能

注 3) 「KPI の名称」が未回答の KPI は試算から除く

参考

長期的トレンド P. 120 (図表 5-6 目標値に達した KPI の割合 (全体))

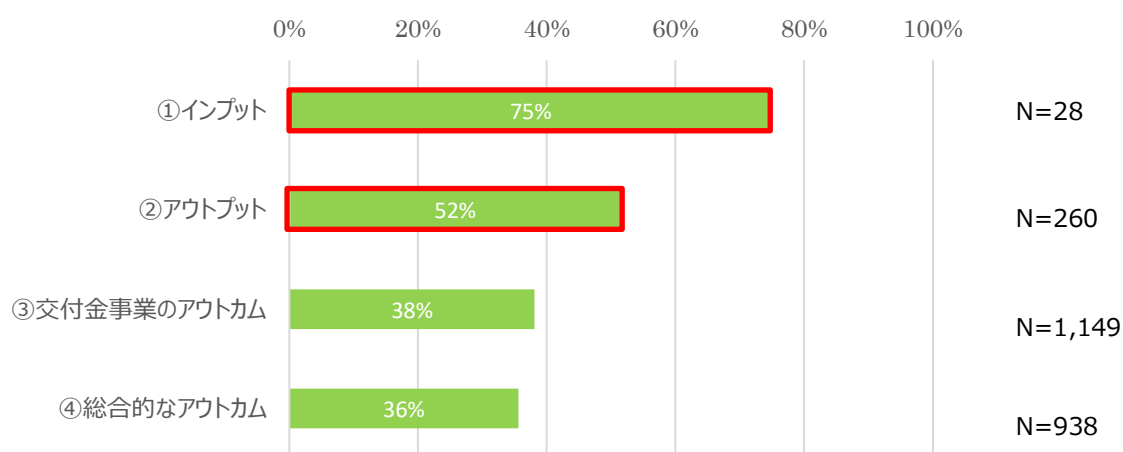
長期的トレンド P. 120 (図表 5-7 目標値に達した KPI の割合 (事業テーマ別・の統合結果))

ここで、KPI の分類別の目標達成割合を見てみると、①インプットが 75%、②アウトプットが 52%となっている一方で、③交付金事業のアウトカム及び④総合的なアウトカムの KPI 目標達成割合は低い結果となっている。

総合的なアウトカムは、交付金事業以外の要因にも影響を受けるためその他の KPI に比べて達成率が低いものと考えられる。

なお、KPI の設定においては、ガイドラインで示しているように、「客観的な成果」を表す指標であることがポイントであり、交付金を活用した取組の活用を示す②アウトプットと、交付金を活用した取組によって得られる成果・効果を客観的に示す③交付金事業のアウトカムの両方が設定されている状態が望ましい。

図表 2-43 KPI の分類別の目標達成状況



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) 「KPI の分類」が未回答の KPI は試算から除く

参考

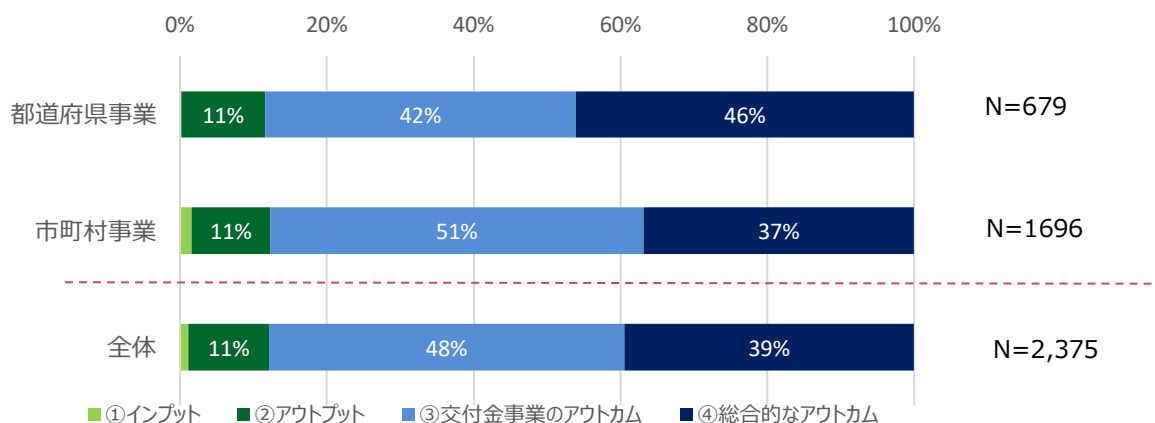
長期的トレンド分析 P.121 (図表 5-8 目標値に達した KPI の割合 (事業テーマ別の KPI 分類・の統合結果))

(イ) 実施主体別の傾向

① KPI の分類

実施主体別で比較すると、都道府県事業は総合的アウトカムの設定割合が高く、市町村事業は交付金事業のアウトカムの設定割合が高くなっている。

図表 2-44 KPI の分類（実施主体別）



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

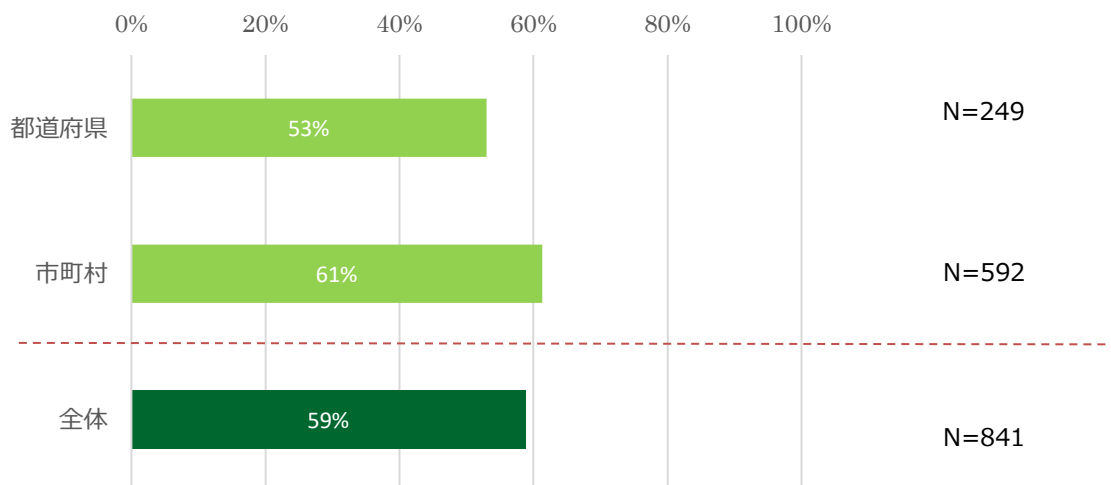
注 2) KPI は最低 1 つ、最大 4 つ設定可能

注 3) 「KPI の分類」が未回答の KPI は試算から除く

② KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合

KPI 目標を達成した事業の割合は、市町村事業の方が、都道府県事業に比べて、8%高い。

図表 2-45 KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合（実施主体別）



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

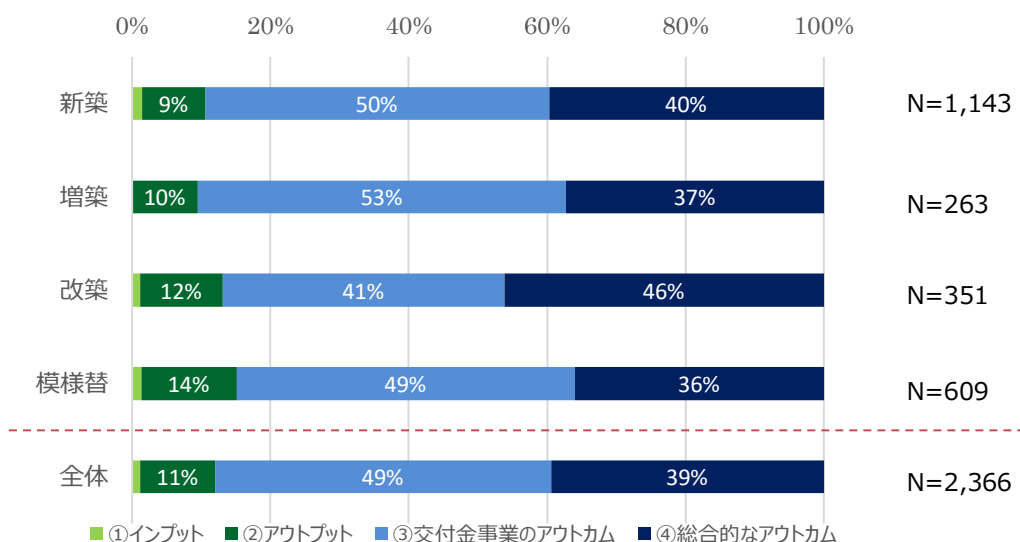
注 2) 共同（連携）事業は試算から除く

(ウ) 施設の建設区分別の傾向

① KPI の分類

施設の建設区分によって、KPI の分類に大きな差異は見られない。

図表 2-46 KPI の分類（施設の建設区分別）



注 1) 「建設区分」が未回答の事業は試算から除く

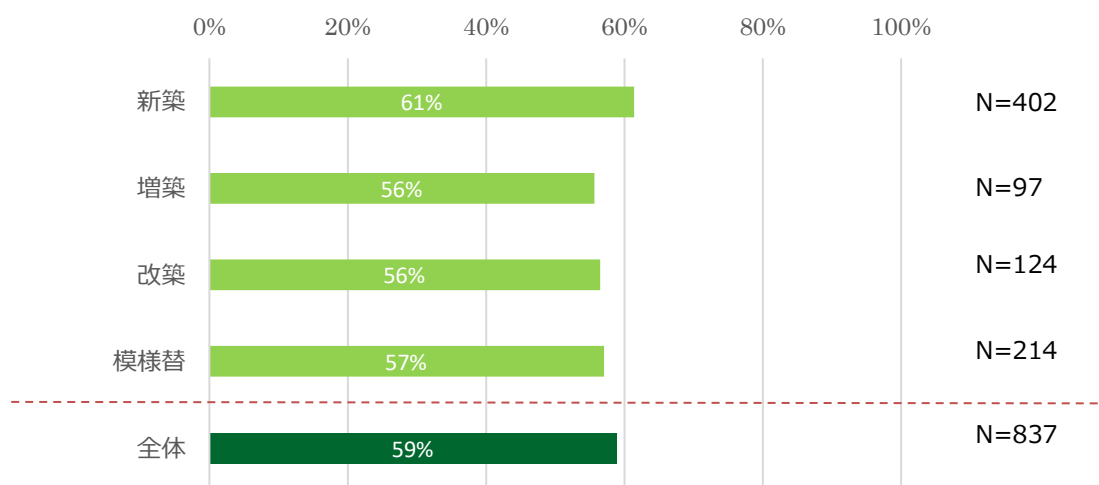
注 2) 供用未開始事業は試算から除く

注 3) 「KPI の分類」が未回答の KPI は試算から除く

② KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合

施設の建設区分によって、KPI 目標を達成した事業の割合に大きな差異は見られない。

図表 2-47 KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合（施設の建設区分別）



注 1) 「建設区分」が未回答の事業は試算から除く

注 2) 供用未開始事業は試算から除く

注 3) 共同（連携）事業は試算から除く

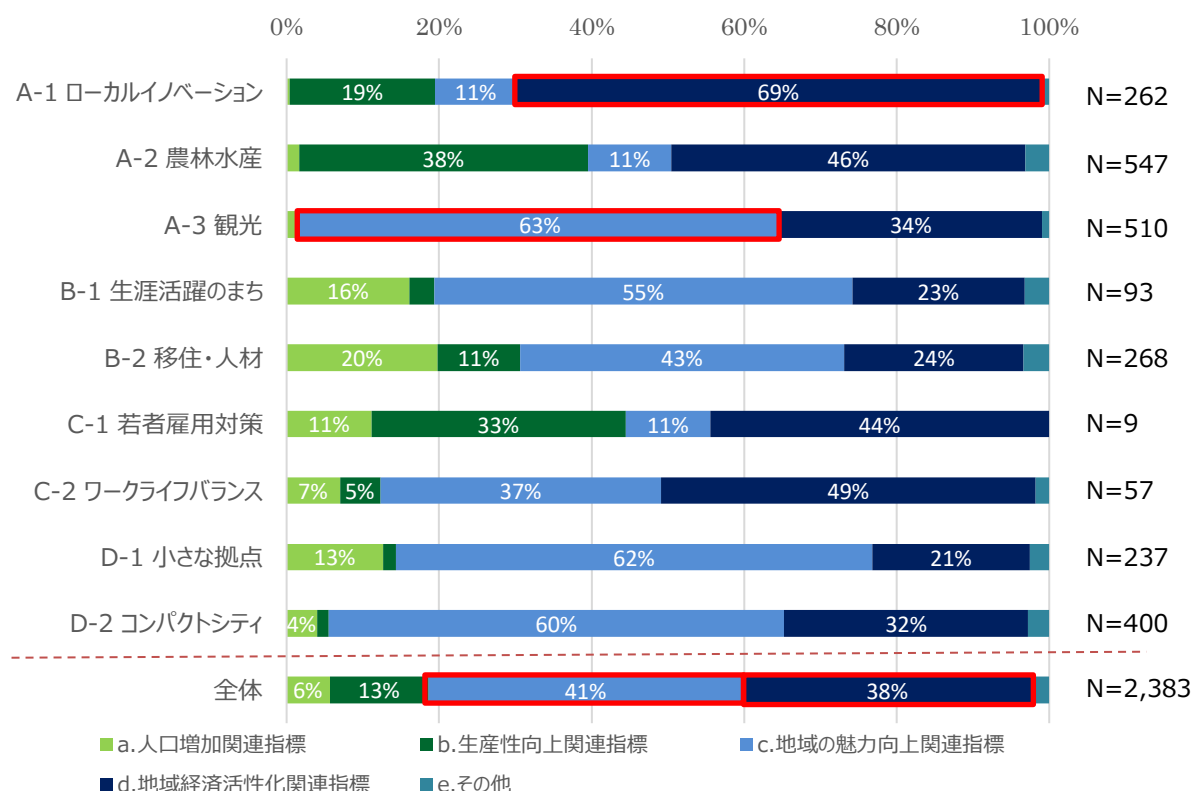
(エ) KPI の区分と課題との関係

① 分野ごとの KPI の区分

KPI の分類について、地域の魅力向上関連の指標を設定している割合は 41%と最も多く、次に地域経済活性化関連の指標が 38%であった。

地域の魅力向上関連の指標は、観光分野で多く、地域経済活性化関連の指標は、ローカルイノベーション分野で多かった。

図表 2-48 事業テーマ別設定 KPI の分類



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

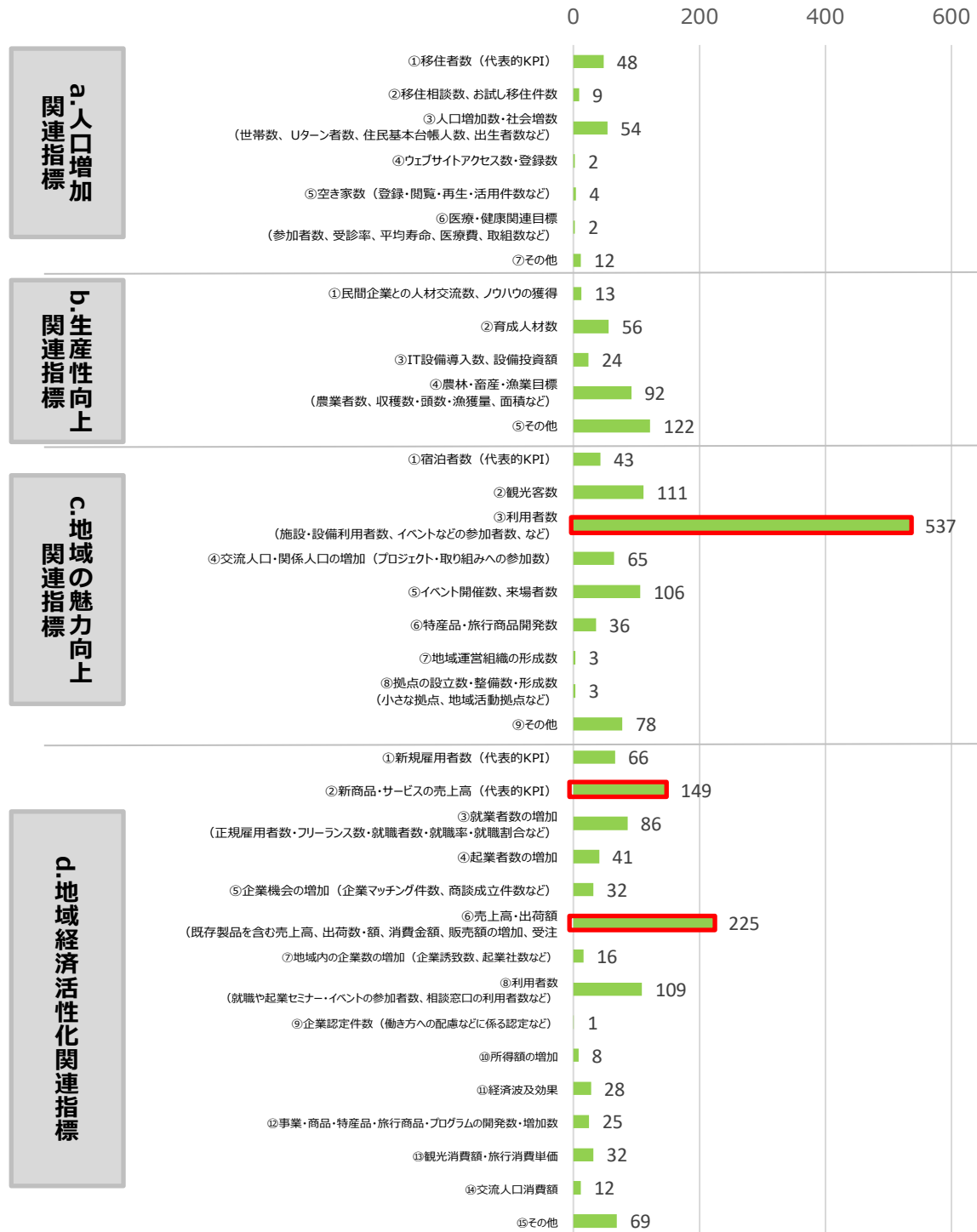
注 2) 「KPI の区分 (指標)」が未回答の KPI は試算から除く

参考

長期的トレンド分析 P.123 (図表 5-10 設定する KPI の区分 (全体))

設定される KPI としては、利用者数（施設・設備利用者数など）が最も多く、売上高・出荷額（既存製品を含む売上高など）、新商品・サービス売上高（代表的 KPI）が続く。

図表 2-49 KPI の分類



注）供用未開始事業は試算から除く

## ② KPI の達成率と課題・取組との関係

課題・取組の分類別に KPI 目標の達成率をみると、課題として「②転出者の増加」を挙げた事業では KPI 達成率が高く、「③出生者数の減少」では KPI の達成率が低くなっている。

課題と取組の組み合わせの傾向をみると、KPI 達成率が高い組み合わせと低い組み合わせが存在する。

図表 2-50 KPI 目標を達成した事業の割合（「地方公共団体の課題・取組」の分類別）

|                     |       | 全体と比べて10ポイント以上高い項目 |       |           |          |           |               |           |          |        |           | 全体と比べて10ポイント以上低い項目 |              |        |           |            |                  |             |               |         |  |
|---------------------|-------|--------------------|-------|-----------|----------|-----------|---------------|-----------|----------|--------|-----------|--------------------|--------------|--------|-----------|------------|------------------|-------------|---------------|---------|--|
| 自治体の取組              | 全体    | a.人口を増加させる取組       |       |           |          |           | b.生産性を向上させる取組 |           |          |        |           | c.地域の魅力を向上させる取組    |              |        |           |            | d.地域の経済を活性化させる取組 |             |               |         |  |
|                     |       | ①移住促進              | ②転出防止 | ③子育て・介護支援 | ④施設・設備整備 | ⑤民間ノウハウ活用 | ⑥人材育成         | ⑦情報システム導入 | ⑧設備導入・整備 | ⑨働き方改革 | ⑩高齢者の雇用促進 | ⑪地域ブランド化           | ⑫地域資源の活用・再注目 | ⑬地域間連携 | ⑭拠点の導入・整備 | ⑮道産・知の継承支援 | ⑯観光客の受入体制整備      | ⑰地場産業の発展・改善 | ⑱製品・サービス開発・販売 | ⑲産業創出支援 |  |
| 自治体の課題              | N=835 | N=31               | N=14  | N=17      | N=11     | N=2       | N=31          | N=11      | N=100    | N=4    | N=1       | N=37               | N=0          | N=2    | N=399     | N=4        | N=17             | N=63        | N=47          | N=44    |  |
| ①高齢化の進行             | 58%   | 100%               | 100%  | 100%      | 50%      | -         | -             | 100%      | -        | -      | 0%        | -                  | -            | -      | 40%       | -          | -                | -           | -             | -       |  |
| ②転出者の増加             | 67%   | 75%                | 57%   | -         | 80%      | 100%      | -             | -         | -        | -      | -         | -                  | -            | 0%     | 65%       | -          | -                | -           | 0%            | 100%    |  |
| ③出生者数の減少            | 50%   | 0%                 | -     | 60%       | -        | -         | -             | -         | -        | -      | -         | -                  | -            | -      | 50%       | -          | -                | -           | -             | -       |  |
| ④結婚・出産・子育て等のハートルの高さ | 56%   | 100%               | 100%  | 50%       | -        | -         | -             | -         | -        | 50%    | -         | -                  | -            | -      | 50%       | -          | -                | -           | -             | -       |  |
| ⑤産業活力の低下            | 57%   | 0%                 | -     | -         | -        | 100%      | 45%           | 60%       | 59%      | -      | -         | 46%                | -            | -      | 62%       | -          | 100%             | 57%         | 44%           | 67%     |  |
| ⑥労働力の低下             | 56%   | 100%               | 100%  | -         | 100%     | -         | 33%           | 0%        | 67%      | 0%     | -         | -                  | -            | -      | 67%       | -          | -                | 100%        | -             | 0%      |  |
| ⑦雇用機会の減少            | 55%   | 67%                | 50%   | -         | -        | -         | -             | -         | 0%       | 100%   | -         | 50%                | -            | 100%   | 33%       | -          | -                | 100%        | 50%           | 50%     |  |
| ⑧担い手不足              | 57%   | 50%                | 100%  | -         | 0%       | -         | 38%           | 50%       | 100%     | -      | -         | 67%                | -            | -      | 60%       | -          | -                | 75%         | -             | 0%      |  |
| ⑨魅力あるインフラ等の不足       | 60%   | -                  | -     | -         | 0%       | -         | -             | -         | 100%     | -      | -         | 100%               | -            | -      | 57%       | 100%       | 100%             | 100%        | -             | 67%     |  |
| ⑩地方の魅力の低下           | 59%   | 100%               | 100%  | 100%      | 100%     | -         | 100%          | -         | -        | -      | -         | 47%                | -            | -      | 58%       | 100%       | 50%              | 80%         | 100%          | 100%    |  |
| 全体                  | 59%   | 71%                | 71%   | 59%       | 64%      | 100%      | 42%           | 45%       | 62%      | 50%    | 0%        | 51%                | -            | 50%    | 58%       | 100%       | 65%              | 63%         | 45%           | 64%     |  |

注1) 「地方公共団体の課題」及び「地方公共団体の取組」が未回答の事業は試算から除く

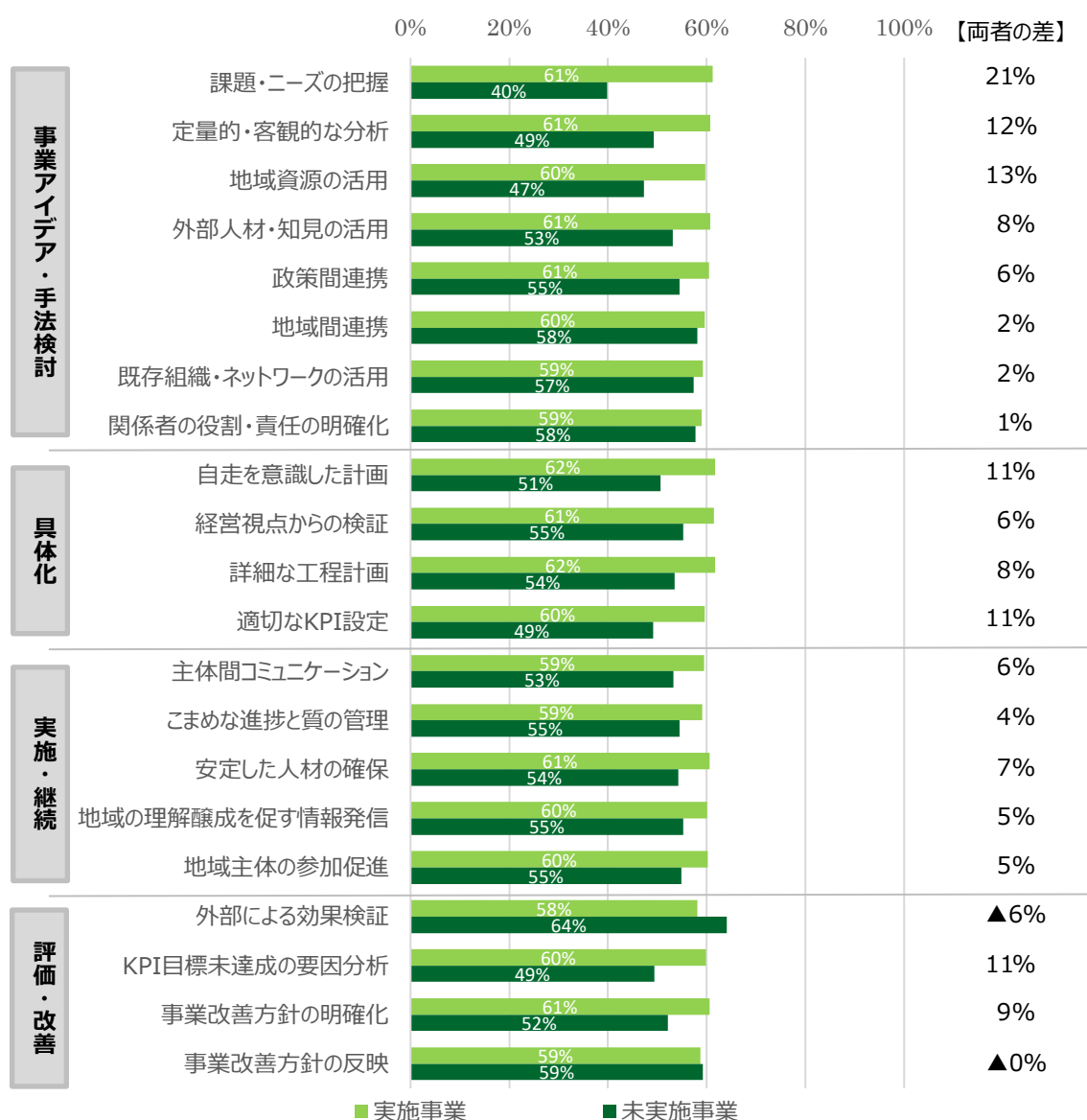
注2) 供用未開始事業は試算から除く

(オ) 「取り組むべきこと」との関係性

ガイドラインで定められたそれぞれの「取り組むべきこと」について、これを実施した事業と実施しなかった事業とで KPI 目標の達成に違いが生じるかを分析した。その結果、21 項目中 19 項目について、これを実施した事業の方が KPI 目標の達成割合が高い結果となった。

特に、「課題・ニーズの把握」、「定量的・客観的な分析」、「地域資源の活用」、「自走を意識した計画」、「適切な KPI 設定」及び「KPI 目標未達成の要因分析」といった項目は、実施有無によって KPI 目標を達成した事業の割合に大きな差が生じており、当該項目の実施が、KPI 目標の達成に貢献している可能性が考えられる。

図表 2-51 KPI 目標を達成した事業の割合（「取り組むべきこと」の実施有無別）

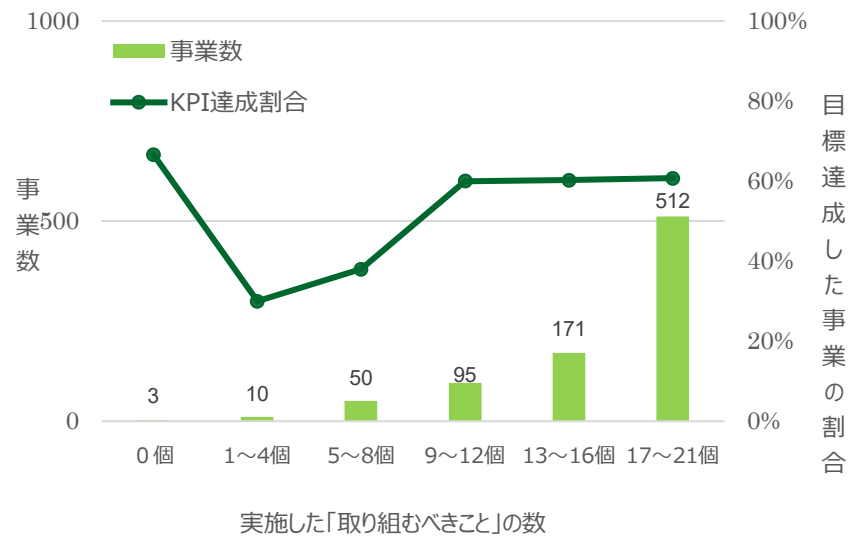


注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) 共同（連携）事業は試算から除く

実施した「取り組むべきこと」の項目数別の KPI 目標を達成した事業の割合を見たところ、「取り組むべきこと」の実施数が多いほど KPI 目標を達成した事業の割合が高い傾向がみられた。

図表 2-52 KPI 目標を達成した事業の割合（「取り組むべきこと」の実施数別）

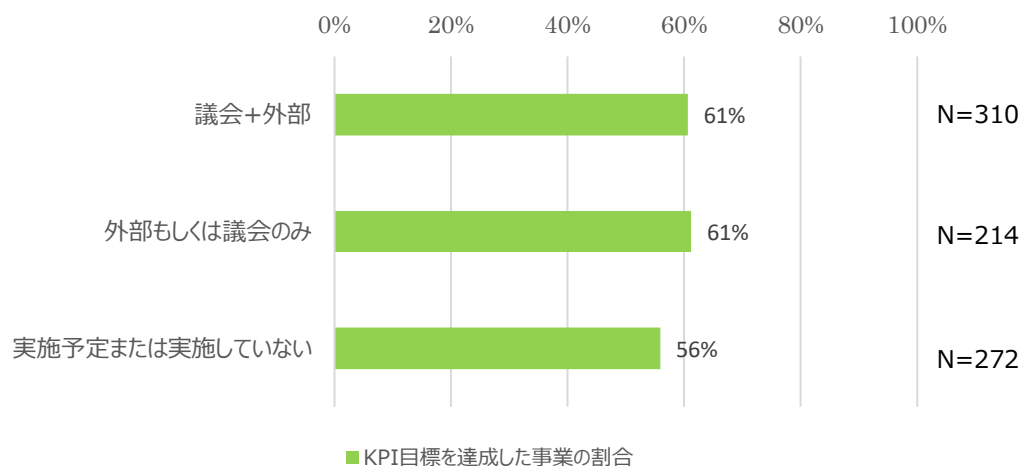


注1) 供用未開始事業は試算から除く  
 注2) 共同（連携）事業は試算から除く

(カ) 効果検証の状況との関係性

外部や議会による効果検証を実施している事業は、効果検証を実施予定または実施していない事業と比べて、KPI 目標を達成した割合が比較的高くなっている。

図表 2-53 KPI 目標を達成した事業の割合（効果検証の状況別）



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) 共同（連携）事業は試算から除く

注 3) 事業実施報告を年度途中に実施している都合、回答時点では効果検証を「実施予定」と回答する事業が多くなる点に留意

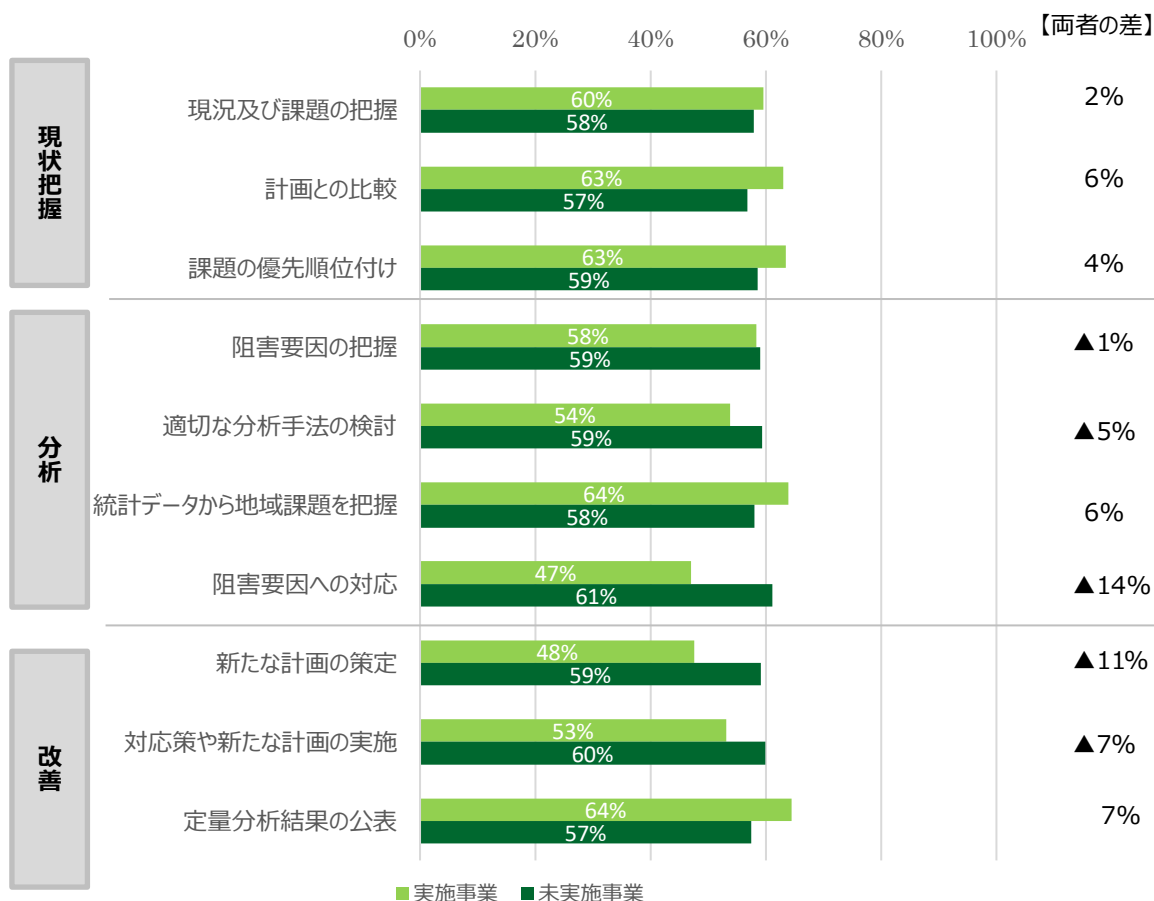
参考

効果を高める要因 P.114（図表 4-8 KPI 達成事業割合・自立化の見込み（効果検証の実施有無別））

長期的トレンド分析 P.127（図表 5-14 効果検証の実施状況別の KPI 達成事業の割合）

各効果検証のプロセスの実施有無別に KPI 目標の達成割合をみると、特に、「計画との比較」や「統計データからの地域課題の把握」、「定量分析結果の公表」を実施している事業は、未実施の事業と比べて、KPI の達成率が若干高く、実施の有無が達成率に影響していると考えられる。

図表 2-54 KPI 目標を達成した事業の割合（各効果検証のプロセス別）

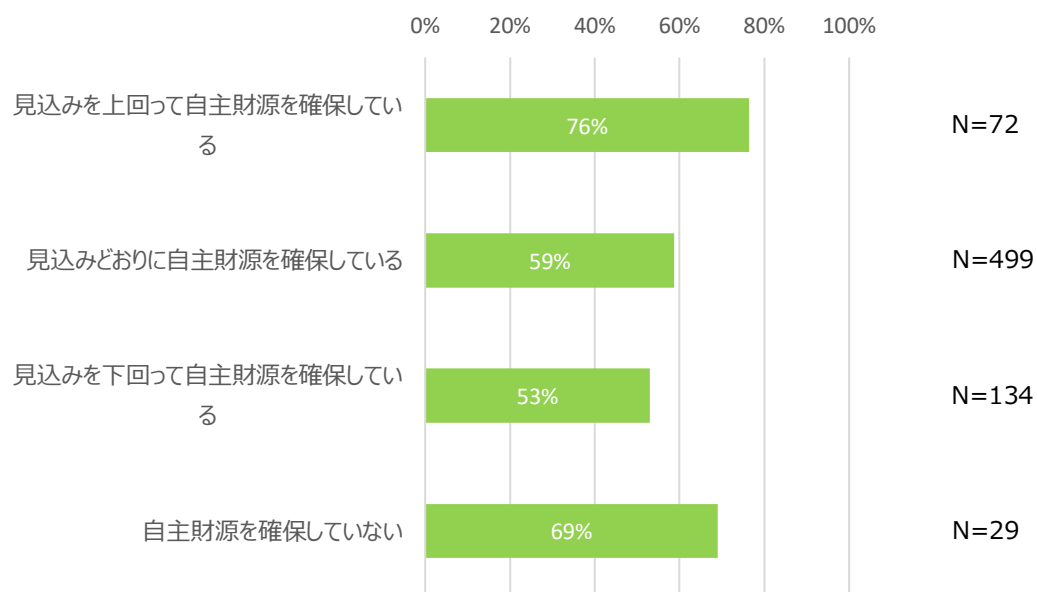


注 1) 供用未開始事業は試算から除く  
 注 2) 共同（連携）事業は試算から除く

(キ) 財源確保の進捗との関係性

見込みを上回って自主財源を確保している事業は、KPI 目標を達成している事業の割合が大きい。

図表 2-55 KPI 目標を達成した事業の割合（財源確保の進捗状況別）



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) 「自主財源を確保」とは、事業収入と一般財源を合わせて事業運営コストを賄えていることをいう

注 3) 現時点における「自立化の見込みあり」と回答している事業が集計対象

注 4) 共同（連携）事業は試算から除く

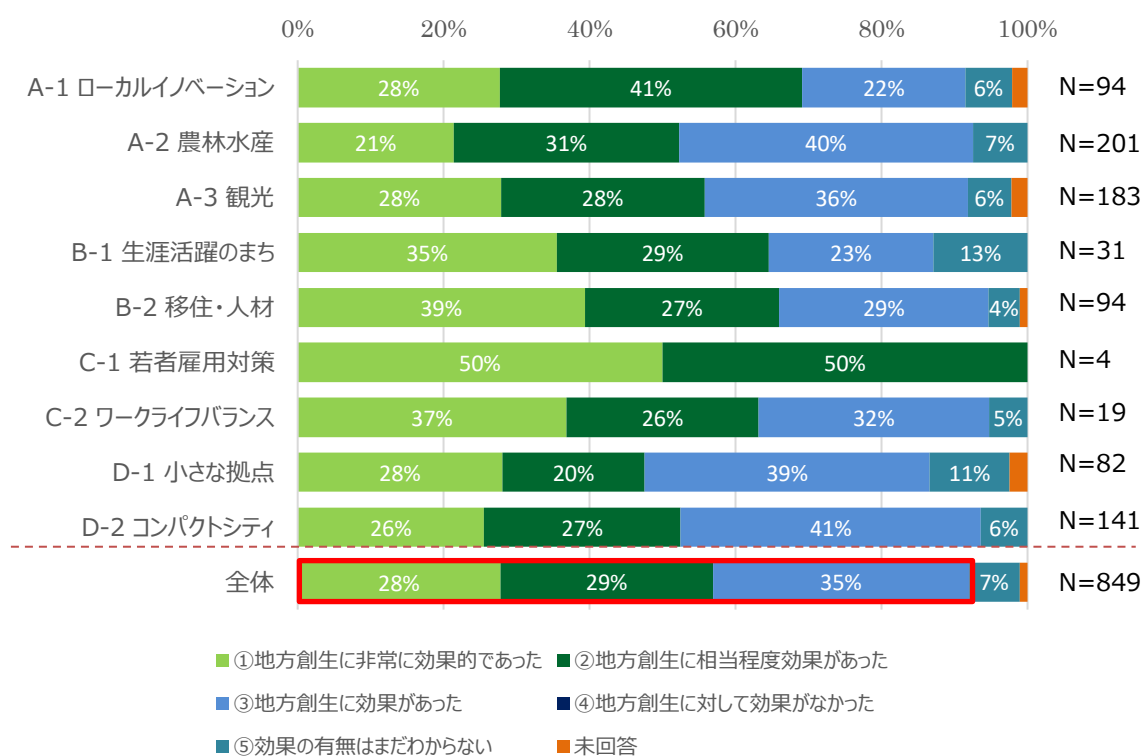
## 2) 地方創生への効果認識

### (ア) 事業テーマ別の傾向

全体の約 90%が地方創生に効果があったと回答し、地方創生に非常に効果的であったと認識された事業は全体の 28%である。

一方で、全体の 7%の事業が効果の有無はまだわからないと回答している。

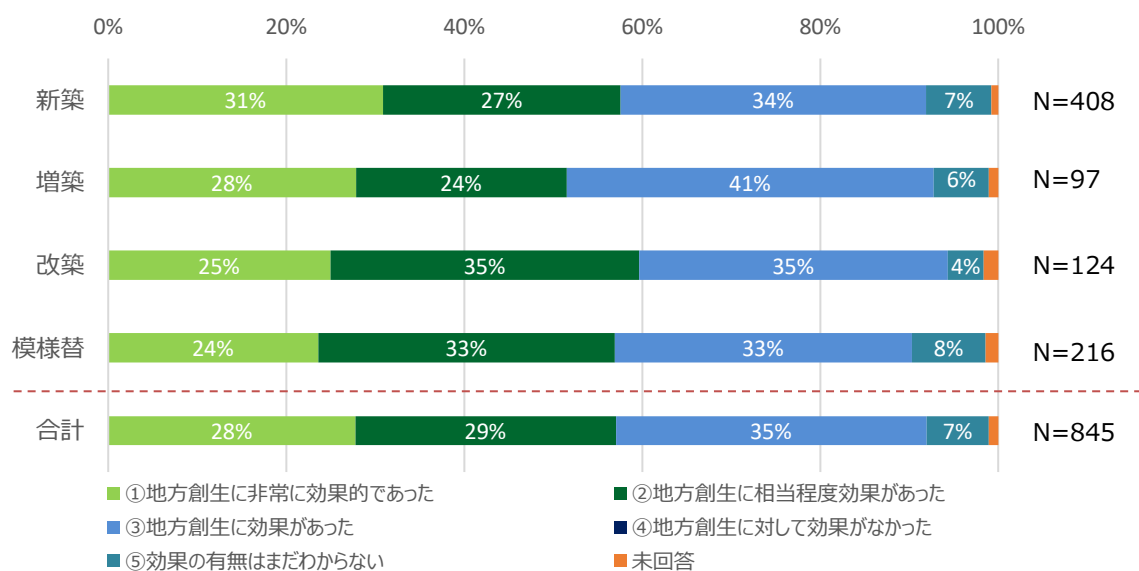
図表 2-56 地方創生への効果認識の状況（事業テーマ別）



(イ) 施設の建設区分別の傾向

施設の建設区分によって、地方創生の効果認識に大きな差異は見られない。

図表 2-57 地方創生への効果認識の状況（施設の建設区分別の傾向）

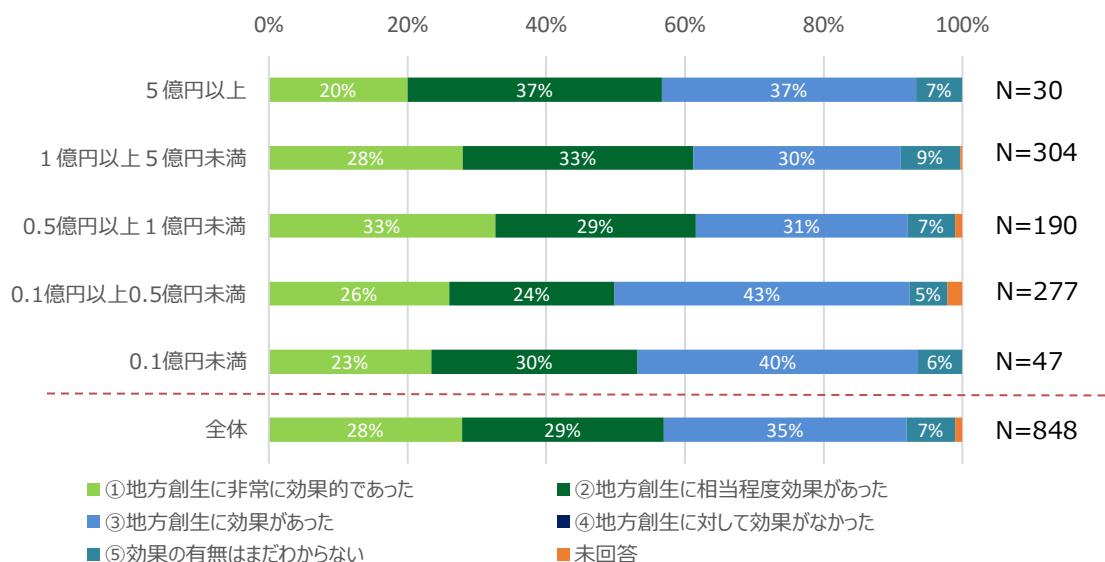


注) 「建設区分」が未回答及び供用未開始事業は試算から除く

(ウ) 事業費別の傾向

事業期間を通じた交付対象事業費によって、地方創生の効果認識に大きな差異は見られない。

図表 2-58 地方創生への効果認識の状況（事業費別の傾向）



注) 供用未開始事業は試算から除く

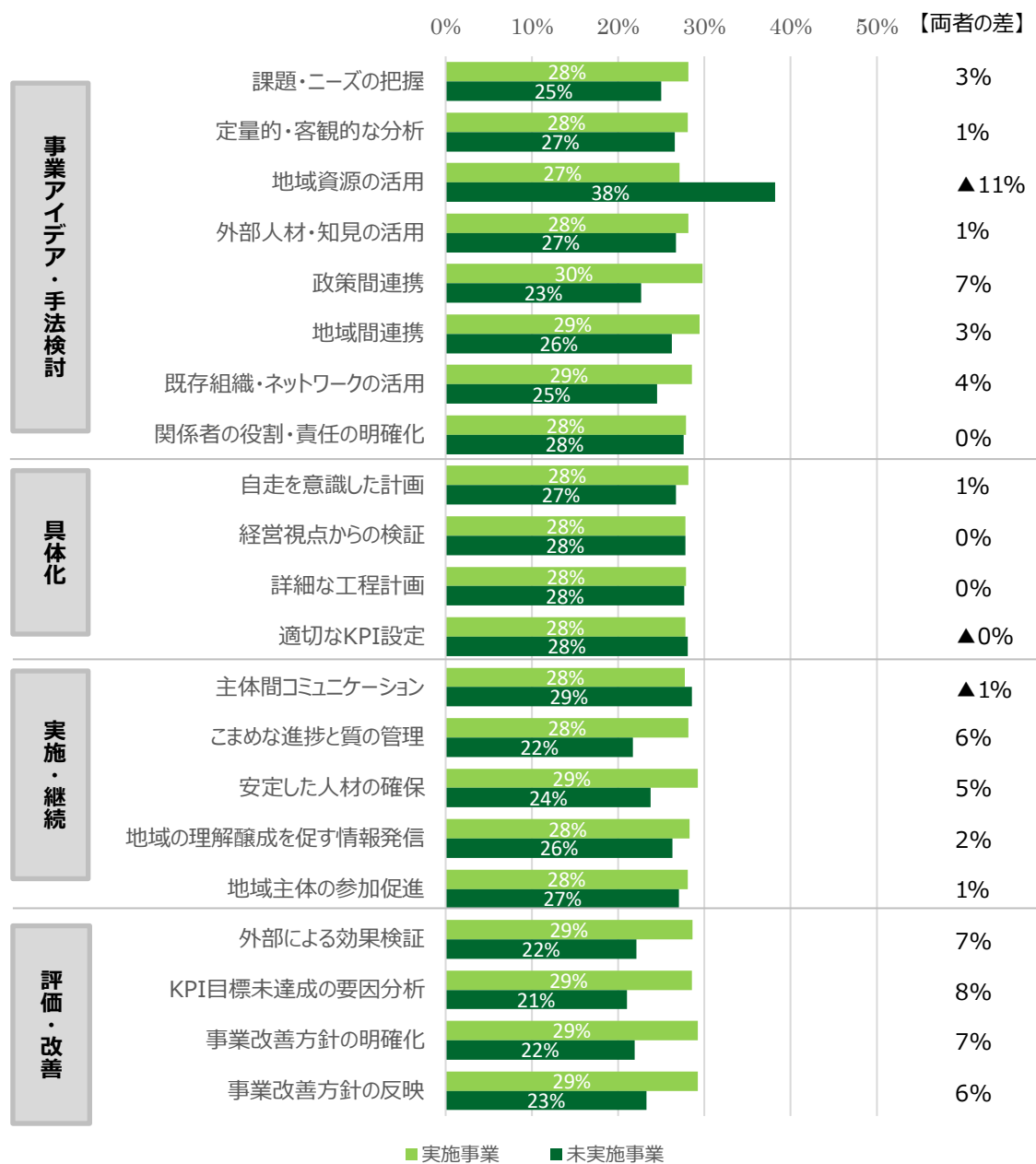
(エ) 「取り組むべきこと」との関係性

ガイドラインで定められたそれぞれの「取り組むべきこと」について、これを実施した事業と実施しなかった事業とで地方創生への効果認識に違いが生じるかを分析した。その結果、21 項目中 18 項目について、これを実施した事業の方が地方創生への効果認識が高い結果となった。

特に、「政策間連携」、「外部による効果検証」、「KPI 目標未達成の要因分析」または「事業改善方針の明確化」といった項目は、地方創生への効果認識に貢献していると考えられる。

図表 2-59 地方創生への効果認識の状況（「取り組むべきこと」の実施有無別）

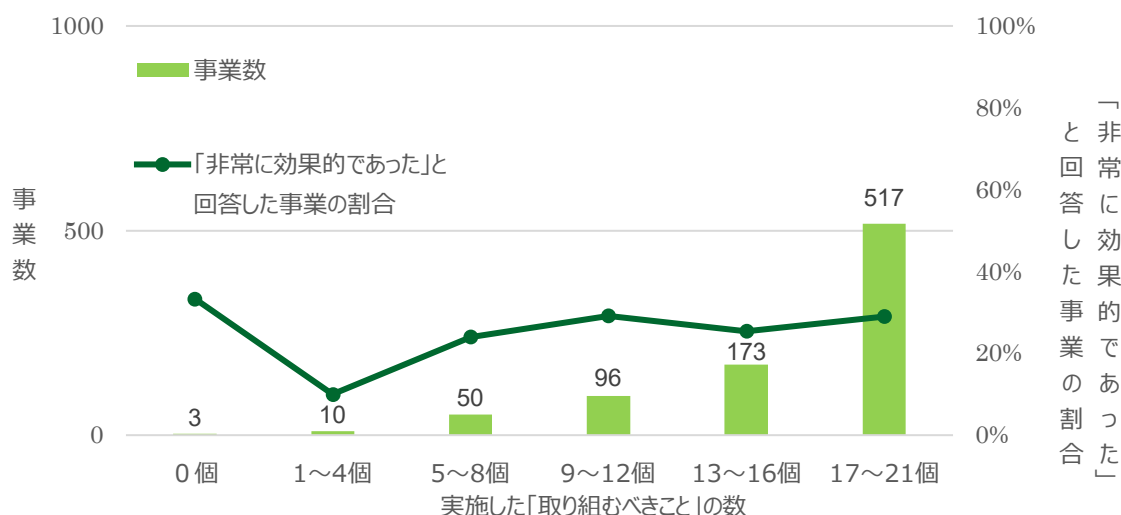
（地方創生に非常に効果的であったと回答した割合）



注) 供用未開始事業は試算から除く

実施した「取り組むべきこと」の項目数別の地方創生に非常に効果的であったと認識された事業の割合をしてみると、「取り組むべきこと」の実施数が増加するにつれて、その割合が高まる傾向があった。事業プロセスの充実が、地方創生への効果認識に好影響を及ぼしている可能性が考えられる。

図表 2-60 地方創生への効果認識の状況（「取り組むべきこと」の実施数別）

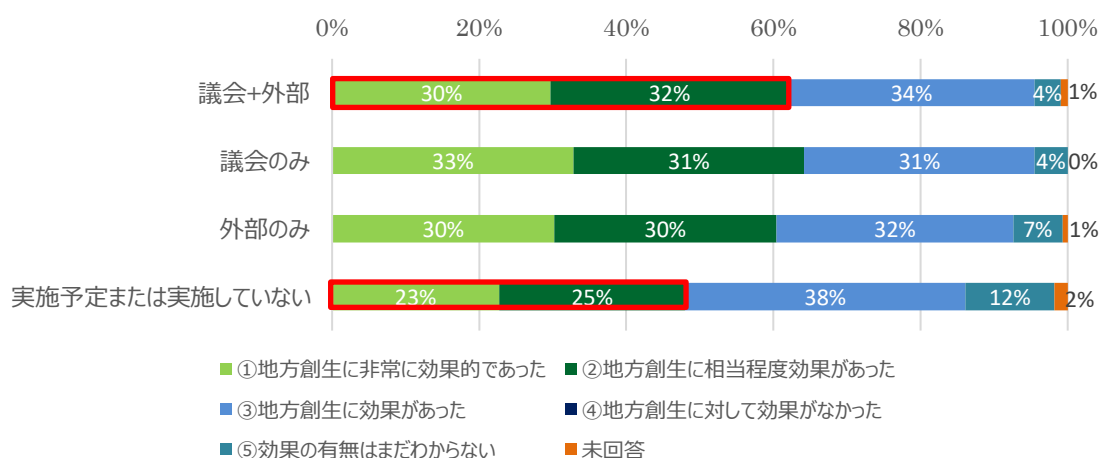


注) 供用未開始事業は試算から除く

#### (オ) 効果検証の状況との関係性

外部や議会による効果検証を実施している事業は、効果検証を実施予定または実施していない事業と比べて「非常に効果的であった」又は「相当程度効果があった」と回答した割合が高い。

図表 2-61 地方創生への効果認識の状況（効果検証の状況別）



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

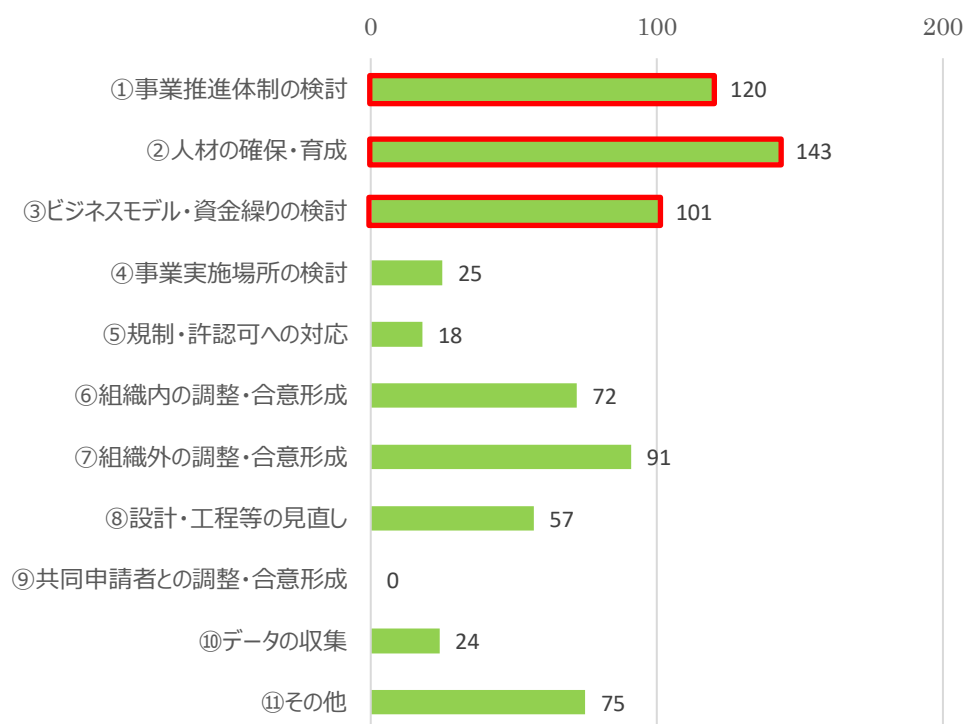
注 2) 事業実施報告を年度途中に実施している都合、回答時点では効果検証を「実施予定」と回答する事業が多くなる点に留意

### 3) 事業実施時に感じた課題・苦労

#### (ア) 課題・苦労の内容

②人材の確保・育成が最も多く課題・苦労として挙げられた。次いで、①事業推進体制の検討、③ビジネスモデル・資金繰りの検討に課題・苦労を抱えた事業が多かった。

図表 2-62 課題・苦労の内容



注) 供用未開始事業は試算から除く

## 2.2.4 経済波及効果

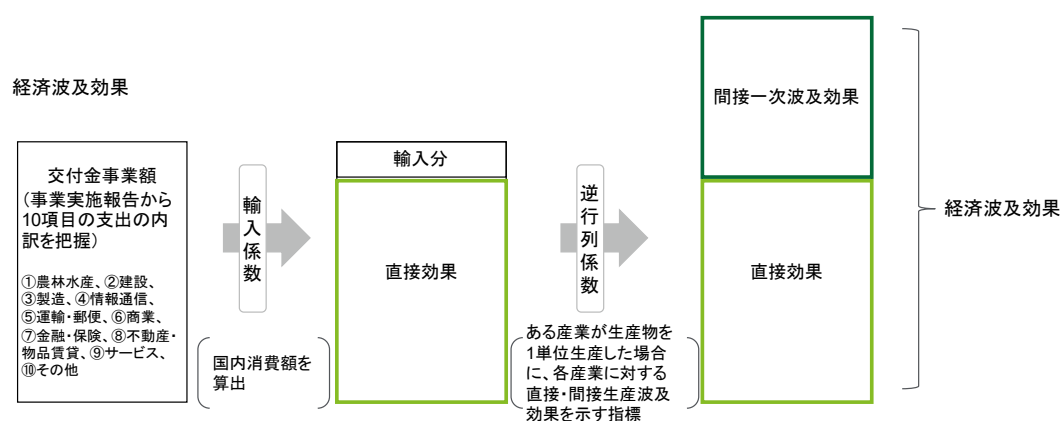
事業が地方創生上の課題の解決に資しているかどうかという地方創生視点からの分析・評価とは別に、各事業における支出額を基に、拠点整備タイプ事業全体としての経済波及効果を産業連関分析により試算した。なお、ここでは、間接一次波及効果まで試算対象とした。

### 1) 産業連関分析の考え方

事業実施報告では13部門分類を前提としつつ、支出先に分類し難い項目（鉱業、電力等）を「その他」に括り、10項目の支出額の提出を求めた。

その後、「その他」の支出額を9項目の比率按分により分配し、13部門ベースで産業連関分析を実施。算出された鉱業、電力等の波及効果は「その他」として再度整理した。

図表 2-63 産業連関分析の考え方



※ 輸入係数、逆行列係数は総務省「平成27年産業連関表」の13部門分類表を使用

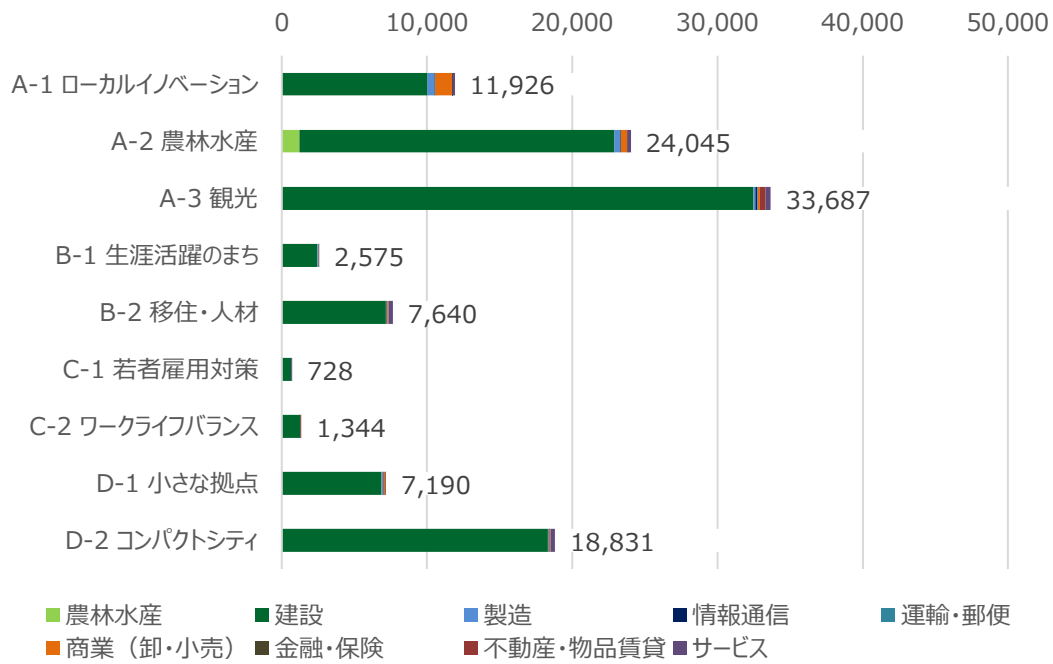
### 2) 拠点整備タイプ事業の経済波及効果

#### (ア) 交付金事業費の支払内訳

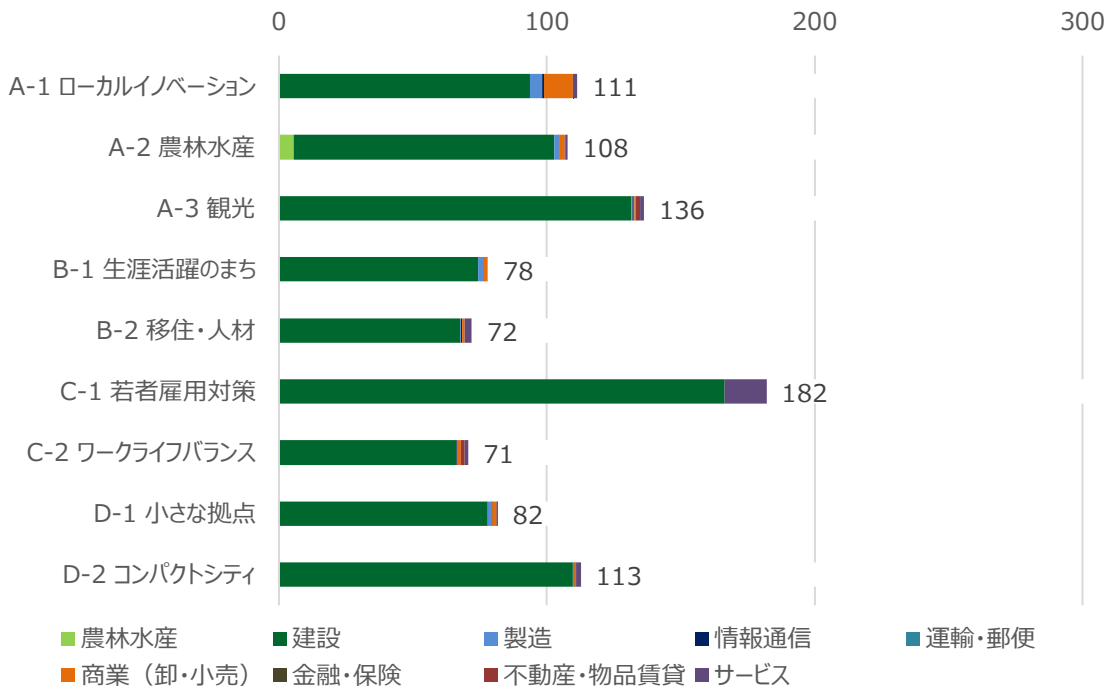
本調査の対象とした拠点整備タイプ事業の交付金事業総額（国費単費合計）は、約1,080億円。事業テーマ別の交付金事業額の支払先内訳は以下の通り。

いずれのテーマにおいても、②建設の割合が高く、拠点整備タイプ事業費全体の約90%を占める。

図表 2-64 交付金事業費の支払内訳（事業テーマ別）



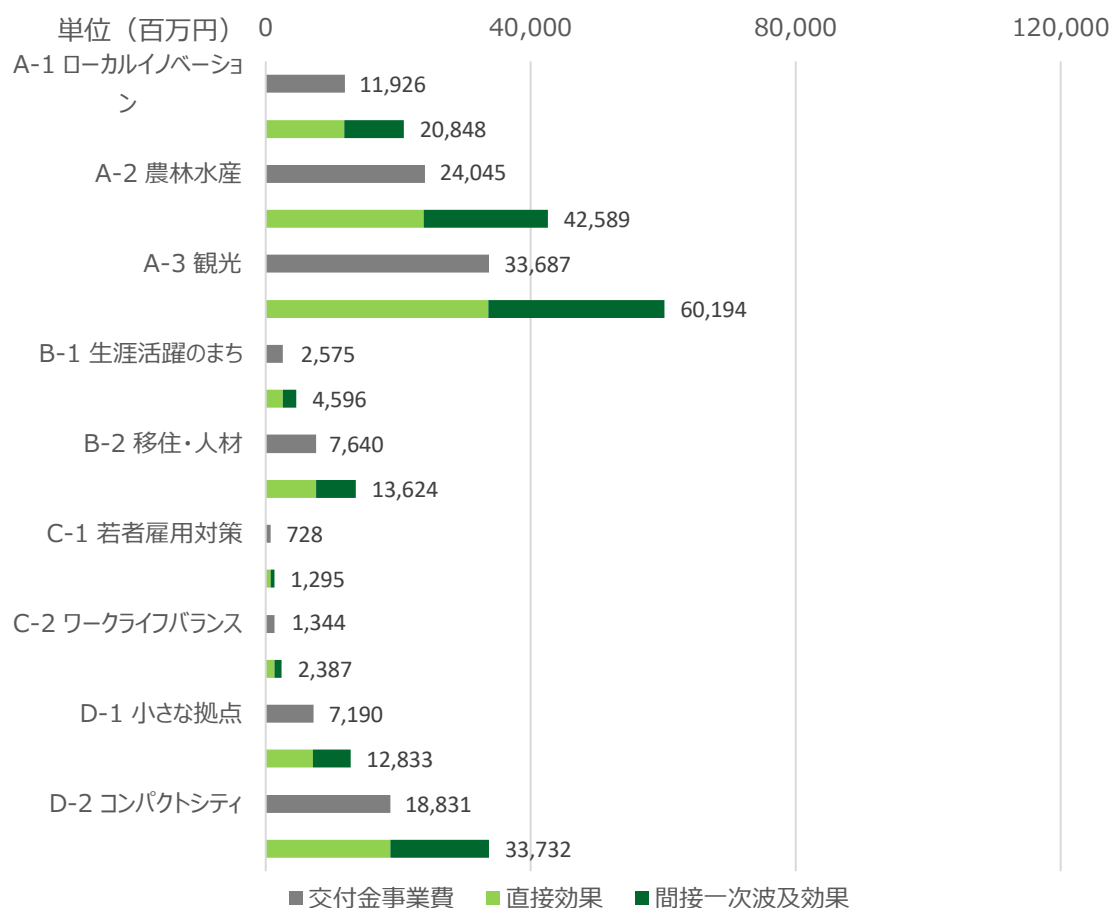
図表 2-65 1事業当たりの交付金事業費の支払内訳（事業テーマ別）



(イ) 経済波及効果

交付金事業の経済波及効果の合計は、いずれのテーマでも交付金事業費の1.8倍程度。

図表 2-66 交付金事業費及びそれに対する直接効果、間接波及効果

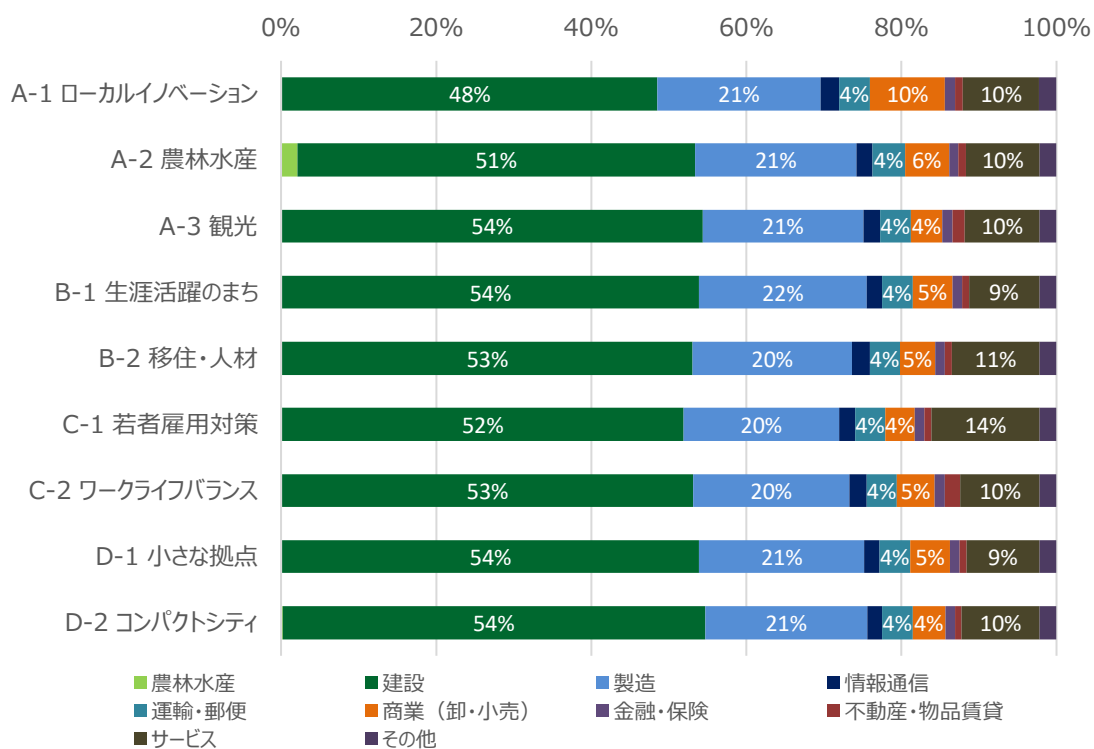


参考

長期的トレンド分析 P.131 (図表 5-18 経済波及効果 (交付金事業費に対する直接効果及び間接波及効果の倍数))

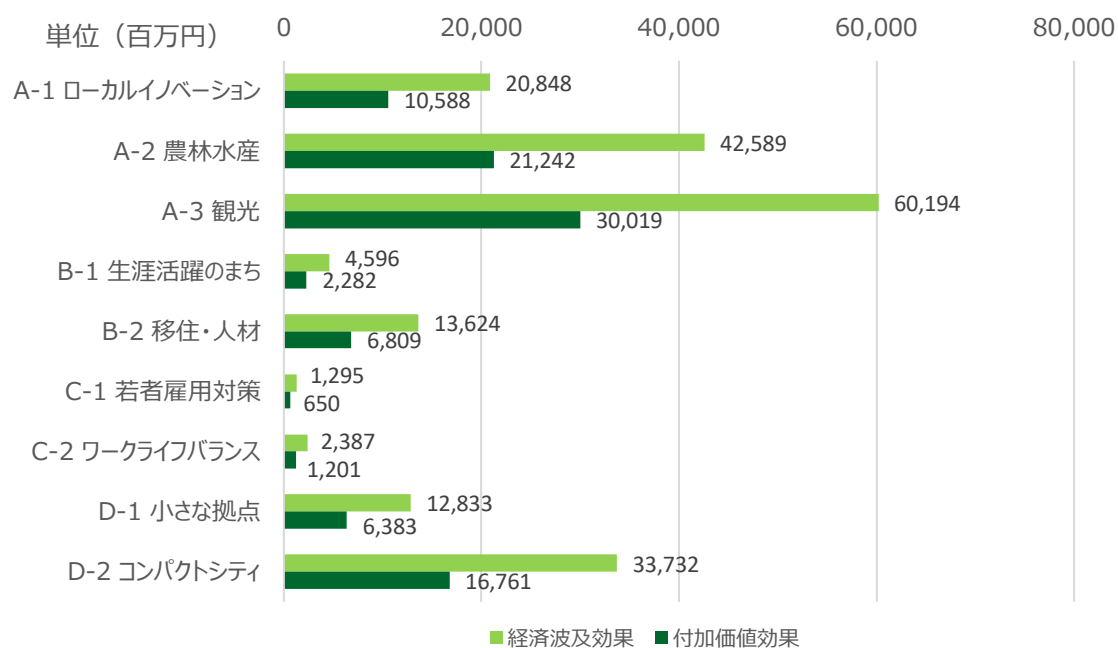
経済波及効果の部門別内訳を見ると、建設部門の経済波及効果が大きく、概ね全てのテーマで 50%以上を占める。ローカルイノベーション分野では商業部門の経済波及効果が比較的大きい。

図表 2-67 経済波及効果の部門別内訳

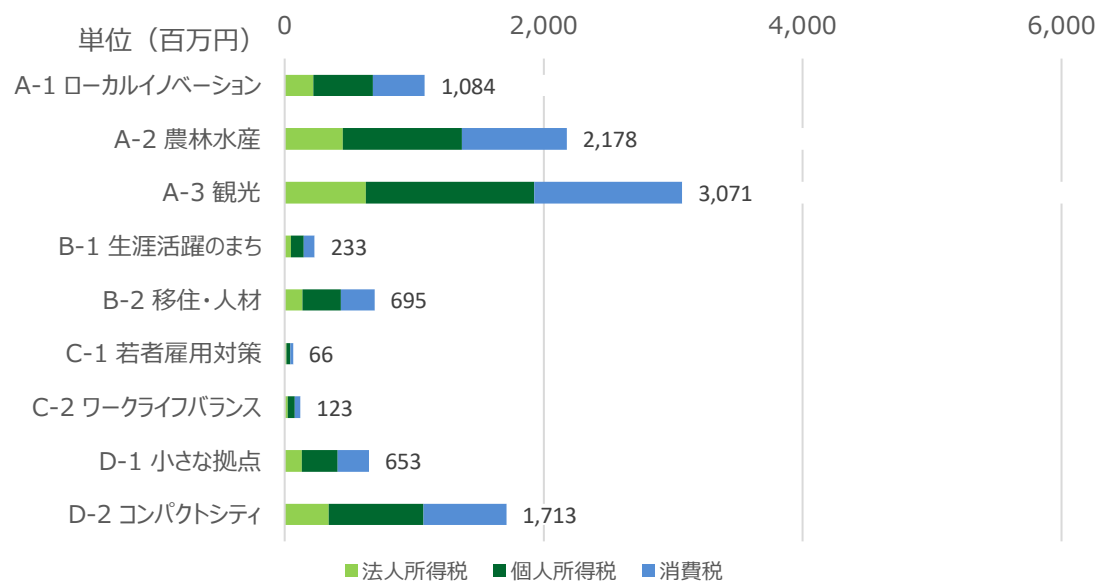


交付金事業費の付加価値効果は、いずれのテーマにおいても、経済波及効果の50%程度。交付金事業費の税収効果（法人所得税＋個人所得税＋消費税）は、いずれのテーマにおいても、交付金事業費の9%、経済波及効果の5%程度。

図表 2-68 交付金事業費の付加価値効果（事業テーマ別）



図表 2-69 交付金事業費の税収効果（事業テーマ別）



## 第3章 事例研究

### 3.1 事例研究の対象とする事例の抽出

今年度は、自立化や効果検証に関する示唆を得ることを目的に、事例研究を行った。具体的には、事業実施報告の内容を基に、事業内容、自立化、効果検証等の観点から特徴的な事例を抽出し、自立性に関する詳細調査及びヒアリング調査を実施した。

#### 3.1.1 事例研究の対象事例の抽出方法

事業実施報告の回答や報道資料・WEB 調査結果などを参考に、以下の観点を考慮した上で、自立性や効果検証の実施状況が特徴的である事業や KPI の達成状況が著しい事業など、自立性に関する詳細調査の対象とする 20 事業を抽出した。当該 20 事業に関しては、詳細調査として、自立化に向けた取組の特徴や成功要因、課題、工夫、PDCA サイクル等に係る追加アンケートを実施した。

##### 1) 事業の効果

- ・ 事業実施報告において、事業の成功要因に「高い自立性の確保」と回答があり、自立性の観点で特徴的である事業
- ・ 事業実施報告において、交付金事業が地方創生に「非常に効果的であった」又は「相当程度効果があつた」と回答があり、かつ、事業効果の記述回答の内容が特徴的である事業

##### 2) 事業の推進プロセスにおける工夫

- ・ 事業実施報告において、事業計画～実施～効果検証段階のいずれかにおいて、定量的・客観的データの活用を行っている事業
- ・ 地域住民に対する事業の理解醸成への工夫がある事業
- ・ 実効的な効果検証（事業実施報告における効果検証の内容 10 項目）の多くを実施しており、工夫が詳細に示されている事業

##### 3) その他自治体への横展開の可能性

- ・ 7つの先導性要素（自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、地方創生人材の確保・育成、デジタル社会の形成への寄与）において特徴的な事業

- ・ 多くの自治体が抱える課題に取り組んでおり、横展開に資する事例
- ・ 過年度事業に調査対象となっており、事業の経過を把握することが望ましい事業

### 3.1.2 事例研究の対象事例の抽出結果

上述 3.1.1 で抽出した 20 事業のうち、自立性に関する詳細調査の結果、有識者からの意見、事業テーマのバランス等を踏まえた上で、9 事業を選定し、ヒアリング調査の対象とした。なお、ヒアリング調査は現地訪問又はリモート形式で実施した。

事業分野別の自立性に関する詳細調査の対象事例数及びヒアリング調査の対象事例数は以下のとおり。

図表 3-1 事業テーマ別事業数

| 事業分野        | 事業テーマ           | 事例研究対象数    |                 |               |
|-------------|-----------------|------------|-----------------|---------------|
|             |                 | 事業実施<br>報告 | 自立性に関する<br>詳細調査 | ヒアリング<br>調査対象 |
| A. しごと創生    | A-1 ローカルイノベーション | 107        | 2               | 2             |
|             | A-2 農林水産        | 223        | 3               | 1             |
|             | A-3 観光          | 247        | 3               | 0             |
| B. 地方への人の流れ | B-1 生涯活躍のまち     | 33         | 2               | 1             |
|             | B-2 移住・人材       | 106        | 3               | 1             |
| C. 働き方改革    | C-1 若者雇用対策      | 4          | 2               | 1             |
|             | C-2 ワークライフバランス  | 19         | 1               | 1             |
| D. まちづくり    | D-1 小さな拠点       | 88         | 2               | 1             |
|             | D-2 コンパクトシティ    | 167        | 2               | 1             |
| 合計          |                 | 994        | 20              | 9             |

## 3.2 自立性に関する詳細調査の実施及び結果

### 3.2.1 自立性に関する詳細調査の実施方針

自立性に関する詳細調査では、以下に示す調査票を作成の上、事業の推進体制、効果検証の実施状況、マネジメントサイクル各段階の実施事項等に関する追加アンケートを対象となる地方公共団体に依頼した。

図表 3-2 自立性に関する詳細調査における確認項目

|       |                                                                                  |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 確認項目① | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 関与した部署、職員数</li><li>・ 事業の実施主体</li></ul>   |
| 確認項目② | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 効果検証の実施状況</li></ul>                      |
| 確認項目③ | <ul style="list-style-type: none"><li>・ マネジメントサイクルの各段階の実施事項、工夫</li></ul>         |
| 確認項目④ | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域経済への効果</li></ul>                       |
| 確認項目⑤ | <ul style="list-style-type: none"><li>・ KPI 指標の考え方</li><li>・ 目標値設定の考え方</li></ul> |
| 確認項目⑥ | <ul style="list-style-type: none"><li>・ KPI 指標以外の定量的・客観的データ活用</li></ul>          |

図表 3-3 自立性に関する詳細調査 調査票（様式）（1 枚目）

| デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ及び地方創生拠点整備タイプ）事業の自立性に関する詳細調査 調査票                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|----------|-------------------|-----|---------------|--------------------------------------------|----------|---------------------|---------------|---------------------|------------------------|-------------------|----|----|--|--|--------|--|----|--|--|-------------|--|-------|--|---|-------------|------|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|--|--|-----|--|
| <p>本調査では、貴団体に御協力いただきました「デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ及び地方創生拠点整備タイプ）の事業実施報告」及び「デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生推進交付金）事業の自立性に関する調査」の内容を基に、事業の内容や自立性の観点で、優良と考えられる事業を対象に調査を実施しております。本調査を通じて、自立化に向けた取組の特徴や成功要因、課題、工夫、PDCAサイクル等の詳細な情報を把握し、交付金事業の取組の示唆、コツ、留意事項等を抽出・整理に活用することを目的としております。</p> <p style="text-align: center;">～～ 以下 回答欄 ～～</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>事業区分</th> <th>都道府県名</th> <th>市町村名</th> <th>テーマ</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※テーマと事業名は、事業区分、都道府県名、市町村名を入力すると自動で入力されます</p> <div style="display: flex; justify-content: flex-end; align-items: center;"> <span style="margin-right: 20px;"><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #d9e1f2; border: 1px solid #000; margin-right: 5px;"></span>：記述式</span> <span><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #fce4d6; border: 1px solid #000; margin-right: 5px;"></span>：プルダウン選択式</span> </div>                                                                                                                                                                                                               |                                            |          |                   |     | 事業区分          | 都道府県名                                      | 市町村名     | テーマ                 | 事業名           |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 事業区分                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 都道府県名                                      | 市町村名     | テーマ               | 事業名 |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| <p><b>1. 事業の推進体制について</b></p> <p>① 交付金事業期間中と現時点（交付金事業期間終了後）における、事業推進主体と事業関係者の属性及び各属性の役割を教えてください。</p> <p>なお、拠点整備タイプ事業については、「交付金事業期間中」については事業計画時（交付金申請時）に想定していた推進体制の内容を、「現時点」については現時点の推進体制をご回答ください。</p> <p>＜各属性の役割の回答例＞</p> <p>行政：県内農家との接点がある行政が県内農家と1件ずつデータ利用契約を締結、市外のベンダーと地域の事業者や関係者とのコミュニケーションの円滑化や連携する体制の構築、など</p> <p>民間：国立大学の研究成果を県内農家が実装し農家の収益性及び生産性を向上させるなど、民間の技術・ノウハウを活用し地域関係者とともに地域課題解決とその企画を提案すること、など</p> <p>公共団体等：国立大学が行政のデータを利活用し、研究開発を実施するなど、行政では迅速に動けない領域に対して、民間等との連携を図りつつ行政の意見を反映しながら事業を推進する、など</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">属性</th> <th colspan="2">交付金事業期間中（拠点整備タイプは事業計画時（交付金申請時）に想定していた推進体制）</th> <th colspan="2">現時点</th> </tr> <tr> <th>事業推進主体に○<br/>事業関係者に○</th> <th>役割</th> <th>事業推進主体○<br/>事業関係者○</th> <th>役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>公共団体等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※「行政」については、民間事業者委託・指定管理を行うことも含みます。</p> <p>※「公共団体等」については、公共団体（特殊法人、公益法人、協同組合等）及び、国または自治体が一定程度以上出資している法人を指します。</p> <p>※事業推進主体（○）又は事業関係者（○）に該当しない場合は、空欄のままで結構です。</p> |                                            |          |                   |     | 属性            | 交付金事業期間中（拠点整備タイプは事業計画時（交付金申請時）に想定していた推進体制） |          | 現時点                 |               | 事業推進主体に○<br>事業関係者に○ | 役割                     | 事業推進主体○<br>事業関係者○ | 役割 | 行政 |  |  |        |  | 民間 |  |  |             |  | 公共団体等 |  |   |             |      | その他 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 属性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 交付金事業期間中（拠点整備タイプは事業計画時（交付金申請時）に想定していた推進体制） |          | 現時点               |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 事業推進主体に○<br>事業関係者に○                        | 役割       | 事業推進主体○<br>事業関係者○ | 役割  |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 行政                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 民間                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 公共団体等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| <p>② 交付金事業期間中と現時点（交付金事業期間終了後）における、貴団体内で中心的役割を果たした部署と課、その人数、他部署との連携有無について教えてください。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">交付金事業期間中</th> <th colspan="2">現時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">貴団体内で中心的な役割を果たした体制について</td> <td>中心部署署名</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>中心部署課名</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>直接的に関与した職員数</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">他部署との連携について</td> <td rowspan="4">連携分野</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>交付金事業期間中と交付金事業期間終了後に変更が無い場合はこちらに○を選択してください。その場合、上の「現時点」への回答は不要です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                            |          |                   |     |               |                                            | 交付金事業期間中 |                     | 現時点           |                     | 貴団体内で中心的な役割を果たした体制について | 中心部署署名            |    |    |  |  | 中心部署課名 |  |    |  |  | 直接的に関与した職員数 |  | 人     |  | 人 | 他部署との連携について | 連携分野 |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | その他 |  |  | その他 |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                            | 交付金事業期間中 |                   | 現時点 |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 貴団体内で中心的な役割を果たした体制について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 中心部署署名                                     |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 中心部署課名                                     |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 直接的に関与した職員数                                |          | 人                 |     | 人             |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 他部署との連携について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 連携分野                                       |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | その他                                        |          |                   | その他 |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| <p>③ 本事業において外部人材を活用していますか。</p> <p>「はい」の場合、その人材の所属（地域おこし協力隊、コンサルティング会社等）及び、事業における役割（専門知識を活用した事業に対する助言・研修・一部業務委託など）について教えてください。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>外部人材を活用していますか</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外部人材の所属</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業における外部人材の役割</td> <td></td> </tr> </table>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                            |          |                   |     | 外部人材を活用していますか |                                            | 外部人材の所属  |                     | 事業における外部人材の役割 |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 外部人材を活用していますか                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 外部人材の所属                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 事業における外部人材の役割                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| <p><b>2. 事業の財源構成について</b></p> <p>回答対象：デジタル田園都市国家構想交付金（旧 地方創生推進交付金）事業のうち、令和4年度に事業期間が終了した事業（該当しない事業は次の問3にお進みください）</p> <p>「デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生推進交付金）事業の自立性に関する調査 調査票」の設問Ⅱ、3-2. のご回答状況をご確認ください。</p> <p>計画時に想定していた自走時（自立化）の財源構成比率と、R5年度実績の財源構成比率に相違がある場合はその理由を、R5年度実績が計画どおりの場合にはその達成要因を教えてください。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>相違理由</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成要因</td> <td></td> </tr> </table>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                            |          |                   |     | 相違理由          |                                            | 達成要因     |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 相違理由                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 達成要因                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| <p><b>3. 事業の効果検証の実施状況について</b></p> <p>① 効果検証の実施にあたり、以下のうち特に重要だと考える項目に上位3つまで○を付け、それぞれの工夫や苦労した点の詳細を教えてください。</p> <p>※「効果検証の実施」とは、交付金事業の実施中または事業終了後に事業の効果測定し、課題や改善策を検討することなどを指します。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>選択</th> <th>詳細（具体例）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の状況及び現状の課題を把握している</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                            |          |                   |     | 項目            | 選択                                         | 詳細（具体例）  | 事業の状況及び現状の課題を把握している |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 選択                                         | 詳細（具体例）  |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |
| 事業の状況及び現状の課題を把握している                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                            |          |                   |     |               |                                            |          |                     |               |                     |                        |                   |    |    |  |  |        |  |    |  |  |             |  |       |  |   |             |      |     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |     |  |

図表 3-4 自立性に関する詳細調査 調査票（様式）（2 枚目）

|                                          |  |  |
|------------------------------------------|--|--|
| 計画との比較を行っている                             |  |  |
| 課題の優先順位付けを行っている                          |  |  |
| 事業の進捗が芳しくない場合において、<br>その原因や阻害要因を明らかにしている |  |  |
| 適切な分析手法を検討し選択している                        |  |  |
| 統計データ等の証拠から、定量的・客観的に<br>地域の課題を把握している     |  |  |
| 阻害要因について対応策を検討している                       |  |  |
| 新計画を立てている                                |  |  |
| 対応策や新計画の実施を行っている                         |  |  |
| 定量的な分析結果を公表している                          |  |  |
| その他                                      |  |  |

② 回答対象：外部組織における効果検証を行っている事業

外部組織による効果検証を行っている（行っていた）場合、効果検証に参加しているメンバーに○を選択肢、各属性の参画人数及び合計人数を教えてください。

※「外部組織」とは、本事業の推進や効果検証のために外部有識者を含めて構成された組織を指します。

| 属性                | 効果検証に参画しているか | 参画人数 |
|-------------------|--------------|------|
| 産業界（商工会議所等）       |              | 人    |
| 自治体（他の自治体の長・職員含む） |              | 人    |
| 大学界（大学教授等）        |              | 人    |
| 金融機関（地元信用金庫等）     |              | 人    |
| 労働団体（労働組合等）       |              | 人    |
| 住民（公募市民等）         |              | 人    |
| その他（福祉系協議会、NPO等）  |              | 人    |
| 合計                |              | 人    |

③ 回答対象：議会または外部組織における効果検証を行っている事業

議会・外部組織における効果検証を行っている（行っていた）場合、効果検証実施時に挙げた事業改善に係る意見の内容、その意見を発言をした主体及び意見を踏まえた事業の改善内容を教えてください（主なもの最大3点）。

※優良と考えられる事例は、効果検証によって具体的にどのように事業を改善しているかを深堀りしたいという意図のもと質問しています。

|   | 事業改善に係る意見 | 発言主体の属性 | 意見を踏まえた事業改善内容 |
|---|-----------|---------|---------------|
| 1 |           |         |               |
| 2 |           |         |               |
| 3 |           |         |               |

#### 4. マネジメントサイクル各段階の実施事項、工夫について

本事業について、マネジメントサイクル（PDCA）の各段階ごとに、「どのような取組を行ったか」、「滞りなく進めるために、どのような工夫を行ったか（あるいはどのような工夫をしておけばよかったか）」、「また「その取組や工夫を行ったことによる効果、良かったこと」をご回答ください。また、事業を実施する中で「実施すべきでなかった」、「別の対応を採るべきであった」など、反省点や課題として捉えている項目があれば、その内容と要因についてご教示ください。

※各段階で具体的にどのような課題や悩みがあり、また、課題や工夫は各段階でどのように変化した、異なるのか、課題の克服に中心となった人物はどのような人なのか、それが事業の自立化にどう貢献したのかを深堀りしたいという意図のもと質問しています。

※特に、工夫や失敗がみられた項目を中心に回答ください。（全てを埋める必要はありません。）

| 段階                       | 項目                | 回答欄（必要に応じて、大きさの調整や行の追加を行ってください） |                  |                 |  |
|--------------------------|-------------------|---------------------------------|------------------|-----------------|--|
|                          |                   | 工夫点 or 反省点                      | 実施事項・工夫点（または反省点） | 工夫に伴う効果（反省点の要因） |  |
| 事業アイデア・事業手法の検討<br><Plan> | 課題・ニーズの明確化        |                                 |                  |                 |  |
|                          | ・地域の課題・ニーズの共有と明確化 |                                 |                  |                 |  |
|                          | ・定量的・客観的な分析       |                                 |                  |                 |  |
|                          | ・事業コンセプトの明確化      |                                 |                  |                 |  |
|                          | 事業手法の検討           |                                 |                  |                 |  |
|                          | ・地域資源の活用          |                                 |                  |                 |  |
| ・外部の人材・知見の活用             |                   |                                 |                  |                 |  |
| ・異なる政策間・複数の地域間での連携の検討    |                   |                                 |                  |                 |  |
| 事業実施体制の構築                |                   |                                 |                  |                 |  |
|                          | ・既存の組織・ネットワークの活用  |                                 |                  |                 |  |
|                          | ・関係者の役割・責任の明確化    |                                 |                  |                 |  |
|                          | 事業の具体化<br><Plan>  |                                 |                  |                 |  |
|                          |                   | 自立性の確保                          |                  |                 |  |
|                          |                   | ・自主を意図した計画                      |                  |                 |  |
| ・経営の視点からの検証              |                   |                                 |                  |                 |  |
| 達成すべき目標・水準の設定            |                   |                                 |                  |                 |  |
| ・詳細な工程計画の策定              |                   |                                 |                  |                 |  |
| ・効果・進捗を確認できるKPIの設定       |                   |                                 |                  |                 |  |

図表 3-5 自立性に関する詳細調査 調査票（様式）（3 枚目）

|                                |                                                             |  |  |  |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------|--|--|--|
| 事業の実施・継続<br><Do>               | 事業の実施                                                       |  |  |  |
|                                | ・事業主体間の緊密なコミュニケーション<br>・こまめな進捗と質の管理<br>・事業主体が有効に機能した事業実施    |  |  |  |
|                                | 事業の継続                                                       |  |  |  |
|                                | ・安定した人材の確保・育成<br>・地域の理解醸成を促す情報提供<br>・地域主体の更なる参加促進           |  |  |  |
| 事業の評価・改善<br><Check/<br>Action> | 事業の評価体制・方法                                                  |  |  |  |
|                                | ・専門的視点からの現状把握・評価<br>・外部組織・議会等による多角的検証<br>・KPI未達成の要因分析・課題の把握 |  |  |  |
|                                | 改善への取組                                                      |  |  |  |
|                                | ・事業改善、見直し方針の明確化<br>・事業実施の報告・次年度事業計画への反映                     |  |  |  |

その他、上記観点に当てはまらない取組や工夫、留意点がありましたら、下記にご記入ください。（例：への工夫も行っている、Society5.0関連の設備を導入しているなど）

|     |  |
|-----|--|
| その他 |  |
|-----|--|

**5. 地域経済への効果について**

回答対象：令和5年度にデジタル田園都市国家構想交付金を受け取っていた事業

本事業実施に伴う地域経済への効果を把握するため、デジタル田園都市国家構想交付金の対象経費を貴団体が直接支払った相手先についてご教示ください。  
支払額の大きい順に、総支払額（国費と単費の合計）のおおむね全てをカバーするまでご記入ください。

| No. | 相手先事業者名 | 業種 | 支払先事業所所在地<br>※支払先が本社以外の事業所（支店、営業所等）の場合は、<br>当該事業所の所在地 | 令和5年度支払額<br>【単位：千円】 |
|-----|---------|----|-------------------------------------------------------|---------------------|
| 1   |         |    |                                                       |                     |
| 2   |         |    |                                                       |                     |
| 3   |         |    |                                                       |                     |
| 4   |         |    |                                                       |                     |
| 5   |         |    |                                                       |                     |
| 6   |         |    |                                                       |                     |
| 7   |         |    |                                                       |                     |
| 8   |         |    |                                                       |                     |
| 9   |         |    |                                                       |                     |
| 10  |         |    |                                                       |                     |

**6. KPIの指標設定・目標設定について**

① 本事業のKPI指標それぞれについて、そのKPIを設定した背景や考え方をそれぞれご教示ください。本事業の全てのKPIについてご記入ください。  
※優良と考えられる事例では、どのKPIがどのような目的・意図をもって設定されているかという設定のプロセスを深堀りしたいという意図のもと質問しています。

| KPI指標名 | データ区分 <sup>※1</sup> | 出所<br>（その他の場合、<br>下記に記載） | KPI分類 | KPIを設定した背景・考え方（目的や狙い） |
|--------|---------------------|--------------------------|-------|-----------------------|
|        |                     |                          |       |                       |
|        |                     |                          |       |                       |
|        |                     |                          |       |                       |
|        |                     |                          |       |                       |
|        |                     |                          |       |                       |

※ Alternative Dataは、V-RESASで提供されるデータ等、IT技術とともに、位置情報やクレジットカード情報等を活用して、リアルタイムで把握され、定期的に提供されるデータをいう。

② 本事業のKPIの設定に当たり、取り組んだ工夫について、該当する事項に○を付けてください。

|                                                           |                                                      |
|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| A. 地方創生事業実施のためのガイドライン（「分野別の主なKPIの例」〔参考となる政府統計指標〕などを参考にした。 | J. 地方公共団体の既存統計を活用できるような指標をKPIとして採用した                 |
| B. 総合計画や総合戦略のKPIとリンクさせた                                   | K. KPI設定にかかる研修を実施した（アウトプット・アウトカムの違いや、ロジックモデルの作成方法など） |
| C. ロジックモデルを設定した                                           | L. 庁内縦断的な検討会議を設置した                                   |
| D. 市民（含む議会）の納得感が得られるよう、数値化しやすい明白な指標を心掛けた                  | M. 民間（企業、協議会、市民参加など）と共に検討した                          |
| E. すぐに効果が実感でき政策に賛同が得られやすいよう、短期で結果が出やすい事項をKPIとした           | N. RESAS, V-RESAS, E-StatのデータをKPI設定の参考とした            |
| F. じっくり取り組んで確実に効果を挙げるよう、長期間かけて結果を出す事項をKPIとした              | O. 民間企業にデータの提供を求め、KPI設定の参考とした                        |
| G. 目に見える形のアウトプット指標をKPIとして採用した                             | P. 関係府庁（〇〇省、××地方事務所など）に相談した                          |
| H. 事業の自立・自走に向け、進捗管理できるアウトカム指標をKPIとして採用した                  | Q. 外部専門家に相談した（学識者、民間団体など）                            |
| I. 参画企業の状況を把握できるような指標をKPIとして採用した                          | R. その他                                               |

↓ R. その他の場合、下記にその内容も記載してください。

|  |
|--|
|  |
|--|

**7. KPI設定以外の定量的・客観的データの活用状況について**

※「定量的・客観的データ」とは、経済センサス、RESAS、V-RESAS、e-Stat等に掲載された政府統計等の統計データや分析データを指します。

① 本事業の企画、運営、効果検証の各段階に当たり、使用した主なデータ分類をご教示ください。  
※優良と考えられる事例では、どういったデータがどのような目的・意図をもって活用されているかを深堀りしたいという意図のもと質問しています。

| 事業の段階 | データ名 | データ区分 | 出所<br>（その他の場合下記に記載） | 目的・ねらい（自由記載） |
|-------|------|-------|---------------------|--------------|
|       |      |       |                     |              |

図表 3-6 自立性に関する詳細調査 調査票（様式）（4 枚目）

|                                     |  |  |  |  |
|-------------------------------------|--|--|--|--|
| 企画段階                                |  |  |  |  |
|                                     |  |  |  |  |
|                                     |  |  |  |  |
| 実施段階<br>※実施段階でのデータの活用があれば①'も回答ください。 |  |  |  |  |
|                                     |  |  |  |  |
|                                     |  |  |  |  |
| 効果検証段階                              |  |  |  |  |
|                                     |  |  |  |  |
|                                     |  |  |  |  |

①'（実施段階でのデータ活用がある場合のみ回答）事業の進捗管理のための指標として、回答されたデータを活用しましたか。活用した場合、その活用方法や使用頻度を教えてください。

|                        |  |
|------------------------|--|
| 使用の有無                  |  |
| 進捗管理に活用した場合の活用方法と、使用頻度 |  |

②データ収集時の困難や課題についてご教示ください。（※データの活用有無に係らずご教示ください。）

|    |  |
|----|--|
| 困難 |  |
| 課題 |  |

③可能な範囲で、収集したいと考えるデータや、定量的・客観的データに関する政府への要望についてご教示ください。

|          |  |
|----------|--|
| 取得したいデータ |  |
| 政府への要望   |  |

④RESAS・V-RESASの使用の有無と、その理由（または主な用途）についてご教示ください。

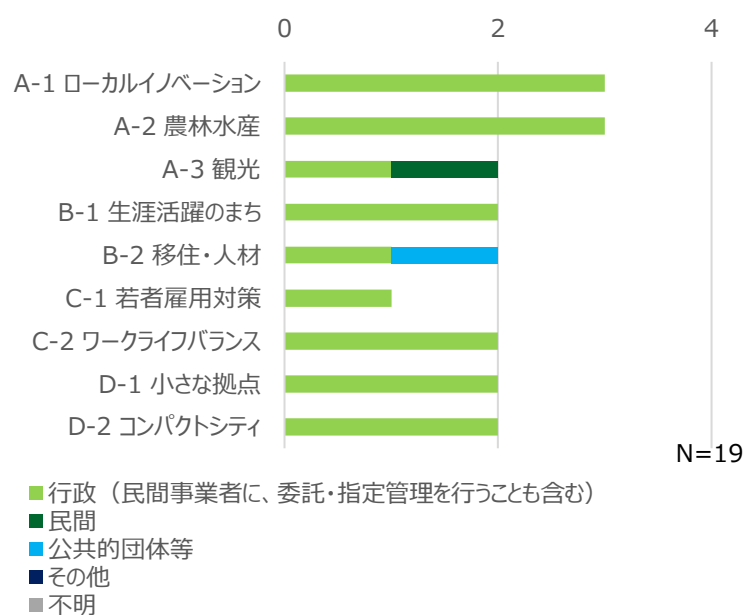
|                |  |
|----------------|--|
| 使用の有無          |  |
| 上記の理由（または主な用途） |  |

調査票は以上です。ご協力ありがとうございました。

### 3.2.2 事業推進主体の属性（事業テーマ別）

詳細調査を行った拠点整備タイプ事業の実施において、交付金事業期間中における主となる事業推進主体の属性を事業テーマ別にみると、その事業推進主体の属性の殆どが、行政（民間事業者に、委託・指定管理を行うことも含む）であった。

図表 3-7 事業推進主体の属性×事業テーマ



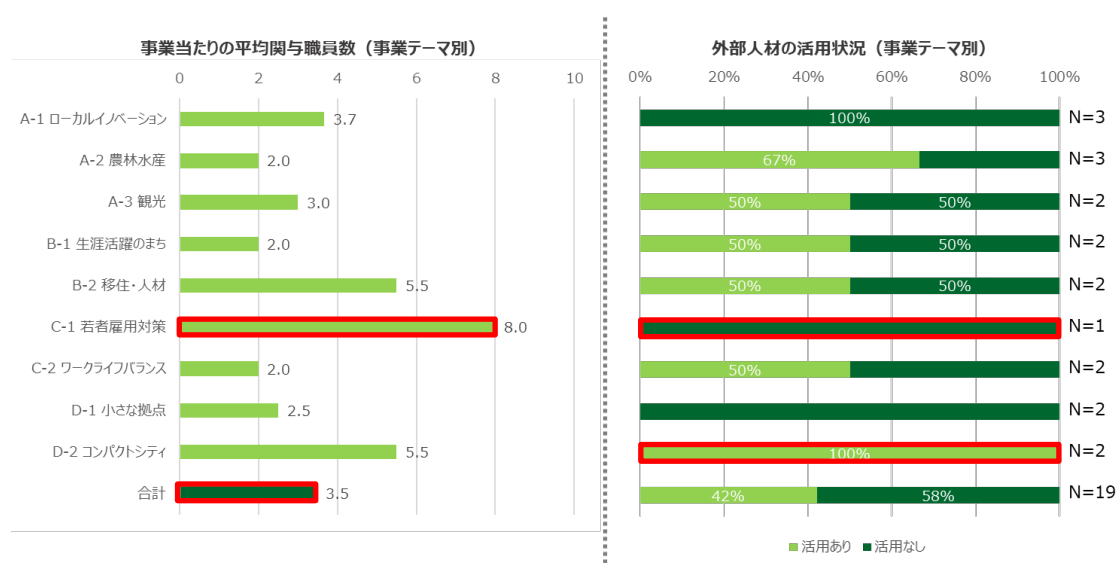
注）未回答の自治体を除く

### 3.2.3 地方公共団体内の実施体制（事業テーマ別）

詳細調査を行った拠点整備タイプ事業の実施に直接的に関与した職員数は、若者雇用対策分野が最も多く平均 8.0 人であった。全体でみると、平均 3.5 人であった。

また、外部人材の活用について、コンパクトシティ分野は調査対象件数全てにおいて外部人材の活用があった一方で、職員が最も多い若者雇用対策分野では外部人材の活用がなかった。

図表 3-8 平均関与職員数及び外部人材の活用状況×事業テーマ



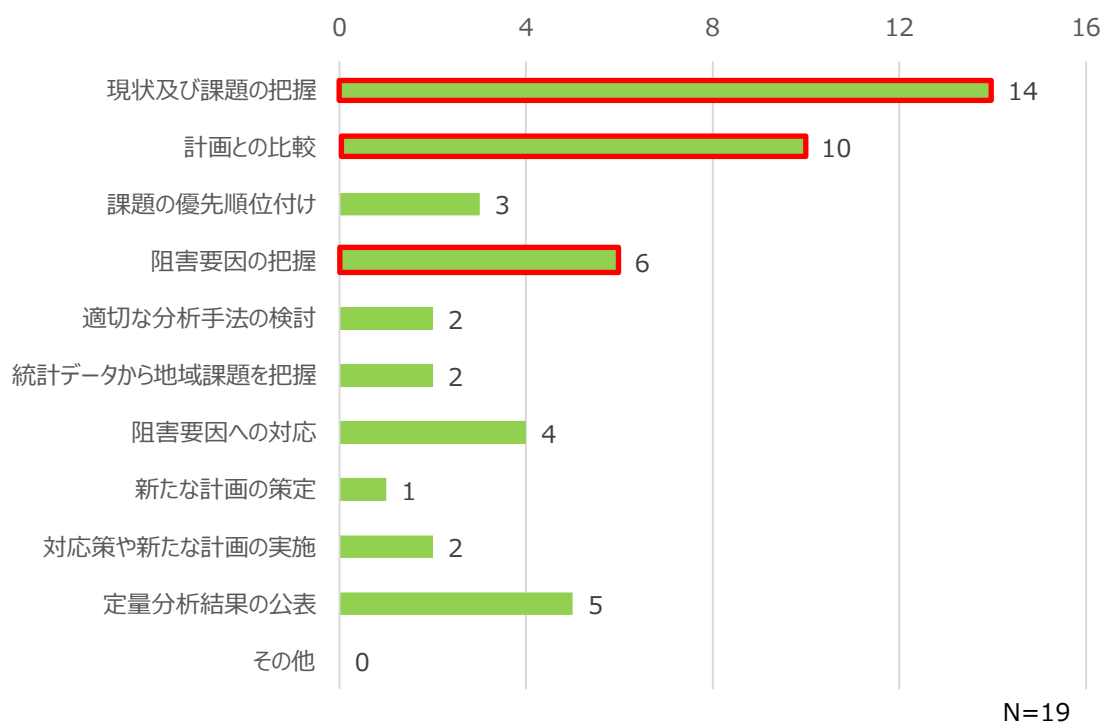
注) 未回答の自治体を除く

### 3.2.4 効果検証プロセスの実施状況

詳細調査を行った拠点整備タイプ事業の効果検証の実施にあたり、特に重要と考える項目を調査したところ、「現況及び課題の把握」が最も多く、次点で「計画との比較」、「阻害要因の把握」となった。

効果検証プロセスにおける「現状把握」の取組を重要と考える事業が多いが、事業実施報告分析の P.37 に示すように、効果検証の結果として、「改善が必要」との指摘を受けた事業の数が全体的に少なく、「改善」の取組に到達しない事業が多いと想定される点に留意する必要がある。

図表 3-9 効果検証において重要と考える項目



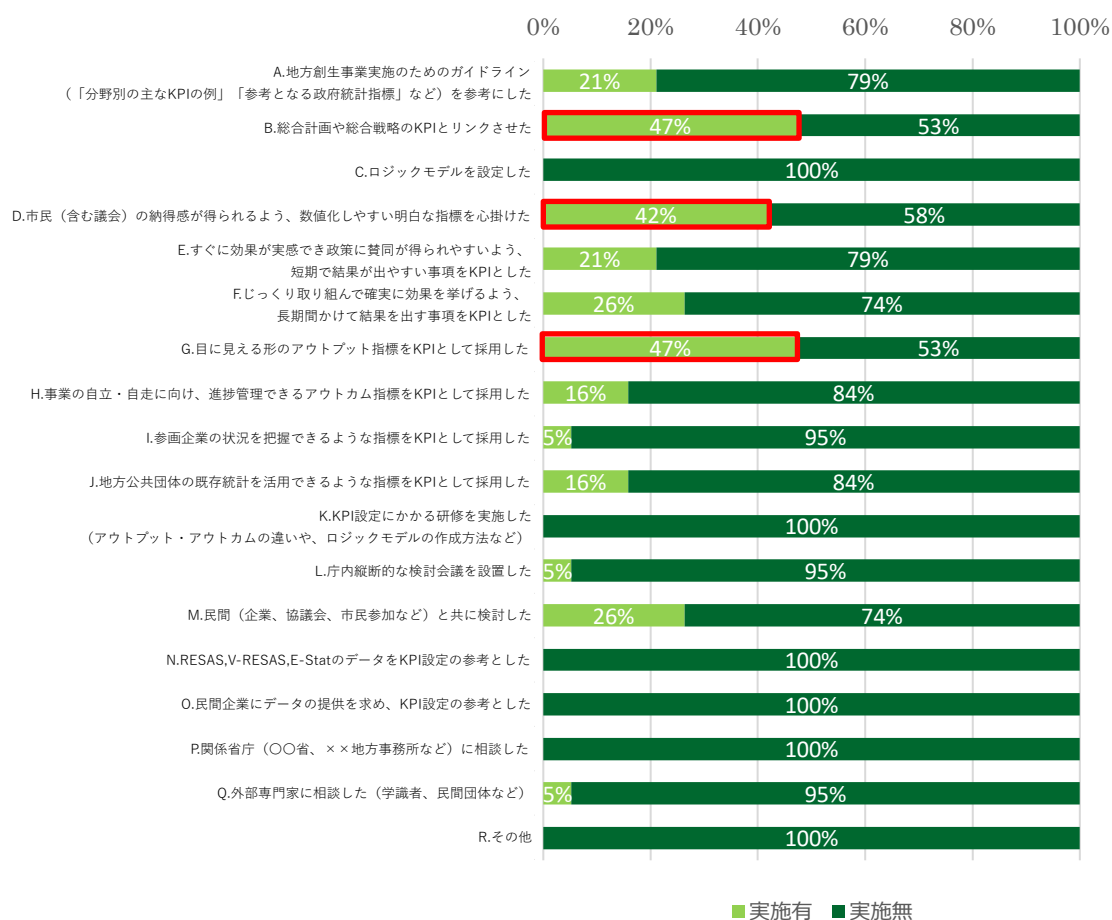
注 1) 未回答の自治体を除く

注 2) 最大 3 つまで選択可

### 3.2.5 KPI の設定に当たり、取り組んだ工夫

詳細調査を行った拠点整備タイプ事業の実施において、KPI の設定に当たり、取り組んだ工夫を聞いたところ、「B.総合計画や総合戦略の KPI とリンクさせた」、「D.市民（含む議会）の納得感が得られるよう、数値化しやすい明白な指標を心掛けた」及び「G.目に見える形のアウトプット指標を KPI として採用した」を回答した事業が多かった。

図表 3-10 KPI の設定に当たり、取り組んだ工夫



注 1）未回答の自治体を除く

注 2）複数選択可

### 3.3 ヒアリング調査の実施

#### 3.3.1 各ヒアリング調査の結果

ヒアリング調査では、事業実施計画、過年度の事業実施報告、自立性に関する詳細調査等を基にインタビュー、意見交換、視察等を行った。ヒアリング調査を実施した事例は以下のとおりであり、各ヒアリング調査の結果を次頁以降に掲載する。

また、ヒアリング調査から得られた主な示唆を併せて整理している。なお、主な示唆については、拠点整備タイプ事業だけでなく、推進タイプ事業におけるヒアリング調査の結果も踏まえた上で、整理している。

図表 3-11 ヒアリング調査の実施事例

| No. | 事業テーマ       | 地方公共団体名 | 事業名                                         |
|-----|-------------|---------|---------------------------------------------|
| 1   | ローカルイノベーション | 栃木県     | スマートマルチマテリアル化支援拠点整備事業                       |
| 2   | ローカルイノベーション | 新潟県新発田市 | 天王小学校空き校舎リノベーション事業                          |
| 3   | 農林水産        | 長野県長和町  | 長和町道の駅エリア再整備による地域農業・地域産業活性化事業               |
| 4   | 生涯活躍のまち     | 北海道上士幌町 | 生涯活躍のまち 上士幌シェアオフィス整備計画                      |
| 5   | 移住・人材       | 長野県塩尻市  | 地域におけるデジタル人材育成・確保×交通 DX を加速化する拠点整備事業        |
| 6   | 若者雇用対策      | 北海道松前町  | 松前町肉牛改良センター 賃貸型繁殖肥育一貫牛舎整備プロジェクト             |
| 7   | ワークライフバランス  | 長野県須坂市  | 子育て・就労総合支援拠点（仮称）整備計画                        |
| 8   | 小さな拠点       | 島根県雲南市  | 多機能・複合化による小さな拠点施設（波多交流センター）整備事業             |
| 9   | コンパクトシティ    | 岩手県花巻市  | 南部杜氏の里から日本酒文化を発信する「いつでも行きたい」交流拠点「道の駅石鳥谷」の形成 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                           |                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| <b>【事例研究結果①】</b>                                                                                                                                                                                                                                                          |                       |
| 事業名                                                                                                                                                                                                                                                                       | スマートマルチマテリアル化支援拠点整備事業 |
| 事業テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                     | ローカルイノベーション           |
| 地方公共団体名                                                                                                                                                                                                                                                                   | 栃木県                   |
| <b>【事業概要】</b>                                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
| <p>交付金を活用して、<u>既存の県産業技術センターの改修、試作開発・解析評価機器等の導入</u>を実施する。金属や樹脂の接着・接合による製品・部品の軽量化を図る「マルチマテリアル化技術」の開発支援等、より効果的な試作開発や性能・信頼性評価の支援を行うことによって、県主力産業であるものづくり中小企業の技術力・競争力強化を図る。</p>                                                                                                 |                       |
| <b>【調査対象選定理由】</b>                                                                                                                                                                                                                                                         |                       |
| <p><u>カーボンニュートラルの実現に向けた新技術・新製品開発支援</u>という、民間の研究開発支援を通じた地域経済活性化の取組という点で、横展開に値する取組と考えられる。また、拠点施設内に設置する機器使用料・依頼試験料を設定・徴収するほか、地域中小企業からのニーズを把握することで拠点施設の更なる利活用を促進しており、結果として民間からの収入増も可能となっている。地域中小企業の状況を鑑みた時、行政として担うべき負担はありながら、官民の負担のバランスを取りながら<u>事業の自走に向けた取り組みができています。</u></p> |                       |
| <b>【事業推進の具体的な取組・工夫】（事業継続に必要な財源の確保、効果検証等）</b>                                                                                                                                                                                                                              |                       |
| <b>事業継続に必要な財源の確保</b>                                                                                                                                                                                                                                                      |                       |
| <p>本事業は事業収入 6 割、県一般財源 4 割で運営している。<u>元々一社単独では用意できない機器を多くの企業に活用いただく使命があるため、県財源を一定充てる形式で自立化と考</u><br/><u>えている。過去の拠点整備交付金事業の機器活用実績を基に、計画段階で事業完了後の利用件</u><br/><u>数を予測し、事業収入のバランスを策定</u>している（なお、活用の実績は当初計画を上回っており、好調である。）。</p>                                                  |                       |
| <b>効果検証</b>                                                                                                                                                                                                                                                               |                       |
| <p>県事業全体での効果検証を年 2 回の有識者委員会で実施しており、本事業もその一つとして報告を行った。なお、県産業技術センターでは、活用企業に対しアンケートを実施しており、施設の活用がどの程度の金銭的価値があったと考えるかといった質問を行い、施設利用の価値を評価するなどを行っている（なお、施設利用料を超える価値の回答を得ている。）。</p>                                                                                             |                       |
| <b>ニーズを踏まえた事業計画</b>                                                                                                                                                                                                                                                       |                       |
| <p>県産業振興のための基本指針「新とちぎ産業成長戦略」の中に位置付けられる産業技術センターの高機能化のための事業であり、<u>センターの運営計画（5 年間）に基づき、地域の中小企業等の課題・ニーズを把握しながら整備計画を策定</u>した。過年度に実施した拠点整備事業の経験に加え、<u>先端技術開発のニーズを民間から吸い上げる</u>ことで、継続的に活用される施設整備ができています。</p>                                                                     |                       |
| <b>【調査結果のポイント】</b>                                                                                                                                                                                                                                                        |                       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内中小企業の技術力・競争力強化を図るという目的に向けて行政が果たすべき役割を整理し、当該役割を踏まえた上で、<u>事業の趣旨に沿った自走化の姿を設定</u>している。</li> <li>● <u>民間企業から研究開発ニーズを随時吸い上げることで、ニーズの高い施設等を整備</u>したことにより、依頼試験・機器開放・技術相談を実施する企業が増加している。</li> </ul>                                     |                       |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| <b>【事例研究結果②】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                    |
| 事業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 天王小学校空き校舎リノベーション事業 |
| 事業テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ローカルイノベーション        |
| 地方公共団体名                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 新潟県新発田市            |
| <b>【事業概要】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                    |
| <p>閉校となった小学校において事務所転用のための工事等を行い、「シェアオフィス型施設」として整備するとともに、<u>入居企業には、人材・技術交流、受注機会の支援などを行っている。</u> IT 関連の先端企業と起業家の誘致を進めるとともに、それらの企業等の市内定着を図る。</p>                                                                                                                                                         |                    |
| <b>【調査対象選定理由】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                    |
| <p>令和 4 年 10 月に稼働開始し、令和 5 年度までに<u>当初の目標の 5 社を上回る 9 社が入居している点</u>、入居企業への官によるサポート体制を整備するとともに、<u>入居企業同士や入居企業と地域企業による「連携の機会」の創出</u>を志向している点から、参考になる取組が展開されていると想定される。</p>                                                                                                                                  |                    |
| <b>【事業推進の具体的な取組・工夫】（事業継続に必要な財源の確保、効果検証等）</b>                                                                                                                                                                                                                                                          |                    |
| <b>事業継続に必要な財源の確保</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                    |
| <p>市内企業、地域の大学や県と連携し入居企業の探索を行ったほか、<u>利用者等への聴き取りによるレイアウト変更やニーズ発掘により稼働率が向上した結果、賃料収入が増加</u>している。近年の水道光熱費の高騰によって、維持管理費用が増加しているものの、<u>当初の目標を上回る入居件数及び賃料収入を得ており</u>、自立化を目指し、引き続き企業誘致を行う。</p> <p>なお、スタートアップ企業向けの誘致の難しさを実感しており、ネット広告や経済団体・大学などを通じた誘致を行うなど、どのようなアプローチを実施すれば若者や東京の人材に効果的に訴求するのか、引き続き模索をしている。</p> |                    |
| <b>効果検証</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                    |
| <p>議会からの「地域との交流をさらに推進すべき」との意見を契機に、小学生向け理科実験教室の開催など、地域との交流機会が創出された。その他にも、誘致対象の変更や入居企業間の交流促進についても、議会からの意見を契機に実施されており、<u>効果検証の場がきっかけとなって新たな活動に広がり</u>をみせている。</p>                                                                                                                                         |                    |
| <b>【調査結果のポイント】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業収入の核となる賃料収入を確保するために、<u>利用者や企業などに聴き取りを積極的に行うことで、当初想定していなかった新たなニーズを発掘</u>するに至り、結果として、施設の稼働率を高め、賃料収入を年々増加させている。</li> </ul>                                                                                                                                    |                    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| <b>【事例研究結果③】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                               |
| 事業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 長和町道の駅エリア再整備による地域農業・地域産業活性化事業 |
| 事業テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 農林水産                          |
| 地方公共団体名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 長野県長和町                        |
| <b>【事業概要】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                               |
| <p>特産品だけでなく、<u>周辺住民が日常的に買物できる機能を持たせるとともに、チャレンジショップといった事業者の創意工夫を店舗づくりに取り入れることが可能な施設</u>を整備。指定管理者制度を採用し、道の駅を拠点とした周辺地域を含む広域的な周遊による賑わい創出と関係人口の拡大を図る。</p>                                                                                                                                                                           |                               |
| <b>【調査対象選定理由】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                               |
| <p>直売所の経営、チャレンジショップなどの創業支援事業、体験農場事業等の<u>運営組織を法人化し、運営主体が経営責任を負いながら事業を展開する</u>という、事業の自走化への体制が整っている点や、レンタルオフィスやチャレンジショップ、足湯を併設するなど、<u>拠点設備の多機能化という点でも特徴的</u>であり、参考になる取組が展開されていると想定される。</p>                                                                                                                                        |                               |
| <b>【事業推進の具体的な取組・工夫】（事業継続に必要な財源の確保、効果検証等）</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                               |
| <b>事業継続に必要な財源の確保</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                               |
| <p><u>必要な財源の大部分（約9割）は店舗の売上等の事業収入で賄っており、残り（約1割）は指定管理料によって賄っている</u>。事業収入によって事業を継続するためには、十分な事業収入を確保することが重要であるが、地域住民への周知について、町の広報誌を活用し、竣工から全面的に掲載するなど、広報を工夫した。また、交通量が多く、目に見えやすいという立地も相まって、口コミも含め、事業に対する理解が自然に広まった。町の行政政策について、住民へのアンケートを行った結果、満足度の高さは顕著なものであった。また、店舗運営についても、指定管理者が利用者からアンケートを取り、御意見を踏まえて対応を行うことで、魅力的な運営に繋がっている。</p> |                               |
| <b>効果検証</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                               |
| <p>議会では予算編成・決算審査において指定管理料という枠組みの中で、外部組織では総合戦略の協議会において総合戦略の目標達成状況の評価の枠組みで検証が行われている。</p> <p>なお、施設の立上げ時は、指定管理料の在り方について、財政的な観点からの議会の関心が高く、個別に運営委員会が開催され、事業単体で検討されるなど注目度が高かった。</p>                                                                                                                                                  |                               |
| <b>官民連携</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                               |
| <p>施設の立上げ時、施設の運営主体を誰が担うかという点が課題として挙がり、例えば、行政は経営のノウハウが乏しいことから、行政直営は困難と考えていた。<u>施設の利用者を確保するためには、行政に任せない自立した営業形態がいいのではないかと判断し、民間で運営することとした</u>。具体的には、地域の事業者へ声掛けを行い、<u>8社の賛同・出資を得て、指定管理者となる運営法人を設立するとともに、地域おこし協力隊との協働で、先進事例調査、店舗のコンセプト作りを実施した</u>。</p>                                                                             |                               |
| <b>【調査結果のポイント】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設の利用者確保やそれに伴う事業の継続を見据えた際に、<u>民間で施設を運営することが最善の策と判断</u>し、地域の事業者による運営法人を設立し、事業を実施している。</li> <li>● 事業の初期段階から民間事業者と連携しているとともに、<u>地域の事業者の力を活用して施設を運営する点が地域経済循環の観点からも重要</u>である。</li> </ul>                                                                                                  |                               |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| <b>【事例研究結果④】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                       |                        |
| 事業名                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 生涯活躍のまち 上士幌シェアオフィス整備計画 |
| 事業テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 生涯活躍のまち                |
| 地方公共団体名                                                                                                                                                                                                                                                                                | 北海道上士幌町                |
| <b>【事業概要】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                          |                        |
| 町外の企業や個人事業主が、 <u>上士幌町の大自然を眺めながら仕事ができるオープンな共有ワークスペース「かみしほろシェアオフィス」を整備</u> する。本事業の実施によって、働き方改革を推進するとともに、他の事業とも連携しながら雇用創出や企業誘致につなげる。                                                                                                                                                      |                        |
| <b>【調査対象選定理由】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                      |                        |
| 平成 27 年の「上士幌町人口ビジョン・総合戦略」に基づき、移住・定住促進、子育て支援、小さな拠点、健康・福祉等に関して、様々な交付金を得ながら推進しており、十勝管内 19 市町村において唯一人口が微増している。近年の <u>リモートワークやワーケーションへの関心の高まりとニーズを捉えて整備されたシェアオフィスは、政策間の連携や他事業との相乗効果が図られており</u> 、自走化へのモデルができているなど、参考になる取組が展開されていると想定される。                                                     |                        |
| <b>【事業推進の具体的な取組・工夫】（事業継続に必要な財源の確保、効果検証等）</b>                                                                                                                                                                                                                                           |                        |
| <b>事業継続に必要な財源の確保</b>                                                                                                                                                                                                                                                                   |                        |
| IT の活用によって <u>施設管理を省力化・無人化</u> することで、 <u>管理費を削減</u> し、シェアオフィス利用料金に対する管理費と収入を半々程度に収めている（管理費は一般財源から補填している。）。人口 5 千人規模の町では、事業単体で採算を取することは非常に難しいため、 <u>複数の地方創生事業の相乗効果によって、総合的な黒字化・自走化を目指しており</u> 、行政負担をゼロにすることは想定していない。                                                                    |                        |
| <b>効果検証</b>                                                                                                                                                                                                                                                                            |                        |
| 産業界、大学、金融機関等の外部組織による効果検証、シェアオフィスの利用者を対象としたアンケート調査によって、利便性向上と利用者増加のための改善を行っている。                                                                                                                                                                                                         |                        |
| <b>政策間連携</b>                                                                                                                                                                                                                                                                           |                        |
| DX や子育て支援策を強化し、 <u>住みやすいまちづくりから移住者を増やす目的の一環として、当事業を捉えている</u> 。また、ふるさと納税の返礼品について、「かみしほろ縁ハンスプロジェクト」というマッチングプロジェクトとの連携によって商品開発を行うなど、 <u>ふるさと納税制度</u> も活用して、都心部との交流人口や移住者の増加に繋げる構想である。<br>くわえて、 <u>データ連携基盤へのシェアオフィスの予約システム搭載、MaaS</u> のルートに加えるなど、利便性を高めることにより、利用者増加を図っている。                 |                        |
| <b>【調査結果のポイント】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                     |                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 町の基本計画を推進するために、様々な事業が計画・実施されている。<u>基本計画をもとに町のあるべき姿や将来像がストーリー化</u>されていることで、<u>政策間・事業間の相乗効果がしっかりと図られている</u>。</li> <li>● 人口規模が小さい自治体では、上士幌町が示唆するように、事業単体での自走化を目指すというよりも、<u>他事業との連携や相乗効果を図って、複数の事業全体としての黒字化による自走化という類型も考えられる</u>と思われる。</li> </ul> |                        |

|                                                                                                                                                                                                                                                            |                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| <b>【事例研究結果⑤】</b>                                                                                                                                                                                                                                           |                                      |
| 事業名                                                                                                                                                                                                                                                        | 地域におけるデジタル人材育成・確保×交通 DX を加速化する拠点整備事業 |
| 事業テーマ                                                                                                                                                                                                                                                      | 移住・人材                                |
| 地方公共団体名                                                                                                                                                                                                                                                    | 長野県塩尻市                               |
| <b>【事業概要】</b>                                                                                                                                                                                                                                              |                                      |
| 交通 DX 分野を中心とした地域 DX 領域において、最先端の技術を活用し、新たなサービスの研究から実装を <u>産官学民の連携</u> によって持続的に展開するとともに、その過程において <u>デジタル人材の育成・確保</u> を行う場として、コワーキングやシェアオフィス、交流スペースの機能を有する拠点施設を整備。                                                                                            |                                      |
| <b>【調査対象選定理由】</b>                                                                                                                                                                                                                                          |                                      |
| <u>交通 DX は多くの自治体の関心が高く</u> 、また雇用施策と連携しながら事業を推進し、地域人材を対象に <u>デジタル人材の育成と確保</u> を行っており、参考になる取組が展開されているものと想定されるため。                                                                                                                                             |                                      |
| <b>【事業推進の具体的な取組・工夫】（事業継続に必要な財源の確保、効果検証等）</b>                                                                                                                                                                                                               |                                      |
| <b>事業継続に必要な財源の確保</b>                                                                                                                                                                                                                                       |                                      |
| これまでの取組の中でパートナー企業の参画は進んでおり、一層の増加を目指している状況であるが、 <u>利用者に価値を提供し続けるための行政コストをどのように確保するかが課題</u> と認識している。交通 DX 関連で実施する自動運転の実証プロジェクトでは、参加者が対等に人的リソースを出し合いチームを組成しており、 <u>財源は市の一般財源が一部あるものの、大半は参加者が協働して国等からの予算を獲得</u> している。                                          |                                      |
| <b>効果検証</b>                                                                                                                                                                                                                                                |                                      |
| 議会では予算編成・決算審査において一般財源という枠組みの中で、外部では塩尻市行政評価委員会において総合戦略の目標達成状況の評価の枠組みの中で検証している。                                                                                                                                                                              |                                      |
| <b>人材の育成・確保</b>                                                                                                                                                                                                                                            |                                      |
| 自営型テレワーク推進事業（KADO）の拠点が隣接しており、KADO ではワーカーに OJT でデジタルのリスキングを実施し、自動運転に使われる <u>3 次元地図の作成</u> や <u>GIGA スクールの ICT サポート</u> 等によって、地域住民が生業として事業に参加しており、 <u>デジタル人材の育成</u> に貢献している。また、KADO のクライアントで施設内にサテライトオフィスを構えた企業もあり、企業誘致にも繋がっている。                             |                                      |
| <b>政策間連携</b>                                                                                                                                                                                                                                               |                                      |
| MaaS という分野は、自治体にとってチャレンジングな領域であるが、 <u>自治体 DX の戦略の中に MaaS を位置づける</u> ことで、公共交通としての実証実験を行うロジックを検討し、事業を推進する流れを構築している。                                                                                                                                          |                                      |
| <b>【調査結果のポイント】</b>                                                                                                                                                                                                                                         |                                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体 DX の取組の中で <u>DX 戦略に MaaS を位置づけ</u>、実証実験のためのロジックを組み立てることや、隣接する自営型テレワーク推進事業（KADO）の拠点と連携し、自動運転に使われる 3 次元地図の作成、GIGA スクールの ICT サポートなどの<u>本事業に欠かせないデジタル人材を育成する</u>など、<u>自治体内のあらゆる施策と連携しながら事業の効果を高めている</u>。</li> </ul> |                                      |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| <b>【事例研究結果⑥】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                 |
| 事業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 松前町肉牛改良センター 賃貸型繁殖肥育一貫牛舎整備プロジェクト |
| 事業テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 若者雇用対策                          |
| 地方公共団体名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 北海道松前町                          |
| <b>【事業概要】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                 |
| <p>松前町では、人口減少と高齢化が急速に進む一方で、主産業である漁業者の冬季出稼ぎや、町内産業がなく雇用力が小さいことにより、若者をはじめとする人口流出が続いている。若者たちが「働ける」環境づくりと産業構造の構築が喫緊の課題であり、この対策として、高齢化と後継者不足に悩む畜産業において、新規就農支援と肉牛改良の技術向上支援を決定した。2019年度に整備した「松前町肉牛改良センター」の新規就農支援策と連携する施策として、当町で<u>新規就農を目指す若者等を対象とした支援設備として、研修を行う牛舎の周辺に居住施設を併設する賃貸型牛舎を整備</u>した。新規就農に必要な知識や技術の習得と、居住地や牛舎の提供による初期投資費用の負担軽減を図り、町内での新規就農を支援する。</p> |                                 |
| <b>【調査対象選定理由】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                 |
| <p>新規就農支援として、松前町肉牛改良センターでの研修、研修生及び新規就農予定者の居住施設、賃貸牛舎を整備しており、<u>新規就農を目指す人に必要な知識・技術の習得と、初期投資負担軽減がなされているなど徹底した支援策</u>を講じている。</p>                                                                                                                                                                                                                          |                                 |
| <b>【事業推進の具体的な取組・工夫】（事業継続に必要な財源の確保、効果検証等）</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                 |
| <b>事業継続に必要な財源の確保</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                 |
| <p>事業費は、牛舎等及び居住施設の維持管理費、研修生への給与であり、これらの<u>事業費は町の一般財源から拠出</u>しており、毎年約 2,500 万円の規模（人件費は含まない。）である。</p>                                                                                                                                                                                                                                                   |                                 |
| <b>効果検証</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                 |
| <p>毎年度 6 月頃に、外部有識者等を含む検証機関「松前町創生総合戦略会議委員」において、重要業務評価指数（KPI）及び PDCA サイクルによる事業の改善を図っている。検証機関は町内の 30～50 歳代を中心に構成されており、その内訳は、産業ブロック 19 名、子育て・医療ブロック 5 名、行政ブロック 5 名の計 29 名であり、毎年度、検証結果をホームページで公表している。</p>                                                                                                                                                  |                                 |
| <b>人材の育成・確保</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                 |
| <p>牛舎の賃貸による新規就農者の初期投資費用の軽減、研修生の所得支援、研修の実施により、<u>新規就農の障壁を大きく削減</u>することにより、町外からの研修生を確保している。<u>畜産に知見がある人を町外から採用</u>して、事業の形作りを行った。また、既存の地元畜産農家と共に就労することで、<u>知見の伝達や細かい相談にも対応可能な体制</u>となっている。</p>                                                                                                                                                           |                                 |
| <b>【調査結果のポイント】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 動物を相手にする畜産業においては、高度な専門知識と技術が求められる上、牛舎等の飼育設備に多額の初期投資が必要とされる。これらのみならず、<u>居住施設や所得面も行政が全面的に支援する</u>ことにより、新規就農者の確保に成功している。</li> <li>● <u>外部専門家、地元の大学、事業者、既存農家等の産学官の多様な関係者が連携</u>し、町の産業振興という目的に向かってともに邁進することで事業効果を高めている。</li> </ul>                                                                                |                                 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| <b>【事例研究結果⑦】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                      |
| 事業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 子育て・就労総合支援拠点（仮称）整備計画 |
| 事業テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ワークライフバランス           |
| 地方公共団体名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 長野県須坂市               |
| <b>【事業概要】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                      |
| <p><u>子育て支援と就労支援を複合的に行う総合支援拠点を整備し、一体的な支援提供体制</u>や託児スペースの設置を設定することで、子育て世代が相談やイベントに参加しやすい環境を整備している。また、<u>コワーキング、カフェ、物販、キッチンスペースの設置によって様々な世代の利用を促進</u>し、精神的にも経済的にも安心して子育てができるまちづくりを目指す。</p>                                                                                                                                                                                     |                      |
| <b>【調査対象選定理由】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                      |
| <p>民間企業による運営の計画、使用料による収益確保、他のソフト事業との協働、移住・定住促進との連携など、<u>本拠点を中心として、多角的な視点から地域振興が考慮されている</u>ものと想定される。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                      |                      |
| <b>【事業推進の具体的な取組・工夫】（事業継続に必要な財源の確保、効果検証等）</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                      |
| <b>事業継続に必要な財源の確保</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                      |
| <p>現在の事業については、市の一般財源を中心に、デジタル田園都市国家構想交付金（推進タイプ）、施設利用料等によって財源を確保し、運営を行っている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                      |
| <b>効果検証</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                      |
| <p>議会では予算編成・決算審査において一般財源という枠組みの中で、外部では須坂市行政改革推進委員会において総合戦略の目標達成状況の評価の枠組みの中で検証している。</p> <p>また、<u>指定管理者を選定する前から、地方創生関係交付金の3か年を一区切りとしたロードマップを提示するなど、議会に丁寧に説明を行って、理解を得ながら進めてきた。</u></p>                                                                                                                                                                                          |                      |
| <b>政策間連携・地域間連携</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                      |
| <p>子育てと就労という公共の福祉に関わる支援を複合的に実施するに当たり、行政の役割として、<u>指定管理者のモニタリング</u>のほか、公共的施設として公共の福祉に資するかの判断を行い、地域子育て支援拠点事業や子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）を担う施設も併設されていることから、本事業の実施によって市民サービスの質の低下を招かないよう<u>積極的な助言や関与を行いつつ、民間のアイデアも積極的に取り入れる</u>といった立ち回りを行っている。当初は、子育て支援と就労支援の担当業務の住み分けに苦戦したが、事業を進める中で整理を進めている。</p> <p>また、<u>姉妹都市である神奈川県三浦市とも連携を行い、特産物のイベントや産直市場などを定期的に開催</u>し、施設の魅力を高めている。</p> |                      |
| <b>【調査結果のポイント】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会福祉という事業の性質を踏まえた上で、<u>行政が一定の関与を行い、質の高いサービスを担保することを前提に事業を設計</u>し、交付金事業の位置づけや事業内容を設定している。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                 |                      |

|                                                                                                                                                                                                                                                             |                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| <b>【事例研究結果⑧】</b>                                                                                                                                                                                                                                            |                                 |
| 事業名                                                                                                                                                                                                                                                         | 多機能・複合化による小さな拠点施設（波多交流センター）整備事業 |
| 事業テーマ                                                                                                                                                                                                                                                       | 小さな拠点                           |
| 地方公共団体名                                                                                                                                                                                                                                                     | 島根県雲南市                          |
| <b>【事業概要】</b>                                                                                                                                                                                                                                               |                                 |
| <p><u>閉校した小学校を転用していた波多交流センターのバリアフリー化を進めるとともに、室内と中庭を一体的に活用できるように整備し、地域内外の交流事業を促進した。</u>波多交流センターを拠点とする波多コミュニティ協議会は、地区で唯一のマーケットである「はたマーケット」の運営や、「たすけ愛号」による移動支援、生涯学習や福祉の情報を掲載する「はただより」の作成・配布、地域の担い手育成事業、各種イベントの企画・運営等を実施している。</p>                               |                                 |
| <b>【調査対象選定理由】</b>                                                                                                                                                                                                                                           |                                 |
| <p><u>地域自主組織の活動拠点を多機能拠点施設として整備し、</u>官民が連携しながら、地域住民のウェル・ビーイングの向上を図る取組が多角的に実施されるなど、横展開に資する取組が展開されていると想定される。</p>                                                                                                                                               |                                 |
| <b>【事業推進の具体的な取組・工夫】（事業継続に必要な財源の確保、効果検証等）</b>                                                                                                                                                                                                                |                                 |
| <b>事業継続に必要な財源の確保</b>                                                                                                                                                                                                                                        |                                 |
| <p><u>事業収入は、会費、視察料、はたマーケットの売上、貸館等使用料等から得ている。</u></p>                                                                                                                                                                                                        |                                 |
| <b>効果検証</b>                                                                                                                                                                                                                                                 |                                 |
| <p>総務常任委員会と雲南市総合計画策定委員会で交付金事業の進捗を報告し、質疑・審議を受けている。また、<u>波多コミュニティ協議会の役員会、幹事会、総会が年に4回行われており、</u>波多コミュニティ協議会の活動（市からの連絡事項や決算・予算、イベント等の実施状況、今後の行事予定等）について議論されている。</p>                                                                                             |                                 |
| <b>人材の育成・確保</b>                                                                                                                                                                                                                                             |                                 |
| <p>雲南市では令和元年から、「<u>地域経営カレッジ</u>」という<u>地域の担い手事業を実施し、若者が地域の活動に参加するきっかけづくりを行っている。</u>地域経営カレッジでは、地域住民や地域の出身者から選出された若者が集まり、地域の課題に関する検討テーマを設定し、それぞれの課題に対する方策を議論する。議論の結果得られた課題に対する方策は地域に提案され、地域はその提案に基づいてイベントの実施等の取組を行う。地域経営カレッジに参画したメンバーは、引き続き波多地区の活動に関与している。</p> |                                 |
| <b>官民連携</b>                                                                                                                                                                                                                                                 |                                 |
| <p>雲南市は、<u>民間の運送会社とドローン会社との間で、ドローンを含む次世代高度技術活用により地域課題の解決に貢献する新スマート物流構築に向けた包括連携協定を結んだ。</u>新スマート物流とは、物流の効率化を図るために、官民が連携して一時集荷所以降のラストワンマイルを陸送・空送する試みである。2023年3月には、<u>道の駅掛合の里を一時集荷所とし、波多交流センターをドローンの離発着場所とした実証実験が行われた。</u></p>                                  |                                 |
| <b>【調査結果のポイント】</b>                                                                                                                                                                                                                                          |                                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● コミュニティ施設を改修し、機能を集約することで地域住民が利用しやすい施設となっている。<u>地域自主組織は、多機能・複合化した施設を利用し、官と連携しながら、地域住民がよりよく生活するための取組を実施している。</u></li> </ul>                                                                                           |                                 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| <b>【事例研究結果⑨】</b>                                                                                                                                                                                                                                                      |                                             |
| 事業名                                                                                                                                                                                                                                                                   | 南部杜氏の里から日本酒文化を発信する「いつでも行きたい」交流拠点「道の駅石鳥谷」の形成 |
| 事業テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                 | コンパクトシティ                                    |
| 地方公共団体名                                                                                                                                                                                                                                                               | 岩手県花巻市                                      |
| <b>【事業概要】</b>                                                                                                                                                                                                                                                         |                                             |
| <p>花巻市石鳥谷町は、日本最大の杜氏集団である南部杜氏の伝承の地であり、道の駅「石鳥谷」は日本酒の魅力発信の拠点である。駐車場拡大や施設改修等による動線の見直しにより、交流人口の拡大・賑わいの創出と、地域の活性化・観光の振興を図った。<u>KPIである「道の駅構内での各施設での売上高」と「購買客数」は目標値（1.4億円）に対し約2.2億円、目標値（93千人）に対し約188千人といずれも大幅に上回って達成している。</u></p>                                             |                                             |
| <b>【調査対象選定理由】</b>                                                                                                                                                                                                                                                     |                                             |
| <p>指定管理者である(株)石鳥谷観光物産は、市・商工関係者等が出資する第三セクターによる道の駅の管理運営を目的とした運営会社であり、約100種類の日本酒や市内・県内の地場産品を幅広く販売し、<u>例年黒字を計上するなど、健全な運営に努めている</u>。商工団体・トラック業界など約30団体との意見交換や、「南部杜氏伝承館リニューアル市民ワークショップ」等を通じて<u>関係団体・市民からの意見を集約</u>している点も特徴的である。</p>                                         |                                             |
| <b>【事業推進の具体的な取組・工夫】（事業継続に必要な財源の確保、効果検証等）</b>                                                                                                                                                                                                                          |                                             |
| <b>事業継続に必要な財源の確保</b>                                                                                                                                                                                                                                                  |                                             |
| <p>事業の運営においては、<u>事業収益制度（指定管理者が自主事業を実施し収入として得るもの）を導入することで、指定管理者の自主的な経営努力を促している</u>。当該事業の運営は、概ね事業収入9割、行政負担1割となっている。行政の負担では、全国道の駅連絡会等の会費等の事務にかかる経費が含まれている。</p>                                                                                                           |                                             |
| <b>効果検証</b>                                                                                                                                                                                                                                                           |                                             |
| <p>来場者数や売上額は、事業運営主体である指定管理者より定期的の実績値の報告を受けて把握している。その結果は、<u>「花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議」で有識者を交えて効果検証を行い、第三者の視点も含めてモニタリングに取り組んでいる</u>。効果検証の結果を踏まえた指定管理者に対する改善活動の検討の機会がないため、今後、<u>改善活動に資する手法等について考えていくことが必要</u>である。</p>                                                         |                                             |
| <b>地域住民への情報提供</b>                                                                                                                                                                                                                                                     |                                             |
| <p>事業計画策定に際し、「道の駅施設再編ワークショップ」「南部杜氏伝承館リニューアル市民ワークショップ」を複数回開催。参加者は、住民や地域事業者、公益社団法人岩手県トラック協会、東北地方整備局等と幅広い関係者を募った。<u>ワークショップでの意見は行政職員が聞き取り、できる限り実現できるよう検討を図った</u>。技術的等の理由により計画に反映できなかった意見については、根拠を示しながら丁寧に説明を果たした。<u>地域の声が十分に反映されたことで、利用者の満足度向上やKPIの達成に寄与</u>している。</p>    |                                             |
| <b>【調査結果のポイント】</b>                                                                                                                                                                                                                                                    |                                             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 形式的に意見収集を行うのではなく、<u>地域住民が立案プロセスと内容に納得できる形で実施</u>することが、事業の持続性に繋がると考えられる。</li> <li>● 効果測定に第三者の視点を含めることで、<u>客観的かつ公平な評価を可能</u>としている。</li> <li>● 指定管理では、<u>事業収益制度（指定管理者が自主事業を実施し収入として得るもの）を導入することで、自主的な経営努力を促している</u>。</li> </ul> |                                             |

### 3.3.2 ヒアリング調査から得られた主な示唆

昨年度及び今年度の検討委員会（第8章参照）において、交付金事業を成功に繋げるための要因として、中期的な計画の策定や人材の育成・確保等の取組の重要性が指摘され、当該取組に着目をして調査を進めることが重要ではないかという議論が行われた。

このことを踏まえた上で、今年度のヒアリング調査を実施したところ、事業運営上の工夫やポイントとして、以下の示唆を得た。

図表 3-12 ヒアリング調査から得られた主な示唆（1/2）

| ポイント         | 調査から得られた示唆                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 長期的な戦略・計画の策定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業の構想段階において、<u>交付金事業期間終了後の事業運営の姿を見据えることが重要であり、具体的にどういった事業モデル・内容であれば継続することができるのか、事業を取り巻く市場や利用者のニーズをあらかじめ調査することがポイントであると考えられる。</u></li> <li>● <u>交付金事業の実施に先立って、現状や課題を整理し、将来のあるべき姿を明確化することによって、長期的なビジョンの中における交付金事業の位置づけや目的が明らかになり、事業を継続する必要性について、関係者の理解を得やすくなる</u>ことが期待できると考えられる。</li> </ul>                          |
| 人材の育成・確保     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係者や専門家を交えた定期的な勉強会やミーティングが、人材のスキルセットの向上に貢献し、事業効果を高めることが期待できると考えられる。</li> <li>● 事業の立ち上げ時から運営時まで、<u>担当者を長期に関与させることで、関係者の能力を最大限に引き出す関係性を構築することが期待できる。</u></li> <li>● 事業の推進に当たっては、行政による金銭面の補助だけでなく、<u>外部の事業者や専門家による指導や相談受入れ等の金銭面以外の補助も重要であり、行政の手が届かない部分を担うことができる外部人材を確保することによって、事業効果を高める</u>ことが期待できると考えられる。</li> </ul> |
| 官民連携         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業の構想・コンセプトの策定段階（初期のプロセス）から民間事業者と連携することで、<u>事業が解決したい地域課題を民間事業者が適切に理解することができ、事業の本格的な運用段階で、高いシナジー効果を得られることが考えられる。</u></li> <li>● <u>進捗の確認・課題の整理・解決策の立案を行う場を、あらかじめ、高い頻度で設定することで、コミュニケーションの障害やそれに由来する事業の停滞を防ぐことが期待できると考えられる。</u></li> </ul>                                                                            |
| 政策間連携        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業の企画・設計段階において、<u>事業を単体で設計するのではなく、他の施策や施設と相互に補完し合うように設計することによって、より効果的な成果を生み出し、持続可能な発展へ繋がる</u>ことが期待できると考えられる。</li> <li>● 政策間連携を強化するために、関係者との情報共有が不可欠であり、<u>それぞれが持つデータや情報を統合し、共通のプラットフォーム（ハード・ソフト両面）で共有することによって、事業効果が拡大することが期待できると考えられる。</u></li> </ul>                                                              |
| 地域住民への情報提供   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業の立案段階、実行段階のいずれも、<u>地域住民への情報発信は極めて重要。立案段階では、形式的に意見収集を行うのではなく、丁寧な聴取の姿勢や根拠を示した説明など、地域住民が立案プロセスと内容に納得できる形で実施することが、事業の成功に繋がる</u>と考えられる。</li> <li>● 実行段階でも、<u>地域住民に対する直接的な効果が見えづらいものや、効果の発現に時間を要するようなものであっても、事業の現状や将来的なビジョン・地域への効果を説明することで、地域住民の理解と社会の受容に繋がり、事業の継続に結びつ</u>くことが期待できると考えられる。</li> </ul>                  |

上記の工夫・ポイントの他に、事業が直面する課題として、例えば、小規模自治体における事業単体での採算の確保の困難性、複数の政策間を一つの事業として進める際の業務分担の複雑性、多数の関係者間におけるコミュニケーションの難易度、定量的な評価が難しい事業効果に関する説得力の高い説明の方法などに直面していることが調査結果として得られた。

また、特に、その取組の重要性が指摘された交付金事業の効果検証については、議会や外部組織による効果検証だけでなく、専門家による技術的な評価を行う機会を別途設けて専門的な検証を実施することや、事業関係者による進捗管理の場を別途設けて年に複数回開催することでタイムリーに進捗を把握することなどが、具体的な工夫やポイントとして抽出された。

他方で、一部の自治体では、交付金事業が、地方創生施策全体の一部として他の事業と横並びで検証されることや、年に一度の形式的な報告に留まり、詳細な議論には及んでいないことなど、十分に効果検証が実施できていないという調査結果も得られた。

図表 3-13 ヒアリング調査から得られた主な示唆（1/2）

| 項目           | 調査から得られた示唆（効果検証）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 効果検証の工夫やポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>専門性の高い領域で実施する事業</u>においては、議会や外部組織による効果検証だけでなく、<u>専門家による技術的な評価・検証を行う機関や機会を設けることによって、事業内容自体の軌道修正や見直しを図ることができ、事業の効果を高めることが期待できると考えられる。</u></li> <li>● 外部組織による効果検証に加えて、より具体的かつ実践的な議論ができるよう、<u>事業関係者を集めた場を定期的（週次会議、月次会議、四半期会議等）に設けることで、事業の進捗をタイムリーに確認するとともに、事業効果の拡大や関係者のマインドセットの醸成にも繋がる</u>ことが期待できると考えられる。</li> <li>● データに基づき事業の課題を見つけ、事業の改善活動に繋げることが可能になるよう、アンケートやヒアリング等を通じて事業の利用者等からデータを収集し、蓄積する枠組みをあらかじめ構築しておくとともに、データ分析ツールも活用しながらデータの解析を行うことで、より客観的な検証に繋がることを期待できると考えられる。</li> </ul> |
| 効果検証の課題      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 交付金事業の効果検証について、一部の自治体では、<u>交付金事業を含めた地方創生施策全体で検証が実施されており、一つ一つの交付金事業に十分な時間を確保して、細かい課題等の議論を行うに至っていない</u>という現状が確認できた。</li> <li>● 一部の自治体では、専用の事業評価シートの作成や提示は行っているものの、限られた時間の中で事業の具体的な内容や進捗状況を本格的に検証することはできず、<u>形式的に検証が進行するなど、報告的な意味合いが強い面がある</u>という現状が確認できた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                    |

## 第4章 デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果を高める要因

事業実施報告の整理・分析の結果（第2章）、事例研究の結果（第3章）及び検討委員会委員の意見を踏まえ、デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果を高めると考えられるポジティブな要因を抽出した。このポジティブな要因は、事業の流れの中で、どの段階で実施するかも重要であり、デジタル田園都市国家構想交付金事業をより効率的、かつ効果的に行うためにはポジティブな要因を適切なタイミングで実施することが重要である。また、その中でも、地方公共団体が特に留意すべき重要な取組を抽出した。

### 4.1 デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因

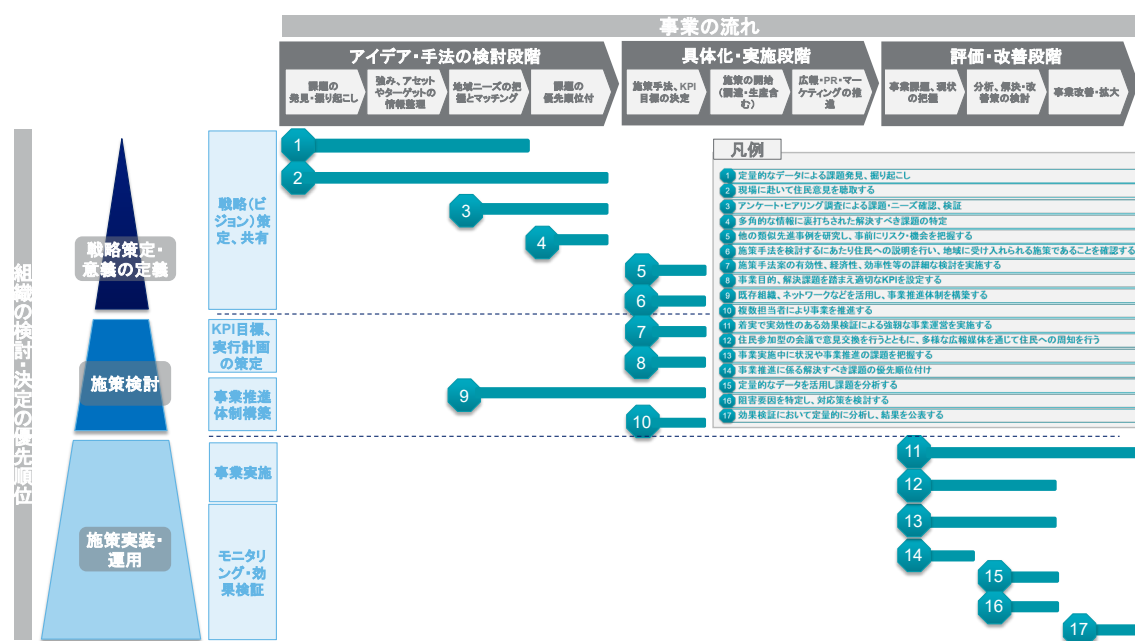
事業実施報告の整理・分析の結果や事例研究（過年度に実施した事業実施報告の分析や事例研究の結果に基づく内容を含む。）を踏まえ、抽出したデジタル田園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因は以下のとおりである。

図表 4-1 デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因

|    |                                               |
|----|-----------------------------------------------|
| 1  | 定量的なデータによる課題発見、掘り起こし                          |
| 2  | 現場に赴いて住民意見を聴取する                               |
| 3  | アンケート・ヒアリング調査による課題・ニーズ確認、検証                   |
| 4  | 多角的な情報に裏打ちされた解決すべき課題の特定                       |
| 5  | 他の類似先進事例を研究し、事前にリスク・機会を把握する                   |
| 6  | 施策手法を検討するにあたり住民への説明を行い、地域に受け入れられる施策であることを確認する |
| 7  | 施策手法案の有効性、経済性、効率性等の詳細な検討を実施する                 |
| 8  | 事業目的、解決課題を踏まえ適切なKPIを設定する                      |
| 9  | 既存組織、ネットワークなどを活用し、事業推進体制を構築する                 |
| 10 | 複数担当者により事業を推進する                               |
| 11 | 着実で実効性のある効果検証による強靱な事業運営を実施する                  |
| 12 | 住民参加型の会議で意見交換を行うとともに、多様な広報媒体を通じて住民への周知を行う     |
| 13 | 事業実施中に状況や事業推進の課題を把握する                         |
| 14 | 事業推進に係る解決すべき課題の優先順位付け                         |
| 15 | 定量的なデータを活用し課題を分析する                            |
| 16 | 阻害要因を特定し、対応策を検討する                             |
| 17 | 効果検証において定量的に分析し、結果を公表する                       |

また、これらの要因を「組織の検討・決定の流れ」及び「事業の流れ」を踏まえて整理した場合、下記のとおりとなる。

図表 4-2 「組織の検討・決定の流れ」及び「事業の流れ」を踏まえた  
デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因の整理結果



## 1) 事業の流れ（アイデア・手法の検討段階）

解決課題を発見するため、統計情報（公開されている定量的なデータなど）を活用した事業ほど、KPI 目標を達成した割合が高い傾向にある。また、解決課題の発見において、定期的に現地に赴き、住民意見の聞き取りを行った事業についても、KPI 目標を達成した割合が同様に高い傾向を示している。つまり、住民の意見や定量的なデータの分析結果を踏まえ、交付金事業によって解決すべき課題を抽出しておくことが、事業の成否を分ける重要な要因であると考えられる。

また、抽出した課題について「地域の実態やニーズの把握を目的としたアンケート調査」等の結果を基に、課題の特定、優先順位付けを行った事業ほど、自立化の目途が立っている割合が高い傾向にある。つまり、地域の複数ある課題を発見すること、また発見した課題のうち優先的に解決する課題の特定を行うことが、事業の効果を高めるうえで重要である。

## 2) 事業の流れ（具体化・実施段階）

施策手法の検討に当たり、類似した取組を行っている地方公共団体などへの現地視察を実施し、事例を研究した上で、施策手法を立案している事業ほど、自立化の目途が立って

いる割合が高い傾向にある。同様に、検討会やワークショップでの住民への説明を行い、地域に受け入れられる施策であることを確認している事業ほど、KPI を達成している割合が高い。

また、政策手段の選定に当たり、先進事例を研究した上で、有効性・経済性・効率性の詳細な検討を行うことが、事業の効果を高める重要な要因であると考えられる。こうした詳細な検討に基づき、事業を継続させていくことを念頭に置いた長期的な事業戦略や計画を策定している事業ほど、KPI を達成している割合が高い。

施策手法の検討・決定のみではなく、事業目的等を踏まえた事業の KPI を適切に設定することも重要である。

事業推進体制の構築に当たっては、アイデア・手法の検討段階から重要と考えられ、事業運営の軸となる人材の育成・確保に加えて、民間団体との連携や異なる政策分野との連携など、既存組織・ネットワークを活用し、事業運営の強靱化を図ることは、事業の効果を高めるうえでの重要な要因である。また、事業を実施する際、複数担当者を配置し、事業を推進していくことも事業の効果を高めるうえで重要である。

### 3) 事業の流れ（評価・改善段階）

事業実施中に状況及び事業推進の課題をモニタリングしている事業ほど、KPI を達成している割合が高い傾向にある。事業を実施する中でも課題を把握し、その優先順位付けを行って対策を講じることが、事業の効果を高める重要な要因であると考えられる。加えて、これらの把握・優先順位付けした課題について、統計データ等の証拠から、定量的・客観的にも把握している事業ほど、自立化の目途が立っている割合が高い傾向にある。

また、着実で実効性のある効果検証によって、事業運営の強靱化を図ることは、事業の効果を高めるうえで重要な要因である。効果検証を通じて、課題を発見し、有識者の意見を聞き、改善策を講じるといったサイクルで事業を運営している事業ほど、地方創生への効果認識が高く、事業を発展・継続している傾向にある。また、有識者による検証に加えて、事業の実務者や専門家による定期的なミーティング等を開催することによって、事業の進捗管理や実務的な議論を行う機会を確保することも、重要であると考えられる。

さらに、効果検証において分析した事業の進捗等の結果を公表している事業ほど、KPI を達成している割合が高まる傾向にあるため、地域住民等への結果の公表も、事業の効果を高める要因であると考えられる。

## 4.2 地方公共団体が特に留意すべき重要な要因

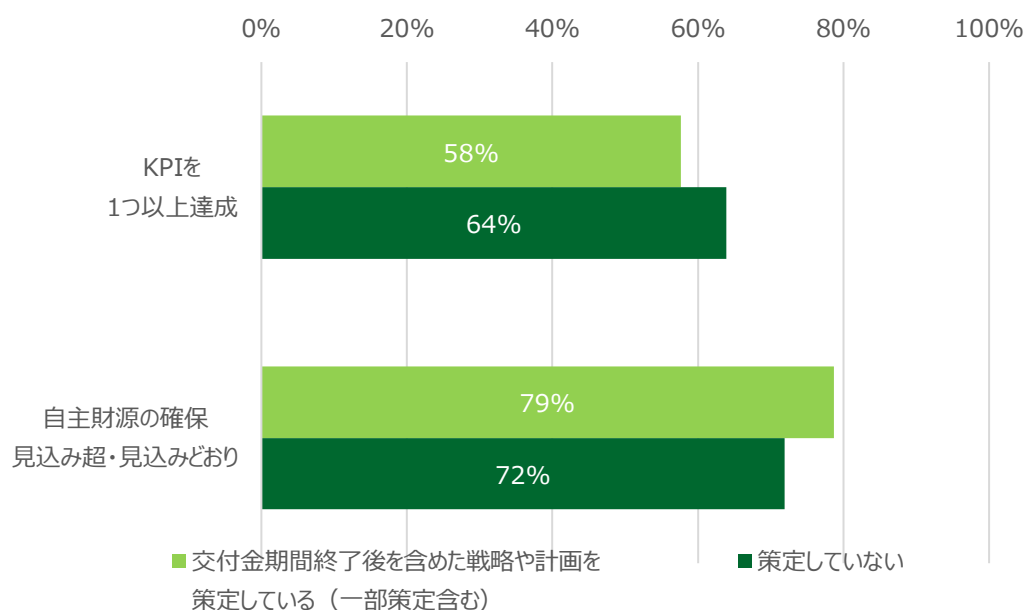
デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因に関して、特に事業の効果等への影響が大きいと考えられる下記の6点の取組を、地方公共団体が特に留意すべき重要な要因として整理した。

### (1) 事業継続に向けた長期的な戦略・計画の策定

交付金対象事業期間終了後の期間を含めた事業戦略や中期計画等を策定している事業は、自主財源の確保状況が見込みを上回る又は見込みどおりの事業が占める割合が、未策定の事業の割合と比べて、高い傾向にあることが確認できる。

また、事例研究では、「事業の構想段階から、交付金事業期間終了後の事業運営の姿を見据えて戦略・計画を策定すること」や「交付金事業の実施に先立って、現状や課題を整理し、将来のあるべき姿を明確化すること」といった取組が有益であったという調査結果が得られており、事業継続に向けた長期的な戦略・計画の策定は、事業効果を高める上で重要な要因であると考えられる。

図表 4-3 KPI 達成事業割合・自主財源の確保状況（戦略・計画の策定有無別）



注1) 供用未開始事業は試算から除く

注2) KPI 達成事業割合について、共同（連携）事業は試算から除く

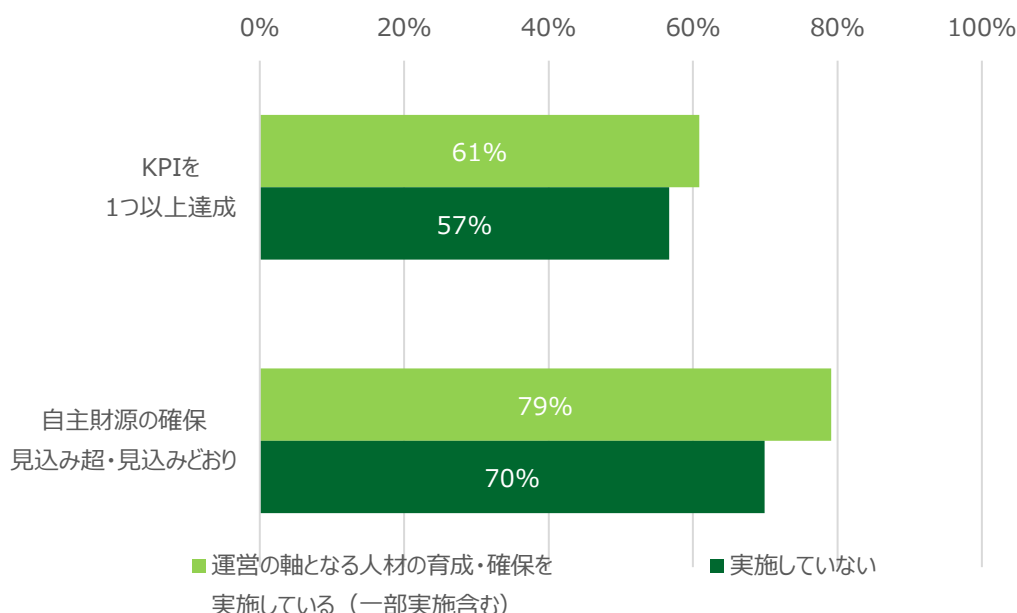
注3) 「自主財源を確保」とは、事業収入と一般財源を合わせて事業運営コストを賄っていることをいう

## (2) 事業運営の軸となる人材の育成・確保

事業を継続するために、事業運営の軸となる人材の育成・確保を実施している事業は、KPI の 1 つ以上を達成する事業の割合及び自主財源の確保状況が見込みを上回る又は見込みどおりの事業が占める割合が、未実施の事業の割合と比べて、高い傾向にあることが確認できる。

また、事例研究では、「人材のスキルセットの向上に資する関係者や専門家を交えた定期的な勉強会やミーティング」や「担当者の長期的な関与」、「行政の手が届かない部分を担うことができる外部人材の確保」といった取組が有益であったという調査結果が得られており、事業運営の軸となる人材の育成・確保は、事業効果を高める上で重要な要因であると考えられる。

図表 4-4 KPI 達成事業割合・自主財源の確保状況（人材の育成・確保の実施有無別）



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) KPI 達成事業割合について、共同（連携）事業は試算から除く

注 3) 「自主財源を確保」とは、事業収入と一般財源を合わせて事業運営コストを賄っていることをいう

### (3) 官民連携

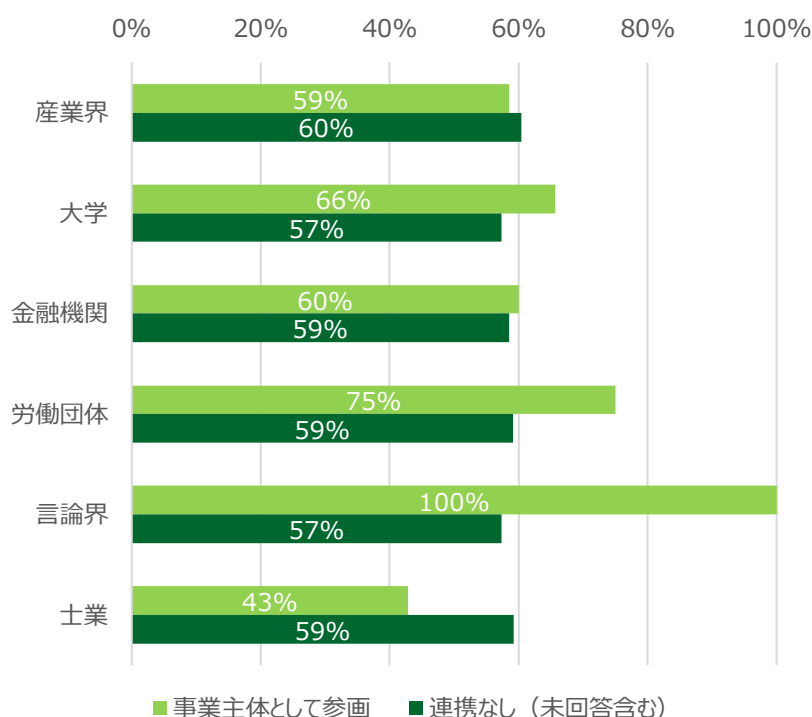
民間団体が事業主体として参画している事業は、連携主体によっては、KPI の 1 つ以上を達成する事業の割合及び自立化の見込みありと回答する事業が占める割合が、未実施の事業の割合と比べて、高い傾向にあることが確認できる。

特に、KPI の達成割合については、大学、労働団体、金融機関及び言論界が高い割合となっており、自立化の見込みについては、産業界、大学及び労働団体が高い割合となっている。

また、事例研究では、「事業の構想・コンセプトの策定段階（初期のプロセス）から民間事業者と連携すること」や「進捗の確認・課題の整理・解決策の立案を行う場を、あらかじめ高い頻度で設定すること」といった取組が有益であったという調査結果が得られており、事業収益に関する目利き能力を保有する民間団体の事業主体への参画は、事業効果を高める上で重要な要因であると考えられる。

くわえて、官民連携に関しては、第 5 章の長期的トレンド分析において確認できるように、経年でみても、事業主体として参画している事業のほうが KPI の達成割合が高い結果を得られており、事業効果を高めるための重要な取組と思われる。

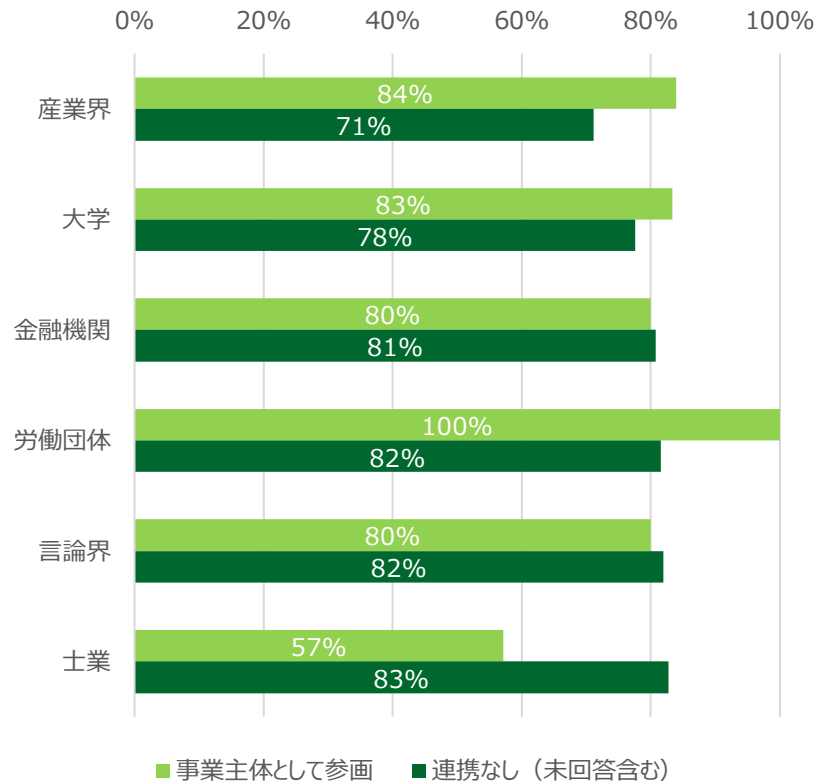
図表 4-5 KPI 達成事業割合（官民連携実施有無別（連携主体別））



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) KPI 達成事業割合について、共同（連携）事業は試算から除く

図表 4-6 自立化の見込みありの割合（官民連携実施有無別（連携主体別））



注1）供用未開始事業は試算から除く

注2）自立化の見込みについて、現時点における自立化の見込みを集計対象としている

参考 長期的トレンド分析 P. 125（図表 5-12 官民連携の実施状況別の KPI 達成事業の割合）

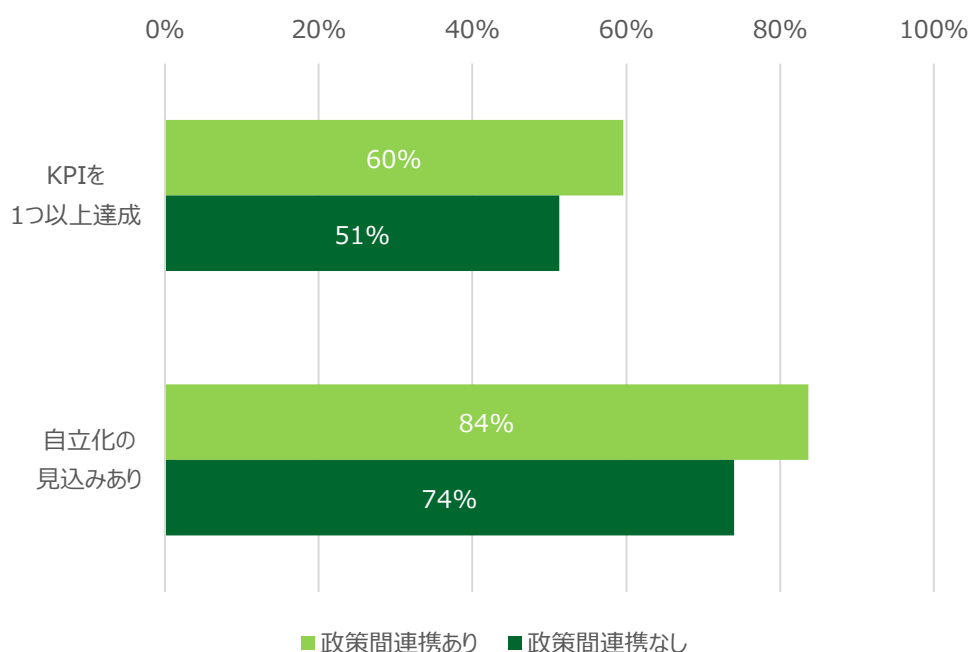
#### (4) 政策間連携

異なる分野の政策と連携して実施している事業は、KPI の 1 つ以上を達成する事業の割合及び自立化の見込みありと回答する事業が占める割合が、未実施の事業の割合と比べて、高い傾向にあることが確認できる。

また、事例研究では、「事業の企画・設計段階から、事業を単体で設計するのではなく、他の施策や施設と相互に補完し合うように設計すること」や「関係者それぞれが保有するデータや情報を統合し、共通のプラットフォーム（ハード・ソフト両面）で共有すること」といった取組が有益であったという調査結果が得られており、政策間連携は、事業効果を高める上で重要な要因であると考えられる。

くわえて、政策間連携に関しては、第 5 章の長期的トレンド分析において確認できるように、経年でみても、他分野との連携を行う事業のほうが KPI の達成割合が高い結果を得られており、事業効果を高めるための重要な取組と思われる。

図表 4-7 KPI 達成事業割合・自立化の見込み（政策間連携の実施有無別）



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) KPI 達成事業割合について、共同（連携）事業は試算から除く

注 3) 自立化の見込みについて、現時点における自立化の見込みを集計対象としている

参考 長期的トレンド分析 P. 126（図表 5-13 政策間連携の実施状況別の KPI 達成事業の割合）

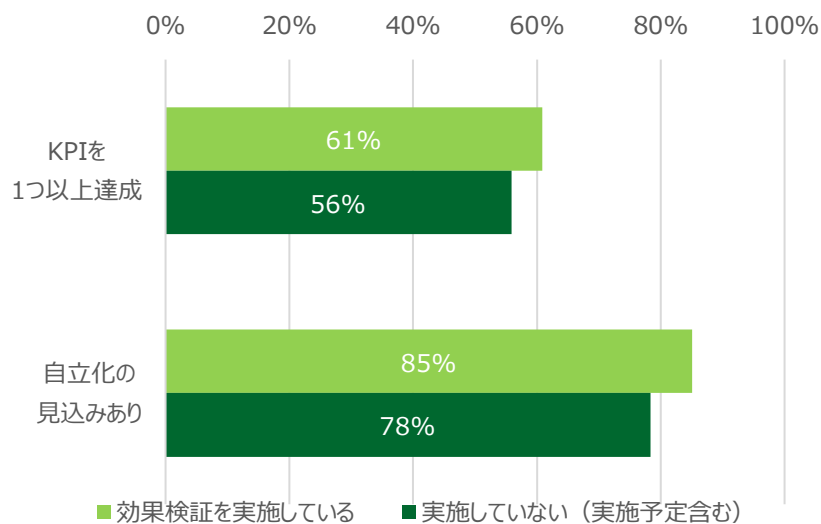
## （５）効果検証

議会または外部組織における効果検証を実施している事業は、KPI の 1 つ以上を達成する事業の割合及び自立化の見込みありと回答する事業が占める割合が、未実施の事業の割合と比べて、高い傾向にあることが確認できる。

また、事例研究では、「専門性の高い領域で実施する事業について、議会や外部組織による効果検証に加えて、専門家による技術的な評価・検証を行う機関や機会を設けること」や「具体的かつ実践的な議論ができるよう事業関係者を集めた場を定期的に設け、事業の進捗をタイムリーに確認すること」といった取組が有益であったという調査結果が得られており、事業の効果を多角的に検証する効果検証は、事業効果を高める上で重要な要因であると考えられる。

なお、効果検証に関しては、第 5 章の長期的トレンド分析において確認できるように、効果検証を実施することが事業の効果に繋がることが示唆されるものの、年度によってバラつきがあること等を踏まえると、単に効果検証を行うだけでなく、具体的な検証や議論を行うための会議の進め方、タイムリーに進捗を把握するための検証手法等について、更なる工夫が必要であると考えられる。

図表 4-8 KPI 達成事業割合・自立化の見込み（効果検証の実施有無別）



注 1）供用未開始事業は試算から除く

注 2）KPI 達成事業割合について、共同（連携）事業は試算から除く

注 3）自立化の見込みについて、現時点における自立化の見込みを集計対象としている

参考

長期的トレンド分析 P.127（図表 5-14 効果検証の実施状況別の KPI 達成事業の割合）

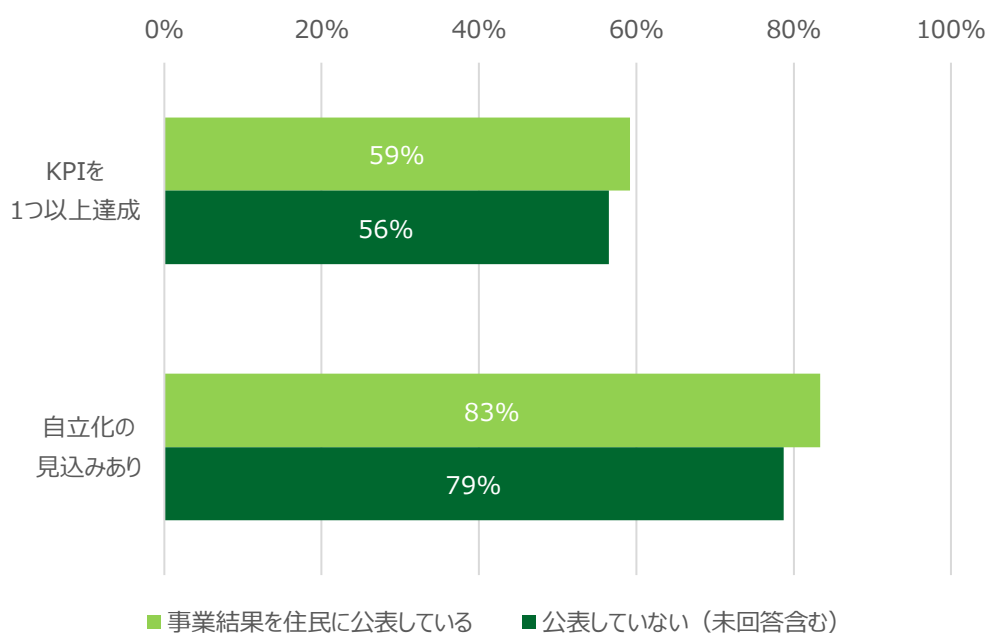
## （６）地域住民への情報提供

交付金事業の結果や外部有識者会議等の結果を地域住民に公表している事業は、KPIの１つ以上を達成する事業の割合及び自立化の見込みありと回答する事業が占める割合が、未公表の事業の割合と比べて、僅かに高い傾向にあることが確認できる。

また、事例研究では、「事業の立案段階において、形式的な意見収集ではなく、丁寧な聴取の姿勢や根拠を示した説明を実施すること」や「事業の実行段階において、事業の現状や将来的なビジョン・地域への効果を説明する」といった取組が有益であったという調査結果が得られており、地域の理解醸成を促すための地域住民への情報提供は、事業効果を高める上で重要な要因であると考えられる。

なお、地域住民への情報発信に関しては、第５章の長期的トレンド分析において確認できるように、情報発信を行うことが事業の効果に繋がることが示唆されるものの、その差は僅かであること等を踏まえると、単に情報発信を行うだけでなく、地域住民との双方向的なやり取りを行うための仕組み、少ない労力で効果的に情報を届けるための手法等について、更なる工夫が必要であると考えられる。

図表 4-9 KPI 達成事業割合・自立化の見込み（事業結果の公表有無別）



注１）供用未開始事業は試算から除く

注２）KPI 達成事業割合について、共同（連携）事業は試算から除く

注３）自立化の見込みについて、現時点における自立化の見込みを集計対象としている

### 参考

長期的トレンド分析 P.128（図表 5-15 地域住民への情報提供の実施状況別の KPI 達成事業の割合）

## 第5章 長期的トレンド分析

### 5.1 長期的トレンドの分析方針

地方公共団体から提出された平成30年度から令和6年度までの事業実施報告を活用し、交付金事業に関する情報の長期的トレンド分析を行った。

長期的トレンド分析は、毎年度の調査において把握している設問項目を中心に、単純集計結果及びクロス集計結果を基に実施し、今年度は、事業の基礎情報に加え、KPI目標の達成有無の実態等に着目し、分析を行った。

なお、調査年度ごとに、その年度に適した事業実施報告の様式に見直しを行っていることから、データによっては取得できない年度があることに留意が必要である。また、長期的トレンド分析では、各年度の回答結果を統一的な手法で集計することから、単年度に報告している分析結果と数値に誤差が生じる場合がある。

また、一部の調査については、事業実施報告に加えて、事業実施報告を基に抽出した一部の事業を対象に実施した詳細調査の結果を使用し、分析している。

## 5.2 長期的トレンドの分析結果

事業の基礎情報、KPI 目標の達成状況と各種取組事項及びその他について、分析結果を示す。なお、本章における図表の軸の年度は、事業の実施年度を指している。

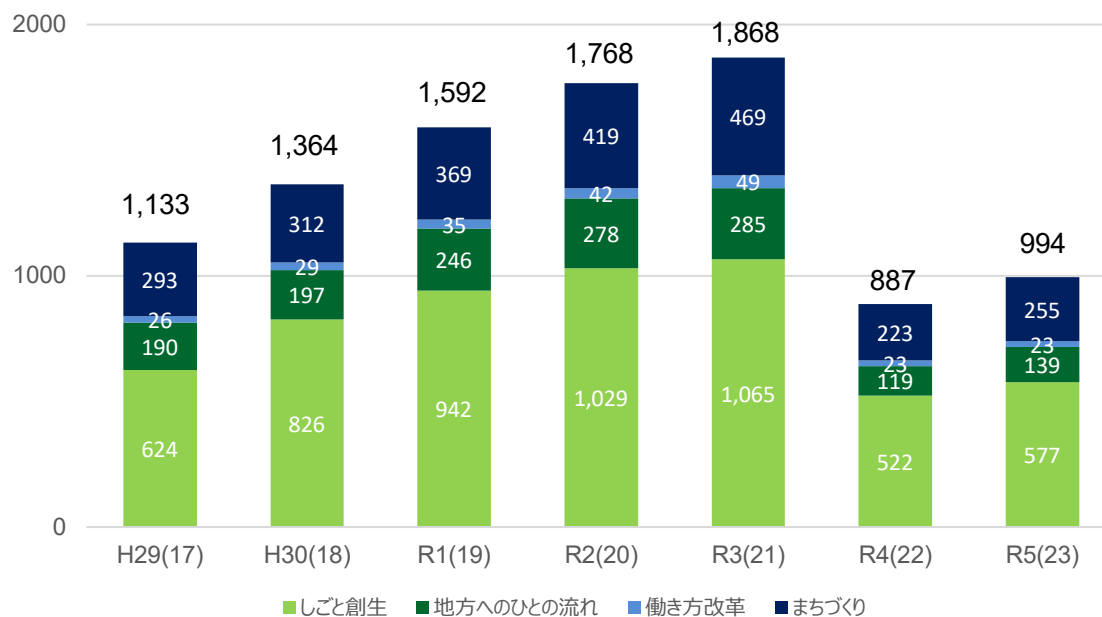
### 5.2.1 事業の基礎情報

#### 1) 事業実施報告の提出数

地方公共団体から提出のあった事業実施報告について、令和4年度以降、毎年度1,000件程度の事業が提出されている。

なお、令和3年度以前は、交付金を措置された年度によって報告対象を決定しており、令和4年度以降は、施設の供用開始年度によって報告対象を決定しているため、件数が大きく変化していることに留意が必要である。

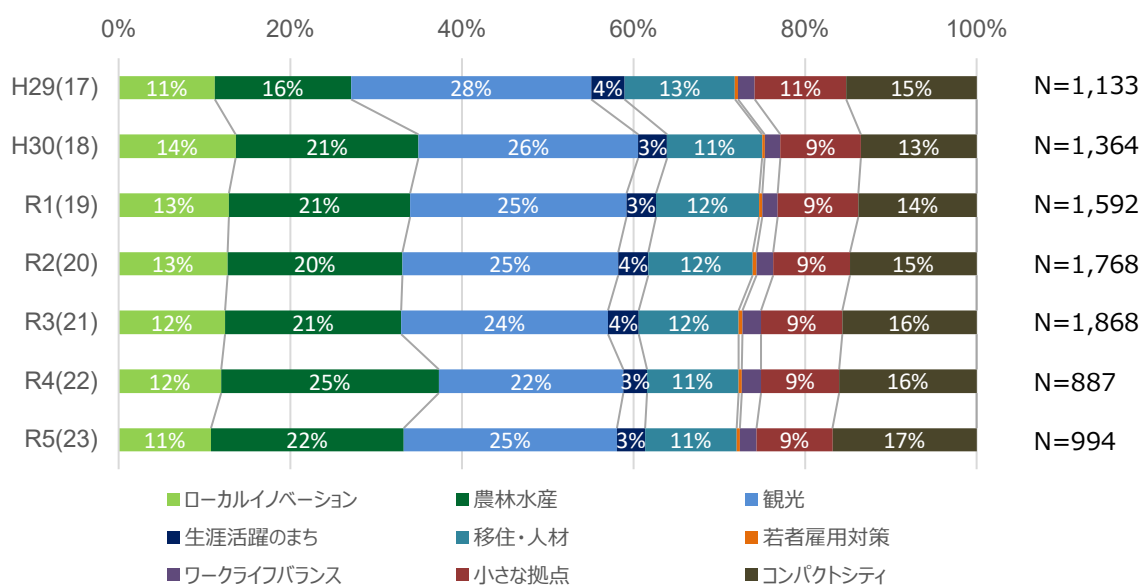
図表 5-1 事業実施報告の提出数の推移



## 2) 事業テーマの別

事業テーマ別では、しごと創生分野（ローカルイノベーション分野、農林水産分野及び観光分野）が全体の 50%を占めており、やや増加傾向にある。

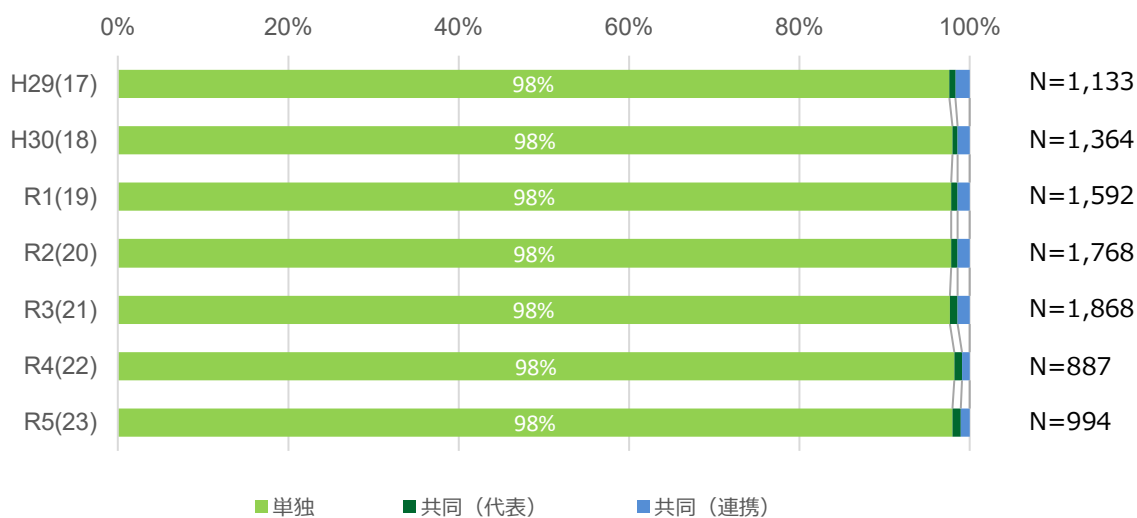
図表 5-2 事業実施報告の提出数の推移（事業テーマ別）



## 3) 単独事業・共同事業の別

単独事業と共同事業（代表及び連携の合計）について、殆どが単独事業であり、その傾向は、過年度から継続している。

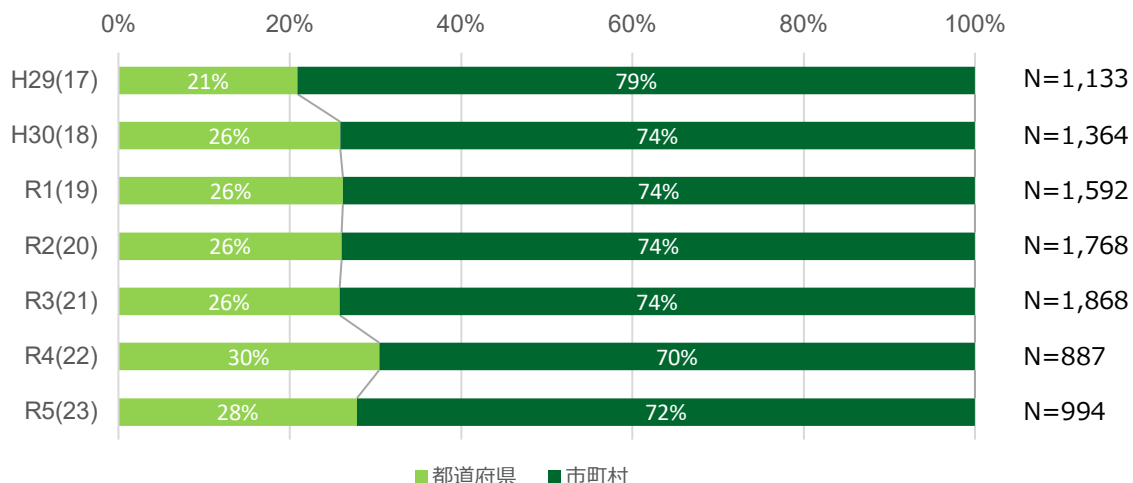
図表 5-3 単独事業・共同事業別の事業数の推移



#### 4) 実施主体の別

実施主体の別（都道府県、市町村）の比率は、例年、概ね 3:7 程度となっている。

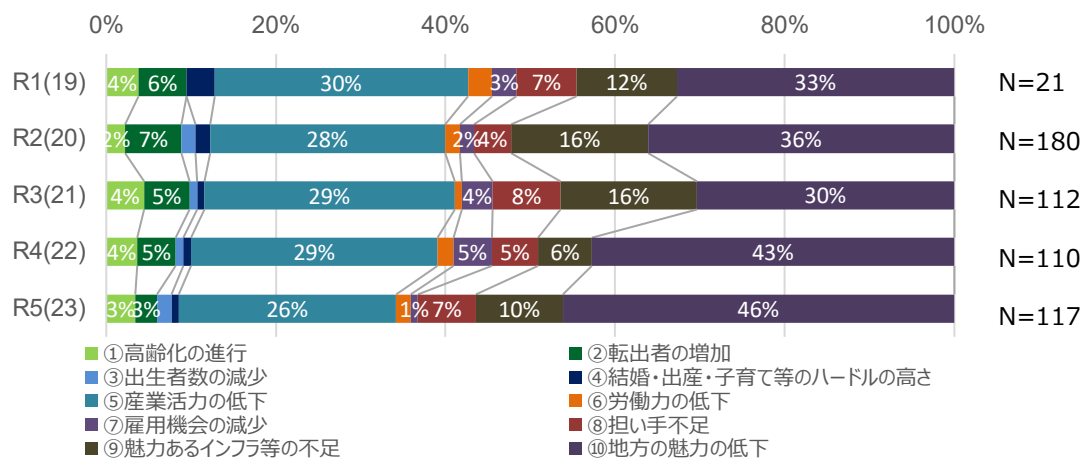
図表 5-4 実施主体別の事業数の推移



#### 5) 事業で解決したい課題

事業で解決したい課題について、「産業活力の低下」及び「地方の魅力の低下」を挙げる事業が多くを占めており、特に「地方の魅力の低下」を挙げる事業が、増加傾向にある。このことから、近年は、整備した施設が地方の魅力を高める拠点となることを期待していることが想定される。

図表 5-5 事業で解決したい課題の割合（新規事業のみ）



注) 新規事業について、R1（19）は令和元年度に開始した事業を、R2（20）は令和 2 年度に開始した事業を抽出し、集計している（以降の年度も同様の手法で抽出する。）

## 5.2.2 KPI 目標の達成状況と各種取組事項

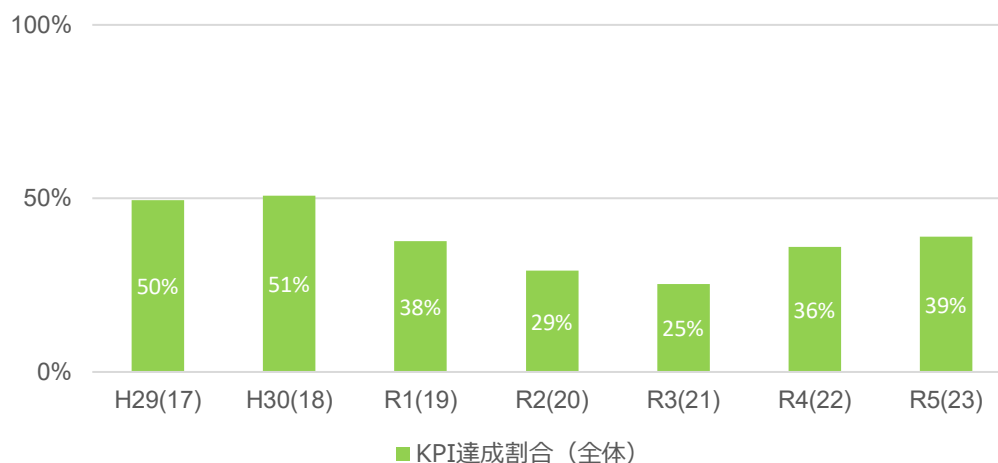
### 1) KPI の実績

#### (ア) 目標値に達した KPI

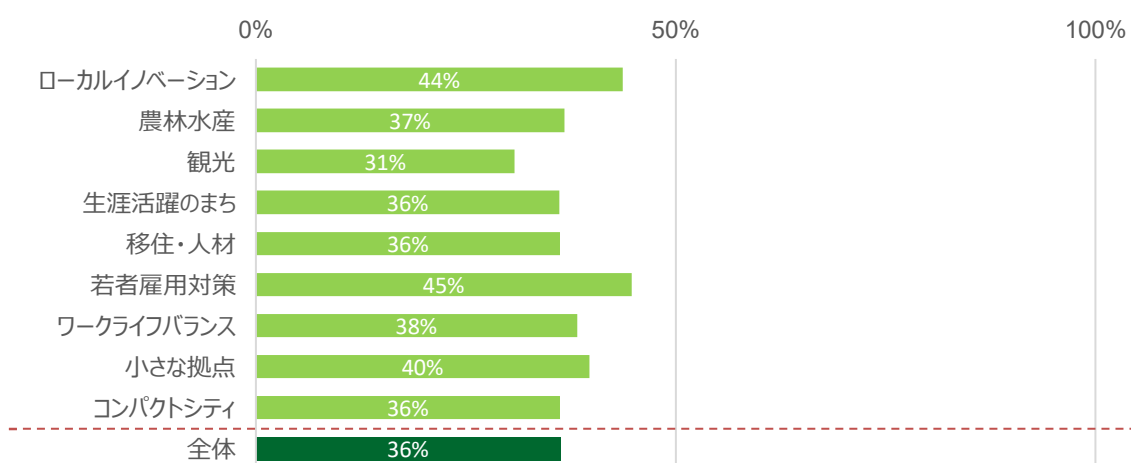
目標値に達した KPI の割合は、令和 3 年度にかけて低下傾向にあったものの、近年は上昇傾向にあり、40%程度で推移している。

また、平成 29 年度から令和 5 年度までの結果を合算して集計すると、若者雇用対策分野及びローカルイノベーション分野の KPI は達成率が 40%を超えている。観光分野については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、KPI の達成率が相対的に低い状況にあるが、全体的に事業ごとに大きな差異は確認できない。

図表 5-6 目標値に達した KPI の割合（全体）



図表 5-7 目標値に達した KPI の割合（事業テーマ別・H29～R5 の統合結果）



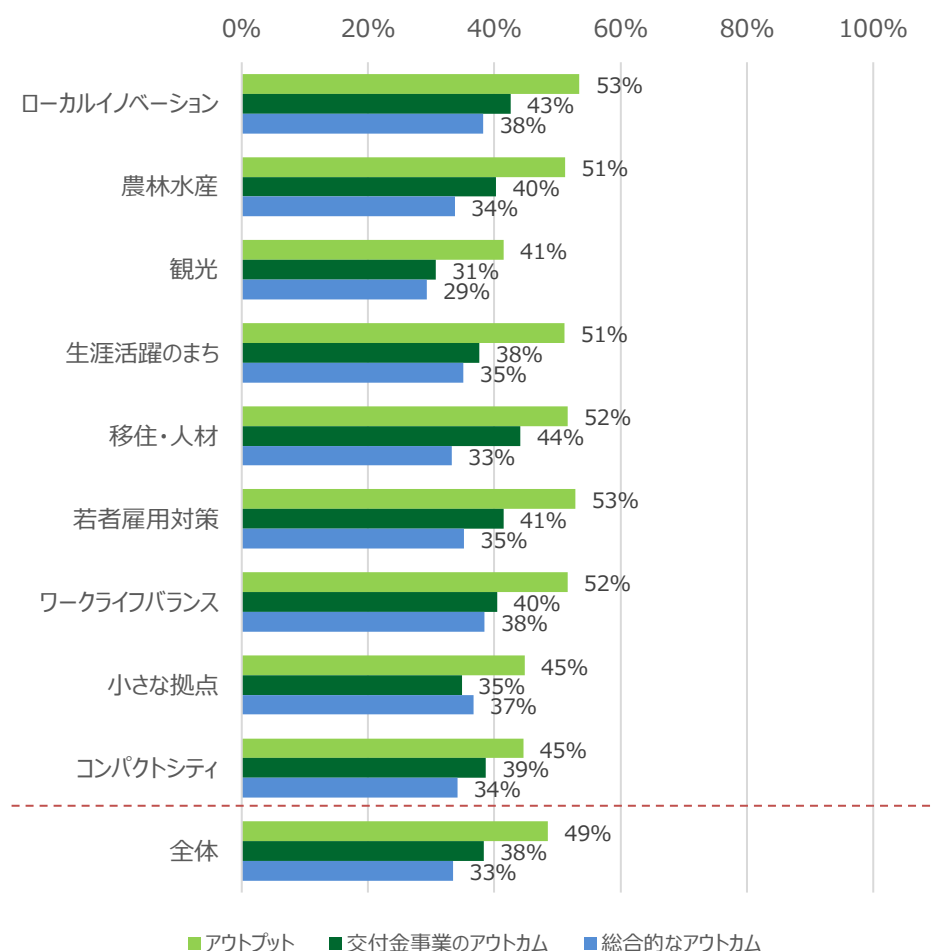
## 2) KPI の属性別の達成状況

### (ア) KPI の分類別における達成状況

KPI の分類（「インプット」、「アウトプット」、「交付金事業のアウトカム」及び「総合的なアウトカム」）ごとの目標値に達した KPI の割合について、平成 29 年度から令和 5 年度までの結果を合算して集計すると、基本的な傾向として、「アウトプット」⇒「交付金事業のアウトカム」⇒「総合的なアウトカム」の順に達成割合が低下しており、事業テーマ別でも、共通の傾向である（なお、小さな拠点分野のみ、「総合的なアウトカム」が「交付金事業のアウトカム」を上回る。）。

事業の最終目標や地域にもたらす効果を示した「総合的なアウトカム」は、交付金を活用した取組の活用量を示す「アウトプット」と比較すると、効果の発現に時間が掛かることが分析結果からも想定される。

図表 5-8 目標値に達した KPI の割合（事業テーマ別の KPI 分類・H29～R5 の統合結果）



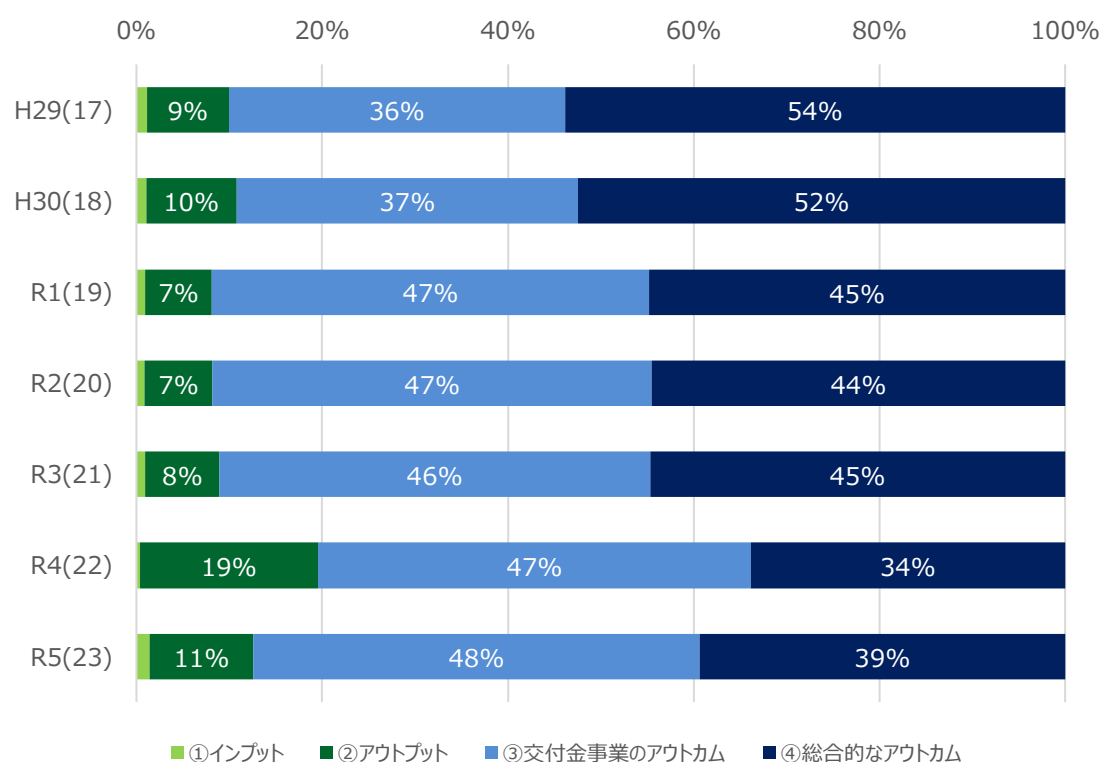
注) インプットは、設定個数が他の分類と比べて特に少ないため、比較の対象からは除いている

# (イ) 設定する KPI の分類

事業が設定する KPI の分類について、以前は設定した KPI の 50%以上が「総合的なアウトカム」であったものの、近年は、「アウトプット」及び「交付金事業のアウトカム」の割合が高まっており、特に「交付金事業のアウトカム」の割合が高まっている。

設定した KPI が交付金事業によって現れた成果・効果であると説明できることの重要性を鑑み、事業との直接性のある効果を表す指標を KPI として設定する事業が増加していることが想定される。

図表 5-9 設定する KPI 分類の割合（全体）



注) 事業テーマ別のデータは掲載していないものの、総合的なアウトカムの割合が低下している傾向は、農林水産分野及び若者雇用対策分野を除き、概ね共通した傾向である

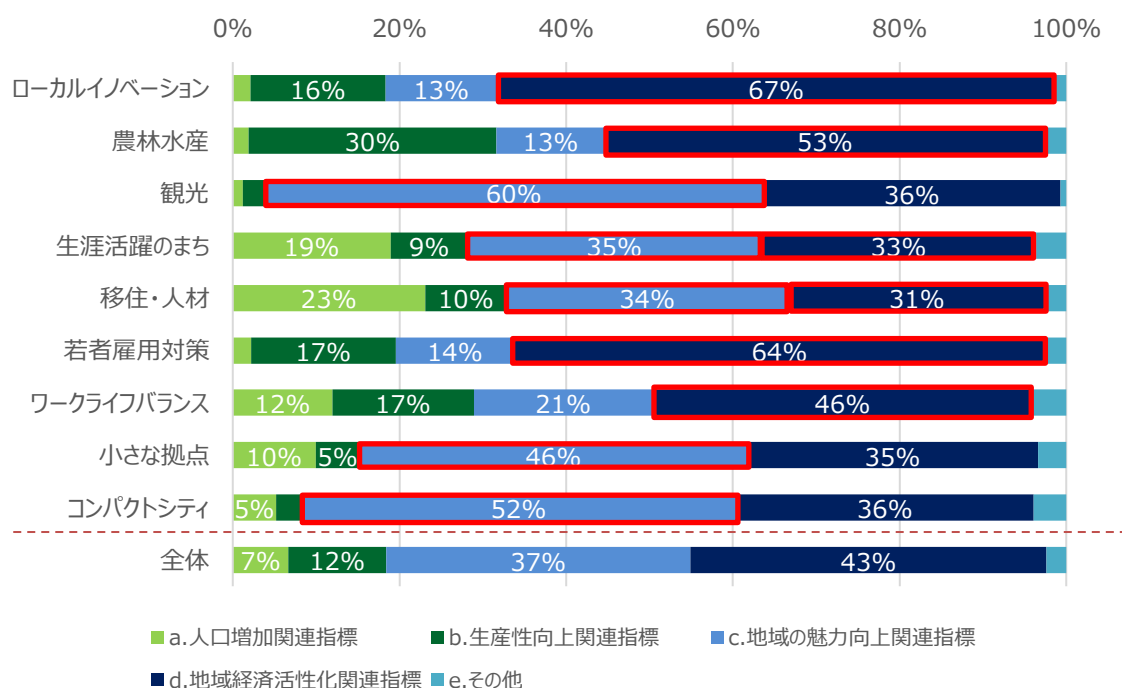
(ウ) 設定する KPI の区分

事業が設定する KPI の区分（「a.人口増加関連指標」、「b.生産性向上関連指標」、「c.地域の魅力向上関連指標」、「d.地域経済活性化関連指標」及び「e.その他」）について、平成 29 年度から令和 5 年度までの結果を事業テーマ別に合算して集計すると、事業テーマ別に、採用する KPI の傾向に差異があることが分かる。

ローカルイノベーション分野、農林水産分野、若者雇用対策分野及びワークライフバランス分野は「d.地域経済活性化関連指標」の割合が高く、観光分野、小さな拠点分野及びコンパクトシティ分野は「c.地域の魅力向上関連指標」の割合が高く、生涯活躍のまち分野及び移住・人材分野は「c.地域の魅力向上関連指標」及び「d.地域経済活性化関連指標」の割合が同程度に高い。それぞれの分野及び指標における主な KPI の例は次のページのとおりである。

図表 5-10 設定する KPI の区分（全体）

（事業テーマ別の KPI の区分・H29～R5 の統合結果）



図表 5-11 設定する KPI の例

| 主な区分                                                              | 事業テーマ                  | 設定する KPI の例                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| d. 地域<br>経済活<br>性化関<br>連指標                                        | しごと創生      ローカルイノベーション | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 売上高・出荷額（既存製品を含む売上高、出荷数・額、消費金額、販売額の増加、受注数・額、輸出額・数など）</li> <li>➤ 育成人材数</li> <li>➤ 利用者数（就職や起業セミナー・イベントの参加者数、相談窓口の利用者数など）</li> </ul>  |
|                                                                   | しごと創生      農林水産        | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 売上高・出荷額（既存製品を含む売上高、出荷数・額、消費金額、販売額の増加、受注数・額、輸出額・数など）</li> <li>➤ 農林・畜産・漁業目標（農業者数、収穫数・頭数・漁獲量、面積など）</li> <li>➤ 特産品・旅行商品開発数</li> </ul> |
|                                                                   | 働き方改革      若者雇用対策      | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 就業者数の増加（正規雇用者数・フリーランス数・就職者数・就職率・就職割合など）</li> </ul>                                                                                |
|                                                                   | 働き方改革      ワークライフバランス  | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 就業者数の増加（正規雇用者数・フリーランス数・就職者数・就職率・就職割合など）</li> <li>➤ 利用者数（就職や起業セミナー・イベントの参加者数、相談窓口の利用者数など）</li> </ul>                               |
| c. 地域<br>の魅力<br>向上関<br>連指標                                        | しごと創生      観光          | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 観光消費額</li> <li>➤ 宿泊者数（代表的 KPI）</li> <li>➤ 利用者数（施設・設備利用者数、イベントなどの参加者数、など）</li> </ul>                                               |
|                                                                   | まちづくり      小さな拠点       | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域の人口・世帯数</li> <li>➤ 利用者数（施設・設備利用者数、イベントなどの参加者数、など）</li> <li>➤ 特産品・旅行商品開発数</li> </ul>                                             |
|                                                                   | まちづくり      コンパクトシティ    | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域の人口・世帯数</li> <li>➤ 利用者数（施設・設備利用者数、イベントなどの参加者数、など）</li> <li>➤ 交流人口・関係人口の増加（プロジェクト・取り組みへの参加数）</li> </ul>                          |
| c. 地域<br>の魅力<br>向上関<br>連指標<br>／ d.<br>地域経<br>済活<br>性化関<br>連指<br>標 | 地方への人の流れ      生涯活躍のまち  | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域への移住者数</li> <li>➤ 売上高・出荷額（既存製品を含む売上高、出荷数・額、消費金額、販売額の増加、受注数・額、輸出額・数など）</li> <li>➤ 利用者数（施設・設備利用者数、イベントなどの参加者数、など）</li> </ul>      |
|                                                                   | 地方への人の流れ      移住・人材    | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域への移住者数</li> <li>➤ 利用者数（施設・設備利用者数、イベントなどの参加者数、など）</li> <li>➤ 利用者数（就職や起業セミナー・イベントの参加者数、相談窓口の利用者数など）</li> </ul>                    |

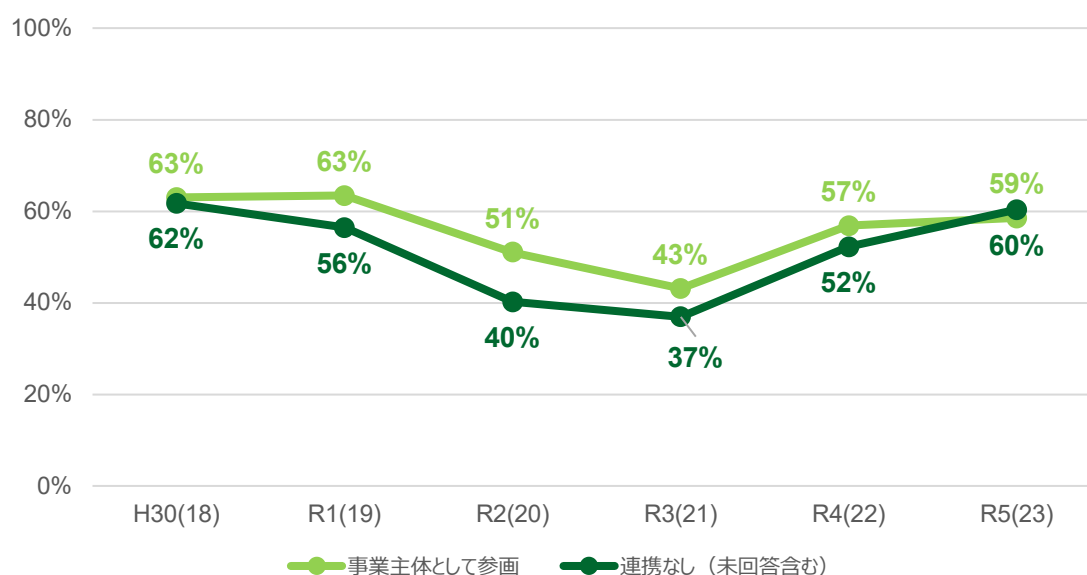
### 3) KPI 目標の達成と各種取組の実施状況

#### (ア) 官民連携

官民連携の実施状況と KPI 目標の達成有無に関して、連携する事業数が最も多い「産業界」を例に分析すると、令和 5 年度を除き、民間の実施主体が「事業主体として参画」する事業のほうが、「連携なし」の事業よりも、KPI を達成する割合が高い傾向にある。

経年で同様の結果が得られていることから、民間が事業主体として積極的に参画することが、事業の効果に繋がることが示唆される。

図表 5-12 官民連携の実施状況別の KPI 達成事業の割合



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

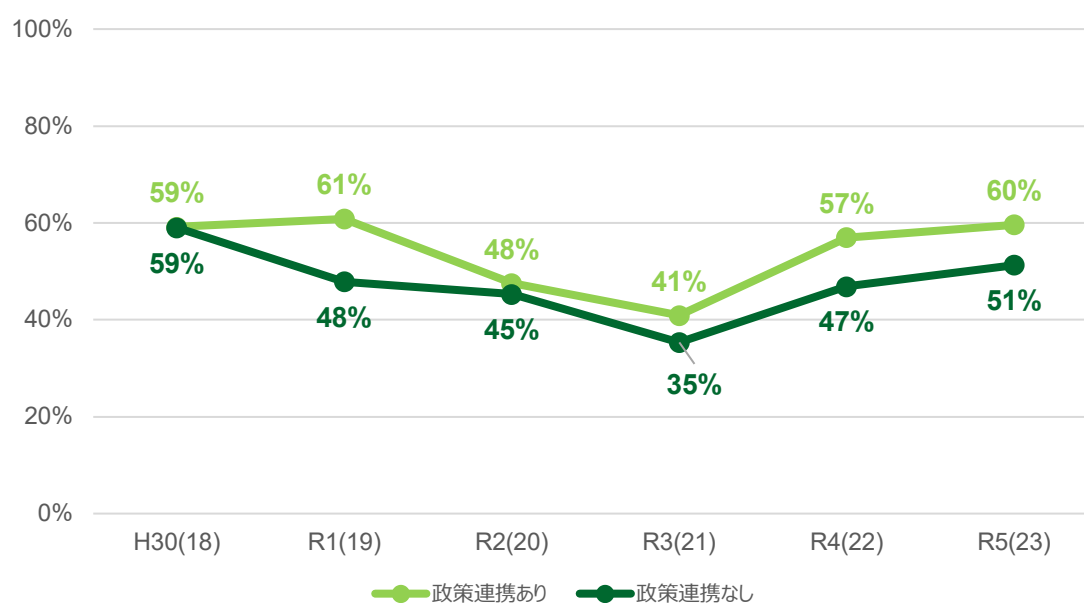
注 2) KPI 達成事業割合について、共同（連携）事業は試算から除く

### (イ) 政策間連携

他分野との政策間連携の実施状況と KPI 目標の達成有無に関して、他分野との「政策連携あり」の事業のほうが、「政策連携なし」の事業よりも、KPI を達成する割合が高い傾向にあり、特に、近年になってその差が顕著に発現している。

経年で同様の結果が得られていることから、他分野との政策間連携を行い、異なる分野の政策を組み合わせることで、相乗効果を得られるなど、事業の効果に繋がることが示唆される。

図表 5-13 政策間連携の実施状況別の KPI 達成事業の割合



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

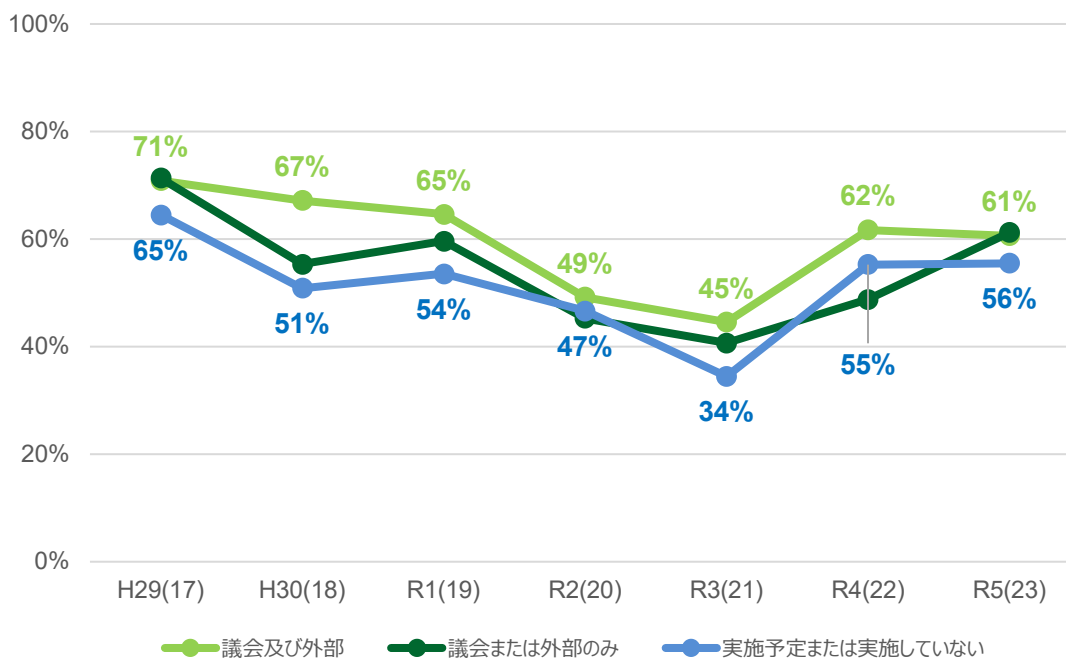
注 2) KPI 達成事業割合について、共同（連携）事業は試算から除く

(ウ) 効果検証

効果検証の実施状況と KPI 目標の達成有無に関して、「議会及び外部（組織）」や「議会又は外部（組織）のみ」のように効果検証を実施している事業のほうが、効果検証を「実施予定または実施していない」事業よりも、概ね、KPI を達成する割合が高い傾向にある。

経年で同様の結果が得られていることから、効果検証を実施することが、事業の効果に繋がることが示唆されるが、「議会または外部のみ」は年度によっては割合が下回っていることを踏まえると、効果検証の実施内容が形式的である、不十分である等を理由に、KPI の達成に上手く繋がっていない事業もあると想定されるため、引き続き、効果的な効果検証の実施方法に関する研究が必要である。

図表 5-14 効果検証の実施状況別の KPI 達成事業の割合



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

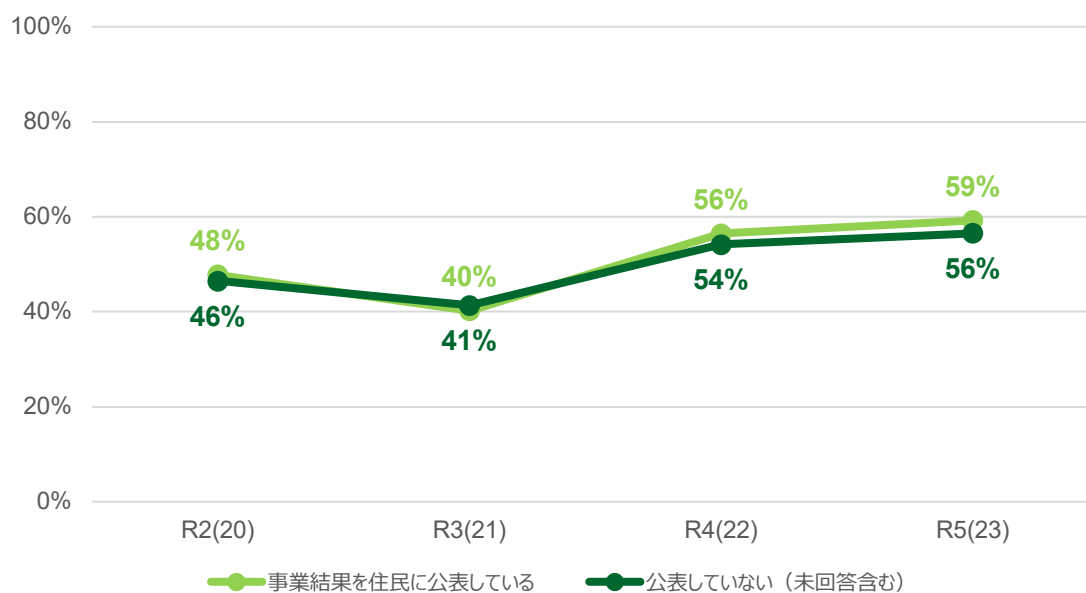
注 2) KPI 達成事業割合について、共同（連携）事業は試算から除く

(エ) 地域住民への情報提供

地域住民への情報提供の実施状況と KPI 目標の達成有無に関して、「事業結果を住民に公表している」事業のほうが、「公表していない」事業よりも、特に、近年において、KPI を達成する割合が高い傾向にある。

差が発現したことが近年になってからであることを踏まえると、地域の理解醸成を促す地域住民への情報提供を行うことが、事業の効果に特に繋がり得るものなのか、引き続き、傾向を確認することが重要である。

図表 5-15 地域住民への情報提供の実施状況別の KPI 達成事業の割合



注 1) 供用未開始事業は試算から除く

注 2) KPI 達成事業割合について、共同（連携）事業は試算から除く

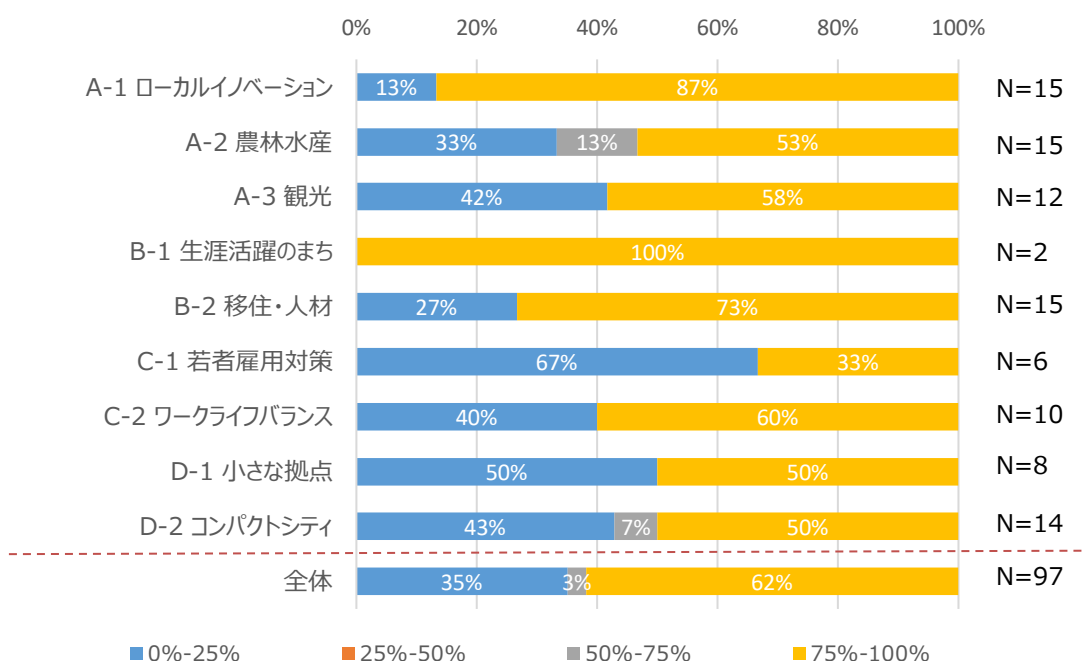
### 5.2.3 その他（交付金事業費支出先の地域内訳及び経済波及効果）

#### 1) 同一自治体向けの事業者に対する支出割合

例年、事業実施報告に加えて、一部の事業を対象とした詳細調査を実施しており、当該詳細調査の中で、交付金事業費の支出先の地域内訳の調査を実施している。各年度の調査対象数は10件～40件程度であり、あくまでサンプル調査になるものの、交付金の支出先を把握するために、各年度の調査結果を合計した結果を分析する。

サンプル調査の結果によると、交付金事業費の支出先の地域内訳について、同一自治体内の事業者向けの支出が、0%～25%である自治体と、75%～100%である自治体の2種類に大別される傾向が確認できた。また、事業テーマ別では、ローカルイノベーション分野や移住・人材分野は、交付金の大部分を同一自治体の事業者向けに支出する事業が多くを占めることが確認できた。

図表 5-16 同一自治体内の事業者向けに対する支出割合別の割合（事業テーマ別）

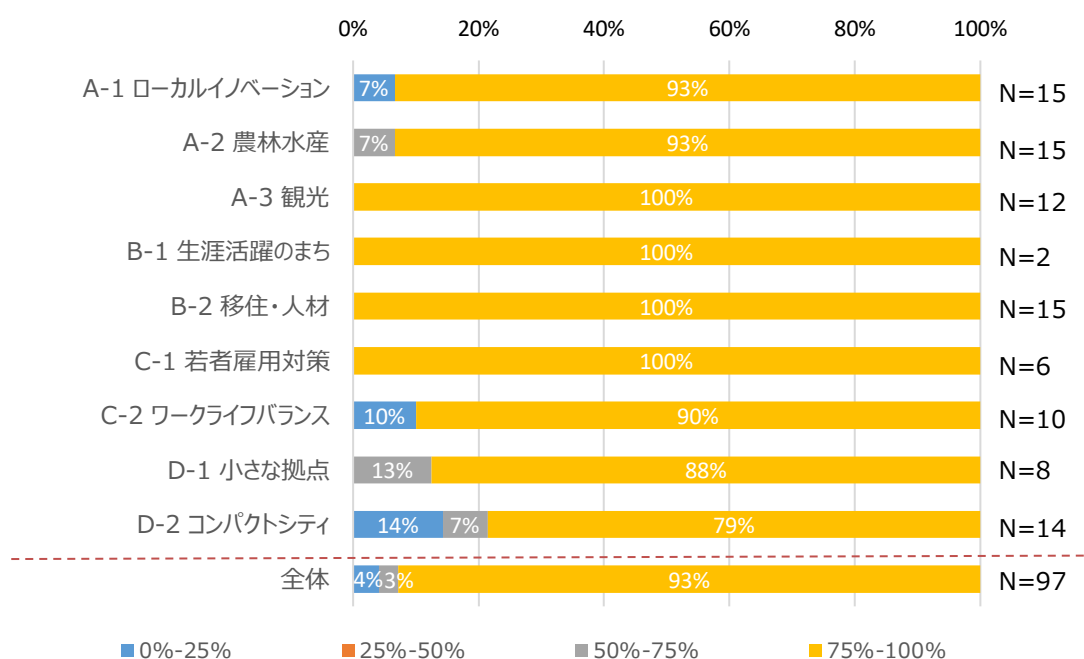


注）事例研究における詳細調査の項目の一つとして、交付金事業費の支出先の地域内訳を調査しており、当該結果の平成30年度から令和4年度までの結果を合算し、集計している。交付金事業費の支出先のうち、同一自治体向けの支出割合を4段階の区分で整理し、その事業数の割合を整理している。

2) 自治体が所在する都道府県（同一自治体内含む。）の事業者向けに対する支出割合

支出先を自治体が所在する都道府県（同一自治体内含む。）に広げると、同一都道府県内の事業者向けの支出が、75%~100%である自治体が多いという傾向が確認できた。また、事業テーマ別においても、交付金の大部分を自治体が所在する都道府県内の事業者向けに支出する事業が多くを占めることが確認できており、交付金が地域への支出に充てられている傾向が確認できた。

図表 5-17 自治体が所在する都道府県内（同一自治体内含む。）の事業者向けに対する  
支出割合別の割合（事業テーマ別）



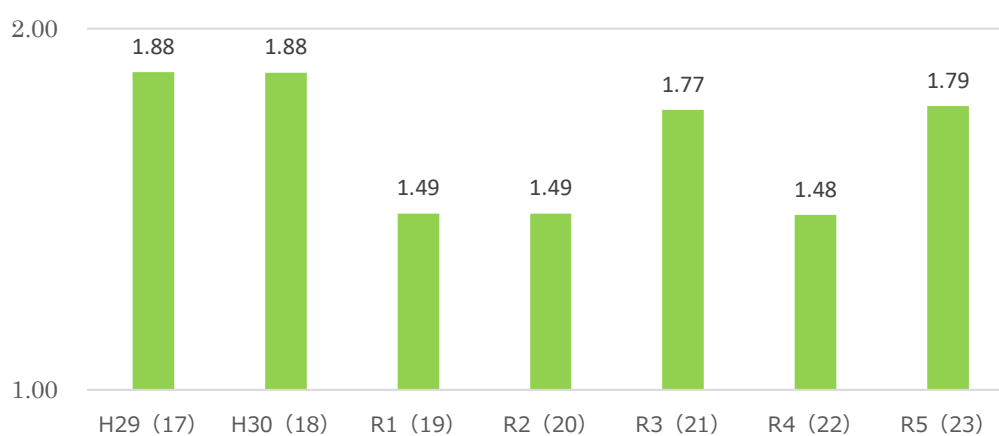
注) 事例研究における詳細調査の項目の一つとして、交付金事業費の支出先の地域内訳を調査しており、当該結果の平成 30 年度から令和 4 年度までの結果を合算し、集計している。交付金事業費の支出先のうち、自治体が所在する都道府県内向けの支出割合を 4 段階の区分で整理し、その事業数の割合を整理している。

### 3) 経済波及効果

交付金事業について、各事業における交付金事業費を基に、経済波及効果（直接効果及び間接一次波及効果の合計を対象としている。）を産業連関分析によって試算している。

産業連関表はおおむね 5 年ごとに作成されており、試算を行った年度によって使用した産業連関表の内容が異なっていることや、拠点整備タイプについては令和 5 年度の調査から施設の供用開始年度によって報告対象とするなど調査範囲を見直していることなどから、年度によって交付金事業の経済波及効果の合計値にバラつきはあるものの、いずれのテーマについても、交付金事業費総額の 1.5~1.8 倍程度で、毎年度推移している。

図表 5-18 経済波及効果（交付金事業費に対する直接効果及び間接波及効果の倍数）



## 第6章 ガイドラインの加筆・修正

### 6.1 ガイドラインの加筆・修正

本調査を踏まえて、ガイドラインの加筆・修正を実施した。

具体的には、本調査によって明らかになった地方公共団体による交付金事業実施に当たっての課題を踏まえて、以下の点などをガイドラインに反映した。

- ・ ガイドラインで参照する事例を今年度の調査結果に基づき更新を行った（49－56 ページ、3. 事業の PDCA の段階ごとの工夫・留意点 参照）。
- ・ 参考となる政府統計指標に関して、データ最新年・リンク先等の更新をした（27－33 ページ、5）参考となる政府統計指標 参照）。

また、本調査で詳細調査した各事例における事業実施時の工夫・留意点に関して、主要なものをガイドラインに追加反映した。

## 第7章 地方公共団体への分析結果フィードバック

### 7.1 フィードバックの目的

各地方公共団体が、自身の交付金事業の実施状況を他の地方公共団体と比較することで、事業プロセスにおいて不足している項目や優れている点などを客観的に認識してもらうことを目的に、各団体により回答された事業実施報告について、「自身の回答」と「全体の回答」とを記載した「事業実施報告分析レポート」を作成し、各団体に送付した。

「全体の回答」として記載した拠点整備タイプ全体、事業テーマ別の傾向を、各地方公共団体の「自身の回答」と比較することで、交付金事業における各事業の状況を客観的に把握することが可能である。また、一部の設問においては、各地方公共団体の「自身の回答」において回答された課題に対する他地方公共団体の対応事例を記載しており、今後の課題解決の参考とすることができる。

これにより、各団体による今後の交付金事業のさらなる改善が促されることが期待される。

### 7.2 フィードバック項目

地方公共団体へのフィードバック項目は以下の通り。

図表 7-1 フィードバック項目

| フィードバック項目                  | 概要                                                                                                    |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. KPI の達成状況               | 当該事業における KPI 目標の達成状況と、事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における目標を達成した KPI の割合を比較する。                                       |
| 2. 地方創生への効果認識              | 事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における地方創生への効果認識割合をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。                                                |
| 3. 自立化の見込み                 | 事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における、自立化見込み状況をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。                                                   |
| 4. 令和 5 年度事業を踏まえた自立化の進捗と課題 | 事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における自立化の進捗状況をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。また、当該事業が回答した「自立化の課題」に対して、他事業における課題に対する対策・解決事例を例示する。 |
| 5. 事業実施時に留意した項目            | 各事業プロセスにおける当該事業の回答と、事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における各事業プロセスに留意した割合を比較する。                                          |

|                              |                                                                                                               |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6. 連携している政策分野                | 事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における連携先の政策分野（事業テーマ）の分布状況をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。                                                |
| 7. 効果検証項目の実施状況と効果検証を実施する際の工夫 | 事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における効果検証項目の実施状況と KPI の達成状況をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。                                              |
| 8. 効果検証の実施項目数                | 事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における効果検証時に実施した項目数をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。                                                       |
| 9. 事業を進める中で特に苦労したこと          | 事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における課題・苦労の状況をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。また、当該事業が回答した「事業を進める中での課題・苦労」に対して、他事業における課題に対する対策・解決事例を例示する。 |

## 7.3 フィードバックの実施

各地方公共団体に対して、上記のフィードバック項目を記載した「事業実施報告分析レポート」を作成し、都道府県経由で各地方公共団体に送付した。

事業実施報告分析レポートの様式は以下の通り。

図表 7-2 事業実施報告分析レポート（様式）（1 枚目）

| デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）事業実施報告 分析レポート                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                            |        |     |                                                                                                                                             |         |                         |               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------|---------------|
| <p>本レポートは、令和5年度におけるデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）事業実施の結果として全国の地方公共団体により報告された「デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）事業実施報告（様式2）」を集計・分析した結果をお知らせするものです。（令和6年10月末までに提出された事業実施報告を基に作成）</p> <p>貴団体による交付金事業の実施状況を他の地方公共団体と比較することで、今後の事業推進に役立てていただけますと幸いです。</p> |                                                                                                                                            |        |     |                                                                                                                                             |         |                         |               |
| <b>A. 基礎情報</b>                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                            |        |     |                                                                                                                                             |         |                         |               |
| 都道府県名                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                            | 〇〇県    |     | 市町村名                                                                                                                                        |         | 〇〇市                     |               |
| 事業名称                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                            |        |     | 事業実施計画(申請)段階のテーマ                                                                                                                            |         |                         |               |
| 〇〇プロジェクト                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                            |        |     | 【しごと創生】ローカルイノベーション分野                                                                                                                        |         |                         |               |
| <b>B. KPIの達成状況（令和5年度までの累計）</b>                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                            |        |     |                                                                                                                                             |         |                         |               |
| <p>地方創生拠点整備タイプの事業におけるKPIの達成状況について分類別（4分類）にみると、【しごと創生】ローカルイノベーション分野のテーマ全体では、a.人口増加関連指標のKPIが多く達成されています（ただし、N=1のためあくまで参考値）。なお、KPIの設定に当たっては、客観的、かつ事業との直接性のある効果を表す指標であることが重要です。目的と交付金事業のKPIとの因果関係が明確であり、交付金事業によって現れた成果だと説明できるKPIを設定する必要があります。</p> |                                                                                                                                            |        |     |                                                                                                                                             |         |                         |               |
|                                                                                                                                                                                                                                              | KPIの名称                                                                                                                                     | KPIの分類 |     |                                                                                                                                             | 目標達成の有無 | 目標を達成したKPIの割合（KPIの大分類別） |               |
|                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                            | 大分類    | 小分類 | 対象                                                                                                                                          |         | 【しごと創生】ローカルイノベーション分野    | 地方創生拠点整備タイプ全体 |
| KPI 1                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                            |        |     |                                                                                                                                             |         |                         |               |
| KPI 2                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                            |        |     |                                                                                                                                             |         |                         |               |
| KPI 3                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                            |        |     |                                                                                                                                             |         |                         |               |
| KPI 4                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                            |        |     |                                                                                                                                             |         |                         |               |
| <b>C. 交付金事業の地方創生への効果</b>                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                            |        |     |                                                                                                                                             |         |                         |               |
| <p>【しごと創生】ローカルイノベーション分野のテーマ全体の約9割の交付金事業で地方創生に効果があったと認識されています。一方、6%の交付金事業は効果の有無はまだわからないと認識されています。</p>                                                                                                                                         |                                                                                                                                            |        |     |                                                                                                                                             |         |                         |               |
| 本事業                                                                                                                                                                                                                                          | 【しごと創生】ローカルイノベーション分野                                                                                                                       |        |     | 地方創生拠点整備タイプ全体                                                                                                                               |         |                         |               |
|                                                                                                                                                                                                                                              | <p>■ ① 地方創生に非常に効果的であった<br/>■ ② 地方創生に相当程度効果があった<br/>■ ③ 地方創生に効果があった<br/>■ ④ 地方創生に対して効果がなかった<br/>■ ⑤ 効果の有無はまだわからない<br/>■ 未回答</p> <p>N=94</p> |        |     | <p>■ ① 地方創生に非常に効果的であった<br/>■ ② 地方創生に相当程度効果があった<br/>■ ③ 地方創生に効果があった<br/>■ ④ 地方創生に対して効果がなかった<br/>■ ⑤ 効果の有無はまだわからない<br/>■ 未回答</p> <p>N=849</p> |         |                         |               |
| <b>D. 自立性担保の進捗</b>                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                            |        |     |                                                                                                                                             |         |                         |               |
| <p>〇現時点における自立化の見込み</p> <p>現時点において、【しごと創生】ローカルイノベーション分野のテーマ全体の9割弱の事業が自立を見込んでいます。</p>                                                                                                                                                          |                                                                                                                                            |        |     |                                                                                                                                             |         |                         |               |
| 本事業                                                                                                                                                                                                                                          | 【しごと創生】ローカルイノベーション分野                                                                                                                       |        |     | 地方創生拠点整備タイプ全体                                                                                                                               |         |                         |               |
|                                                                                                                                                                                                                                              | <p>■ ① あり<br/>■ ② なし<br/>■ 未回答</p> <p>N=94</p>                                                                                             |        |     | <p>■ ① あり<br/>■ ② なし<br/>■ 未回答</p> <p>N=849</p>                                                                                             |         |                         |               |

図表 7-3 事業実施報告分析レポート（様式）（2 枚目）

○令和 5 年度事業を踏まえた自主財源の確保状況

令和 5 年度の事業実施を踏まえて、【しごと創生】ローカルイノベーション分野のテーマ全体の8割の事業は計画時の見込みどおり又は見込みを上回って事業収入等の自主財源を確保できる見込みで進捗しています。

| 本事業 | 【しごと創生】ローカルイノベーション分野                                                                                                    | 地方創生拠点整備タイプ全体                                                                                                            |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>■ 見込みを上回って自主財源を確保している<br/>■ 見込みどおり自主財源を確保している<br/>■ 見込みを下回って自主財源を確保している<br/>■ 自主財源を確保していない<br/>■ 未回答</p> <p>N=83</p> | <p>■ 見込みを上回って自主財源を確保している<br/>■ 見込みどおり自主財源を確保している<br/>■ 見込みを下回って自主財源を確保している<br/>■ 自主財源を確保していない<br/>■ 未回答</p> <p>N=703</p> |

○令和 5 年度事業を踏まえた自立化の課題

多くの事業で自立化の課題を抱えており、自走に向けて試行錯誤が行われ、各課題に対する対策・解決案が検討されています。異団体による交付金事業の回答を踏まえ、他団体の対策・解決策を例示させていただきますので、今後の事業推進に役立てていただけますと幸いです。

| 本事業 | 対処状況 | 他事業における、課題に対する対策・解決事例 |
|-----|------|-----------------------|
|     |      |                       |
|     |      |                       |
|     |      |                       |

E. 事業実施時に留意した項目

PDCAサイクルの各段階で「取り組みべきこと」について、【しごと創生】ローカルイノベーション分野のテーマ全体では「カ. スクールメットや人材・ノウハウ融通のため、複数の地域間で連携している」や「コ. 経営視点からの検証のため、事業実施経験のある人材を活用している。または知見ある外部専門家から助言を受けている」、「サ. 事業終了までの詳細な工程計画(四半期単位、月単位等)を策定している」、「ソ. 庁外に担い手となるキーパーソンや、事業を継続的に進めていくメンバーを確保している」、「チ. 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくらしている」の実施率は低くなっています。

注）各項目の詳細は、内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」総論－Ⅲ.事業化プロセス編に記載していますので、必要に応じてご参照ください。

|                                                                 | 本事業 | 【しごと創生】ローカルイノベーション分野 | 地方創生拠点整備タイプ全体 |
|-----------------------------------------------------------------|-----|----------------------|---------------|
| 【事業アイデア・事業手法の検討段階】                                              |     |                      |               |
| ア. 地域住民や利害関係者との話し合いを通じて課題やニーズを明確化している                           |     | 86%                  | 89%           |
| イ. 定量的・客観的な分析を通じて地域の実態やニーズを捉えている                                |     | 80%                  | 83%           |
| ロ. 地域の特色ある資源や強みを活用している                                          |     | 95%                  | 94%           |
| エ. 事業手法の検討に外部人材・知見を活用している                                       |     | 73%                  | 75%           |
| オ. 異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、団体内の複数部署や様々な分野の民間企業と連携している            |     | 76%                  | 72%           |
| カ. スクールメットや人材・ノウハウ融通のため、複数の地域間で連携している                           |     | 53%                  | 49%           |
| キ. 事業実施体制の構築において、地域の企業・団体等の既存組織・ネットワークを活用している                   |     | 81%                  | 81%           |
| ク. 関係者の役割・責任について明確化している                                         |     | 83%                  | 86%           |
| 【事業の具体化段階】                                                      |     |                      |               |
| ケ. 資金調達の方法や事業採算性など事業が継続性をもって自走していくことのできるプロセスを明確化している            |     | 79%                  | 74%           |
| コ. 経営視点からの検証のため、事業実施経験のある人材を活用している。または知見ある外部専門家から助言を受けている       |     | 60%                  | 58%           |
| サ. 事業終了までの詳細な工程計画(四半期単位、月単位等)を策定している                            |     | 66%                  | 65%           |
| シ. 事業と直接性があり、客観的な成果を表すKPIを選定し、妥当な水準の目標値を設定している                  |     | 95%                  | 93%           |
| 【事業の実施・継続段階】                                                    |     |                      |               |
| ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている                                  |     | 91%                  | 91%           |
| セ. KPIの進捗について定期的に管理している                                         |     | 97%                  | 95%           |
| ソ. 庁外に担い手となるキーパーソンや、事業を継続的に進めていくメンバーを確保している                     |     | 69%                  | 73%           |
| タ. 事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、事業がもたらすメットについて情報発信し、事業実施に対する納得感を醸成している |     | 73%                  | 75%           |
| チ. 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくらしている                     |     | 68%                  | 74%           |
| 【事業の評価・改善段階】                                                    |     |                      |               |
| ツ. 外部組織や議会等により事業の効果多角的に評価検証している                                 |     | 91%                  | 88%           |
| テ. KPIの達成状況を定期的に確認し、未達成の場合はその要因を分析している                          |     | 95%                  | 90%           |
| ト. 事業の評価を踏まえて対応策を決定し、実行に移している                                   |     | 81%                  | 80%           |
| ナ. 事業の改善方針について次年度以降の事業計画に反映している                                 |     | 80%                  | 76%           |

F. 連携している政策分野

異なる政策間での連携を行い、事業の効果を高めていくことが望めます。【しごと創生】ローカルイノベーション分野のテーマ全体では、移住・人材分野と連携する事業が多く、異なる分野の政策を組み合わせる事業を行うことで、相乗効果を得られる場合があります。

| 本事業 | 【しごと創生】ローカルイノベーション分野 | 地方創生拠点整備タイプ全体 |
|-----|----------------------|---------------|
|     | <p>N=72</p>          | <p>N=836</p>  |

図表 7-4 事業実施報告分析レポート（様式）（3 枚目）

G. 効果検証

○効果検証における実施項目

効果検証における「実施すべき項目」を実施した方が、実施しないよりも一つでもKPIを達成した事業の割合が高くなっています。

地方公共団体及び事業の実情によっては、実施できないまたは実施の必要が無い項目もあると考えられますが、効果検証をきめ細かに実施することで、事業の効果をより高めていくことが望めます。

【効果検証における段階別実施有無】

| 本事業                                 | 【しごと創生】ローカルイノベーション分野 | 地方創生拠点整備タイプ全体 |
|-------------------------------------|----------------------|---------------|
| ア. 事業の状況及び現状の課題を把握している              | 65%                  | 60%           |
| イ. 計画との比較を行っている                     | 72%                  | 63%           |
| ウ. 課題の優先順位付けを行っている                  | 80%                  | 63%           |
| エ. 事業における原因・阻害要因を明らかにしている           | 67%                  | 58%           |
| オ. 適切な分析手法を検討し選択している                | 73%                  | 54%           |
| カ. 統計データ等の証拠から、定量的・客観的に地域の課題を把握している | 56%                  | 64%           |
| キ. 阻害要因について対応策を検討している               | 62%                  | 47%           |
| ク. 新計画を立てている                        | 100%                 | 48%           |
| ケ. 対応策や新計画の実施を行っている                 | 53%                  | 53%           |
| コ. 定量的な分析結果を公表している                  | 63%                  | 64%           |

○効果検証における実施項目数

効果検証における実施項目の実施数について、【しごと創生】ローカルイノベーション分野のテーマ全体の約2割の事業が未実施となっています。効果検証を実施することでKPI目標達成への効果が見込まれるため、適切な実施が求められます。

本事業

【しごと創生】ローカルイノベーション分野

地方創生拠点整備タイプ全体

H. 事業を進める中で特に苦労したこと

○事業を進める中での課題・苦労

多くの場合、交付金事業を進める中で課題や苦労に直面しています。

特に、【しごと創生】ローカルイノベーション分野のテーマ全体では、「①事業推進体制の検討」は1割半ばの事業が苦労しています。

本事業

【しごと創生】ローカルイノベーション分野

地方創生拠点整備タイプ全体

○事業を進める中での課題・苦労に対する対応事例

交付金事業を進める中で課題や苦労は自治体ごとに異なります。その中でも各自治体で試行錯誤を重ね、課題や苦労への対策・解決案を検討しています。

貴団体による交付金事業の回答を踏まえ、他団体の対策・解決策を例示させていただきますので、今後の事業推進に役立てていただくと幸いです。

| 本事業 | その他の場合の詳細 | 他事業における、課題に対する対策・解決事例 |
|-----|-----------|-----------------------|
|     |           |                       |
|     |           |                       |
|     |           |                       |

以上

137

## 第8章 検討委員会の設置

本調査の効果を高めるため、地方創生に関する外部有識者から成る「デジタル田園都市国家構想交付金事業（地方創生推進タイプ及び地方創生拠点整備タイプ）の効果検証に関する調査検討委員会」（以下「検討委員会」という。）を設置・開催し、その監修のもとで調査を実施した。

また、第3章 事例研究における現地調査の一部事例については、検討委員会委員を同行し、調査の深掘りを図った。

検討委員会の委員は、以下の通り。

検討委員会委員一覧 （五十音順、敬称略）

|    | 所属・役職                        | 氏名     |
|----|------------------------------|--------|
|    | 大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授          | 赤井 伸郎  |
|    | 公益財団法人交通協力会 常務理事             | 石堂 正信  |
|    | 武庫川女子大学 教授                   | 金崎 健太郎 |
|    | 千葉商科大学基盤教育機構 准教授             | 田中 信一郎 |
|    | 一橋大学大学院法学研究科 教授              | 辻 琢也   |
| 座長 | 福井県立大学地域経済研究所 所長・教授          | 松原 宏   |
|    | 株式会社JR東日本びゅうツーリズム&セールス<br>顧問 | 見並 陽一  |

検討委員会は、令和 6 年 8 月から令和 7 年 2 月までの期間で計 4 回開催した。各回の開催概要は以下の通り。

図表 8-1 検討委員会開催概要

| 回     | 日時・場所                                                   | 議題                                                                                                                                                                            |
|-------|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 回 | 令和 6 年 8 月 5 日 (月)<br>10:00～12:00<br>オンライン開催            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度の調査の進め方について</li> <li>・ 事業実施報告分析の進め方について</li> <li>・ 事例研究の進め方について</li> <li>・ 統計解析の進め方について</li> <li>・ 地方公共団体へのフィードバックについて</li> </ul> |
| 第 2 回 | 令和 6 年 10 月 28 日 (月)<br>10:00～12:00<br>オンライン開催          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実施報告等の分析 (途中報告)</li> <li>・ 事例研究の進め方及び抽出事例 (案)</li> <li>・ 統計解析の試行 (途中報告)</li> <li>・ 長期的トレンド分析</li> </ul>                            |
| 第 3 回 | 令和 6 年 12 月 9 日 (月)<br>10:00～12:00<br>対面開催<br>(オンライン併用) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実施報告の分析結果</li> <li>・ 事例研究の進捗報告</li> <li>・ 長期的トレンド分析 (途中報告)</li> <li>・ 期中管理 (途中報告)</li> <li>・ 報告書 (骨子)</li> <li>・ その他</li> </ul>    |
| 第 4 回 | 令和 7 年 2 月 18 日 (火)<br>10:00～12:00<br>対面開催<br>(オンライン併用) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例研究 (結果報告)</li> <li>・ 統計解析 (結果報告)</li> <li>・ 報告書案及びガイドライン改訂版</li> <li>・ 今後の調査における論点</li> </ul>                                      |